

# 50年の あゆみ

 公益財団法人 大阪府文化財センター

# 50年の あゆみ

 公益財団法人 大阪府文化財センター

# ごあいさつ

公益財団法人大阪府文化財センターは、昭和 47（1972）年 11 月 28 日に大阪府教育委員会の認可のもと、財団法人大阪文化財センターとして発足しました。戦後日本の区切りでもある沖縄復帰や中国国交正常化などと同じく、今年 50 年を迎えます。

当センターの設立は必ずしも開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を担うためではありませんでしたが、昭和 45（1970）年の大阪万博以降、関西の社会基盤整備が急速に進められるなかで、近畿自動車道建設など大阪府内の大規模公共事業に伴う発掘調査を一手に担うこととなりました。この半世紀、まさに府内くまなく発掘調査を行い、旧石器時代から近世・近代まであらゆる時代にわたり多くの成果を挙げてきました。

埋蔵文化財の保護制度は、昭和 25（1950）年に制定された文化財保護法に始まります。戦後まもない時期に、静岡県登呂遺跡で弥生時代の確かな村跡が掘り出され、群馬県岩宿遺跡では列島初の旧石器が発見され歴史が一気にさかのぼりました。敗戦により歴史の拠りどころを失っていた国民に夢と希望をもたらし、埋蔵文化財の発掘調査は真の歴史を解き明かすことを国民にわかりやすく示しました。その結果、国民の理解と協力のもと全国各地で発掘調査が懸命に行われてきたのです。日本の考古学は大きく進展し、日本歴史の刷新に大いに貢献しています。

大阪の地は国の中心をなす畿内にとって西日本ひいては大陸の正面玄関にあたり、歴史上重要な遺跡がひしめいています。当センターはそこで未曾有の規模で発掘調査を遂行してきました。果たした役割は決して小さくないと自負しています。かつて自らの国と地域の成り立ちを知りたいと願った国民・府民の期待に多少なりとも応えることができたものと思います。

近年、文化財の世界は大きく変わっています。国全体の発掘調査はピークの半分近くに激減する一方、その成果の幅広い活用が求められています。また、社会構造の変化に伴う多様な文化財全般や、各分野で進行する世代交代の大きな波への対応も、重要な課題となっています。当センターでは、府内の公共事業のみならず、府外への技術支援として職員が出向するとともに、府内では市町村が対応しきれない事業を受託するなど、府内外の広域連携を積極的に取り組んでいます。普及活用は設立当初から先駆的に手がけてきましたが、現在では日本初の野外博物館である日本民家集落博物館の管理運営を担うとともに、府立や泉佐野市立の博物館の指定管理を受託しています。

近年のこうした多様な事業を支えている基盤は、長年の埋蔵文化財の発掘調査で培った職員の豊富な知識と技術にあります。世代交代が進むいま、それをいかに継承するかという課題に直面しています。そのためには、この 50 年の歩みをていねいにたどりながら、適切な方向を見定めることが必要です。

センター設立 50 周年を好機ととらえ、今後も大阪府の文化財保護に求められる役割を果たす所存です。引き続き多くの関係機関・関係者のご指導、ご支援をお願いいたします。

令和 4 年 11 月

公益財団法人 大阪府文化財センター  
理事長 坂井 秀弥

# 目 次

ごあいさつ

## I 部 摂河泉 発掘資料集

センターこの10年、そして今から	3
1. 摂津	8
2. 河内	26
3. 和泉	36

## II 部 50年史

設立趣意	41
法人概要	42
役員	44
沿革	45
事業1 埋蔵文化財調査事業	52
事業2 文化財資料活用事業	90
事業3 弥生文化博物館事業	96
事業4 近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘事業	108
事業5 歴史館いずみさの事業	120
事業6 日本民家集落博物館事業	124
EVENT・TOPICS	134

## III 部 資料編

1. シンボルマーク	161
2. 設立発起人ならびに役員任期一覧	162
3. 埋蔵文化財調査事業量の推移	168
4. 博物館入館数の推移	170
5. 刊行物	172
6. 公益財団法人大阪府文化財センター定款	200
事業所一覧	208



# 例 言

- ・本書は、公益財団法人大阪府文化財センターが令和4（2022）年11月に設立50周年を迎えたことを記念して刊行するものである。
- ・I部は、平成24（2012）年8月以降、令和4（2022）年5月までに刊行した発掘調査報告書の中から主な発掘調査の概要およびそれら調査の代表的な出土品等の紹介を収めた。それ以前の成果については『摂河泉資料精選』1995、『摂河泉資料精選II』2002、『摂河泉資料精選III』2012として刊行している。  
なお、1. 摂津、2. 河内、3. 和泉における年号表記については、従前刊行の資料精選を踏襲し、西暦表記としている。
- ・II部は、当法人50年史を収めた。なお、弥生文化博物館事業、近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘事業、日本民家集落博物館事業は財団法人大阪府博物館協会と統合した平成14（2002）年度以降を主に収め、泉佐野市立歴史館いずみさの事業は指定管理を受託した平成28（2016）年度以降を収めた。「EVENT・TOPICS」は、この10年間の法人全体の活動を収めた。
- ・III部は、昭和47（1972）年の設立以来の法人概要を基本として収めた。
- ・本書の編集は、市村慎太郎、市本芳三（総括）、後藤信義、佐伯博光（編集長）、島谷美穂、廣瀬時習を担当として行った。（50音順）
- ・本書の執筆者は、秋山浩三、後川恵太郎、市村慎太郎、市本芳三、伊藤武、井上智博、岡戸哲紀、岡本圭司、奥村茂輝、尾崎愛、尾崎裕妃、亀井聡、川瀬貴子、河本純一、合田幸美、後藤信義、駒井正明、佐伯博光、笹栗拓、三宮昌弘、鹿野壘、信田真美世、島崎久恵、島谷美穂、竹内秀喜、田中秀弥、塚本浩司、永野仁、西村歩、廣瀬時習、福佐美智子、寶珍貴史、森本徹、若林幸子（50音順）であり、I部の担当はそれぞれの文末に表記した。  
また、各資料を作成するにあたり、全職員の協力を得た。

I 部 掇河泉 発掘資料集



表の図は、第 295 集「郡遺跡・倍賀遺跡 1」図 88 (P114) 掲載の銅鐸形土製品である。

# センターこの10年、そして今から

## センター生誕

当法人は昭和47（1972）年11月28日、大阪府教育委員会の認可を受け、財団法人大阪文化財センターとして発足した。以来、大阪府の埋蔵文化財行政の一翼を担い、大規模開発に伴う発掘調査に対応した。特に近畿自動車道天理吹田線の建設に伴う調査は、大阪平野の沖積地を深く調査することから鋼矢板土留支保工による土木工法を採用した大規模なものであった。

また、埋蔵文化財の発掘調査のみならず、普及啓発および博物館運営の事業を展開し、現在まで50年の道のりを歩んできた。設立当初より、調査部門だけでなく、普及事業を大きな柱と位置付けた特徴ある組織であり、現在の文化財行政に通じる組織構成であったことがうかがえる。

## 二つの組織との統合・職員の府外出向・府立博物館指定管理

平成7（1995）年度に、関西国際空港建設事業に関連して設立された財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、財団法人大阪府文化財調査研究センターに名称変更、さらに平成14（2002）年度には財団法人大阪府博物館協会と統合し、新たに財団法人大阪府文化財センターとなった。

埋蔵文化財調査では、大規模開発に伴う調査事業拠点として、その都度、分室や支所等を設置するとともに、平成7（1995）年度に大阪府内3

箇所北部、中部、南部調査事務所を拠点として置く。現在は、中部調査事務所と本部事務所機能と同じ建屋にある南部調査事務所の二拠点がある。

平成21（2009）年度からは、鳥取県における鳥取西道路建設事業に伴う大規模開発に対応するため、財団法人（現、公益財団法人）鳥取県教育文化財団からの依頼に基づき職員を出向させ、府外への技術支援が始まった。大阪府内の公共事業が大幅に減少したことが大きな要因であったが、大規模調査や沖積地調査の当法人が有するノウハウが活かされた。

平成14（2002）年度の財団法人大阪府博物館協会との統合は当法人にとってひとつの転機であった。日本民家集落博物館（以下、民集博）が当法人の直営館となり、大阪府立弥生文化博物館（以下、弥生博）ならびに近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘（以下、近つ博）は、大阪府からの管理委託を引き継ぐことになった。ここで、現在の当法人の事業のひとつの柱である博物館管理運営事業が本格的に開始することとなった。

平成18（2006）年度からは、大阪府は府立2博物館に指定管理者制度を導入し、5年間の指定管理者を一般公募とした。当法人はこれに応募し、審査の結果、選定されることとなった。これにより、従前は管理部門のみの委託であったが、学芸部門を含めて運営を行うことになり、文化財資料活用のもとでも大阪府の博物館事業に直接的に



弥生文化博物館 着ぐるみ



近つ飛鳥博物館 出前授業

関わりをもつ大きな変革であった。この第1期となる指定管理期間中に大阪府知事が交代し、文化施設の見直しが行われ、一時、弥生博は廃止し、近つ博との統合案も出されたが、積極的な館外活動や入館者数増、地元との連携などにより存続が決定した。

設立以来の普及啓発事業は事業費の確保難のこともあり、平成20(2008)年度に普及部を廃止し、総務部を総務企画部に改変し、現在は総務企画課において事業を実施している。

平成23(2011)年4月、財団法人の認定法の改正に伴い、当法人は公益認定を受け、公益財団法人大阪府文化財センターとなった。

### この10年

埋蔵文化財調査事業のうち、大規模開発に伴う事業として、新名神高速道路および関連道路等に伴う調査が、箕面市・茨木市・高槻市・枚方市において、平成22(2010)年度から開始し、令和7(2025)年度には終息する予定である。多目的遊水地の建設に伴う柏原市・八尾市に所在する大県郡条里遺跡の調査は平成23(2011)年度から始まり、現在も調査を実施している。吹田市・摂津市の吹田操車場跡地関連の再開発に伴う調査は、昭和63(1988)年度の試掘調査から始まり、平成30(2018)年度まで実施した。枚方市・寝屋川市の京阪電鉄本線の連続立体交差事業に伴い、令和元年(2019)年度に確認・試掘調査が始まり、今後、本格的に調査が始まる。東大阪市の大阪モノレール延伸に伴う調査は、令和3

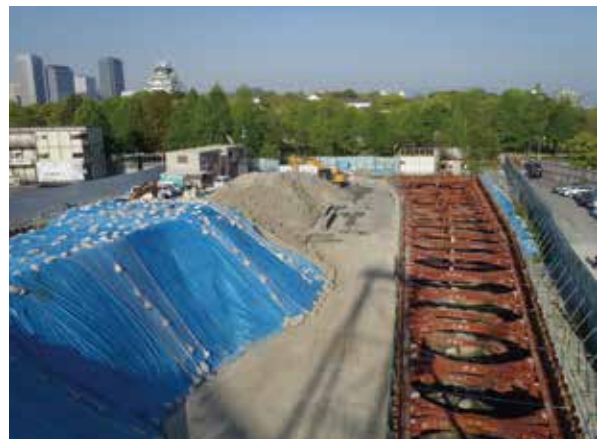


新名神高速道路（茨木市 千提寺西遺跡）

(2021)年度から本格的に開始した。

市町村の公共事業や民間開発事業等に伴う調査は、当該市町村から大阪府への調査協力の依頼により、大阪府から当法人へ発掘調査の実施が通知される。その後、当法人と市町村・事業者間で協議を行い、調査の受託ないし市町村との共同調査として支援を担っている。平成23(2011)年度に泉佐野市から受けて以来、現在までに20の市町村において、土地区画整理、大型商業店舗建設、大型物流施設建設、庁舎建設等に伴い、調査を実施している。

府外への技術支援は、平成21(2009)年度の財団法人鳥取県教育文化財団以来、令和3(2021)年度まで6法人を数える。財団法人鳥取県教育文化財団には一般国道9号(鳥取西道路)建設に伴い、平成21~29(2009~2017)年度まで、延べ26名の職員が出向した。公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターには東日本大震災復旧復興事業に伴い、平成25~29(2013~2017)年度まで、延べ8名出向した。公益財団法人和歌山県文化財センターには第二阪和自動車道建設に伴い、平成25(2013)年度に1名出向した。公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センターには市計画道路建設、小中一貫校設置事業、市民会館建設に伴い、平成25~27(2013~2015)、平成29~30(2017~2018)年度に延べ8名出向し、さらに市民会館建設に伴う調査に関しては現地調査後の報告書作成事業を受託し、令和元~3(2019~2021)年度に延べ3名で実施した。公益財団法人かなが



大阪重粒子線センター（大阪市 大坂城跡）



わ考古学財団には新東名高速道路ならびに関連事業に伴い、平成27～令和3（2015～2021）年度まで延べ20名が出向した。公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所には平成28～30（2016～2018）年度に延べ6名が出向した。

平成29（2017）年度のピーク時には調査課25名のうち半数の13名が出向することとなった。出向は単身赴任、または遠距離通勤になることもあり、当法人職員の理解があつてこそ実施できたものであつた。各法人へ技術支援をするとともに、当法人職員にとっては各地の調査手法等、得るものも大きかつたと言える。文化庁は近年、各地での短期的な事業増加に対応するための方策として相互協力が必要であることを示しており、当法人の技術支援は全国的にみても都道府県を超えた相互協力の先例となつたといえる。

埋蔵文化財調査事業の一環であつた保存処理業務は近畿自動車道建設に伴う大阪平野の沖積地での調査により膨大な木製遺物が出土したことから昭和55（1980）年度から開始した。沖積地での調査がなくなり、平成6（1994）年度からは金属保存処理も行うようになったが、当法人が実施する発掘調査で処理を必要とする出土品の減少、処理機器の老朽化、平成29（2017）年度末に担当職員が退職となつたことから、廃止となつた。

博物館事業の府立2博物館および風土記の丘は引き続き指定管理に応募し、受託した。第2期目となる平成23（2011）年度からの指定管理期間は、弥生博の廃止や近つ博との統合案等の見直しの関係で、指定管理者の公募は行われず、平成23

（2011）年度の1年間の随意契約として、提案書の提示を求められた。一方、近つ博は5年間の指定管理者の公募であつた。近つ博ではこの第2期目から施設管理を担当する近鉄ビルサービス（現、近鉄ファシリティーズ）株式会社とグループを構成したうえで応募した。弥生博は先に記したように、廃止案はなくなり、平成24（2012）年度からの4年間の公募となり、近つ博と同様に近鉄ビルサービスとのグループ構成で運営を始めた。第2期は指定管理料の上限が大幅に減額になり、ビルメンテナンス会社による効率的な管理が必要であつた。

平成26（2014）年1月に、大阪府と大阪市からなる府市統合本部会議における基本的方向性で「府3施設（弥生博・近つ博・民集博）は市が設立する地方独立行政法人の実績を勘案し合流」の方針が示された。この会議では平成28（2016）年度に府立3施設合流との方向性であつたが、合流は実現ならなかつた。その後も合流を目指すため、第3期は1年間、第4期は3年間、第5期も3年間と小刻みの指定管理期間とした仕様の募集となつたが、現在も実現に至っていない。なお、第5期は指定管理者を公募によらず、現指定管理者を候補として選定が行われた。指定管理料はその都度、据え置き、ないし削減が続き、経年による人件費や諸経費等の管理費の上昇、施設経年劣化の緊急的対応等の負担が大きくなっており、展覧会の縮小等、事業費を圧縮した運営の状況となっている。また、国重要文化財公開承認施設の要件維持のため、配置職員が固定化し、当法人の



歴史館いずみさの「向井久万仏画展」



日本民家集落博物館 秋山の民家 修理

組織体制のうえで支障も生じている。

泉佐野市から泉佐野市立歴史館いずみさのの運営について、平成 28（2016）年度から 5 年間の指定管理者公募があり、当法人はこれに応募して、現在、令和 3（2021）年度から 5 年間の第 2 期目の指定管理を受託している。府立博物館が考古学を主とする専門博物館であるのに対して、地域に根ざした様々な資料を扱う歴史博物館であるが、当法人の持つ能力を発揮し、文化財活用の場となっている。

民集博では、展示民家の保存修理のサイクルがやってきて、平成 18～20（2006～2008）年度の日向椎葉の民家の修理から令和 2～3（2020～2021）年度の信濃秋山の民家の修理まで 9 棟が完了した。この期間のうち、平成 30（2018）年 6 月には大阪北部地震が発生した。国・府の補助金支援もあり、被害復旧工事を 4 棟実施し、令和 5（2023）年度までの当初計画を早めることができた結果となった。信濃秋山の民家の修理では、初めてクラウドファンディングによる資金調達を実施し、約 450 万円の支援をいただいた。事務棟として使用していた河内布施の長屋門は大阪北部地震の被害を受けたことから、それに替わる事務所棟として福島県いわき市から東日本大震災の応急仮設住宅を譲り受け、平成 30（2018）年度に移築した。この建物は解体移築再利用を考えた板倉工法を採用したものであり、東日本大震災から大阪北部地震への災害という同じ背景を伴った利用となり、かつ震災の記憶を残す社会的な意義もあるものといえる。将来、その価値から



日本民家集落博物館 事務所棟

有形文化財として指定される日が来ることを期待する。

令和 2（2020）年初春の世界的な社会問題になった新型コロナウイルス感染症流行は、当法人においても大きな影響をおよぼした。感染症拡大防止のため、大阪府の要請により、博物館の臨時休館措置を、府立 2 博物館では令和 2（2020）年 3 月 3 日～5 月 20 日まで、歴史館いずみさのは 3 月 3 日～5 月 18 日まで、民集博では 4 月 8 日～5 月 20 日まで行った。埋蔵文化財調査では、大阪府緊急事態措置における外出自粛要請を受けて、令和 2（2020）年 4 月 20 日から 5 月 19 日まで、一部職員を自宅待機ないし在宅勤務とした。解除後も、時差勤務を実施し、現在も継続している。さらに翌年令和 3（2021）年度では 4 館とも 4 月 25 日～6 月 20 日まで大阪府の要請により臨時休館の措置をとった。発掘調査の現場では現地公開の休止、博物館では講演会、体験行事の休止、または人数制限を行った。令和 4（2022）年度に入り、徐々に、行動制限が緩和されたが、この原稿を執筆している 8 月は感染症第 7 波の中であり、収束に至っていない。

#### そして今から

当法人は大阪府の指定出資法人として、令和 4～8 年度までの 5 年間の中期経営計画を策定した。当法人が目指すものとして「文化財を後世に（遺跡の発掘から歴史の解明）」、「文化財を身近に（地域の歴史学習への寄与）」、「文化財で心を豊かに（「温故知新」で文化力向上）」を掲げた。



高校生考古学体験 受け入れ



当法人の根幹となる事業は埋蔵文化財調査であり、調査体制の充実と技術継承をうたっている。技術職員の新規採用は大規模開発事業が終息、事業が減少したことで、平成 23（2011）年度の採用以降、補充は抑制され、令和 2～4（2020～2022）年度にようやく採用ができたが、結果的に年齢構成の空洞ができてしまった状況にある。「文化財を後世に」伝えるためには、発掘調査に熟練した職員から次代を担う若手職員へ調査技術の継承に務め、調査体制を充実させなければならない。当法人が国・府の事業とともに市町村事業に協力し、大阪府内の埋蔵文化財保護行政に不可欠な存在であり続けることが重要と考える。

当法人は文化財活用においても大阪府の文化財行政の一端を担っている。平成 30（2018）年度の文化財保護法の改正により、文化財保存活用大綱策定の指針が示され、「文化財の活用」の一層の促進が強く求められており、当法人においても府民に還元していくことを一層すすめていきたい。現在、新型コロナウイルス感染症流行がおさまっておらず、動画配信や SNS を活用した新たな情報発信の手法を取り入れることとなった。動画配信では発掘調査現場や民集博の展示民家をドローン撮影し、今まで眺めることができなかった上空からの情景を公開できたことは、新たな文化財活用の情報発信の方策であり、一層の提供を進めていきたい。

博物館事業の民集博では、新型コロナウイルス感染症の多大な影響により、入館料収入が激減した。さらに魅力を発信し、活性化を目指していか



大坂城跡現地説明会

なければならない。展示民家の保存修理は一旦のサイクルが完了したが、30年サイクルと言われる今後の修理が続く。国補助金があるとはいえ、自己負担の備えを計画的に進めていく必要があり、地震・台風の災害にも備えていかなければならない。

府立博物館の指定管理は、令和 4（2022）年度末で今期の指定管理期間が終了する。次への展開は当法人の根幹となる埋蔵文化財事業を含めた組織運営のバランスなど、総合的な判断が必要である。

東大阪市所在の中部調査事務所は主に NEXCO 西日本にかかる事業の基地として、27年間来使用してきた。その事業がまもなく終息することから、令和 5（2023）年度に撤収し、堺市所在の本部事務所の建物（南部調査事務所）に集約する予定である。新たな調査拠点となり、当法人の今後を刻んでいくこととなる。（市本）

設立以来の歩みは下記の刊行物を参考にさせていただきたい。

- 1982 『10年のあゆみ』 財団法人大阪文化財センター
- 1992 『20年のあゆみ』 財団法人大阪文化財センター
- 1995 『10年のあゆみ』 財団法人大阪府埋蔵文化財協会
- 1995 『資料精選』 財団法人大阪文化財センター【設立 20周年記念】
- 2002 『30年のあゆみ 財団法人大阪府文化財センター設立 30周年記念誌』 財団法人大阪府文化財センター
- 2002 『資料精選Ⅱ』 財団法人大阪府文化財センター【設立 30周年記念】
- 2007 『日本民家集落博物館 開館 50周年記念誌』 財団法人大阪府文化財センター・日本民家集落博物館
- 2012 『資料精選Ⅲ』 財団法人大阪府文化財センター【設立 40周年記念】
- 1997 『年報 平成 7年度』 以降、各年度刊行



## 1. 摂津

センターでは、2012年から2021年にかけての発掘調査の約6割を、摂津地域で行っている。これは二つの大規模な開発事業が、当地域で実施されたことによる。

このうちの一つは、「高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業」、いわゆる新名神高速道路の建設事業である。一連の調査は、1993年の分布調査、2011年の確認調査を経て、2012年以降、箕面市や茨木市、高槻市において本格的な発掘調査に着手した。また並行して、新名神高速道路にアクセスする「主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス整備事業」に伴う府道の整備に伴う発掘調査も行っている。

調査を行った遺跡は、止々呂美城跡、金龍寺旧境内跡、千提寺南遺跡、成合遺跡、千提寺西遺跡、日奈戸遺跡、千提寺市阪遺跡、千提寺クルス山遺跡、梶原古墳群、成合地獄谷遺跡、梶原南遺跡、梶原西遺跡、井尻遺跡、萩之庄南遺跡、上牧遺跡の15遺跡にのぼる。2021年から2022年にかけて行った梶原南遺跡の調査により、一部の遺跡を除き本事業に伴う発掘調査はほぼ終えた。なお、新名神高速道路は2017年12月に高槻JCT・ICまで開通し、現在は八幡京田辺JCT・ICへの建設を行っている。

もう一つの事業は、吹田市と摂津市にまたがって位置する吹田操車場跡地の発掘調査である。1998年にJR梅田貨物駅の機能の半分を吹田操車場跡地へ移転することになり、同年に跡地内全域

を対象とした試掘・確認調査を経て、2000年から吹田信号場基盤整備事業に伴う発掘調査に着手した。また、貨物駅機能に使用される部分以外に関しては「北部大阪都市計画事業吹田操車場跡地土地区画整理事業」に伴う発掘調査が、2009年から開始された。

調査を行った遺跡は、吹田操車場遺跡、明和池遺跡、西の庄東遺跡の3遺跡である。なお、2013年には吹田貨物ターミナル駅が開業し、吹田操車場跡地での開発に伴う発掘調査は、2019年の明和池遺跡の調査をもって終了した。

大坂城跡では、2003年の大阪府警察本部建替えに伴う発掘調査から10年を経て、凍結された大阪府庁舎・周辺整備計画地に、大阪国際がんセンターや、大手前立体駐車場、大阪重粒子線センター、大阪第6地方合同庁舎が相次いで建設されることに伴い発掘調査を実施している。

このほかにも、摂津富田茨木間新駅建設に伴う総持寺遺跡の発掘調査を、2次にわたって行ったほか、市立小・中学校の建替えに伴う庄内遺跡や服部遺跡の発掘調査を行っている。

また、2017年以降は大型物流施設や土地区画整理事業、私立大学校舎の建設など、いわゆる民間開発事業に伴う発掘調査が増加しており、中ノ坪遺跡、郡遺跡・倍賀遺跡、太田遺跡・太田廃寺跡・太田城跡、金龍寺旧境内跡、尾山遺跡の発掘調査を行っている。

(佐伯)



高槻市 上牧遺跡の調査



吹田市 吹田操車場遺跡の調査

## 大坂城跡 大阪市

大坂城の大手口の前面に位置する三の丸跡地において、5次の調査を実施した。大阪府庁新別館の北側から府警本部北側および両施設の間エリアにあたる。これまでの調査で上町台地には大きな谷が埋没していることが分かっており、これらの調査でも谷地形の中に、豊臣期、徳川期の大坂城に関わる大規模な造成の痕跡を確認している。また、古代の掘立柱建物や、豊臣期の二の丸大手口を逆コの字形に囲む堀の延長、豊臣前期および後期の屋敷地、徳川初期の鍛冶工房や徳川期の屋敷地に伴う廃棄土坑など、各段階における様々な遺構を検出、また、多くの遺物が出土している。

豊臣後期の武家屋敷と陣屋跡である(001)。この調査区では、谷内の雛壇状に成形された平坦面で、豊臣前期の屋敷地を検出している。屋敷地はその後の三の丸造成に伴う分厚い盛土に覆われ、その盛土の上面で検出されたのが写真の遺構面である。

上、中、下段と雛壇状の平坦面が造成されており、中段では、東西10間(約20m)×南北7間半(約15m)と大形の礎石建物が建つ。その東側には台所の可能性がある南北に長い建物がみつかった。付近の遺構からは、「扇に月丸紋」軒丸瓦が出土しており、佐竹義宣の屋敷である可能性が考えられる。また、下段で検出した6つの区画は、これより新しく、大坂の陣に伴う陣小屋跡と考えられるものである。そのうちの一区画からは、未製品を含む鉄砲玉20点がまとまって出土している。

### 須恵器提瓶 002 飛鳥時代

東西方向の埋没谷(本町谷)から派生する南北方向の谷(1316谷)から、古墳時代から飛鳥時代を中心とする遺物が出土している。002は、出土した須恵器提瓶である。写真前列向かって右は、飛鳥時代のフラスコ形提瓶。口頸部は欠損しているが、体部は球体を呈しており、肩部には環状の把手を付す。底部にはヘラ記号が認められる。難波宮周辺では数例みられるが、貴重な例といえる。

### 金箔瓦 003 安土・桃山時代

この遺物は、大阪府庁舎本館耐震改修工事に伴う調査で出土したものである。この調査は、改修工事







と並行して、掘削された土砂内から遺物を収集する方法で実施された。003は金箔押軒丸瓦である。文様の凸部に金箔が貼られている。瓦当文様は菊文と考えられる。

#### ベネチアングラス 004 安土・桃山時代

6.8 × 2.8 m、深さ 0.72 mを測る、豊臣前期の廃棄土坑から出土。埋土からは、土器・陶磁器の他、木製品、金属製品、骨角製品、石製品、草鞋、ガラス製品、瓦と多種多様なものが出土している。特筆できる遺物にベネチアングラス片がある。厚みはきわめて薄い。外面は磨ガラスで、ダイヤモンド・ポイント彫りによる文様が施されており、金彩が一部残る。文様は2条一對となる線を上下に引き、その間にS字状の連続文様を施文する。その下には、隅丸方形の文様があり、中を斜線でうめている。

なお、005の「天正十九年」の紀年銘のある竹材は、この土坑から出土している。

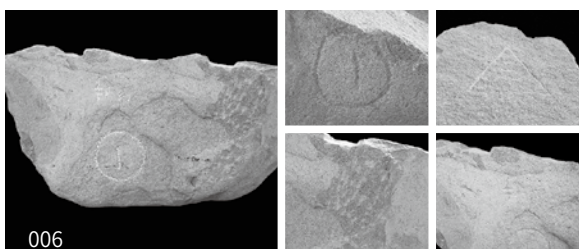
#### 木簡 005 安土・桃山時代

調査では、多数の木簡が出土。005は豊臣前期の遺構、および整地層から出土した紀年銘、人名が書かれた木簡、竹材である。紀年銘には、「天正十九年かのとう五月十日ヵ」（竹材に線刻、上段左）、「文禄／五年ヵ」「正月／廿六日」（下段左）、「慶長ヵ二年三月[ ]」（上段右裏）、「[ ]三月十八日」（上段右2裏）、「慶長二年六月廿三日」（下段右）がある。三の丸の造営は慶長3年6月から始まったとされるが、これと符号するものである。

人名では「毛利勘左衛門」（上段中）が目立つ。豊前小倉城主、毛利壱岐守吉成の家臣である可能性が考えられる。毛利壱岐守の屋敷地が周辺にあったことを示唆するものともいえ、重要である。

#### 残石 006 江戸時代

幅 10.8 m、深さ 0.8 ~ 2.6 mを測る、徳川期の46堀から出土。中から26点の花崗岩が出土した。刻印が刻まれたものが19点あり、そのうち17点に豊後国岡藩中川家に関わる刻印とされる「△」がみられる。自然面が残るものも多く、写真006の例では、自然面に「⊖」、割面に「△」と異なる刻印が施されている。徳川期の大坂城再建の際に集められ、調査地周辺で管理されていた石材が、18世



紀後半に廃棄されたものと考えられる。

#### 石材 007 江戸時代

落込みから 54 点の石材が出土。落込みは自然地形ではなく、短期間のうちに、掘削・埋め戻しがされており、徳川大坂城築造に関連した大規模な土木工事の痕跡と推測される。埋め戻す際に不要な石材を廃棄したものと考えられる。

石材は 13 点が自然石、40 点が割石、1 点が五輪塔の地輪である。28 落込みでは、刻印があるものもあるが、007 のように墨書符号のあるものが多くみられ、複数面に墨書符号を記すものもみられる。

#### 大坂夏の陣で焼けた瓦 008 安土・桃山時代

豊臣後期の遺構面で、屋敷地を区画すると考えられる溝やその周辺の落込みなどから出土。

008 は二次焼成を受けた瓦類で、橙色に変色している。ほかにも被熱により発泡した土器や石製の硯、壁材と考えられる焼土塊なども出土している。溝に平行して柱列もあることから、塀などの施設があった可能性がある。大坂夏の陣で焼けたものと考えられる。  
(島崎)



#### 服部遺跡 豊中市

遺跡は、豊中市中部の豊中台地南側直下の標高 4～6 m の沖積平野に位置する。

豊中市立第四中学校校舎改築工事に先立ち実施した調査では、弥生時代から中世までの遺構・遺物を検出した (009)。弥生時代中期中葉から後期初頭は方形周溝墓の可能性のある L 字形の溝を検出し、当該期の墓域の存在を示す成果となった。弥生時代後期後半から古墳時代初頭は竪穴建物 3 棟、掘立柱建物 1 棟、井戸や溝、多数の土坑が密集する集落を検出した。

竪穴建物の特徴として、周囲に排水・除湿のためと考えられる外周溝を巡らしていることがあげられる。このような溝は周囲の低地に立地する遺跡でも検出されており、環境に即したものであったといえよう。そして掘立柱建物の周囲をめぐる溝は、建物に対して 3.5 倍余り広い範囲を囲っており、排水のためだけではなく建物と周囲を区画する意味合いがあったのではないだろうか。  
(福佐)







## 吹田操車場遺跡 吹田市

かつて「東洋一」と呼ばれた吹田操車場跡地の再開発として、2014年より「健康・医療のまちづくり」構想に基づいた開発に伴う発掘調査を実施した。

2015年にかけて行った、吹田市民病院移転建替えや国立循環器病研究センター建替え整備とその関連事業に伴う発掘調査の面積は37,653㎡におよび、JR岸辺駅西側一帯における土地利用の歴史を知る貴重な成果をえることができた。

遺構としては、古墳時代後期から飛鳥時代にかけて掘削された何千基もの土坑群（010）、飛鳥・奈良・平安時代に建てられた掘立柱建物群、平安時代と考えられる床面積が100㎡近い四面廂建物の検出が特筆される。

これらの周辺からは大量の須恵器や土師器が出土した以外に、新羅系陶質土器・緑釉瓦・石製巡方・小型海獣葡萄鏡・円面硯・輸入白磁・陶馬・ガラス玉等の遺物もみつかり、当遺跡が千里丘陵に拡大した須恵器生産と深く関わり、中央政権とも結びつきの強い地域であったことがよくわかる。

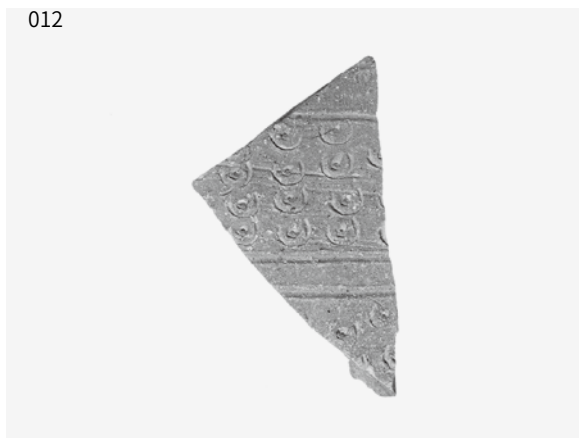
### 有舌尖頭器 011 縄文時代草創期～縄文時代早期

吹田操車場遺跡 14 の 123 溝底面付近より出土した。長さ9.2cm、幅3.3cm、厚さ1.0cm、重さ28.4gを測る、二上山産サヌカイト製である。先端がわずかに折損しており、実際に使用された可能性がある。ほぼ完形品である。表面が経年により白化しているため調整痕はかなり不鮮明である。やや長さのある同形の尖頭器が200mほど離れた位置で出土している。肩部が開く形状から、尖頭器としては新しいタイプで、縄文時代の所産と考えられる。



### 新羅系陶質土器 012 飛鳥時代

吹田操車場遺跡 13 の 包含層より出土した。外面に水平方向の二条の沈線と、その間を縦4段で整然とめぐる円形のスタンプ文が観察できる。長さ約6.5cmの小片であるが、円筒形壺の体部の一部と考えられる。7世紀前半頃に新羅（現韓国東部）で製作された陶質土器であり、200mほど離れた溝からは朝鮮半島の影響を強く受けた須恵質の煙突も出土しており、当地域が朝鮮半島と深い関りを持っていたことを示す資料として注目される。



### 小型海獣葡萄鏡 013 飛鳥時代～奈良時代

吹田操車場遺跡 12 の包含層より出土した。直径約 3.9 cm、厚さ約 0.5 cm、重さ約 22.06 g を測る。腐食が著しいものの、透過 X 線撮影により内区に 4 つの獣文と 7 つの珠点（葡萄文）の存在を確認した。科学分析により、使用された鉛原料が日本産と推定されることから、仿製鏡である蓋然性が高い。7 世紀から 8 世紀の所産と考えられ、完形品は国内でも十数例しかないため貴重な資料となっている。



### 巡方 014 平安時代か

吹田操車場遺跡 12 の包含層より出土した。縦約 3.4 cm、横約 3.8 cm、厚さ約 0.55 cm、重さ約 15.98 g を測る。長方形の透かし孔を一つ設け、裏面の四隅には革帯等に留めるための潜り孔が穿たれる。材質は流紋岩質溶結凝灰岩であり、使用当時は鮮やかな緑白色を呈していたと思われる。巡方は官位に与えられる装身具であり、当地に公的な施設が存在した可能性を示す。



### 灰釉陶器 015 平安時代

吹田操車場遺跡 13 では、包含層や 9 溝より 9 世紀中頃から 10 世紀前半にかけての灰釉陶器がまとめて出土した。同調査では、この時期の遺構として当地域で初となった四面廂建物や、複数の掘立柱建物を検出しており、当時は貴重であった東海地方からの搬入品を使用していることから、これらの建物群が有力貴族の邸宅等であった可能性を示唆する遺物として注目される。



### 輸入白磁 016 平安時代～鎌倉時代

吹田操車場遺跡 16 の 6 土坑より出土した。最大径は約 5.3cm を測る。底部と受け部は露胎するが、大半に白色釉が施され、貫入がみられる。また、施釉部分を 6 分割するように縦方向の沈線が施されており、蓋部に連続する様子から瓜形合子の身と考えられる。故宮博物院に類品として中国福建省南安窯産「青白釉瓜稜盒」が報告されているが、国内に出土例はなく、極めて稀少な資料といえる。なお、同じ土坑からみつかった播鉢状遺物や、カナムグラ・オナモミ等の大量の種実から、大陸から伝わった医薬に関連する可能性も考えられる。



(亀井)





## 明和池遺跡 摂津市

摂津市の北西部に位置し、千里丘陵と淀川に挟まれた平野部に立地する。縄文時代から中世にかけての複合遺跡で、南北約 800 m、東西約 600 m の範囲に広がる。遺跡の北東端には千里丘陵に端を発した山田川が、南西端には吹田市との市境ともなっている正雀川が流れる。

遺跡の大半は旧吹田操車場内に位置し、2007 年から区画整理事業に伴い調査が進められてきた。これまでの調査で、弥生時代後期から中世にかけての集落がみつき、多くの竪穴建物や掘立柱建物などが検出された (017)。なかでも弥生時代後期の竪穴建物の外周溝や隣接する流路内からは、青銅器製造に関連する遺物が出土した。

### 青銅器製造関連遺物 1 018 弥生時代後期

青銅器製造工房と考えられる竪穴建物 10 の外周溝や、外周溝が注ぐ 171 流路内から製造関連遺物が見つかった。高杯形土製品は 3 個体以上あることが確認できたが、直径 30.8cm を測る杯部内面には真土が貼りついた状態で出土した。真土には湯の痕跡が水平に残っており、一度におよそ 4.9 kg の青銅を熔解することができたと考えられる。このことから銅鐸などの大型の青銅器を製造していた可能性が高い。また、曲管型の轆の羽口の表面には二次被熱の痕跡が残っており、その状態から羽口の先端は右斜め下に向けて据えて使用されたと推察される。

さらに、製品は不明であるが、鑄型の外型と考えられる舟形の土製品も出土した。

### 青銅器製造関連遺物 2 019 弥生時代後期

竪穴建物の覆土内から、銅鐸の双頭飾耳が出土した。腐食が顕著なことや破片であることから全容は不明である。残存長 2.3 cm、幅 3.1 cm、厚さ 0.3 cm、重さ 7.2 g を測る。渦文の巻数は 4 ないしは 5 と考えられ、近畿式突線鈕 3 I 式もしくは 3 II 式に比定される。鉛同位体比分析で華北産の原材料が含まれることが判明した。破碎した銅鐸の一部を所持していたのか、別の青銅器を鑄造する際の材料であったかは判然としない。さらに、高杯形土製品の近くから銅塊が出土した。銅塊は三角錐状を呈し、表面には 1 mm 程度の気孔が認められる。縦 1.2cm、横



1.6cm、高さ 0.9cm、重さ 3.45 g を測る。蛍光 X 線分析の結果、銅の純度は 99.3% であった。青銅器製造のための素材か製造時の残滓かは不明である。

#### 西部瀬戸内系器台 020 弥生時代後期

竪穴建物の覆土内より出土した。脚底部を欠く。口径 26.2cm、残存高 28.0cm である。口縁端部はつまみ上げ、波状文を施す。筒部には 3 段 14 個のスカシ孔を 6～7 方向に配する。脚部には刻目凸帯を貼り付け、その上下に 2 個一対のスカシ孔を 6 方向に配する。西部瀬戸内系産と考えられる。

#### 墨書土器 021 奈良時代末～平安時代初頭

南東—北西方向に蛇行しながら流れる流路の最終堆積層中から、30 点以上の土師器椀 C がまとまって出土したが、うち 9 点には底部外面に「王」字の墨書が認められた。墨書のある土器は全て底部外面を上、すなわち墨書が上になるよう伏せた状態で置かれていた。「王」字は筆運びが丁寧なものと同様に粗雑なものにも大別できるが、基本的に下の横棒が長くなる三角形状を呈する。何らかの祭祀に使用されたものと考えられる。

#### 墨書人面土器 022 奈良時代末～平安時代初頭

3077 流路内で「王」字墨書土器の周辺から出土した。土師器甕外面に人面を墨画する。顔の右半部および口から下を欠損する。頸部に毛髪を表す。眉と目はのびのある筆使いで描き、鼻髭を蓄える。この個体以外にも 5 点出土しており、「王」字の墨書土器と同様、祭祀に使用されたものである。

#### ミニチュア土器 023 奈良時代～平安時代

流路から出土した手づくねの甕と移動式竈である。甕は丸底で口縁部は大きく外反させる。口径 4.9cm、器高 4.3cm である。移動式竈の掛け口部分は凹ませるのみで貫通させない。また、1 点は一部をヘラで切り取り焚口を表す。底径 10.7～11.0cm、器高 5.7～6.3cm である。

#### 坩堝 024 奈良時代～平安時代

流路から出土した。復元口径 8.0cm、器高 7.8cm である。内外面には鋳物のガラス質滓が付着する。蛍光 X 線分析で得られた銅・ヒ素・錫・鉛を中心とした組成は皇朝十二銭の分析例と類似しており、銅合金の加工に使用されたものと推察される。(後藤)







### 成合1号墳 高槻市

高槻市東部の北摂丘陵が張り出した、北をポンポン山山塊、東を安満山に挟まれた丘陵に立地する単独立地の古墳である。北東から南西にのびる尾根の両側を削平し盛土して墳丘を構築した直径15m程度の円墳である。埋葬施設は、南東に開口する右片袖の横穴式石室で、石材は1段目の一部が遺存したのみである。床面は、礫敷きがほぼ全面に遺存し、玄門部に「梱石」的な石材が据えられていた。全長6.4m、玄室長3.4m、玄室幅1.4mの規模を測る(025)。同一山塊では、埴輪や須恵器などがみつまっているほか、7世紀の小石室を埋葬施設とする小規模墳がみつまっている。



### 須恵器・土師器・鉄製品 026 古墳時代後期

玄室床面および羨道部分から蓋坏・短頸壺など須恵器・土師器高坏・鉄鏃・刀子・砥石が出土している。須恵器は、TK43型式でもやや新しい段階の資料が多くを占めるが、一部はTK209型式段階のものを含んでいる。(廣瀬)



### 成合遺跡 高槻市

当遺跡は、高槻市北東部の北摂山地から南に連なる安満山の西麓に位置し、標高およそ65～85mの丘陵上にある。新名神高速道路の建設に伴う調査により、竪穴建物13棟、段状遺構7基を含む弥生時代中期後半の集落跡が良好な形で検出された(027)。ほかに、7世紀中葉の横穴式石室墳が3基、8・9世紀代の掘立柱建物や土坑、8世紀末から9世紀初頭頃の須恵器窯1基などが検出された。特に丘陵上でみつかった8・9世紀代の遺構・遺物は、『日本三大実録』に記載のある悉檀寺との関連が想定される成果として重要である。また、須恵器窯は地上式構造の窖窯で、仏具や硯を含む供膳具以外の遺物も多数出土しており、都城や官衙、寺院等への供給を示唆するものとして重要となろう。



### ヒスイ製勾玉 028 弥生時代中期

集落域に隣接する谷部から出土。長さ1.9cm、幅1.4cmの半月形で、半円にえぐられた腹部を中心に、孔のある頭部とその反対側の尾部がほぼ対称をなす形状で、いわゆる半塊状勾玉である。腹部側

はほぼ平坦で、背部はやや丸味をおびる。厚さ0.7cm、重さ3.8gを測る。色調は淡い緑色地に乳白色が混じる。北陸地方で生産され、当地にもたらされた可能性が高い。大阪府域では類例が少なく貴重例となろう。

#### 石鏃 029 弥生時代

4-1区検出の段状遺構4の平坦面から出土。上の5点はサヌカイト製の打製石鏃、下の1点は粘板岩製の磨製石鏃である。サヌカイト製の打製石鏃は、大きさや形状から3種類に分けられる。中央の3点は凸基式で、長さ3.8～4.3cm、重さ1.9～2.9gを測る。右端は大型の有茎式、左端が小型の有茎式である。下の磨製石鏃は、幅広の大型品で長さ5.6cm、重さ6.8gを測る。

#### 成合西王寺山窯跡出土須恵器 030 奈良時代末

～平安時代初

遺跡南東部の5区で検出した北西-南東方向に主軸を持つ地上式の窖窯および灰原から出土。窖窯は全長7.5m、焚口幅1.65mを測る。8世紀末から9世紀初頭の操業と推定される。出土した須恵器は、窯体内・灰原・付属遺構を含め、破片数にして3万点強、重さにして約1tにのぼる。器種は、杯・杯蓋・皿などの供膳具が6割を占め、それ以外は壺・甕・鉢などの貯蔵具・調理具・硯・鉄鉢形・花瓶・九輪などの仏具がある。同時期の周辺諸窯に比べて供膳具以外の割合が高い。(鹿野)



#### 井尻遺跡 高槻市

淀川の旧流路の北岸に位置する遺跡で、その立地から他地域との交流を窺わせる遺物が多く出土している。検出された遺構・遺物は古墳時代前期(4世紀)、古墳時代中期(5世紀)、中世(12・13世紀)に集中する。古墳時代前期の竪穴建物からは、後述する石釧が出土している。古墳時代中期の遺構としては、祭祀遺物が集中投棄された落込みが特筆される。中世には水運により栄えた集落があったとみられ、多くの輸入陶磁器類が出土している。

#### 石釧 031 古墳時代前期

古墳時代の竪穴建物の壁溝内から出土。石材は緑色凝灰岩で硬質。外面には放射線状に刻みを施す。





033



刻みは斜面のみに施されており、斜面と側面の境に沈線はめぐらない。内面は僅かに内傾する。竪穴建物からは4世紀後半の土師器が出土しており、本資料も同時期のものと推される。

#### 石釧 032 古墳時代前期か

遺物包含層から出土。石材は緑色凝灰岩でやや軟質。放射状の刻みは上記031と同じ特徴を持つ。斜面と側面の境に沈線をめぐらせる。形式的に上記031と同時期とみられる。以上2点の石釧はいずれも集落遺跡から出土しているもので、全国的にみても貴重な出土例といえる。

#### 196 落込み遺物 033 古墳時代中期

古墳時代の落込みから出土。出土遺物の内訳は、5世紀中頃の須恵器・土師器と滑石製管玉・有孔円板・鉄製鎌・刀子・鉄鏃・鉄鋌等。これらは祭祀の様相が強く、鉄製鎌が多く含まれるため、農耕関連の祭祀遺物であった可能性が高い。

#### 青磁碗 034 平安時代

中世の土坑墓から出土。内外面に褐色がかかった緑色の釉がかかる。見込は五花弁状に成形されている。龍泉・同安窯系の青磁のなかでも初期のものと考えられ、12世紀中頃から後半のものと考えられる。土坑墓からはこの青磁碗以外に完形の土師器皿が5点出土している。

(奥村)

034



035



#### 梶原古墳群 高槻市

高槻市東部で平野部北側の山地に展開する古墳群である。従来は古墳時代後期、6世紀後半頃の群集墳と認識されていた。今回の調査では尾根を切断するような溝が検出され、遺物の出土状況から古墳時代初頭の方形台状墓の可能性が考えられる。

#### 垂下口縁加飾壺 035 古墳時代初頭

1溝出土。口縁部内面に波状文がめぐる。垂下口縁部外面は波状文に円形浮文が貼られる。頸部下端には突帯と竹管文がある。古墳時代初頭、庄内式期後半頃のものである。

この形式の壺は墓に供献される例が多いことから、1溝は方形台状墓の南側を画したもので、壺は墓に据えられたものが破損・転落したものとされる。

(三宮)

## 梶原西遺跡 高槻市

北から北摂山地が張り出し、南を淀川、西を檜尾川に画された狭小な沖積低地に位置する。JR 東海道線以南から市道までを北部域、阪急京都線以南を南部域、その間を中央域とした。

北部域と中央域で弥生時代中期前半の方形周溝墓を8基検出した。方形周溝墓は短辺が12～13m、長辺が14～15mの長方形の大形のものと、1辺7～8m程度の小形の正方形のものに分かれる。北摂の方形周溝墓でよくある、隣接する周溝を共有するものもある。墳丘は削平され、埋葬施設は確認できない。方形周溝墓1(036)は周溝規模が最大で、墳丘規模も明確であり、この群で中心的な方形周溝墓と考えられる。

### 方形周溝墓出土土器 037 弥生時代中期前半

方形周溝墓8基のうち、6基の周溝から壺、甕、広口壺、直口壺、高杯が出土。1基のみが弥生時代中期前半(Ⅱ・Ⅲ様式)を示し、それ以外は中期前葉(Ⅱ様式)におさまる。方形周溝墓1の周溝から出土した壺は、頸部から体部に櫛描直線文をもち、体部の1箇所穿孔がある。

### 土器棺墓土器 038 弥生時代後期

中央域の南東隅にある、直径0.5m、深さ1.5mの円形の土坑から弥生土器の壺と高杯が出土した。

壺、高杯とも弥生時代後期(V様式)のもので、壺は土坑底面に直立し、壺の口縁部に高杯をかぶせた状態であった。壺を身、高杯を蓋とした土器棺墓だったと推測される。

(川瀬)

## 成合地獄谷遺跡 高槻市

檜尾川の支流である地獄谷川によって形成された丘陵先端部の南東斜面に広がる遺跡である。7世紀の横穴式石室を埋葬施設とする2基の古墳(039)と小石室を確認し、小規模な古墳群を形成していることが判明した。2基の古墳は、盗掘を受けており、副葬品は出土していない。このほかに、8世紀から9世紀の火葬墓や溝、ピットなども確認し、火葬墓から八花鏡(040)や腰帯具、鉄釘などの遺物が出土している。





040



### 双鳥双獣八花鏡 040 奈良時代～平安時代

石組の火葬墓から焼骨や鉄釘とともに出土した。全国で10例ほど確認されている唐式鏡の双鳥文系の八花鏡である。面径9.5cmを測る。界圏・外区はなく、内区に二対の鳳凰が鈕を挟んで向かい合い、その上下には不鮮明であるが獣が配されていると推測される。蛍光X線分析の結果、銅と鉛の合金にヒ素が混じっており、類品と化学組成が異なることから、国産品の可能性が高いと思われる。（田中）

041



### 磐手杜古墳群 高槻市

安満山の南麓に立地し、檜尾川左岸に分布する古墳群である。従前の調査で尾根上に古墳3基が確認され、その1基は横穴式石室を埋葬施設とする6世紀後半の方墳と考えられており、銀環1個と須恵器・土師器・埴輪・鉄製品等が出土した。また、磐手杜神社の西裏手には同じく横穴式石室を埋葬施設とする磐手杜7号墳がある。2014年の調査では遺跡範囲東端で石組遺構を伴う蔵骨器を検出した(041)。蔵骨器の中には成人の火葬骨が納められており、火葬墓であることを確認した。火葬墓は上辺2.5m程度、下辺6.0m程度、高さ0.7mの方形と推定され、石組は火葬墓の正面にあたる南側にのみみられる。

042



### 灰釉陶器（蔵骨器） 042 奈良時代後期

～平安時代前期

火葬墓盛土より出土。灰釉陶器長頸壺で、口縁部から頸部上半を欠損する。埋納土坑の掘方は検出されなかったため、正位で据えられ、土を被せて埋納されたと考えられる。（尾崎裕）

043



### 成合門前下古墳 高槻市

安満山西側裾部と金龍寺谷の境となる緩斜面に立地する。7世紀中葉から後葉に造営された古墳で、横穴式石室を埋葬施設とする。墳丘は中世以降の耕作によって削られており、一部の周溝と排水溝のみ残っている。周溝が円形にめぐり、その規模から墳丘は南北5.0m、東西5.4mの円墳であったと推定される。石室は基底石が、奥壁と側壁にコの字状に残る程度で、上部は大きく破壊されている。石室は、長さ2.55m、幅2.1mを測る(043)。

#### 門前下古墳出土遺物 044 飛鳥時代

石室奥壁の手前東側から土師器小型甕と須恵器杯蓋が出土した。土師器は口縁部から体部にかけて打ち欠いており、須恵器は土師器内部に内面を上にした状態で入っていた。また奥壁手前西側からは須恵器蓋杯が伏せた状態で出土した。須恵器の年代は7世紀中葉から後葉に位置づけられる。これらの遺物は石室の床土の下から出土しており、副葬品ではなく石室構築後すぐに置かれたと考えられる。(寶珍)



#### 上牧遺跡 高槻市

淀川の近傍に位置する弥生時代～中世の複合遺跡で、弥生時代・古墳時代・古代・中世の遺構・遺物を検出し、長期にわたる土地利用の変遷と環境の変化が明らかとなった。中でも古墳時代の遺構・遺物が最も豊富で、100棟近い数の建物や、多量の土器が出土する井戸などがまとまって検出された(045)。古墳時代初頭～後期前葉まで長期にわたる集落の実態が明らかとなり、大形建物の存在や井戸における祭祀、外来系土器の出土、手工業生産関連遺物の出土など、調査成果は多岐におよぶ。隣接する井尻遺跡や梶原南遺跡、淀川対岸の枚方市船橋遺跡などとあわせ、淀川の水上交通を軸に、陸路との結節点ともなる遺跡群を構成するものと考えられる。



#### 866 井戸出土土器 046 古墳時代初頭

～古墳時代前期

微高地縁辺に設けられた大形の素掘り井戸から出土した多量の土器のうち、下層～中層に含まれる古式土師器の一群。布留式古～中段階に属する。後列中央の直口壺はフジツルが体部・頸部にかけて網状に巻かれており、釣瓶として使用されたと考えられる。在地の甕や壺などとともに、次項で触れる外来系土器を含むほか、桃核もまとまって出土している。この井戸は庄内式新段階に掘削され、布留式新段階の埋没まで約150年にわたり利用されており、隣接して大型掘立柱建物や独立棟持柱を持つ掘立柱建物などがみられるなど、集落の中でも特殊な空間を構成していた可能性が高い。儀礼に関わる水源であったとともに、土器を投棄するという祭祀が繰り返され実修された特殊な井戸であったと考えられる。





047



#### 搬入土器 047 古墳時代初頭～古墳時代前期

上牧遺跡の古墳時代集落を特徴づける搬入土器の集合。「西部瀬戸内」・「吉備」・「阿波」・「東部瀬戸内」・「山陰」・「北近畿」・「河内」・「大和」・「近江」・「東海」・「東日本」などの地域の土器が含まれる。中でも西寄りの地域の土器が目立ち、結晶片岩片や次項で触れる朱関連遺物などとともに、瀬戸内各地域との交流が活発であったことがうかがえる。弥生時代末以降の地域間交流が古墳時代開始に与えた影響を考えるうえで、貴重な資料といえる。

048



#### 赤色顔料関連遺物 048 古墳時代初頭

～古墳時代前期

微高地上の竪穴建物と、隣接する谷地形に設けられた掘立柱建物周辺から出土した、朱の精製に関わる可能性が高い遺物群。石杵と石臼のセットが認められ、朱の残存はないが、主たる朱産地と目される阿波地域の出土例と形状が類似する。中央手前の小型丸底壺は外面に煤が、内面に朱の付着が認められ、朱の精製に用いられた土器と考えられる。（森本）

049



#### 千提寺西遺跡 茨木市

北摂山地の山間部に位置する千提寺は、高山右近により1580年代に集中的な布教がなされ、「フランシスコ・ザヴィエル画像」をはじめとする多くのキリシタン遺物がみつかった。

丘陵頂部に中世墓がひろがり、頂部脇には並べたような状態で石仏が集中する(049)。キリシタン墓は中世墓の一面を再度掘削して設けられている。長方形の土坑墓が、縦列もしくは並列し、人骨と釘の出土状況から、木棺に伸展葬で葬られたことがわかる。右近の居城である高槻城跡でみつかったキリシタン墓と同じ状況を示す。

キリシタン墓は隣接する丘陵の尾根先端においても独立した墓域がみつかった(050)。うち一基は長方形墓の上に長方形の石組がめぐり、大分県杵臼市下藤地区のキリシタン墓と類似する。

中世墓の一面にキリシタン墓を設ける墓地とキリシタン墓の墓域が独立する墓地があり、キリスト教布教の受容期と安定期のあり方をあらわしているのかもしれない。（合田）

050



## 郡遺跡・倍賀遺跡 茨木市

銅鐸鑄型が出土したことで知られる東奈良遺跡から北に約3kmの旧茨木川右岸に位置する。弥生時代のⅡ様式からⅤ様式前半に営まれた墓域と集落を検出した(051)。墓域には約160基におよぶ方形周溝墓が周溝を共有しながら網目状に展開する。その数や墓域の広さは全国的にも突出した規模であり、近隣の集落の人々も造墓できる共同墓地であったと考えられる。Ⅳ様式になると集落は周濠で囲み、墓域との境が明確となる。周濠によって集落と墓域とがこれほど明瞭に分かれる発掘事例はほとんどなく、当時の一つのムラの景観を鮮やかに復原することができる貴重な資料である。

### 人形土製品 052 弥生時代中期

方形周溝墓の周溝から石庖丁や石剣などと共に出土した。円筒形の胴部と球形の頭部からなる小さなこけし状の土製品で、総高は5.9cmを測る。人面の各部位は立体的で、眉・鼻・耳は紐状の粘土を貼り足して盛り上げ、鼻穴・両目・口は細い工具を突き刺す、あるいは抉るようにして表現する。また耳たぶにも分銅形土製品に共通する小孔が貫通する。中期の出土例として、また全形が完存しているものとしても稀少である。

### 石庖丁 053 弥生時代中期

左列7点は、大きなものが上になるように重なって方形周溝墓の周溝壁面から出土した。埋納土坑はなく、突き刺さったような状態であった。最奥のものは全国最大級の大きさで、長さ37.0cm、幅18.8cmを測る。黒色粘板岩製。右列2点は別の周溝墓の周溝から052と共に出土。こちらも重なった状態で出土している。葬送儀礼に貴重な農具が使われていたことを示すものとして注目される。

### 高杯形土製品 054 弥生時代中期末

～弥生時代後期初頭

集落内の溝から送風管と共に出土した。青銅製品の鑄造に用いられた取瓶、あるいは罌塙と考えられる土製品で、総高は29.1cmを測る。杯部には楕円形の注口が開き、外面には上向きの鈎状突起が6箇所が付く。脚柱部は棒状工具に粘土を巻き付けて成形したもので、共伴する送風管と同じ作りである。





055



表面には二次的に焼けた、あるいは焦げたような痕跡は認められない。集落内で青銅製品の鑄造が行われていたことを示す貴重な資料である。

#### 銅鐸形土製品 055 弥生時代後期初頭

墓域と集落とを画する環濠から出土した。鐸身高は6.9 cmで、鈕は欠損する。鱗や内面突帯・型持孔の表現はない。身部には斜格子紋と並行斜線紋（綾杉紋）の縦位紋様帯で構成された線刻がめぐり、その上部には身を一周するように鹿8頭を描く。8頭中7頭は右向きで1頭のみ左向き。また2頭には大きく跳ね返った尻尾も表現する。（伊藤）

056



#### 太田遺跡・太田廃寺跡・太田城跡 茨木市

太田遺跡は主に富田丘陵西側斜面から平野部にかけての低位段丘上に位置し、これまでの発掘調査で弥生時代・古墳時代・奈良時代の集落居住域、古墳時代中期の墓、弥生時代から中世の生産域が検出されている。

当該調査は追手門学院大学並びに同中・高等学校の校舎等の建設に先立って行われた。調査区の背後に映っている森が、三島地域最大の前方後円墳である太田茶白山古墳である（056）。一説には藤原鎌足の墓とされる古墳時代終末期の阿武山古墳も、指呼の距離である。また飛鳥時代から奈良時代に建立された太田廃寺、12世紀後半に太田太郎頼基が築いたとされる太田城の推定地が調査地に近いのも、当地が交通の要衝地であることと相関すると考えられる。

057



#### 9号墳出土埴輪 057 古墳時代中期

これらの埴輪は、方墳（9号墳）周溝から出土した。当該調査では、このほかにも新たに検出された円墳・方墳があるが、9号墳は周溝の残存状況が比較的よく、墳丘と埋葬施設は完全に失われていたが、墳丘裾部における平面的な大きさを一辺10 m強と類推することができる。出土状況からこれらの埴輪は、墳丘上に立てられたものが、あまり時間を経ずに周溝に転落したと考えられる。同じ周溝から出土した形象埴輪はいずれも細片で、器種を確定できない。埴輪の形態的特徴や、共伴土器から、9号墳の築造時期は古墳時代中期と考えられる。（若林）

## 尾山遺跡（御所池瓦窯跡） 島本町

北摂山地の東麓から淀川流域に広がる丘陵地と扇状地に立地する。発掘調査で検出した主な遺構には、飛鳥時代後期から奈良時代前期の御所池瓦窯跡第1号窯（058）・井戸・土坑、鎌倉時代後期の167池泉（059）・井戸・掘立柱建物がある。

御所池瓦窯跡第1号窯では、燃焼部から前庭部が検出された。燃焼部では、側壁に小割した平瓦を構築材として用いている状況を確認した。焚口では、被熱した床面を検出しており、袖石を据え付けていたと考えられる土坑も焚口両側で検出された。焚口から前庭部にかけて大量の瓦が出土している。

167池泉では、掘方の南側でケヤキ、北側で砂岩製景石がそれぞれ検出された。出土遺物には、土師器皿、瓦器椀、白磁四耳壺、木製品の鏃形木製品・両口箸等がある。167池泉周辺で検出した溝、土坑、平坦面を合わせて、庭園遺構ないし儀式の場を構成した可能性がある。

### 複弁蓮華文軒丸瓦 060 飛鳥時代

御所池瓦窯跡第1号窯の前庭部から出土。蓮弁は周囲に輪郭線を伴い、間弁は中房に接する。蓮子は、外側2個が埋め木でつぶされ外形の輪郭線のみが残る。大和の飛鳥寺東南禅院、摂津の梶原寺跡から出土したものと同範。飛鳥寺東南禅院は、入唐僧の道昭が帰国後に、民衆への布教活動の根拠地とした場所である。道昭は文武4（700）年茶毘に付されるまで淀川西岸域にも布教と土木工事の治績を残しており、当軒丸瓦の分布は道昭の活動と深い関わりを持つことが指摘されている。

### 三重弧軒平瓦 061 飛鳥時代

御所池瓦窯跡第1号窯の焚口左袖改築時の盛土から出土。型引き施文。段顎。弧線の断面形は半円形を呈し、丸味をもつ。施文後、中央の弧文は下から横方向のナデを施す。凹面には布目痕と桶巻き作りの痕跡が残る。

### 均整唐草文軒平瓦 062 奈良時代

奈良時代の井戸等を検出した範囲に近接する場所から出土。段顎。範は瓦当面の高さより大きいものを使用し、範下半分の文様を表現。高槻市の梶原寺跡から出土した軒平瓦に同範のものがある。（後川）



## 2. 河内

北河内 摂津地域で展開する新名神高速道路関連の淀川以東で、枚方市船橋遺跡、招堤北代遺跡の調査が行われた。船橋遺跡は、付札木簡の出土で注目を集めたが、楠葉の土器作り本場ならではの、珍しい瓦器（硯・鍋・羽釜等）が良好な遺存状態で確認できたことも特筆される。また、四條畷市教育委員会・寝屋川市教育委員会との共同調査で、大型店舗建設に伴う讚良郡条里遺跡が、過去の調査地に近接し行われた。枚方市禁野本町遺跡では、調査原因は様々だが継続的な調査を行ってきた。近代の火薬庫等に関する調査成果は、今日的にも重要な意義を持つ。交野市域では、交野市教育委員会との共同調査で、坊領遺跡、平池遺跡、星田駅北遺跡などの調査が行われた。なかでも坊領遺跡では、縄文時代後・晩期の貯蔵穴、弥生時代中期の方形周溝墓をはじめ、古墳時代中期の初期須恵器、韓式系土器、鉄滓など、渡来系の生活様式を受容した集団の存在が明らかとなった。これらのほかに、門真市西三荘遺跡の調査を行った。

中河内 長らく継続してきた治水緑地建設に伴う東大阪市・八尾市所在池島・福万寺遺跡の調査が中断となり、新たに治水緑地・多目的遊水地・市民スポーツ広場建設等に伴い柏原市大泉郡条里遺跡・山ノ井遺跡の調査が始まった。柏原市域では、これらのほかに大和川改修事業に伴い船橋遺跡の調査が行われた。飛鳥時代の手工業生産関連遺物が出土した調査地付近で、奈良時代の圈足円

面硯片や漆器の出土があった。八尾市内では、木の本遺跡、田井中遺跡、久宝寺遺跡の調査が行われ、いずれも過去の調査地に隣接する。自衛隊駐屯地内における田井中遺跡では、庄内式の良好な一括資料が得られたほか、周辺も含めた土地利用変遷が明らかにされつつある。久宝寺遺跡は、近畿自動車道のパーキングエリア建設に伴う調査で、弥生時代中期以降の水田や居住域等が確認された。東大阪市花屋敷遺跡も過去の調査地に隣接する地点での調査で、鎌倉時代末～室町時代の集落域東端が確認された。大阪市平野区では府営住宅建設に伴い瓜破北遺跡の調査が行われた。送水管敷設に伴う藤井寺市川北遺跡では、船橋遺跡で確認された流路の延長が確認でき、獣面文軒丸瓦、漆附着須恵器などが出土した。

南河内 藤井寺市教育委員会との共同調査である藤井寺市津堂遺跡の成果が特筆される。また、松原市域では、松原市教育委員会との共同調査も含め池内遺跡、天美北6丁目北遺跡、新堂遺跡の調査を行った。池内遺跡では弥生時代後期のほか主に古墳時代中期の資料が得られた。新堂遺跡では、後期旧石器時代のナイフ形石器、縄文土器のほか、弥生時代後期の居住域なども確認でき、畿内初出の層灰岩製扁平片刃石斧が特筆される。河南町東山遺跡では河南町教育委員会と、千早赤阪村出合遺跡では千早赤阪村教育委員会と共同で調査が行われた。また、堺市域ではあるが旧美原町域の黒山遺跡・太井遺跡の調査も行われた。(市村)



交野市 坊領遺跡の調査



松原市 新堂遺跡の調査



## 讚良郡条里遺跡 四條畷市

当遺跡は近畿最古の弥生土器を出土する集落として耳目を集めてきたが、本項対象の調査地は、広範囲におよぶ遺跡分布域の南端部にあたる。ここでは、弥生時代前期の水田、同中・後期から古墳時代後期の集落・水田、古代以降の条里型水田、中世の集落、中世後半以降の神社等を検出した。

### 陶質土器無蓋高杯 063 古墳時代中期

大形土坑内で検出された井戸から、土師器・須恵器と共伴して出土。器高は約 11.2 cm。

陶質土器の可能性を示す製品で、口縁部端には上向きの凹みがあり、杯部外面には突帯が1条めぐる。脚部外面には、カキメが施され、三角形の透孔をいれた後に、上位は回転ナデ調整が加えられる。ON231～TK73 型式併行期として報告される。

### 滑石製有孔円板・子持勾玉他 064 古墳時代中期

古墳時代集落の直上に堆積する作土層から出土。いずれも滑石製で、小形の白玉や、平面が円形・多角形・方形状を呈し、大・小、1～3孔がみられる各種の有孔円板とされる製品の他、大形勾玉の背に3個、腹に1個、両側面に各2個の小形勾玉＝「子」を作り出した子持勾玉や、加工痕跡を留める滑石残片等が含まれる。子持勾玉の長軸は約 6.7 cm。

### 海獣葡萄鏡 065 飛鳥時代～奈良時代

微高地上の地層境界から、鏡面が上に向いた状態で出土。直径は 3.9 cm。銹化が進行し遺存状態はよくないが、本来（原鏡）の外区を欠く内区部のみの小形鏡である。背面中央に伏獣形鈕、鈕周囲に獣像4頭、その外側に葡萄文となる珠点7個が配される。なお、鏡縁に鑄造時湯道の切断痕が残り、鏡縁・鏡面とも未研磨で、その評価は今後留意すべきである。

### 柴垣柳樹双鳥鏡 066 室町時代

方位の吉凶を司る八将神の一神を祀る大將軍社跡の、社殿付近石組みの西側から、鏡面を上に向けて出土。直径は 9.3 cm。鏡背には、亀形鈕、垂下柳枝、柴垣、双鳥（雀）の意匠や列点文、珠文、櫛齒文などが配されている。この種の鏡は、和鏡のうち「擬漢式鏡」に分類され、室町期・14世紀後半の製作といわれる。当社に関連した重要品目となる。

(秋山)





## 大泉郡条里遺跡 柏原市

生駒山地の西麓、河内平野南東部に立地する。遺跡名のとおりに、現在も条里型地割が良く残る。宅地化が進むまでは、水田・島畠など田園風景の広がるところであった。一方で、大和川水系の水害に悩まされてきた地域でもある。発掘調査は、大阪府の水害対策である一級河川恩智川法善寺多目的遊水地建設に伴い2011年度に開始され、現在も継続中である。これまでの調査面積は約20,000㎡となる。

人間活動の初現は縄文時代で、地表面下約3mの地層である。以降、洪水でもたらされた粘土や砂で形成された地層が十数層におよび堆積している。

これまでのところ最も古い条里遺構は、平安時代の地層で確認されている。土地を区画する東西・南北方向の畦畔や、水路とみられる溝などがみつまっている。そして、続く鎌倉時代、室町時代の地層においても、同様な遺構がみられるのである。

大泉郡条里遺跡では、条里型地割の耕地景観が、古代から現代まで細部を変えながらも、連続と続いていく様子をみることができる(067)。幾度も洪水に見舞われながらも復興を果たしてきた、地域の人びとの歴史を伝える遺跡である。

### 縄文土器 068 縄文時代後期後葉

流路堆積層から多数の土器・石器・石製品とともに出土。深鉢(口径39.5cm)で、底部を欠損する。口縁は4箇所にて頂部を持つゆるやかな波状で、波頂部には巻貝の圧痕が施される。2条の凹線がめぐる頸部には貝殻による縦長の圧痕が、胴部には貝殻条痕がみられる。

### 銅鈴 069 平安時代

耕作土層から出土。径2.0cm、厚さ0.1cmである。頂部にある突起の円孔には擦痕が認められ、紐等が通されていたことがわかる。

### 刀子形木製品 070 鎌倉時代

耕作土層から出土。刀身部は最大幅1.5cm、厚さ0.3cmで、茎が欠損している。

### 木製物差し 071 室町時代(南北朝)

耕作土層から出土。両端が欠損、幅1.2cm、厚さ0.9cmである。3.3cm(一寸)の間隔で全幅の刻み目が、その間に幅半分の刻み目(五分)がある。(信田)

068



069



070



071



## 禁野本町遺跡 枚方市

旧陸軍禁野火薬庫（通称）は、弾薬貯蔵施設として1896年に開設され、1909年・1939年と2回の爆発事故ののち、用地の一部が大阪陸軍造兵廠枚方製造所へ移管された。近年の調査で、最初の爆発事故前後に構築された禁野火薬庫内にあった土塁や周囲をめぐる側溝（072）、2度目の事故後に建設された枚方製造所内の信管製造工場などを検出した。

調査地からは、火薬庫や製造所に係わる大量の金属製品・木製品・陶磁器・布類が出土した。

### 薬莢 073 近代

禁野火薬庫には多くの弾薬や信管、薬莢などが貯蔵されていた。調査では口径75～300mmの薬莢が多数出土したが、程度の差はあるものの、爆発事故により破損したもののばかりであった。

### 信管部品ほか 074 近代

信管が製造されていたことを物語る資料として、完成品に近い状態の信管体・薬盤や同未成品、薬盤に目盛りを刻むための刻印器などがある。（駒井）



## 船橋遺跡 枚方市

枚方市北部の船橋川と淀川の合流地点付近の段丘に立地する、弥生時代から中世にかけての遺跡である。この遺跡には、奈良時代に川津の関連施設が存在したとする説がある。調査で検出された主な遺構には、古墳時代後期後半の建物群、飛鳥時代の導水施設、奈良時代後半の井戸・掘立柱建物がある。

### 漆附着土器 075 奈良時代

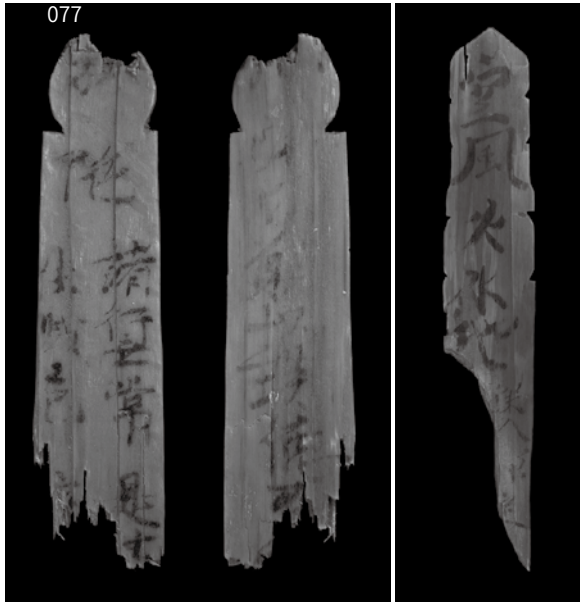
奈良時代後半の井戸の上層から、土師器杯・皿・甕・鉢、製塩土器、須恵器杯などとともに出土。須恵器短頸壺であり、その内面と口縁部外面の一部には、漆が付着している。こうした状況から、この土器は漆の容器として使用されたと考えられ、この遺跡で漆を用いた作業がなされたことを示す。

### 付札木簡 076 奈良時代

奈良時代後半の井戸から出土。上端には、左右両側に切り込みが存在している。墨書は表面にのみ存在していた。墨書は3段にわかれており、1段目には「英虞郡」、2段目には「心太一籠」「乾海松一籠」、3段目には「主當大領嶋水道」と書かれている。「英







「虞郡」は志摩国に属する郡、「心太」はところてんの原料のテングサ、「乾海松」は海藻の一種であるミルを乾燥させたものである。また、「主當大領嶋水道」は、この荷物の責任者である嶋水道（しまのみなみち、あるいは、みずみち）の名前を示すと思われる。この木簡は、都に運び込まれた贅が、天皇の行幸に伴ってこの遺跡に運ばれたことを示す。

**卒塔婆 077 室町時代**

室町時代の水溜（溜池状遺構）から出土。表面の上には「×弥陀」、その下には諸行無常偈の一節が2行にわたって書かれている。裏面に書かれているのは浄土真宗で用いる回向文で、善導の『感無量寿経疏』の一節である。



**瓦器硯 078 鎌倉時代**

段丘下の低地面において、土器・鉄製品・木製品などの大量の遺物とともに出土。同時に出土した瓦器碗などの時期から、13世紀のものと推定される。硯面には使用による摩滅が認められる。また、底面には文字のような線刻がある。（井上）



**瓜破北遺跡 大阪市**

大阪府営瓜破西住宅の建替え工事に伴い、2011・2012・2014・2015年にかけて調査を行った。主たる遺構として、中世の耕作に関わる溝、古墳時代の竪穴建物・井戸・古墳の周溝、弥生時代後期の方形周溝墓、旧石器時代の石器集中部等を検出した。

2011年の調査で検出した石器集中部（079）からは、直径約3mの範囲において、サヌカイト製の石器・石核・剥片・碎片がまとまって出土した。石器に接合関係はみられず、碎片も比較的少ないことから、この場所自体が石器製作の場ではなく、調査範囲外に存在した石器製作の場から二次的に移動したのか、石器製作に伴って生じた石屑が廃棄された後、それらが分散したものと推定される。



**ナイフ形石器ほか 080 後期旧石器時代後半**

多くが阪手火山灰の降灰前後の時期とみられる累積性土壌層より出土。いずれもサヌカイト製。ナイフ形石器（下段中・右以外）には、横長剥片を素材とするものと縦長剥片を素材とするものの2者がみられる。（河本）

## 池島・福万寺遺跡 東大阪市・八尾市

大阪府の洪水対策の一つである治水緑地建設に伴い1981年より大阪府教育委員会により調査が開始され、1989年からは当センターが担当した。広大な面積の大規模調査であり、その期間は約30年にもおよぶ。

調査では弥生時代から古代以降に施行された条里制に伴う水田がおり重なるようにして発見された。特に生駒山地に近い池島地区では、弥生時代前期の水田が広範囲に良好な状況で発見され、その立地や形態、灌漑システムなど近畿地方における弥生文化導入期の状況を詳細に知ることができる資料となっている。さらに、縄文時代晩期から弥生時代初期の墓地や弥生時代中期の竪穴建物(082)、古墳時代の集落なども検出され、水田遺構(081)だけでなく周辺の集落様相も明らかになりつつある。

このような蓄積された膨大な成果は、現在、積極的に活用され、我が国の農耕文化の歴史を考える上で大きな役割を果たしている。

一方、地表下4mにおよぶ調査では水田遺構だけでなく、幾度も襲ってきた洪水に起因する砂層の堆積が確認されている。各時代の水害に対する復旧・復興の作業痕跡を併せて読み取ることができ、現代にも通じる災害復興の歴史を知る上でも大きな成果となっている。

### 一本鋤 083 弥生時代中期

水田に伴う水路と考えられる溝から出土。柄の上半部を欠損するため把手の形状や全長は不明。刃部は左肩と右肩が左右不均等でアンバランスである。刃部の前面は柄の部分の延長に稜を削り出し、刃縁は摩滅しているが刃として加工していることがわかる。また全体に工具痕が観察される。材質はアカガシ亜属と同定されている。

### 鎌 084 鎌倉時代?

10世紀後半から13世紀の耕作土層から出土。雁股式で二股の刃部は左右とも両刃づくりであるが、その幅は異なる。篋被き部は裾広がりですてきな作りである。茎部の断面形は方形。途中で折れ曲がるが、その上下で太さが変わり、上部には鐙が装着されていた可能性もある。(岡戸)







## 津堂遺跡 藤井寺市

古市古墳群近傍の弥生時代～中世の複合遺跡で、古墳時代中期と平安時代後半期の2時期の集落、古墳時代後期から飛鳥時代の灌漑水路群が確認された(085)。特に古墳時代中期の遺構・遺物が豊富で、掘立柱建物や井戸・土坑といった居住関連遺構が数多く検出された。出土遺物では、土師器の大型壺や初期須恵器のまとまった出土が目される。

調査区南西で検出された屋内棟持柱をもつ2棟の大形建物の存在が特筆され、出土遺物から南東約1kmに位置する津堂城山古墳の築造とほぼ同時期と判断できる。

集落は、古墳時代中期初頭の出現後、中期後葉に居住域が移動して耕作域へと土地利用が転換するが、集落の消長と古市古墳群の出現・展開が連動する。古墳群の周辺では、大規模な集落跡はこれまで未確認であったため、古墳群の造営と深くかかわる集落の発見はたいへん重要な調査成果となった。

### 945 土坑出土土器 086 古墳時代中期

集落の出現期にあたる布留式新段階の良好な一括資料。二重口縁壺や布留形甕とともに、高杯と小型丸底壺が多く出土しており、高杯の多量出土は後項の大形建物周囲の流路出土土器群と共通する。精製器種のうち小型器台と有段口縁鉢を欠く当該期の典型的な土器組成を示しており、供宴儀礼に用いられた土器群の一括廃棄資料と考えられる。

### 須恵器器台 087 古墳時代中期

調査では、古墳時代中期の須恵器器台が40個体以上出土しており、集落遺跡としては全国屈指の出土量を誇る。このことから、本遺跡は古市古墳群にかかわる物資の集積地であった可能性を示唆する。

087は、コンパス文を施す器台で、全形を復元できる貴重な事例。コンパス文は、初期須恵器にのみ施される伽耶系の文様で、当該資料と同様の文様構成を有する器台が西日本各地で約30例確認されている。そのなかでも当該資料は、祖型となる資料で、最古段階の須恵器のひとつと認識できる。

### 1494 井戸出土土器 088 古墳時代中期

須恵器出現期以降は、井戸が減少傾向にあるが、本事例は須恵器がまとまって出土した事例の一つで



ある。埋土中層から杯身と高杯が、底から完形の壺と大甕がそれぞれ出土しているが、いずれも部分的に打欠きがなされており、井戸廃絶時の祭祀儀礼を復元するための手がかりとなろう。

ガラス小玉・滑石製勾玉・双孔円板 089

古墳時代中期

古墳時代中期の集落遺跡では、滑石製玉類が大量に出土する場合があるが、本遺跡では包含層中などからの少量の出土に限られる。滑石製勾玉は厚みのある古相の特徴を示し、ガラス小玉については大型建物の周辺の柱穴から出土している。

651 流路出土遺物 090 古墳時代中期

2棟の大形建物の周囲をめぐる自然流路から出土した土器群。流路全体からの出土量は少ないが、建物の南側で土師器が集中して出土。大半が磨滅し残りの良い資料は少ない。器種に偏りがあり、高杯の出土量は約300個体を数える。津堂城山古墳とのかかわりが推測される大型建物の周囲で執り行われた祭祀儀礼にかかわる重要な資料といえる。(笹栗)

東山遺跡 河南町

弥生時代後期の「高地性集落」として知られる遺跡で、一須賀古墳群に隣接する。調査地は段丘の傾斜地にあたり、弥生時代以降の遺物が出土、古代・中世の掘立柱建物・溝・土坑などが検出された(091)。

8世紀後半以降、奈良時代の掘立柱建物群は正方位に並び、総柱建物が7棟あった。土馬・円面硯・ガラス埴塙が出土することから、工房が附属する役所もしくは寺院だった可能性がある。

12世紀に居住域となったのちは、耕作地として利用され現代に続いた。

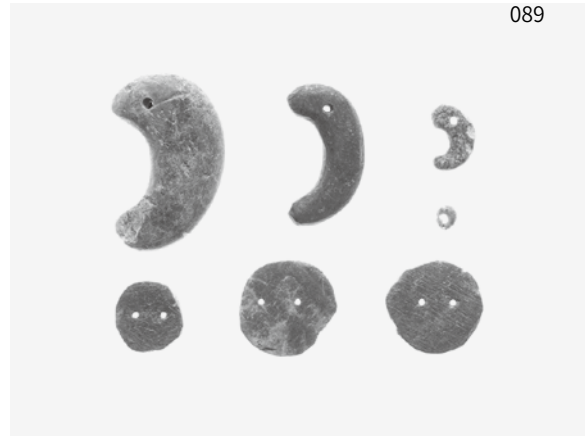
ガラス埴塙 092 奈良時代

谷上層から出土。奈良時代後半のもので、2個体以上存在する。円筒形、尖底の中型品で、外面に斜格子のタタキがみられる。

付着したガラスは、蛍光X線分析から銅で緑に着色した高鉛ガラスと考えられる。

また、鉛同位体比により、山口県長登鉦山ながのぼりと桜郷鉦山さくらざとの素材を混合したことが明らかになった。

(塚本)



089



090



091



092





### 出合遺跡 千早赤阪村

飛鳥時代から室町前期にかけて当地とその周辺に連綿と営まれた集落跡を検出した。特に13世紀後半から14世紀中頃には埋め立てにより土地が平坦化され(093)、集落域が拡大されたことが分った。

造成が当地を本貫地とする楠木正成・正行・正儀父子が南朝方として跋扈した頃でもあり興味深い。

また、調査地周辺に「藤林」の字名がみられ、楠木正成配下の武将、藤林氏の館跡と推定されている。当遺跡の西に接する国指定史跡赤阪城跡と同様、当地の歴史を考える上での貴重な調査成果といえる。

### 土器埋納遺構一括(地鎮) 094 室町前期



土器器羽釜内に10枚の瓦器碗が納められ、花崗岩の自然石で蓋された状態で出土。石の加重で押し潰されてはいたが、碗類はほぼ原位置を保っていると考えられる。同様の遺構は当村の楠公誕生地遺跡等でも検出され、天野山金剛寺遺跡の調査にて地鎮祭祀に伴う遺構であることが判明している。(岡本圭)



### 黒山・太井遺跡 堺市

堺市美原区において大型商業施設建設に伴い、堺市文化観光局文化財課と共同で実施した。調査は約20,000㎡を対象とし、令和2年2月から同年10月にかけて行った。

調査の結果、140棟以上の掘立柱建物や金属器の生産に関する遺構や遺物を検出し、黒山遺跡が奈良時代から平安時代後半を中心とした大規模な集落遺跡であることが判明した。

特筆すべきは、調査地北東端部において検出された大形建物群(095)である。建物は4棟検出しており、いずれも正方位を指向する。また、隣接する建物と柱筋を揃えるなど、相関性が高いことから、同時期に存在したと考えられる。出土遺物は多くないが、柱穴から出土した遺物の年代観から、奈良時代後半に比定される。建物の規模ならびに配置から、公的な機関や寺院などに関わる施設であった可能性があるが、詳細は明らかにしえない。

### 複弁蓮華文軒丸瓦 096 奈良時代



井戸より出土した。複弁八弁蓮華文軒丸瓦である。丸瓦部は欠失する。平城宮6225型式に比定され、



黒山遺跡の北に所在する黒山廃寺出土瓦と同範である。奈良時代中頃の所産と考えられるが、平安時代前半の土器と共に井戸上部の埋め戻し土から出土している。本調査では、鑄造炉の炉壁に平瓦や丸瓦を転用する事例が確認されている。本資料も同様の目的のもと持ち込まれ、意図にそぐわない瓦当部のみが廃棄された可能性がある。

**均整唐草文軒平瓦 097 奈良時代**

南西―北東を指向する平安時代前半の溝より出土した。均整唐草文軒平瓦である。平城宮 6663 型式に比定され、096 と同様に黒山廃寺において用いられた瓦と同範であり、同寺の廃絶後に当地に持ち込まれたと推測される。



**墨書土器 098 平安時代**

平安時代前半の井戸より出土した。南河内にみられる粗製の土師器杯の底部および口縁部外面に墨書を施す。このうち底部は井桁状の区画内に並行する2本の線を記す。一方、口縁部については呪いで、筆の運びから土器を伏せた状態で記されたと思われるが、判読できず内容は不明である。



**斎串 099 平安時代**

平安時代前半の井戸から出土した。写真左の資料は長さ 15.5 cm、厚さ 0.3 cm を測り、頭部をわずかに欠損する。一方、右は長さ 15.8 cm、厚さ 0.3 cm で、先端部を失う。本遺構からは、判読不明ながらも墨書された土師器杯も出土しており、何らかの祭祀行為がなされたものと推測される。



**三耳壺 100 奈良～平安時代**

開析谷の肩口において検出した土坑から出土。球形の胴部の一部に平坦面を作り出し、下端を屈曲させて平底とした異質な須恵器三耳壺である。平坦面を背面とした場合、前面中央下半および両側面の中央やや後方に環状の把手を付す。また、胴部前面から側面にかけては2条一組と3条一組の沈線がめぐるが、背面はナデ消されており、わずかに平行タタキが残る。以上から、当初は四耳壺として製作されたが、その過程において三耳壺に改変されたと推測される。詳細時期は明らかにしえないが、遺構埋土の様相から、奈良時代後半から平安時代前半の所産と考えられる。(永野)



### 3. 和 泉

南部調査事務所管轄の調査件数は多くないが、2013・2014年実施の伯太藩陣屋跡、信太千塚古墳群、2012年実施の諸目遺跡などで注目される成果があげられた。

伯太藩陣屋は享保12（1727）年に成立し、江戸後期の政庁であったほか、版籍奉還後は堺県に統合されるまで伯太県庁として機能した。伯太藩陣屋跡の調査では藩主や家臣の屋敷地の遺構が確認された。またその経営時期に関わる江戸後期から明治初頭に至る多数の生活雑器が出土した。

信太千塚古墳群は信太山丘陵一帯に展開する古墳時代後期を主体とする群集墳であるが、調査ではこれまで未発見であった2基の古墳の周溝が検出された。出土した円筒埴輪などから前期末～中期初頭と推定され、古墳群内でも早い時期に築造された古墳であることが判明した。

諸目遺跡の調査では奈良時代の倉庫跡と考えら

れる建物遺構群や、須恵器・土師器・木製品など各種の遺物が検出された。土器類は大形のものなど平城京から出土する遺物と類似点が多く、亀形須恵器など類例のない特殊な遺物も含まれている。このため地方官衙的な性格をおびた遺跡と考えられる。（西村）



和泉市 伯太藩陣屋跡の調査



#### 諸目遺跡 泉佐野市

当遺跡は樫井川中流域右岸の標高14～20mの沖積段丘面に立地する。2012年、泉佐野市立長南小学校の屋内運動場増改築に伴い調査を行った。主に古墳時代初頭の竪穴建物や飛鳥・奈良時代の掘立柱建物・井戸・長さ3m以上の大形土坑など多数の遺構を検出した（101）。

掘立柱建物は13棟検出し、うち3棟は倉庫としての機能が考えられる総柱建物であり、正倉院文書『和泉監正税帳』に記されている日根郡衙の倉庫群と規格が類似するものも存在する。また、硯や墨書土器なども出土しており、一般的な集落ではなく、地方官衙的な性格が想定される。

#### 亀形須恵器 102 奈良時代

大形土坑から亀を模して作られた須恵器が出土した。目・鼻は刺突、口は切れ込みを入れることで表現している。亀を模した遺物には硯や平瓶などがあるが、当遺物には墨を溜める海部がなく、また腹部に穴が空けられている。そのため、硯や容器としての機能は考えられず、用途は不明である。（尾崎愛）

出典一覧

001	307 集	大坂城跡 8	大阪市	巻頭原色図版 1			
002	307 集	大坂城跡 8	大阪市	図版 33-37 ~ 40・80 / P20 図 12-37 ~ 40、P22 図 13-80			
003	265 集	大坂城跡 6	大阪市	巻頭カラー図版 865 / P84 第 57 図 865			
004	307 集	大坂城跡 8	大阪市	巻頭原色図版 2 右下 / P42 図 30-249			
005	307 集	大坂城跡 8	大阪市	図版 37 / P29 図 20-113、P39 図 28-200、P74 図 55-430、P76 図 56-459・460、P94 図 71-625・628、P96 図 72-631			
006	269 集	大坂城跡 7	大阪市	図版 48- 石材 6 / P105 図 59- 石材 6			
007	253 集	大坂城跡 4	大阪市	図版 48-2 / P125 図 123-24			
008	254 集	大坂城跡 5	大阪市	巻頭カラー 3			
009	266 集	服部遺跡	豊中市	巻頭図版			
010	284 集	吹田操車場遺跡 14	吹田市	原色写真図版 1			
011	284 集	吹田操車場遺跡 14	吹田市	図版 46-24 / P26 図 12-24			
012	274 集	吹田操車場遺跡 14	吹田市	図版 37-28 / P21 図 12-28			
013	270 集	吹田操車場遺跡 12	吹田市	原色写真図版 5-5 / P142 図 109-519			
014	270 集	吹田操車場遺跡 12	吹田市	原色写真図版 5-6 / P142 図 109-521			
015	274 集	吹田操車場遺跡 13	吹田市	巻頭カラー 4 / P21 図 12-3・4・6・7・10・12・P22 図 13-33・34・37・P22 図 14-42・47・P30 図 22-74・76・77・P56 図 39-94・95・図なし -185 ~ 198			
016	292 集	吹田操車場遺跡 16	吹田市	図版 14-93 / P28 図 18-93			
017	279 集	明和池遺跡 5	摂津市	巻頭カラー図版 4-2			
018	279 集	明和池遺跡 5	摂津市	巻頭カラー図版 5-1 / P71 図 63-69・P98 図 81-213・P99 図 82-214・215・216			
019	279 集	明和池遺跡 5	摂津市	巻頭カラー図版 5-2 / 図 26-17、図 82-218・219			
020	248 集	吹田操車場遺跡 10・明和池遺跡 3	吹田市・摂津市	図版 153-102 / P244 図 188-102			
021	248 集	吹田操車場遺跡 10・明和池遺跡 3	吹田市・摂津市	図版 172-1223			
022	248 集	吹田操車場遺跡 10・明和池遺跡 3	吹田市・摂津市	図版 175-1268			
023	248 集	吹田操車場遺跡 10・明和池遺跡 3	吹田市・摂津市	図版 177 下 / P374 図 315-1199・P379 図 320-1301・1302			
024	248 集	吹田操車場遺跡 10・明和池遺跡 3	吹田市・摂津市	図版 178-1305 / P379 図 320-1305			
025	234 集	成合 1 号墳	高槻市	巻頭カラー 2-3			
026	234 集	成合 1 号墳	高槻市	巻頭カラー 2-4 / P23 図 16・P24 図 17			
027	251 集	成合遺跡・金龍寺旧境内跡 2	高槻市	巻頭図版 4 上			
028	251 集	成合遺跡・金龍寺旧境内跡 2	高槻市	巻頭図版 4 下左 / P27 図 10-2			
029	251 集	成合遺跡・金龍寺旧境内跡 2	高槻市	巻頭図版 4 下右 / P108 図 76-293 ~ 298			
030	251 集	成合遺跡・金龍寺旧境内跡 2	高槻市	巻頭図版 3 上			
031	296 集	井尻遺跡 3	高槻市	巻頭カラー図版下			
032	255 集	井尻遺跡	高槻市	巻頭原色図版 2-2 / P40 図 34-233			
033	255 集	井尻遺跡	高槻市	巻頭原色図版 2-1 / P23 ~ 31・図 18 ~ 26			
034	255 集	井尻遺跡	高槻市	巻頭カラー 2-4 / P38 図 20-12			
035	259 集	梶原古墳群	高槻市	図版 7-21 / P16 図 10-11			
036	261 集	梶原西遺跡	高槻市	巻頭図版 2			
037	261 集	梶原西遺跡	高槻市	巻頭図版 3 下 / P69 第 41 図 24・26・27			
038	261 集	梶原西遺跡	高槻市	巻頭図版 4 下 / P77 第 45 図 70・71			
039	260 集	成合地獄谷遺跡	成合遺跡 2	金龍寺旧境内跡 3	高槻市	図版 22-2	
040	260 集	成合地獄谷遺跡	成合遺跡 2	金龍寺旧境内跡 3	高槻市	巻頭図版 / P41 図 24-36	
041	263 集	磐手杜古墳群	高槻市	巻頭図版 2			
042	263 集	磐手杜古墳群	高槻市	図版 4 左下 1 / P22 図 10-1			
043	310 集	金龍寺旧境内跡 4	高槻市	巻頭図版 1			
044	310 集	金龍寺旧境内跡 4	高槻市	巻頭図版 2 / P42 図 24-31・32・33			
045	313 集	上牧遺跡	高槻市	巻頭			
046	313 集	上牧遺跡	高槻市	カラー図版 9 上 / P240 図 178-1210・1212・P242 図 179-1217 ~ 1220・1222・1223・1225・P243 図 180-1231・1234 ~ 1236・1241			
047	313 集	上牧遺跡	高槻市	カラー図版 10 上 / P133 図 87-461・P141 図 92-485・P146 図 97-542・P149 図 100-565・P160 図 109-650・P218 図 159-1002・P238 図 176-1155・P239 図 177-1178・P240 図 178-1210・P243 図 180-1231・P259 図 192-1380・P261 図 194-1392 ~ 1394・P289 図 215-1492・1493・P313 図 234-1618			
048	313 集	上牧遺跡	高槻市	カラー図版 11 右上 / 図 87-S4・S5、図 92-S6、図 93-S7、図 110-S14、図 109-646			
049	256 集	千提寺西遺跡	日奈戸遺跡	千提寺市阪遺跡	千提寺クルス山遺跡	茨木市	カラー図版 1-2
050	256 集	千提寺西遺跡	日奈戸遺跡	千提寺市阪遺跡	千提寺クルス山遺跡	茨木市	カラー図版 2-2
051	295 集	郡遺跡・倍賀遺跡 1	茨木市	巻頭原色図版 1			
052	295 集	郡遺跡・倍賀遺跡 1	茨木市	巻頭原色図版 2 上 / P143 図 114-491・492、P182 図 147-623、P183 図 148-625 ~ 630			
053	295 集	郡遺跡・倍賀遺跡 1	茨木市	巻頭原色図版 2 下 / P144 図 115-498、P114 図 88-368			
054	295 集	郡遺跡・倍賀遺跡 1	茨木市	図版 69 右上			
055	295 集	郡遺跡・倍賀遺跡 1	茨木市	図版 71-389 / P118 図 90-389			
056	302 集	太田遺跡・太田廃寺跡	太田遺跡・太田城跡 1	茨木市	巻頭原色図版 1		
057	302 集	太田遺跡・太田廃寺跡	太田遺跡・太田城跡 1	茨木市	巻頭原色図版 2 / P35 図 22-33 ~ 36・P36 図 23-37・38・40・P40 図 24-44・45・P48 図 29-98・P49 図 30-99		
058	316 集	尾山遺跡・御所池瓦窯跡	島本町	巻頭図版 1			
059	316 集	尾山遺跡・御所池瓦窯跡	島本町	巻頭図版 2			
060	316 集	尾山遺跡・御所池瓦窯跡	島本町	原色図版 14-586			
061	316 集	尾山遺跡・御所池瓦窯跡	島本町	図版 11-577			
062	316 集	尾山遺跡・御所池瓦窯跡	島本町	原色図版 14-587			
063	252 集	讚良郡条里遺跡	四条畷市・寝屋川市	図版 61-210-5 / P186 図 210-5			
064	252 集	讚良郡条里遺跡	四条畷市・寝屋川市	図版 102 上 / P372 図 444-16 ~ 27・31 ~ 33 ほか			
065	252 集	讚良郡条里遺跡	四条畷市・寝屋川市	図版 67-77-1 / P80 図 77-1			
066	252 集	讚良郡条里遺跡	四条畷市・寝屋川市	図版 131-597-16 / P506 図 597-16			
067	299 集	大県郡条里遺跡 5	柏原市	図版 7-20			



068	241集	大県郡条里遺跡	柏原市	図版 18 212 / P70 図 49-212
069	258集	大県郡条里遺跡 2	柏原市	図版 22-198 / P28 図 18-198
070	299集	大県郡条里遺跡 5	柏原市	図版 16-44 / P43 図 21-44
071	299集	大県郡条里遺跡 5	柏原市	図版 16-36
072	281集	禁野本町遺跡VI	枚方市	カラー図版 2-1
073	304集	禁野本町遺跡VII	枚方市	カラー図版 8
074	304集	禁野本町遺跡VII	枚方市	カラー図版 1 / P82 図 49-354 ~ 359・362 ~ 364
075	309集	船橋遺跡	枚方市	図版 61-264 / P194 図 135
076	309集	船橋遺跡	枚方市	図版 62-W39 / P196 図 137
077	309集	船橋遺跡	枚方市	図版 59-W19・W4 / P179 図 121-W19、P141 図 90-W4
078	309集	船橋遺跡	枚方市	図版 56-200 / P175 図 117
079	238集	瓜破北遺跡	大阪市	図版 8
080	285集	瓜破北遺跡 2	大阪市	図版 21-248 ほか / P129 図 82-248 ~ 254・P129 図 83-258・259
081	229集	池島・福万寺遺跡 14	東大阪市・八尾市	図版 16-1
082	230集	池島・福万寺遺跡 15	東大阪市・八尾市	巻頭カラー 2
083	230集	池島・福万寺遺跡 15	東大阪市・八尾市	図版 59-1 / P145 図 51
084	230集	池島・福万寺遺跡 15	東大阪市・八尾市	図版 55-3 / z 31-18
085	273集	津堂遺跡	藤井寺市	原色写真図版 1 上
086	273集	津堂遺跡	藤井寺市	原色写真図版 7 下 / P182 図 121-824 ~ 827・P183 図 122-831 ~ 836・838 ~ 840・843・846
087	273集	津堂遺跡	藤井寺市	原色写真図版 8 左上 / P121 図 82-548
088	273集	津堂遺跡	藤井寺市	原色写真図版 8 下 / P179 図 120-819 ~ 823
089	273集	津堂遺跡	藤井寺市	図版 45-723 ほか / P149 図 100-723・P221 図 148-1026・P239 図 160-1171 ~ 1175
090	273集	津堂遺跡	藤井寺市	原色写真図版 7 上
091	298集	東山遺跡発掘調査報告書III	河南町	図版 4-2
092	298集	東山遺跡発掘調査報告書III	河南町	原色カラー上 / P79 図 72-140 ~ 142、143 ~ 157 は図なし
093	300集	出合遺跡	千早赤阪村	図版 1-1
094	300集	出合遺跡	千早赤阪村	図版 7 上 / P14 図 12-1 ~ 11、169 は図なし
095	317集	黒山遺跡・太井遺跡	堺市	巻頭原色図版
096	317集	黒山遺跡・太井遺跡	堺市	図版 60-535 / P207 図 196-535
097	317集	黒山遺跡・太井遺跡	堺市	図版 48-28 / P23 図 18-28
098	317集	黒山遺跡・太井遺跡	堺市	図版 67-737 / P262 図 250-737
099	317集	黒山遺跡・太井遺跡	堺市	図版 55-252・253
100	317集	黒山遺跡・太井遺跡	堺市	図版 47-36
101	236集	諸目遺跡	泉佐野市	巻頭図版 1-1
102	236集	諸目遺跡	泉佐野市	巻頭図版 3 上 / P53 図 52-111

本書の画像の一部は下記より提供を受けた。記してお礼申し上げます。

大阪府教育委員会（大坂城跡 001・002・004・005）

泉佐野市教育委員会（諸目遺跡 101・102）

茨木市教育委員会（千提寺西遺跡 049・050、郡遺跡・倍賀遺跡 051 ~ 055、太田遺跡・太田廃寺跡 056・057）

交野市教育委員会（坊領遺跡 p 26）

堺市（黒山・太井遺跡 095 ~ 100）

吹田市教育委員会（吹田操車場遺跡 010 ~ 016）

摂津市教育委員会（明和池遺跡 017 ~ 024）

豊中市教育委員会（服部遺跡 009）

枚方市（禁野本町遺跡 072 ~ 074）

藤井寺市教育委員会（津堂遺跡 085 ~ 090）

松原市教育委員会（新堂遺跡 p 26）

河南町教育委員会（東山遺跡 091・092）

島本町教育委員会（尾山遺跡 058 ~ 062）

千早赤阪村教育委員会（出合遺跡 093・094）



## 設立趣意

大阪は早くから大陸文化を摂取した門戸として、また多くの外国人居住の地として独特な環境をもちつつ、わが国固有の文化と融合して優れた文化を開花した土地柄であります。即ち、上代の天皇が帝都を構えた難波宮跡や仁徳陵・応神陵をはじめとする規模雄大な陵墓から数多くの貴族・王族の墓群、さらに、摂津、河内、和泉の随所に残されている庶民の生活がうかがえる住居跡に至るまで幾多の史跡・遺跡が今日にのこされてきました。また、四天王寺や観心寺、金剛寺など各時代のすぐれた美術工芸品や建造物を保存する社寺も多く、一方、庶民の中に脈々と息づいた民俗や民家も、商都大阪のシンボルである明治建築と同様、最近のはげしい近代化の波の中であって、今なお文化の基盤として生きつづけています。

こうした文化財はたびかさなる天災や兵火をくぐりぬけ、今日まで守り伝えられてきたものであり、浪速っ子の進取の気性と調和の精神を示す結晶であります。しかし、こうした文化財も長い歳月の重みによりいたみ損ずることも多く、また、はげしい開発の中で本来の姿を失い変化するなど、次第に憂慮される状況にあり、最近では文化財愛護思想の昂揚とともにその保全、修理、調査研究が大きな問題としてとりあげられるようになってまいりました。

こうした事態に対処して、文化財を保護し後世に伝えていくことは、現在に生きるものの責務であり、国民一体となってこれに当たることが何よりも肝要なことであります。現在、文化庁、大阪府および市町村教育委員会等の行政機関が、こうした保護について着実にその成果をあげておられるのでありますが、文化財は何分広汎多岐にわたっており、特に遺跡など埋蔵文化財の実態調査や、また発掘調査により出土した遺物の整理は十分とはいえない状態であります。いうまでもなく文化財は、大阪のあゆみ、日本の歴史の流れを示すものであるとともに、豊かな大阪、香り高い大阪の文化環境を作りだす明日への糧となるものであります。単に学術的な研究の対象として終始することなく、府民の常日頃の起居に生かされるようにするためには、広く府民にその成果なり、展望をあきらかにして公開、活用をはかることが必要であります。

このような観点にたって、私ども一同、相はかりこのたび財団法人大阪文化財センターを設立することといたしました。すなわち、大阪の文化財の調査、整理、研究を通じて府民のかけがえない貴重な財産である文化財の保存に寄与し、その成果の公開、活用をはかろうとするものであります。当センターの事業活動の推進により、蝕まれた文化財に力を与え、文化財が府民の生活に生かされ、文化の不毛都市といわれる大阪の文化の進展に大いに寄与することができるものと確信いたしております。

(昭和 47 年 11 月 27 日設立)

設立発起人	赤堀四郎	大阪府教育委員会委員長／前大阪大学総長
	浅野 清	大阪工業大学教授
	坪井清足	奈良国立文化財研究所調査部長
	藤澤一夫	帝塚山大学講師
	小川栄一	財団法人藤田美術館理事長
	加藤三之雄	財団法人日本民家集落博物館常務理事
	高松忠清	宗教法人住吉大社代表役員
	出口常順	宗教法人四天王寺代表役員
	玉田義美	大阪府教育委員会教育長
	高尾正二	大阪府都市教育長協議会副会長／堺市教育委員会教育長
	益倉辰次郎	大阪府都市教育長協議会副会長／東大阪市教育委員会教育長
	戸谷宣道	大阪府町村教育委員会連絡協議会副会長／島本町教育委員会教育長



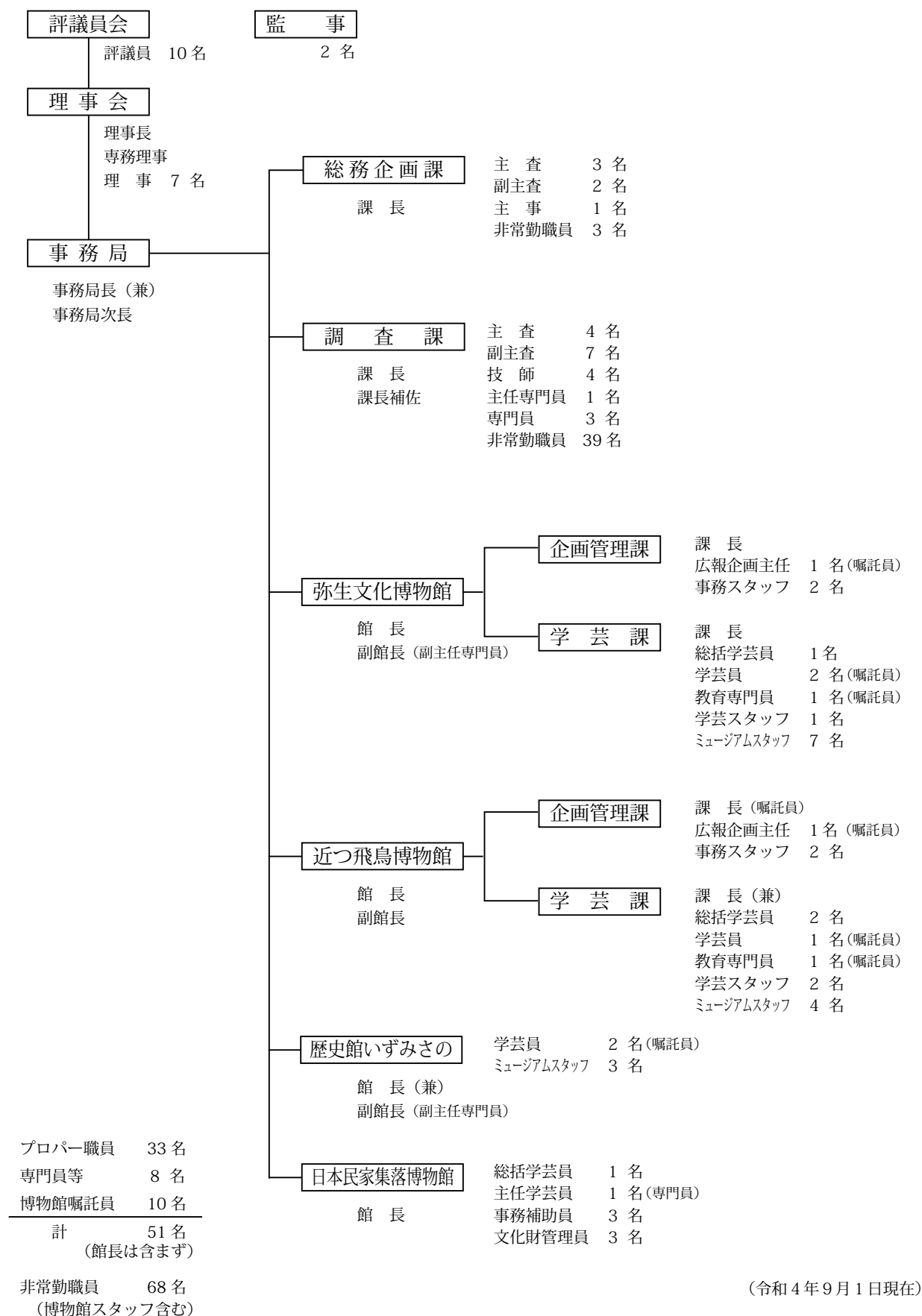
## 法人概要

---

法人名	公益財団法人大阪府文化財センター	
本部所在地	大阪府堺市南区竹城台3丁21番4号	
理事長	坂井 秀弥	
基本財産	116,700千円	
事業目的	大阪府における文化財の調査、研究及び保存を行い、文化財の保護と活用を図り、もって大阪府民の文化財に対する理解と認識を深め、その文化的向上に資するとともに、我が国の文化の発展に寄与することを目的とする。	
事業内容	(1) 埋蔵文化財の調査、整理、保存、研究、技術支援及び活用 (2) 史跡、名勝及び天然記念物の調査、保存、研究、整備及び活用 (3) 有形・無形・民俗文化財等の調査、保存、研究、整備及び活用 (4) 文化財に関する資料及び情報の収集、管理及び公開 (5) 文化財に関する普及啓発 (6) 地方公共団体等が行う文化財調査への支援、協力及び労働者派遣 (7) 日本民家集落博物館の管理及び運営 (8) 大阪府その他の地方公共団体等が設置する博物館、資料館、史跡公園その他これらに類する施設の管理及び運営の受託 (9) その他目的を達成するために必要な事業	
出損者	財団法人大阪府博物館協会、大阪府、パナソニック株式会社、住吉大社、四天王寺、公益財団法人藤田美術館	
機構 (施設所在地)	本部事務所	堺市南区竹城台3丁21番4号
	中部調査事務所・資料室	東大阪市長田東1丁目9番16号
	南部調査事務所	堺市南区竹城台3丁21番4号
	高石収蔵庫	高石市綾園4丁目地先
	泉佐野収蔵庫	泉佐野市上之郷(地内)
	泉佐野第二収蔵庫	泉佐野市高松西2丁目2430番1号
	弥生文化博物館※	和泉市池上町4丁目8番27号
	近つ飛鳥博物館※	南河内郡河南町大字東山299番地
	歴史館いずみさの※	泉佐野市市場東1丁目2番1号
	日本民家集落博物館	豊中市服部緑地1番2号

※指定管理受託施設

# 組 織



## 役員

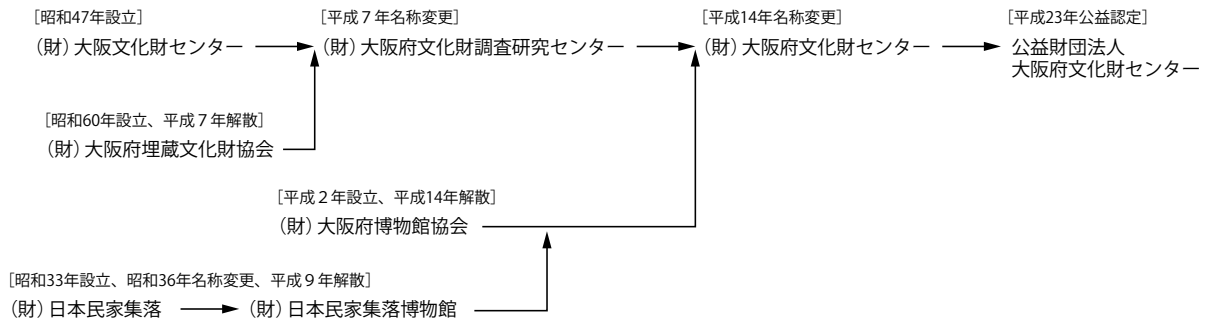
---

理事長	坂井秀弥	奈良大学名誉教授
専務理事	岡本茂史	公益財団法人大阪府文化財センター 事務局長
理事	秋山芳廣	元 公益財団法人大阪府文化財センター 事務局長
	網伸也	近畿大学 教授
	井藤徹	公益財団法人大阪府文化財センター 日本民家集落博物館 館長
	今井涉	元 公益財団法人サントリー文化財団 専務理事
	河村陽一郎	歴史街道推進協議会事業推進部 担当部長
	館野和己	大阪府立近つ飛鳥博物館 館長
	禰宜田佳男	大阪府立弥生文化博物館 館長
監事	徳永浩司	公認会計士・税理士
	鳴澤成泰	元 大阪府立中之島図書館 館長
評議員	池田良治	池田良治法律事務所 弁護士
	工楽善通	大阪府立狭山池博物館 名誉館長
	白石太一郎	大阪府立近つ飛鳥博物館 名誉館長
	高井道弘	住吉大社 宮司
	田邊征夫	公益財団法人元興寺文化財研究所 所長 前 公益財団法人大阪府文化財センター 理事長
	西野裕久	有限責任あずさ監査法人 パートナー／公認会計士
	福田英人	藤井寺市教育委員会事務局文化財保護課 文化財調査員
	南谷恵敬	和宗総本山四天王寺執事長
	本中眞	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 所長
	吉田憲司	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立民族学博物館 館長

(令和4年9月1日現在)



# 沿革



昭和 47 年 11 月 28 日	・ 大阪府教育委員会の認可を受け、財団法人大阪文化財センター設立。
48 年 1 月 10 日	・ 事務所を大阪市東区大手前之町 5-1 番地大阪府庁分館 1 号館内に設置。 職員 3 名により事務、普及啓発、遺物整理、分布試掘調査を分担。 ・ 第二阪和国道発掘調査に伴う遺物整理事業に着手。
4 月 1 日	・ 事務局を設置（職員数 12 名）。
5 月 25 日	・ 第 1 回理事会において評議員を選出、評議員会を設置。
9 月 1 日	・ 事務所を大阪府庁分館 3 号館内に移転。
49 年 1 月 1 日	・ 組織の改正により庶務課、業務課の 2 課制とし、業務課に普及資料室、調査室、 写真資料室、第 1 遺物整理室、第 2 遺物整理室の 5 室を置く。 ・ 和泉市池上町の第二阪和国道の遺物収蔵庫及び事務所を池上事業所とし、第 1 遺物整理室、第 2 遺物整理室及び写真資料室を置く。
51 年 7 月 26 日	・ 近畿自動車道天理～吹田線内に所在する遺跡の発掘調査に着手。
9 月 1 日	・ 組織の改正により業務課に調査室、普及資料室、並びに池上事務所及び中河内 事業所（八尾市南亀井 3 丁目地内に新設）の 2 事業所を置き、池上事業所に写 真資料室及び遺物整理室の 2 室を置き、中河内事業所に調査室、遺物整理室の 2 室を置く（職員数 29 名）。
9 月 7 日	・ 事務所を大阪市城東区蒲生 2 丁目 10 番 28 号大阪府城東庁舎内に移転。
53 年 4 月 1 日	・ 組織の改正により、庶務課を総務課に改め、総務課に庶務係及び普及係、業務 課に業務第 1 係、業務第 2 係、業務第 3 係を置く。（以降、係の改廃については省略） 池上事業所を池上分室（閉鎖昭和 53 年 9 月 30 日）、中河内事業所を長吉分室（閉鎖 昭和 60 年 12 月 31 日）に改める（職員数 36 名）。
11 月 1 日	・ 瓜生堂分室を東大阪市瓜生堂 3 丁目 35 番地に設置（閉鎖昭和 58 年 5 月 31 日）。
55 年 7 月 21 日	・ 泉北分室を堺市鴨谷台 2 丁目 2 番 5 号に設置。
8 月 19 日	・ 全国埋蔵文化財法人連絡協議会の設立に参画、副会長となる。
56 年 3 月 10 日	・ 普及資料室を大阪市城東区中央 1 丁目 2 番 23 号京橋ハイツに移転。
4 月 15 日	・ 久宝寺分室を八尾市美園町 3 丁目 87 番 1 号に設置（閉鎖昭和 59 年 3 月 31 日）。
57 年 2 月 2 日	・ 泉北分室を和泉市伏屋町 532 番地に新築移転。
9 月 12 日	・ 財団法人大阪文化財センター設立 10 周年記念シンポジウム「邪馬台国の謎を 解く」を開催。
11 月 27 日	・ 財団法人大阪文化財センター設立 10 周年記念式典を開催。
58 年 6 月 1 日	・ 長田分室を東大阪市本庄西 1 丁目 111 番地に設置。
9 月 1 日	・ 近畿自動車道天理～吹田線の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。

59年6月1日	・都市計画道路と近畿自動車道と歌山線の併設区間の発掘調査に着手。
60年4月1日	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会設立。
60年10月15日	・美原分室を南河内郡美原町阿弥55番2号に設置（閉鎖平成2年1月31日）。
61年2月28日	・近畿自動車道天理～吹田線発掘調査終了記念事業（写真パネル展、講演会、映画会）を開催。
4月1日	・業務課（本室）を大阪市城東区中央1丁目2番23号京橋ハイツに移転。
62年9月10日	・業務課（本室）を大阪市城東区蒲生2丁目10番28号大阪府城東庁舎に移転。
平成元年4月1日	・都市計画道路松原泉大津線と近畿自動車道と歌山線の併設区間の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
	・大阪府恩智川治水緑地建設予定地内遺跡の発掘調査に着手。
2年4月1日	・大阪府新庁舎建設整備事業地内の大坂城跡発掘調査に着手。
	・組織の改正により、総務課、調査課、普及資料室の2課1室制とする。
9月1日	・財団法人大阪府博物館協会設立。
3年3月1日	・大阪府より委託を受け、安威川総合開発事業に伴う文化財総合調査に着手。
4年4月1日	・池島分室を八尾市福万寺町8丁目に設置。
11月27日	・財団法人大阪文化財センター設立20周年記念式典を開催。
12月12日	・財団法人大阪文化財センター設立20周年記念シンポジウム「みる きく ふれる 古代のコメ作りー農耕の技術とまつりー」を開催。
6年5月31日	・東大阪文化財整理収蔵庫（東大阪市長田東1丁目1537番1号）の竣工。長田分室を移転。
8月20日	・普及資料室を長田分室に移転。
7年3月31日	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会との統合にかかる寄附行為の変更許可を受ける。
7年4月1日	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、財団法人大阪府文化財調査研究センターと名称変更。
	・本部事務所を大阪市城東区蒲生2丁目11番3号小森ビル内に設置。 新たに北部調査事務所を茨木市横江1丁目17番34号に開設。 旧財団法人大阪文化財センター長田分室を中部調査事務所とし、池島分室を中部調査事務所池島分室とする。 旧財団法人大阪府埋蔵文化財協会泉大津調査事務所（泉大津市旭町14番11号）を南部調査事務所とし、泉北分室を南部調査事務所泉北分室とする。
	・組織の改正により、総務部、調査部の2部制とし、総務部に総務課、普及資料課を置き、調査部に調整課及び北部、中部、南部の3調査事務所を置く。
5月9日	・シンボルマークを制定。
10月3日	・史跡整備事業に初めて着手（池上曾根遺跡）。
12月2日	・財団法人大阪府文化財調査研究センター発足記念公開シンポジウム「考古学から災害と復興を考える」開催。
12月15日	・南部調査事務所を堺市熊野町西1丁目2番22号に移転。
8年6月6日	・全国埋蔵文化財法人連絡協議会の会長に選任される。
9月30日	・北部調査事務所を箕面市今宮3丁目19番2号に移転。
9年2月12日	・泉佐野収蔵庫竣工。
3月31日	・文化財調査事務所（堺市竹城台3丁目21番4号）竣工（大阪府と共同建築）。
4月1日	・文化財調査事務所3階に泉ヶ丘資料室開設。
10年1月12日	・南阪奈道路関連の調査事業に着手するため、南部調査事務所古市分室を羽曳野市軽里3丁目1番13号に開設。
3月31日	・南部調査事務所泉北分室を閉鎖。

12年	8月21日	・本部事務所を堺市竹城台3丁21番4号に移転。泉ヶ丘資料室を閉鎖。
13年	2月1日	・南部調査事務所を堺市南田出井町1丁1番10号に移転。
	10月31日	・泉佐野収蔵庫を泉佐野市に移管する。
14年	2月25日	・財団法人大阪府博物館協会との統合にかかる寄附行為の変更認可を受ける。
	4月1日	・財団法人大阪府博物館協会と統合し、財団法人大阪府文化財センターに名称変更。 ・組織の改正により、総務部、調査部、普及部の3部及び弥生文化博物館部、近つ飛鳥博物館部、日本民家集落博物館部の3博物館部を置く。 ・日本民家集落博物館の管理運営、並びに大阪府立弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館の管理運営の受託事業を財団法人大阪府博物館協会より引継ぎ、実施。
	11月1日	・泉佐野収蔵庫（市に移管した収蔵庫の北西隣接地）竣工。
15年	1月25日	・財団法人大阪府文化財センター設立30周年記念展「過去からのメッセージ—大阪発掘30年—」を大阪府立弥生文化博物館において開催。
	3月31日	・北部調査事務所を閉鎖。
	4月1日	・第二京阪道路建設の調査事業の増加に伴い、京阪支所を寝屋川市堀溝1丁目1番15号に開設、京阪支所交野分室を交野市藤が丘1丁目2に開設。
16年	4月1日	・京阪支所を京阪調査事務所に、中部調査事務所池島分室を池島支所に名称変更。
18年	1月31日	・泉佐野第二収蔵庫を泉佐野市高松西2丁目に竣工。
	4月1日	・大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘の管理運営を指定管理者として受託。 ・組織の改正により、弥生文化博物館部、近つ飛鳥博物館部、日本民家集落博物館部の部制を廃止し、弥生文化博物館、近つ飛鳥博物館、日本民家集落博物館とする。
	10月6日	・日本民家集落博物館創立50周年記念式典を挙行。
19年	4月1日	・京阪調査事務所交野分室を京阪調査事務所に、京阪調査事務所整理棟を寝屋川分室に名称変更。京阪調査事務所門真分室を門真市岸和田2丁目5番32号に開設。
20年	4月1日	・組織の改正により、総務部を総務企画部に改め、普及部を廃止し、調査部に資料活用課を置く。
	7月31日	・京阪調査事務所門真分室を閉鎖。
21年	3月31日	・京阪調査事務所寝屋川分室を閉鎖。
	4月1日	・組織の改正により、調査事務所及び係制を廃止。総務企画課に総務企画グループを置く。調整課を廃止して調査課を置き、調査課に調整グループ及び調査グループを置く（各調査事務所、分室、支所は施設名とする）。 ・本部事務所に南部調査事務所を併設。
	5月31日	・古市分室を閉鎖。
23年	3月31日	・京阪調査事務所を閉鎖。
	4月1日	・大阪府より公益認定を受け、公益財団法人大阪府文化財センターに名称変更。
25年	3月29日	・池島支所を閉鎖。
25年	4月1日	・組織の改正により、総務企画部、調査部を廃止し、総務企画課、調整課、調査課の3課制とする。
28年	4月1日	・泉佐野市立歴史館いずみさのの管理運営を指定管理者として受託。 ・組織の改正により、従来の3課3館に加え歴史館いずみさのを置く。
令和3年	4月1日	・組織の改正により、調整課を廃止し、総務企画課、調査課の2課並びに弥生文化博物館、近つ飛鳥博物館、歴史館いずみさの、日本民家集落博物館とする。



## 日本民家集落博物館の沿革

昭和 31 年 5 月	・ 大阪府が関西電力株式会社から岐阜県大野郡白川村の合掌造り民家の寄贈を受け、これを豊中市内の府有地である服部緑地に移築することになり、同 8 月 20 日に復元を完了。
10 月 6 日	・ 豊中市立民俗館としてこれを一般に公開。
32 年 5 月	・ 大阪府服部緑地総合計画策定委員会が設置され、この文化部会において日本各地の代表的な民家を生活用具と共に移築し、我が国に類例をみない「日本民家集落」を設置する構想がたてられる。(構想計画 3 万坪)
33 年 4 月	・ 大阪府に豊中市立民俗館を移管する話が起り、府立とするために規模の拡大をめざすことになる。そのため日本民家集落後援会世話人、井口竹次郎・太田垣土郎等による発起人会を設立。
5 月 23 日	・ 国際見本市会館において日本民家集落後援会発起人会が開催され(発起人 87 名) 杉道助を会長として後援会が発足。
6 月 19 日	・ 財団法人日本民家集落設立許可(約 10,000 坪)。 設立許可申請代表者 加藤三之雄(大阪府教育委員)。 ・ 法人の役員は次のとおり(5 月の後援会/発起人会で選任)。 会 長 杉 道助 大阪商工会議所会頭 副会長 太田垣土郎 関西電力株式会社社長 同 松原与三松 日立造船株式会社社長
10 月	・ 奄美大島の高倉、復元移築完了。
34 年 5 月 6 日	・ 飛騨白川の合掌造り民家、重要民俗資料の指定を受ける。
5 月 30 日	・ 日向椎葉の民家、河内布施の長屋門、復元移築完了。
35 年 3 月 31 日	・ 豊中市立民俗館が市議会の議決を経て廃館となり、設置運営が財団法人日本民家集落に移管される。 ・ 同日、飛騨白川の合掌造り民家及び河内布施の長屋門の所有権が大阪府議会の議決を経て財団法人日本民家集落に無償譲渡される。
4 月 1 日	・ 日本民家集落博物館として博物館法による登録。 理事長 加藤三之雄(大阪府教育委員)。
5 月	・ 堂島の米蔵、摂津能勢の民家、復元移築完了。
36 年 1 月	・ 信濃秋山の民家、復元移築完了。
3 月 6 日	・ 財団法人日本民家集落を財団法人日本民家集落博物館に名称変更。
37 年 3 月	・ 大和十津川の民家、復元移築完了。
38 年 3 月	・ 越前敦賀の民家、小豆島の農村歌舞伎舞台、南部の曲家、復元移築完了。
39 年 5 月 29 日	・ 信濃秋山の民家、摂津能勢の民家、重要文化財指定を受ける。
45 年 3 月 25 日	・ 南部の曲家の屋根失火により一部焼失、葺き替え。
48 年 2 月 23 日	・ 日向椎葉の民家、重要文化財指定を受ける。同時に屋根一部葺き替え。
49 年 3 月 29 日	・ 南部の曲家、大和十津川の民家、越前敦賀の民家、奄美大島の高倉、大阪府指定有形文化財の指定を受ける。 ・ 小豆島の農村歌舞伎舞台、大阪府指定有形民俗資料の指定を受ける。
54 年 1 月	・ 堺の風車移築。
3 月 20 日	・ 大和十津川の民家、屋根全面葺き替え。 ・ 日向椎葉の民家、屋根及び牛小屋葺き替え。
55 年 11 月	・ 奄美大島の高倉、屋根全面葺き替え(大西氏寄贈)。
56 年 3 月	・ 第一ブロックと第二ブロック間の小径を大阪府北部公園より借用し、両ブロックを合併する(大阪府北部公園より借用用地約 13,000 坪)。
8 月	・ 寄附行為を改正し、賛助会員制度の条項を加える(賛助金 1 口 3 万円)。

57年	3月	・ 賛助会社 41 社となる。
	5月	・ 信濃秋山の民家、棟修理。
	10月	・ 財団法人日本民家集落再建 10 年計画なる。
	12月	・ 資料室、一部改修。
58年	9月	・ 信濃秋山の民家、茅壁修理。
59年	5月	・ 南部の曲家、屋根一部修理（継続事業）。
	8月	・ 小豆島の農村歌舞伎舞台、床張り修理（鴻池組寄贈）。
	9月	・ 日向椎葉の民家、屋根一部差茅修理（大西氏寄贈）。
60年	2月	・ 南部の曲家、屋根葺き替え工事（継続事業）完成。
	3月	・ 飛騨白川の合掌造り民家、木工部及び屋根一部差茅修理。
		・ 摂津能勢の民家、屋根一部差茅修理。
	6月	・ 河内布施の長屋門、一部修理。資料室、屋根一部修理。
		・ 堂島の米蔵、外装塗り替え修理。
	10月 10日	・ 法人設立 25 周年記念式典。
	11月 3日	・ 大阪府教育委員会より教育功労賞受賞。
61年	3月	・ 民家土間の土補充、整地。
		・ 摂津能勢の民家、屋根一部差茅修理。
	9月	・ 小豆島の農村歌舞伎舞台、葺き替え修理。
	11月	・ 外周柵、改修工事完了。
62年	2月	・ 信濃秋山の民家、屋根一部修理。
	3月 24日	・ 賛助金 1 口 5 万円に改正。
63年	3月	・ 賛助会社 89 社となる。
		・ 日向椎葉の民家、犬走り新設。
	6月	・ 府指定民家 5 棟、自動火災警報装置新設（昭和 62・63 年度事業）。
平成 元年	3月	・ 信濃秋山の民家、越前敦賀の民家、屋根全面葺き替え。
		・ 摂津能勢の民家、屋根一部差茅修理。
		・ 小豆島の農村歌舞伎舞台、舞台上に展示舞台装置新設。
2年	3月	・ 下水工事及びトイレ 2 棟竣工（大阪府土木部）。
5年	1月	・ 日向椎葉の民家、屋根一部修理。
	3月	・ 大和十津川の民家、土蔵一部修理。
	7月	・ 飛騨白川の合掌造り民家、屋根全面葺き替え及び部分修理。
6年	2月	・ 摂津能勢の民家、防腐・防虫・防蟻処理。
	10月	・ 自動火災報知機受信機取替工事。
	11月 28日	・ 理事会において、博物館の財政悪化に対して活性化の方策、大阪府への移管要望について審議される。
7年	1月 17日	・ 阪神・淡路大震災により堂島の米蔵が全壊するなどの被害を蒙り、2 週間にわたり臨時休館。
8年	3月	・ 飛騨白川の合掌造り民家、大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家の震災被害補修終了。
9年	3月	・ 大和十津川の民家、屋根全面葺き替え。
	3月 31日	・ 財団法人日本民家集落博物館解散。

	4月1日	・財団法人大阪府博物館協会日本民家集落博物館となる。
	10月	・堂島の米蔵、修理。
11年	8月	・摂津能勢の民家、屋根小修理。
	10月	・南部の曲家、越前敦賀の民家、土間修理。
12年	3月	・大和十津川の民家、土間修理。
13年	4月	・ボランティアによる諸活動を開始する。
	3月31日	・財団法人大阪府博物館協会解散。
14年	4月1日	・財団法人大阪府文化財センター日本民家集落博物館となる。
15年	7月	・日本民家集落博物館補修計画検討委員会（委員長・青山賢信 大阪工業大学名誉教授）を設置。
	8月	・展示室「カルチュアはっとり」（編集註：現セミナーハウス）新設。
17年	1月	・北河内の茶室、移築復元。
	6月	・「移築民家を守る会」発足。
18年	4月1日	・開館時間を年間を通じて午前9時30分から午後5時とする。
	10月6日	・開館50周年記念式典。
19年	1月	・日向椎葉の民家、解体修理着工（平成18～20年度事業）。
	5月21日	・日向椎葉の民家、起工式。
20年	3月	・館内電気幹線の全面改修。
	7月8日	・日向椎葉の民家、竣工式。
	7月	・館内火災報知器全面改修。
23年	3月	・摂津能勢の民家、屋根全面葺き替え。
	8月	・大和十津川の民家、越前敦賀の民家、土間修理。
	9月	・台風12号により堺の風車が倒壊。
24年	4月	・むかしのくらし展示コーナー改修。
	10月	・小豆島の農村歌舞伎舞台、補修。
25年	2月28日	・南部の曲家、保存修理工事着工（平成24・25年度事業）。
	3月	・堺の風車修復。
	9月15日	・南部の曲家、保存修理工事完了。
26年	2月25日	・飛騨白川の合掌造り民家、保存修理工事着工（平成25・26年度事業）。
27年	3月31日	・飛騨白川の合掌造り民家、保存修理工事完了。
29年	6月28日	・河内布施の長屋門、堂島の米蔵、北河内の茶室が国登録有形文化財となる。
30年	6月18日	・大阪北部地震により各民家に土壁剥落・亀裂等の被害が生じる。
31年	3月	・摂津能勢の民家、大和十津川の民家、南部の曲家、越前敦賀の民家、小豆島の農村歌舞伎舞台、大和十津川の民家において大阪北部地震による被害復旧工事。 ・大和十津川の民家、耐震補強工事。
	3月31日	・大阪北部地震により被害を受けた河内布施の長屋門（事務所として使用）に替わる事務所棟として、福島県いわき市から東日本大震災の応急仮設住宅を移築。竣工式。
令和2年	6月1日	・信濃秋山の民家、保存修理工事着工（令和元～3年度事業）。
	12月	・奄美大島の高倉、屋根全面葺き替え（公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会協力）。
4年	3月	・信濃秋山の民家、保存修理工事完了。



## 財団法人大阪府埋蔵文化財協会の沿革

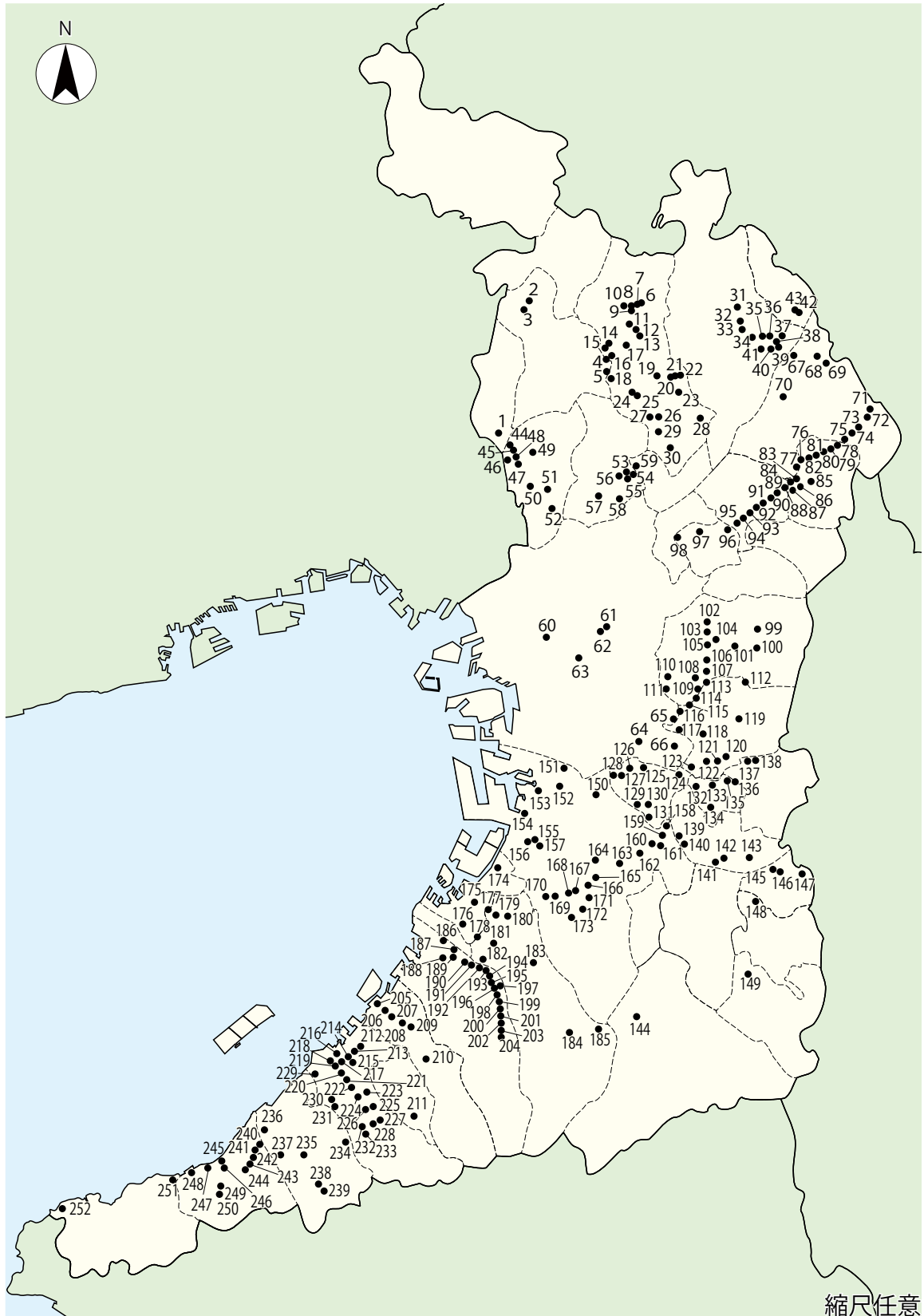
昭和 60 年 4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関西国際空港建設に伴う埋蔵文化財発掘調査を主に担当する組織として、財団法人大阪府埋蔵文化財協会設立。</li> <li>・ 事務所を大阪市東区谷町 2 丁目 36 番地大手前ウサミビルに置く。</li> </ul>
年 4 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技師職員採用。</li> </ul>
年 5 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近隣府県・府下市町村から技師の派遣を得て、調査課 5 班体制（のち 6 班）を組み、発掘調査を開始。</li> </ul>
61 年 3 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泉大津市に調査事務所（整理事務所）を開設。</li> </ul>
年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泉大津調査事務所に資料係を設置。</li> </ul>
62 年 3 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高石市の府道高架下に収蔵庫建設（高石収蔵庫）。</li> </ul>
63 年 12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泉佐野市に空港連絡道路用地調査対策として泉佐野調査事務所を設置。</li> </ul>
平成 元 年 4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空港連絡道路専従調査班として 3 班を泉佐野調査事務所兼務とする。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岸和田市の府道高架下に収蔵庫を建設（春木収蔵庫）。</li> </ul>
4 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空港連絡道路の現地発掘調査終了に伴い泉佐野調査事務所閉所。</li> </ul>
5 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅都市整備公団が行う国際文化公園都市の分布調査を実施。</li> </ul>
6 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際文化公園都市事業地区内の発掘調査を開始。</li> </ul>
7 年 3 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人の統合に伴い解散。</li> </ul>

## 財団法人大阪府博物館協会の沿革

平成 2 年 9 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財団法人大阪府博物館協会設立。</li> <li>・ 事務所を和泉市池上町 443 番地（大阪府立弥生文化博物館内）に置く。</li> </ul>
3 年 1 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大阪府より、大阪府立弥生文化博物館の管理運営ならびに入館料徴収事務を受託。</li> </ul>
年 2 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大阪府立弥生文化博物館開館。</li> </ul>
5 年 4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大阪府立弥生文化博物館駐車場拡張整備完了。</li> </ul>
年 11 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大阪府より、大阪府立近つ飛鳥博物館の管理運営ならびに入館料徴収事務を受託。</li> </ul>
6 年 3 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大阪府立近つ飛鳥博物館開館。</li> </ul>
年 3 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休館日を月曜日に変更。</li> </ul>
年 4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大阪府より大阪府立近つ飛鳥風土記の丘の管理運営を受託。</li> </ul>
9 年 4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財団法人日本民家集落博物館を統合。</li> </ul>
14 年 3 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人の統合に伴い解散。</li> </ul>

# 事業1 埋蔵文化財調査事業

## 1. 調査地分布図



- |               |                |                |                 |                |
|---------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|
| 1. 住吉宮の前遺跡    | 53. 吹田操車場遺跡    | 103. 西岩田遺跡     | 156. 浜寺元町遺跡     | 208. 石才南遺跡     |
| 2. 小畑遺跡       | 54. 吹田操車場遺跡B地点 | 104. 岩田遺跡      | 157. 下田遺跡       | 209. 清見遺跡      |
| 3. 止々呂美遺跡     | 55. 目依遺跡       | 105. 瓜生堂遺跡     | 158. 丹上遺跡       | 210. 三ヶ山西遺跡    |
| 4. 粟生間谷遺跡     | 56. 片山荒池遺跡     | 106. 巨摩廃寺遺跡    | 159. 真福寺遺跡      | 211. 成合寺遺跡     |
| 5. 庄田遺跡       | 57. 西の庄遺跡      | 107. 若江北遺跡     | 160. 黒山遺跡       | 212. 湊遺跡       |
| 6. 千提寺市販遺跡    | 58. 中ノ坪遺跡      | 108. 新上小阪遺跡    | 161. 太井遺跡       | 213. 上町東遺跡     |
| 7. 千提寺クルス山遺跡  | 59. 明和池遺跡      | 109. 友井東遺跡     | 162. 余部・日置荘遺跡   | 214. 若宮遺跡      |
| 8. 千提寺西遺跡     | 60. 旧大阪庁舎跡     | 110. 弓削ノ庄遺跡    | 163. 福田遺跡       | 215. 上町遺跡      |
| 9. 千提寺南遺跡     | 61. 大坂城跡       | 111. 亀田遺跡      | 164. 深井清水町遺跡    | 216. 大場遺跡      |
| 10. 日奈戸遺跡     | 62. 難波宮跡       | 112. 池島・福万寺遺跡  | 165. 平井遺跡       | 217. 大西遺跡      |
| 11. 佐保遺跡      | 63. 難波御蔵跡      | 113. 山賀遺跡      | 166. 小阪遺跡       | 218. 松原遺跡      |
| 12. 佐保来栖山砦跡   | 船出遺跡           | 114. 美園遺跡      | 167. 太平寺遺跡      | 219. 中開遺跡      |
| 13. 佐保来栖山南墳墓群 | 64. 瓜破北遺跡      | 115. 佐堂遺跡      | 168. 万崎池遺跡      | 220. 末廣遺跡      |
| 14. 粟生岩阪北遺跡   | 65. 亀井北遺跡      | 116. 久宝寺遺跡     | 169. 菱木下遺跡      | 221. 安松遺跡      |
| 15. 粟生岩阪遺跡    | 66. 長原遺跡       | 117. 亀井遺跡      | 170. 西浦橋遺跡      | 222. 長滝遺跡      |
| 16. 徳大寺遺跡     | (城山遺跡)         | 118. 植松遺跡      | 171. 伏尾遺跡       | 223. 中嶋遺跡      |
| 17. 宿久庄北遺跡    | 67. 淀川河床遺跡     | 119. 小阪合遺跡     | 172. 大庭寺遺跡      | 224. 植田池遺跡     |
| 18. 宿久庄西遺跡    | 68. 船橋遺跡       | 120. 志紀遺跡      | 173. 野々井遺跡      | 225. 宮ノ前遺跡     |
| 19. 耳原遺跡      | 69. 招提北代遺跡     | 121. 田井中遺跡     | 174. 伽羅橋遺跡      | 226. 日根野遺跡     |
| 20. 太田廃寺跡     | 70. 禁野本町遺跡     | 122. 木の本遺跡     | 175. 池園遺跡       | 227. 母山遺跡      |
| 21. 太田遺跡      | 71. 藤阪大亀谷遺跡    | 123. 八尾南遺跡     | 176. 虫取遺跡       | 228. 棚原遺跡      |
| 22. 太田城跡      | 72. 杉中責谷遺跡     | 124. 大堀遺跡      | 177. 池上曾根遺跡     | 229. 羽倉崎遺跡     |
| 23. 総持寺遺跡     | 73. 杉遺跡        | 125. 三宅西遺跡     | 178. 板原遺跡       | 230. 諸日遺跡      |
| 24. 郡遺跡       | 74. 津田城遺跡      | 126. 池内遺跡      | 179. 伯太北遺跡      | 231. 三軒屋遺跡     |
| 25. 倍賀遺跡      | 75. 津田遺跡       | 127. 天美北6丁目遺跡  | 180. 伯太藩陣屋跡     | 232. 向井代遺跡     |
| 26. 中条小学校遺跡   | 76. 上の山遺跡      | 128. 大和川今池遺跡   | 信太千塚古墳群         | 233. 向井池遺跡     |
| 27. 松ヶ本南遺跡    | 77. 茄子作遺跡      | 129. 新堂遺跡      | 181. 和泉寺跡       | 234. 別所遺跡      |
| 28. 溝咋遺跡      | 78. 東倉治遺跡      | 130. 河合遺跡      | 182. 小田遺跡       | 235. 滑瀬遺跡      |
| 29. 東奈良遺跡     | 79. 倉治遺跡       | 131. 清堂遺跡      | 183. 池田寺遺跡      | 236. 男里遺跡      |
| 30. 玉柳遺跡      | 80. 有池遺跡       | 132. 津堂遺跡      | 184. 仏並遺跡       | 237. 岡中西遺跡     |
| 31. 成合地獄谷遺跡   | 81. 上私部遺跡      | 133. 西大井遺跡     | 185. 福瀬遺跡       | 238. 童子畑遺跡     |
| 32. 成合遺跡      | 82. 私部南遺跡      | 134. はざみ山遺跡    | 186. 吉井遺跡       | 239. 童子畑北遺跡    |
| 33. 金龍寺旧境内跡   | 83. 平池遺跡       | 135. 川北遺跡      | 187. 箕土路遺跡      | 240. 久保田遺跡     |
| 成合古墳群         | 84. 四馬塚遺跡      | 136. 船橋遺跡      | 188. 兵主廃寺       | 241. 向出遺跡      |
| 34. 磐手杜古墳群    | (東高野街道)        | 137. 大県郡条里遺跡   | 189. 下池田遺跡      | 242. 向山遺跡      |
| 35. 梶原古墳群     | 85. 坊領遺跡       | 138. 山ノ井遺跡     | 190. 西大路遺跡      | 243. 亀川遺跡      |
| 36. 梶原寺跡      | 86. 堀之内遺跡      | 139. 郡戸遺跡      | 191. 今木遺跡       | 244. 井関遺跡      |
| 37. 梶原南遺跡     | 87. 星田駅北遺跡     | 140. 河原城遺跡     | 今木廃寺            | 245. 貝掛遺跡      |
| 38. 梶原西遺跡     | 88. 寝屋東遺跡      | 141. 尺度遺跡      | 192. 軽部池西遺跡     | 246. 金剛寺遺跡     |
| 39. 上牧遺跡      | 89. 寝屋南遺跡      | 142. 西浦東遺跡     | 193. 山ノ内遺跡      | 247. 箱作・今池遺跡   |
| 40. 井尻遺跡      | 90. 奥山遺跡       | 143. 駒ヶ谷遺跡     | 194. 山直北遺跡      | 248. 田山遺跡      |
| 41. 萩之庄南遺跡    | 91. 太秦遺跡       | 蔵塚古墳           | 195. 三田遺跡       | 249. 井山城跡      |
| 42. 尾山遺跡      | (太秦古墳群)        | 144. 高向遺跡      | 196. 上フジ遺跡      | 250. 箱作ミノバ石切場跡 |
| 43. 御所池瓦窯跡    | 92. 大尾遺跡       | 145. 棕谷石切場跡    | 197. 三田古墳       | 251. 山田海岸遺跡    |
| 44. 蛭池北遺跡     | 93. 高宮遺跡       | 146. 田須谷古墳群    | 198. 二俣池北遺跡     | 252. 小島北磯遺跡    |
| (宮の前遺跡)       | 94. 小路遺跡       | 147. 楠木石切場跡    | 199. 水込遺跡       |                |
| 45. 蛭池東遺跡     | 95. 讃良郡条里遺跡    | 148. 東山遺跡      | 200. 黒石遺跡       |                |
| 46. 蛭池西遺跡     | 96. 巢本遺跡       | 149. 出合遺跡      | 201. 山直中遺跡      |                |
| 47. 蛭池遺跡      | 97. 普賢寺遺跡      | 150. 新金岡更池遺跡   | 202. 芝ノ垣外遺跡     |                |
| 48. 麻田藩陣屋跡    | 98. 西三荘遺跡      | 151. 並松町遺跡     | 203. 土井ノ木遺跡     |                |
| 49. 本町遺跡      | 99. 鬼虎川遺跡      | 152. 堺環濠都市遺跡   | 204. 中之社遺跡      |                |
| 50. 勝部遺跡      | 100. 北鳥池遺跡     | 153. 堺会場跡(砲台跡) | 205. 脇浜遺跡       |                |
| 51. 服部遺跡      | 101. 花屋敷遺跡     | 154. 湊海岸遺跡     | 206. 加治・神前・畠中遺跡 |                |
| 52. 庄内遺跡      | 102. 新家遺跡      | 155. 四ッ池遺跡     | 207. 橋本遺跡       |                |



## 2. 受託事業

### 大阪文化財センター

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
S47	整理	池上曾根／四ツ池遺跡	和泉市・堺市	第2 阪和国道	建設省
S47	分布	雁多尾畑古墳群	柏原市	亀の瀬地すべり対策	建設省
S47	分布		河内長野市 / 和泉市 / 岸和田市 / 貝塚市 / 熊取町	主要地方道枚方・富田林・泉佐野バイパス	大阪府土木部
S47	分布		阪南町	泉南郡阪南町箱作開発	第一地所 (株)
S47	分布		阪南町	阪南町自然田地区開発	大正不動産 (株)
S47	分布		阪南町	泉南郡阪南町箱作開発	南海電鉄 (株)
S48	整理	池上曾根／四ツ池遺跡	和泉市 / 堺市	第2 阪和国道	建設省
S48	整理	上松中尾遺跡	岸和田市	日生住宅中尾台建設	日生住宅
S48	試掘	亀井／久宝寺／友井東遺跡	東大阪市 / 八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S48	試掘	城山／長原遺跡	大阪市	高速電気軌道第2号線建設	大阪市交通局
S48	試掘		和泉市	和泉市内田町及び唐国町開発	積水ハウス (株)
S48	試掘	高井田横穴群	柏原市	柏原市高井田開発	村本建設 (株)
S48	分布	平尾山古墳群／高井田横穴群	柏原市	柏原市高井田開発	村本建設 (株)
S48	分布 / 試掘	雁多尾畑古墳群	柏原市	亀の瀬地すべり対策	建設省
S48	分布		能勢町	豊能郡能勢町吉川開発	能勢電鉄 (株)
S49	整理	箕土路／土生遺跡	岸和田市	岸和田遺跡調査会の遺物整理	岸和田遺跡調査会
S49	整理	豊中／七ノ坪／要池遺跡	泉大津市	豊中古池遺跡調査会の遺物整理	豊中古池遺跡調査会
S49	整理	金岡遺跡	堺市	大阪府教育委員会の遺物整理	府教委
S49	整理	大園遺跡	高石市	大園遺跡調査会の遺物整理	大園遺跡調査会
S49	整理	池上曾根／四ツ池遺跡	和泉市 / 堺市	第2 阪和国道	建設省
S49	撮影	古墳／神社／仏閣		大阪府教職員互助組合の写真撮影	府教職員互助組合
S49	撮影			兵庫県教育委員会の埋蔵文化財の写真撮影	兵庫県教委
S49	撮影			その他、写真撮影及び現像処理	
S49	試掘	瓜生堂／新家／西岩田／巨摩／若江北／山賀遺跡	東大阪市 / 八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S49	分布 / 試掘	大園／観音寺遺跡	堺市 / 和泉市 / 泉大津市 / 高石市	都市計画道路松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S49	分布		熊取町	熊取町開発	戸田建設 (株)
S49	分布		泉南市	泉南市信達市開発	大正不動産 (株)
S49	分布		池田市	池田市伏尾地区開発	阪急不動産 (株)
S50	整理	大園遺跡	和泉市 / 高石市	大園遺跡出土遺物整理	大園遺跡調査会
S50	整理	上池遺跡	泉大津市	上池遺跡出土遺物整理	豊中古池遺跡調査会
S50	整理	池上曾根／四ツ池遺跡	和泉市 / 堺市	第2 阪和国道	建設省
S50	整理	土生／畑遺跡	岸和田市	畑遺跡出土遺物整理	岸和田遺跡調査会
S50	撮影	瓜生堂遺跡	東大阪市	瓜生堂遺跡出土遺物の写真撮影	瓜生堂遺跡調査会
S50	撮影	豊中・古池遺跡	泉大津市	豊中・古池遺跡出土遺物の写真撮影	豊中古池遺跡調査会
S50	撮影			その他、写真撮影及び現像処理	
S50	試掘	久宝寺／城山遺跡	八尾市 / 大阪市	大阪瓦斯河内ラインガス導管理設	大阪瓦斯 (株)
S50	試掘	瓜破遺跡	大阪市	大阪府道高速大阪松原線建設	阪神高速道路公団
S50	試掘	寺門古墳群／和気遺跡	和泉市	寺門団地他3団地開発	府住宅供給公社
S50	試掘	脇浜／畠中／石才近義堂遺跡	貝塚市	都市計画道路貝塚中央線建設	大阪府土木部
S50	試掘	真福寺遺跡	美原町	都市計画道路松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S50	試掘	鈴の宮遺跡	堺市	日本住宅公団鈴の宮団地開発	日本住宅公団
S50	試掘	船橋遺跡	柏原市	大和川環境整備事業柏原地区高水敷整正工事	建設省
S50	分布		阪南町	新規霊園建設	大阪市環境事業局
S50	分布		阪南町	阪南町所在開発	大正不動産 (株)
S50	分布		美原町 / 羽曳野市 / 太子町	国道166号線バイパス	建設省
S51	整理	池上曾根／四ツ池遺跡	和泉市 / 堺市	第2 阪和国道建設	建設省
S51	試掘	松原遺跡	大阪市	阿倍野区帝塚山一丁目開発	帝塚山観光 (株)
S51	試掘	大園遺跡	泉大津市	泉大津助松団地開発	府住宅供給公社
S51	試掘	原田遺跡	豊中市	猪名川流域下水道原田処理場拡張	大阪府土木部
S51	試掘	みどり山古墳群	岬町	町営グラウンド造成計画	岬町教委
S51	試掘	如意谷遺跡	箕面市	如意谷(2)事業	日本住宅公団
S51	試掘	船橋遺跡	藤井寺市	大和川環境整備事業柏原地区高水敷整正工事	建設省
S51	撮影	豊中・古池遺跡	泉大津市	豊中・古池遺跡出土遺物の写真撮影	豊中古池遺跡調査会
S51	撮影			その他、写真撮影及び現像処理	
S51	調査	長原遺跡	大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S52	整理	池上曾根／四ツ池遺跡	和泉市 / 堺市	第2 阪和国道建設	建設省
S52	撮影			写真撮影及び現像処理	
S52	試掘	二子山古墳／土保山古墳	高槻市	大阪府営水道事業第6次拡張事業揚送水管布設工事	大阪府水道部
S52	試掘	亀井遺跡	八尾市	寝屋川南部流域下水道事業長吉ポンプ場築造	大阪府土木部

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
S52	試掘	伯太北遺跡	和泉市	都市計画道路池上下宮線建設	大阪府土木部
S52	分布		羽曳野市 / 太子町	南河内道路	建設省
S52	調査	瓜生堂遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S52	調査	茶山遺跡	羽曳野市	羽曳野市立菅田中学校体育館建替	羽曳野市教委
S52	調査	林遺跡	藤井寺市	藤井寺市立道明寺中学校 LL 教室新設工事	藤井寺市教委
S53	整理	池上曾根 / 四ツ池遺跡	和泉市 / 堺市	第 2 阪和国道	建設省
S53	試掘	チンチンの森遺跡他	太子町	太子町西山地区特定土地区画整理事業	太子町
S53	試掘	田山遺跡	阪南町	淡輪箱作海岸地区海岸環境事業	大阪府土木部
S53	試掘	脇浜 / 畠中 / 石才近義堂遺跡	貝塚市	都市計画街路貝塚中央線	大阪府土木部
S53	試掘	明八塚遺跡他	富田林市	富田林市市道伏見堂東西線新設	富田林市
S53	調査	巨摩 / 瓜生堂遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S53	調査	西岩田遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S53	調査	亀井 / 城山遺跡	八尾市 / 大阪市	寝屋川南部流域下水道事業長吉ポンプ場ほか	大阪府土木部
S54	調査	若江北遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S54	調査	亀井遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S54	調査	新家遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S54	調査	友井東遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S54	調査	山賀遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S54	調査	山賀遺跡	東大阪市 / 八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S54	調査	山賀遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S54	調査	山賀遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S55	調査	久宝寺遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S55	調査	久宝寺遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S55	調査	久宝寺遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S55	調査	佐堂遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S55	調査	佐堂遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S55	調査	美園遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S55	調査	美園遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S55	調査	美園遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S55	調査	西岩田遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S55	調査	大平寺遺跡	堺市	都計道松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S55	調査	菱木下遺跡	堺市	都計道松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S55	調査	万崎池遺跡	堺市	都計道松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S55	調査	万崎池遺跡	堺市	都計道松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S55	調査	万崎池遺跡	堺市	都計道松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S55	調査	西浦橋遺跡	堺市	都計道松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S55	調査	田山遺跡	阪南町	淡輪・箱作海岸地区海岸環境整備事業	大阪府土木部
S55	調査	亀井遺跡	八尾市	寝屋川南部流域下水道事業長吉ポンプ場築造	大阪府土木部
S56	調査	大堀遺跡	松原市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S56	調査	大堀遺跡	松原市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S56	調査	亀井遺跡	大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S56	調査	新家遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S56	試掘	成合寺遺跡	熊取町	近畿道和歌山線建設	日本道路公団
S56	試掘	丹上遺跡	美原町	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S56	試掘	福田遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S57	調査	大堀遺跡	松原市	大和川下流東部流域下水道大井処理場放流幹線建設事業	大阪府土木部
S57	調査	新家遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S57	調査	友井東遺跡	八尾市 / 東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S57	調査	巨摩 / 若江北遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S57	調査	久宝寺遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S57	調査	久宝寺遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S57	調査	城山遺跡	大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S57	調査	城山遺跡	大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S57	調査	城山遺跡	大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S57	試掘	真福寺遺跡	美原町	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S57	試掘	観音寺遺跡	松原市	近畿自動車道和歌山線建設	日本道路公団
S57	調査	西浦橋遺跡	堺市	都計道松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S58	調査	山賀遺跡	八尾市 / 東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S58	調査	山賀遺跡	八尾市 / 東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S58	試掘	亀井北遺跡	大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S58	調査	亀井北遺跡	大阪市 / 八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S58	調査	亀井北遺跡	大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S58	調査	亀井北遺跡	大阪市 / 八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S58	調査	新家遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S58	調査	佐堂遺跡	東大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S58	調査	長原遺跡	大阪市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S58	試掘	観音寺遺跡	松原市	近畿道和歌山線建設	日本道路公団

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
S58	試掘	成合寺遺跡	熊取町	近畿道和歌山線建設	日本道路公団
S58	試掘	片添遺跡	河内長野市	三日市地区特定土地区画整理事業	住宅都市整備公団
S58	調査	西浦橋遺跡	堺市	都計道松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S59	調査	大堀城跡	松原市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S59	調査	美園遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S59	調査	観音寺遺跡	松原市	近畿道和歌山線建設	日本道路公団
S59	調査	成合寺遺跡	熊取町	近畿道和歌山線建設	日本道路公団
S59	調査	真福寺遺跡	美原町	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S59	整理	天理吹田線関連遺跡		近畿道天理～吹田線	日本道路公団
S60	整理	天理吹田線関連遺跡		近畿道天理～吹田線	日本道路公団
S60	試掘	小阪／平井遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S60	調査	亀井遺跡	大阪市 / 八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S60	調査	久宝寺遺跡	八尾市	近畿道天理～吹田線建設	日本道路公団
S60	調査	観音寺遺跡	大阪市	近畿道和歌山線建設	日本道路公団
S60	調査	丹上遺跡	美原町	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S60	調査	丹上遺跡	美原町	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S60	調査	真福寺遺跡	美原町	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S60	調査	太井遺跡	美原町	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S60	調査	小阪遺跡	堺市	都市計画道路松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S60	分布		河内長野市	河内長野市上原地区の区画整理事業	河内長野市
S61	整理	天理吹田線関連遺跡		近畿道天理～吹田線	日本道路公団
S61	試掘	日置荘遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団
S61	調査	丹上遺跡	松原市 / 美原町	近畿道和歌山線建設	日本道路公団
S61	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S61	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S61	調査	真福寺遺跡	美原町	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S61	試掘	丹上遺跡	松原市 / 美原町	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S61	調査	福田遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S61	調査	太井遺跡	美原町	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S61	調査	太井遺跡	美原町	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S61	調査	小阪遺跡	堺市	都計道松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S61	試掘	丹上遺跡	美原町	都計道松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S61	調査	丹上遺跡	美原町	都計道松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S61	調査	丹上遺跡	美原町	都計道松原～泉大津線建設	大阪府土木部
S62	整理	天理吹田線関連遺跡		近畿道天理～吹田線	日本道路公団
S62	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S62	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S62	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S62	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S62	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道和歌山線建設	日本道路公団
S62	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道和歌山線建設	日本道路公団
S62	調査	日置荘遺跡	美原町	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S62	調査	日置荘遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S62	調査	日置荘遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S62	調査	日置荘遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S62	調査	福田遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S63	調査	天理吹田線関連遺跡		近畿道天理～吹田線	日本道路公団
S63	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道和歌山線建設	日本道路公団
S63	調査	小阪遺跡	堺市	都計道松原泉大津線建設	大阪府土木部
S63	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道和歌山線建設	日本道路公団
S63	調査	小阪遺跡	堺市	都計道松原泉大津線建設	大阪府土木部
S63	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道和歌山線建設	日本道路公団
S63	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S63	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
S63	調査	日置荘遺跡	堺市 / 美原町	近畿道和歌山線及び都計道松原～泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H元	調査	太井遺跡	美原町	近畿道松原海南線及び都計道泉大津美原線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H元	調査	日置荘遺跡	美原町	近畿道松原海南線及び都計道泉大津美原線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H元	調査	日置荘遺跡	堺市	近畿道松原海南線及び都計道泉大津美原線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H元	調査	日置荘遺跡	堺市	近畿道松原海南線及び都計道泉大津美原線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H元	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道松原海南線建設	日本道路公団
H元	調査	大庭寺遺跡	堺市	近畿道松原海南線建設	日本道路公団
H元	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H元	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H元	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H元	整理	天理吹田線関連遺跡		近畿道天理～吹田線	日本道路公団
H元	整理	小阪遺跡	堺市	近畿道松原海南線及び都計道泉大津美原線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H2	調査	太井遺跡	美原町	近畿道松原海南線及び都計道泉大津美原線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H2	調査	日置荘遺跡	美原町	近畿道松原海南線及び都計道泉大津美原線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H2	調査	日置荘遺跡	堺市	近畿自松原海南線及び都計道泉大津美原線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H2	調査	日置荘遺跡	堺市	近畿道松原海南線及び都計道泉大津美原線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H2	調査	小阪遺跡	堺市	近畿道松原海南線建設	日本道路公団
H2	調査	大庭寺遺跡	堺市	近畿道松原海南線建設	日本道路公団
H2	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H2	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H2	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H2	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H2	調査	大坂城跡	大阪市	大阪府新庁舎建設整備	大阪府
H2	整理	天理吹田線関連遺跡		近畿道天理～吹田線	日本道路公団
H2	総合		茨木市	安威川総合開発事業	大阪府土木部
H3	調査	太井遺跡	美原町	近畿道松原海南線及び都計道泉大津美原線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H3	調査	伏尾遺跡	堺市	近畿道松原海南線建設	日本道路公団
H3	調査	大庭寺遺跡	堺市	近畿道松原海南線建設	日本道路公団
H3	調査	大坂城跡	大阪市	大阪府新庁舎建設整備	大阪府
H3	調査	大坂城跡	大阪市	大阪府新庁舎建設整備	大阪府
H3	調査	巨摩ノ若江北遺跡	東大阪市	都計道大阪中央環状線巨摩橋立体交差化仮設迂回路建設	大阪府土木部
H3	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H3	整理	天理吹田線関連遺跡		近畿道天理～吹田線	日本道路公団
H3	整理	日置荘遺跡	堺市 / 美原町	近畿道松原海南線及び都計道泉大津美原線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H3	総合		茨木市	安威川総合開発事業	大阪府土木部
H4	調査	伏尾遺跡	堺市	近畿道松原海南線建設	日本道路公団
H4	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H4	調査	大坂城跡	大阪市	大阪府新庁舎建設整備に	大阪府
H4	調査	観音寺ノ丹上遺跡	松原市	主要地方道大阪中央環状線改良工事	大阪府土木部
H4	調査	新家遺跡	東大阪市	近畿道天理吹田線東大阪ジャンクション、第7ランプ建設	日本道路公団
H4	調査	蛭池遺跡	豊中市	大阪モノレール蛭池東線・西線建設	大阪府土木部
H4	調査	蛭池東遺跡	豊中市	大阪モノレール蛭池東線・西線建設	大阪府土木部
H4	調査	蛭池西遺跡	豊中市	大阪モノレール蛭池東線・西線建設	大阪府土木部
H4	調査	宮の前遺跡	豊中市	大阪モノレール蛭池東線・西線建設	大阪府土木部
H4	調査	和道遺跡	摂津市	都計道大阪モノレール建設	大阪府土木部
H4	調査	河合遺跡	松原市	主要地方道大阪狭山線歩道設置工事	大阪府土木部
H4	整理	天理吹田線関連遺跡		近畿道天理～吹田線	日本道路公団
H4	分布	平尾山古墳群	柏原市	一般府道本堂高井田線拡幅工事	大阪府土木部
H4	分布		箕面市	国道423号バイパス建設	大阪府
H4	分布		高槻市 / 茨城市 / 箕面市 / 池田市 / 豊能町	第二名神自動車道	大阪府
H4	総合		茨木市	安威川総合開発事業	大阪府土木部
H5	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H5	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H5	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H5	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H5	調査	大坂城跡	大阪市	大阪府新庁舎建設整備	大阪府
H5	調査	巨摩ノ若江北遺跡	東大阪市	都計道大阪中央環状線巨摩橋交差点北行車線跨道橋建設工事	大阪府土木部
H5	調査	丹上遺跡	美原町	主要地方道大阪中央環状線改良工事	大阪府土木部
H5	調査	新金岡更池遺跡	堺市	主要地方道大阪中央環状線内新金岡交差点立体工事	大阪府土木部
H5	調査	麻田藩陣屋跡	豊中市	大阪モノレール蛭池東線・西線建設	大阪府土木部
H5	調査	麻田藩陣屋跡	豊中市	大阪モノレール蛭池東線・西線建設	大阪府土木部
H5	調査	蛭池東遺跡	豊中市	大阪モノレール蛭池東線・西線建設	大阪府土木部
H5	調査	蛭池遺跡	豊中市	大阪モノレール蛭池東線・西線建設	大阪府土木部
H5	調査	宮の前遺跡	豊中市	大阪モノレール蛭池東線・西線建設	大阪府土木部
H5	調査	宮の前遺跡	豊中市	大阪モノレール蛭池東線・西線建設	大阪府土木部
H5	調査	新家遺跡	東大阪市	大阪府道高速東大阪線東大阪ジャンクション建設工事	阪神高速道路公団
H5	調査	清堂遺跡	松原市	主要地方道堺羽曳野線立体交差建設	大阪府土木部
H5	調査	堂遺跡	松原市	主要地方道堺羽曳野線立体交差建設	大阪府土木部
H5	調査	瓜生堂遺跡	東大阪市	大阪府工業用水道改良事業分岐連結管設置工事	大阪府
H5	整理	天理吹田線関連遺跡		近畿道天理～吹田線	日本道路公団
H5	整理	福田遺跡	堺市	近畿道松原海南線及び都計道泉大津美原線建設	日本道路公団
H5	分布		箕面市	水と緑の健康都市	大阪府
H5	総合		茨木市	安威川総合開発事業	大阪府土木部
H6	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H6	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	恩智川治水緑地建設	大阪府土木部
H6	調査	大坂城跡	大阪市	大阪府新庁舎建設整備	大阪府
H6	調査	観音寺ノ丹上遺跡	松原市 / 美原町	主要地方道大阪中央環状線改良工事	大阪府土木部



年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H6	調査	蛭池西遺跡	豊中市	大阪モノレール蛭池東線・西線建設	大阪府土木部
H6	調査	宮の前遺跡	豊中市	大阪モノレール蛭池東線・西線建設	大阪府土木部
H6	整理	天理吹田線関連遺跡		近畿道天理～吹田線	日本道路公団
H6	整理	太井遺跡	美原町	近畿道松原すさみ線並びに都計道松原泉大津線建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H6	総合		茨木市	安威川総合開発事業	大阪府土木部

## 大阪府文化財協会

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
S60	調査	滑瀬遺跡	泉南市	近畿自動車道路	日本道路公団
S60	調査	信太山遺跡	和泉市	近畿自動車道路	日本道路公団
S60	試掘	向井池遺跡	泉佐野市	近畿自動車道路	日本道路公団
S60	試掘	別所遺跡	泉南市	近畿自動車道路	日本道路公団
S60	調査	堺砲台遺跡	堺市	大阪臨海線	大阪府土木部
S60	調査	仏並遺跡	和泉市	国道 170 号線	大阪府土木部
S60	調査	軽部池西遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
S60	調査	三田遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
S60	調査	西大路遺跡	岸和田市	磯之上山直線	大阪府土木部
S60	調査	今木廃寺遺跡	岸和田市	磯之上山直線	大阪府土木部
S60	調査	箕土路遺跡	岸和田市	磯之上山直線	大阪府土木部
S60	調査	脇浜遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
S60	分布	ミノバ石切場跡他	阪南町	阪南丘陵開発事業	大阪府企業局
S61	調査	滑瀬遺跡	泉南市	近畿自動車道路	日本道路公団
S61	調査	向井代遺跡	泉佐野市	近畿自動車道路	日本道路公団
S61	調査	山直中遺跡	岸和田市	近畿自動車道路	日本道路公団
S61	調査	芝ノ垣外遺跡	岸和田市	近畿自動車道路	日本道路公団
S61	調査	平井遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
S61	試掘	野々井遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
S61	調査	ミノバ石切場跡	阪南町	阪南丘陵開発事業	大阪府企業局
S61	調査	金剛寺遺跡	阪南町	阪南丘陵開発事業	大阪府企業局
S61	試掘	飯ノ峰畑遺跡他	阪南町	阪南丘陵開発事業	大阪府企業局
S61	試掘	貝掛遺跡	阪南町	阪南丘陵開発事業	大阪府企業局
S61	試掘	脇浜遺跡	貝塚市	阪神高速湾岸線	阪神高速道路公団
S61	試掘	高向遺跡	河内長野市	国道 170 号線	大阪府土木部
S61	試掘	福瀬遺跡他	和泉市	国道 170 号線	大阪府土木部
S61	調査	三田遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
S61	調査	山ノ内遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
S61	調査	山ノ内・山直北遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
S61	調査	上フジ遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
S61	調査	西大路遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
S61	調査	石才遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
S61	調査	畠中遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
S61	調査	脇浜遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
S62	調査	滑瀬遺跡	泉南市	近畿自動車道路	日本道路公団
S62	調査	山直中遺跡	岸和田市	近畿自動車道路	日本道路公団
S62	調査	池田寺遺跡	和泉市	近畿自動車道路	日本道路公団
S62	調査	大庭寺遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
S62	調査	平井遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
S62	試掘	伏尾遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
S62	調査	ミノバ石切場	阪南町	阪南丘陵開発事業	大阪府企業局
S62	調査	井山城跡	阪南町	阪南丘陵開発事業	大阪府企業局
S62	調査	飯ノ峰畑遺跡	阪南町	阪南丘陵開発事業	大阪府企業局
S62	調査	貝掛遺跡	阪南町	阪南丘陵開発事業	大阪府企業局
S62	調査	金剛寺遺跡	阪南町	阪南丘陵開発事業	大阪府企業局
S62	調査	高向遺跡	河内長野市	国道 170 号線	大阪府土木部
S62	調査	仏並遺跡	和泉市	国道 170 号線	大阪府土木部
S62	調査	福瀬遺跡	和泉市	国道 170 号線	大阪府土木部
S62	調査	山ノ内遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
S62	調査	上フジ遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
S62	調査	二俣池北遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
S62	調査	石才南遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
S62	調査	脇浜遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
S62	調査	橋本遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
S62	調査	清児遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
S62	試掘	橋本遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
S62	調査	板原遺跡	和泉市	下水道施設	府下水道事務所
S62	試掘	伯太北遺跡	和泉市	池上下宮線	大阪府土木部
S62	試掘	山田海岸遺跡	岬町	淡輪箱作海岸環境整備事業	大阪府港湾局

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
S63	調査	大庭寺遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
S63	調査	伏尾遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
S63	調査	野々井遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
S63	調査	池田寺遺跡	和泉市	近畿自動車道路	日本道路公団 / 大阪府土木部
S63	調査	唐国和泉谷遺跡	和泉市	近畿自動車道路	日本道路公団 / 大阪府土木部
S63	調査	棚原遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	日本道路公団 / 大阪府土木部
S63	試掘	日根野遺跡他	泉佐野市	空港連絡道路	日本道路公団 / 大阪府土木部
S63	試掘	松原遺跡隣接地	泉佐野市	空港連絡道路代替地	日本道路公団 / 大阪府土木部
S63	試掘	男里遺跡他	泉南市	りんくうタウン建設	大阪府企業局
S63	調査	湊海岸遺跡	堺市	阪神高速湾岸線	阪神高速道路公団
S63	調査	高向遺跡	河内長野市	国道 170 号線	大阪府土木部
S63	調査	福瀬遺跡	和泉市	国道 170 号線	大阪府土木部
S63	試掘	沢峰遺跡	岸和田市	国道 170 号線	大阪府土木部
S63	調査	岡中西遺跡	泉南市	金熊寺・男里線	大阪府土木部
S63	調査	軽部池西遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
S63	調査	発掘 今木遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
S63	調査	水辺遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
S63	調査	清児遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
S63	試掘	橋本遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
S63	調査	上町遺跡	泉佐野市	高松中央線	大阪府土木部
S63	調査	小田遺跡	岸和田市	大阪岸和田南海線	大阪府土木部
S63	調査	羽倉崎遺跡	田尻町	嘉祥寺・羽倉崎線	田尻町
S63	調査	上町遺跡	泉佐野市	泉佐野市街地再開発	泉佐野市・再開発組合
S63	調査	山田海岸遺跡	岬町	淡輪箱作海岸環境整備事業	大阪府港湾局
S63	調査	池園遺跡	泉大津市	府営住宅建替	大阪府建築部
S63	調査	名越遺跡	貝塚市	府営水道施設	泉大津市
S63	調査	虫取遺跡	泉大津市	下水道施設	府下水道事務所
S63	調査	和泉寺遺跡	和泉市	下水道施設	府下水道事務所
S63	調査	川原遺跡	泉佐野市	梨谷池排水路建設	日本道路公団
S63	分布	土生遺跡隣接地	岸和田市	コスモポリス事業	(株)岸和田コスモポリス
H 元	調査	大庭寺遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
H 元	調査	池田寺遺跡	和泉市	近畿自動車道路	日本道路公団
H 元	調査	伏尾遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
H 元	調査	池田寺遺跡	和泉市	近畿自動車道路・泉州山手線	日本道路公団 / 大阪府土木部 / 住宅都市整備公団
H 元	調査	唐国和泉谷遺跡	和泉市	近畿自動車道路・泉州山手線	日本道路公団 / 大阪府土木部 / 住宅都市整備公団
H 元	調査	平井遺跡	堺市	近畿自動車道路他	日本道路公団 / 大阪府土木部
H 元	調査	向井池遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H 元	調査	棚原・机場遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H 元	調査	日根野遺跡他	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H 元	調査	長滝・安松遺跡他	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H 元	調査	末廣・中開遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H 元	調査	松原遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H 元	調査	三軒屋遺跡	泉佐野市	J R 長滝駅構内代替地	大阪府土地開発公社
H 元	調査	貝の池遺跡他	泉佐野市	貝の池埋立代替地	府農地開発公社
H 元	調査	大場遺跡	泉佐野市	南海連立他代替地	南海電鉄
H 元	調査	湊遺跡	泉佐野市	南海連続立体交差化事業	南海電鉄
H 元	調査	末廣遺跡	泉佐野市	末廣池埋立代替地	大阪府土地開発公社
H 元	調査	中開遺跡	泉佐野市	南海分岐線他	泉佐野市・南海電鉄
H 元	調査	高向遺跡	河内長野市	国道 170 号線	大阪府土木部
H 元	調査	福瀬遺跡	和泉市	国道 170 号線	大阪府土木部
H 元	調査	黒石遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
H 元	調査	山ノ内遺跡他	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
H 元	調査	山直中遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
H 元	調査	石才南遺跡他	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
H 元	調査	天神の森遺跡	泉南市	樽井男里線	大阪府土木部
H 元	調査	小田遺跡	和泉市	大阪岸和田南海線	大阪府土木部
H 元	調査	唐国和泉谷遺跡	和泉市	南部流域下水道	府下水道事務所
H 元	調査	上町遺跡	泉佐野市	泉佐野市街地再開発	泉佐野市・再開発組合
H 元	調査	母山遺跡	泉佐野市	母山地区圃場整備	泉佐野市・土地改良区
H 元	調査	貝掛遺跡	阪南町	湾岸南部流域下水道施設	府下水道事務所
H 元	調査	貝田遺跡	泉佐野市	中部流域下水道施設	府下水道事務所

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H元	調査	湊遺跡	泉佐野市	中部流域下水道施設	府下水道事務所
H元	調査	名越遺跡	貝塚市	府営水道施設	大阪府水道部
H2	調査	大庭寺遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
H2	調査	池田寺遺跡	和泉市	近畿自動車道路	日本道路公団
H2	調査	野々井遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
H2	調査	池田寺遺跡	和泉市	近畿自動車道路・泉州山手線	日本道路公団 / 大阪府土木部 / 住宅都市整備公団
H2	調査	向井池遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H2	調査	棚原・機場遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H2	調査	発掘日根野・郷之芝遺跡他	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H2	調査	長滝・安松遺跡他	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H2	調査	末廣・中開遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H2	調査	松原遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H2	調査	大西遺跡	泉佐野市	空港連絡道路代替地	泉佐野市
H2	調査	三ヶ山西遺跡	貝塚市	国道 170 号線	大阪府土木部
H2	調査	黒石遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
H2	試掘	芝ノ垣外遺跡	貝塚市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
H2	調査	石才南遺跡・清児遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
H2	調査	脇浜遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
H2	試掘	唐国和泉谷遺跡	和泉市	泉州山手線	大阪府土木部
H2	調査	加治神崎島中遺跡	貝塚市	南海単独立体交差化事業	南海電鉄
H2	調査	中開遺跡	泉佐野市	南海分岐線	泉佐野市・南海電鉄
H2	調査	上町遺跡	泉佐野市	泉佐野市街地再開発	泉佐野市・再開発組合
H2	調査	池園遺跡	泉大津市	府営住宅建替	大阪府建築部
H3	調査	大庭寺遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
H3	調査	伏尾遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
H3	調査	野々井遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
H3	調査	棚原・機場遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H3	調査	日根野・郷之芝遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H3	調査	長滝・安松遺跡他	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H3	調査	末廣・中開遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H3	調査	松原遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H3	調査	三ヶ山西遺跡	貝塚市	国道 170 号線	大阪府土木部
H3	調査	仏並遺跡	和泉市	国道 170 号線	大阪府土木部
H3	調査	黒石遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
H3	調査	軽部池西遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
H3	調査	芝ノ垣外遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
H3	調査	上フジ遺跡	岸和田市	泉州山手線	大阪府土木部
H3	試掘	天神の森遺跡	泉南市	樽井男里線	大阪府土木部
H3	試掘	伯太北遺跡	和泉市	池上下宮線	大阪府土木部
H3	調査	中開遺跡他	泉佐野市	南海連続立体交差化事業	泉佐野市・南海電鉄
H3	調査	上町遺跡	泉佐野市	泉佐野市街地再開発	泉佐野市・再開発組合
H3	試掘	日根野遺跡他	泉佐野市	日根野区画整理事業	泉佐野市・区画整理組合
H3	調査	吉井遺跡	岸和田市	府営住宅建替	大阪府建築部
H3	調査	兵主廃寺遺跡	岸和田市	春木川改修工事	大阪府土木部
H4	調査	伏尾遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
H4	調査	大庭寺遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
H4	調査	野々井遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
H4	調査	野々井西遺跡	堺市	近畿自動車道路	日本道路公団
H4	調査	棚原・機場遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H4	調査	日根野・郷之芝遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H4	調査	長滝・安松遺跡他	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H4	調査	末廣・中開遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部
H4	調査	松原遺跡	泉佐野市	空港連絡道路	建設省 / 日本道路公団 / 大阪府土木部

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H4	調査	三ヶ山西遺跡	貝塚市	国道 170 号線	大阪府土木部
H4	試掘	三ヶ山遺跡	貝塚市	国道 170 号線	大阪府土木部
H4	調査	仏並遺跡	和泉市	国道 170 号線	大阪府土木部
H4	調査	芝ノ垣外遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
H4	調査	清見遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
H4	試掘	橋本遺跡	貝塚市	貝塚中央線	大阪府土木部
H4	調査	上フジ遺跡	岸和田市	泉州山手線	大阪府土木部
H4	調査	天神の森遺跡	泉南市	樽井男里線	大阪府土木部
H4	試掘	幡代遺跡・幡代南遺跡	泉南市	泉佐野岩出線	大阪府土木部
H4	調査	伯太北遺跡	和泉市	池上下宮線	大阪府土木部
H4	試掘	下田遺跡	堺市	常磐浜寺線	大阪府土木部
H4	調査	日根野遺跡	泉佐野市	市道新道出野口線	泉佐野市
H4	調査	大西遺跡他	泉佐野市	南海連続立体交差化事業	南海電鉄
H4	調査	上町遺跡	泉佐野市	泉佐野市街地再開発	泉佐野市・再開発組合
H4	調査	中嶋遺跡他	泉佐野市	日根野区画整理事業	泉佐野市・区画整理組合
H5	調査	三ヶ山遺跡	貝塚市	国道 170 号線	大阪府土木部
H5	調査	天神の森・男里遺跡	泉南市	樽井男里線	大阪府土木部
H5	調査	男里遺跡	泉南市	泉佐野岩出線	大阪府土木部
H5	調査	幡代遺跡	泉南市	泉佐野岩出線	大阪府土木部
H5	調査	幡代南遺跡	泉南市	泉佐野岩出線	大阪府土木部
H5	調査	上フジ遺跡	岸和田市	泉州山手線	大阪府土木部
H5	調査	下田遺跡	堺市	常磐浜寺線	大阪府土木部
H5	調査	伯太北遺跡	和泉市	池上下宮線	大阪府土木部
H5	調査	日根野遺跡	泉佐野市	市道機場上村線	泉佐野市
H5	調査	上町東遺跡他	泉佐野市	南海連続立体交差化事業	南海電鉄
H5	調査	箱作今池遺跡	阪南市	箱作土地区画整理事業	阪南市・区画整理組合
H5	調査	上町遺跡	泉佐野市	泉佐野市街地再開発	泉佐野市・再開発組合
H5	調査	小塚遺跡他	泉佐野市	泉佐野市街地再開発	泉佐野市・再開発組合
H5	調査	志紀遺跡	八尾市	府営住宅建替	大阪府建築部
H5	調査	東奈良遺跡	茨木市	府営住宅建替	大阪府建築部
H5	調査	三軒屋遺跡	泉佐野市	府営水質障害対策	大阪府
H5	調査	西大井遺跡	藤井寺市	下水処理施設	府下水道事務所
H5	分布	佐保栗栖山岩遺跡他	茨木市 / 箕面市	国際文化公園都市	住宅都市整備公社
H6	調査	黒石遺跡	岸和田市	岸和田・牛滝山・貝塚線	大阪府土木部
H6	調査	加治神崎島中遺跡	貝塚市	貝塚中央線	南海電鉄
H6	調査	男里遺跡	泉南市	泉佐野岩出線	大阪府土木部
H6	調査	下田遺跡	堺市	常磐浜寺線	大阪府土木部
H6	調査	箱作今池遺跡	阪南市	箱作土地区画整理事業	阪南市・区画整理組合
H6	調査	中嶋遺跡他	泉佐野市	日根野区画整理事業	泉佐野市・区画整理組合
H6	調査	余部遺跡	美原町	府営住宅建替	大阪府建築部
H6	調査	志紀遺跡	八尾市	府営住宅建替	大阪府建築部
H6	調査	東奈良遺跡	茨木市	府営住宅建替	大阪府建築部
H6	調査	溝作遺跡	茨木市	公団住宅建設	住宅都市整備公社
H6	調査	総持寺北遺跡	茨木市	公団住宅建設	住宅都市整備公社
H6	調査	西大井遺跡	藤井寺市	下水処理施設	府下水道事務所
H6	調査	田井中遺跡	八尾市	八尾駐屯地整備	防衛庁施設部
H6	調査	粟生間谷遺跡	箕面市	国際文化公園都市	住宅都市整備公社
H6	分布		茨木市 / 箕面市	国際文化公園都市	住宅都市整備公社

### 大阪府文化財調査研究センター

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H7	調査	総持寺遺跡	茨木市	住宅建替え	住宅都市整備公社
H7	調査	溝作遺跡	茨木市	住宅建設	住宅都市整備公社
H7	調査	玉櫛遺跡	茨木市	住宅建替え	大阪府建築部
H7	試掘 / 調査	粟生岩阪遺跡	茨木市	区画整理	住宅都市整備公社
H7	調査	粟生岩阪北遺跡	茨木市	区画整理	住宅都市整備公社
H7	調査	宮の前遺跡	豊中市	モノレール建設	大阪府土木部
H7	調査	蛭池遺跡	豊中市	モノレール建設	大阪府土木部
H7	調査	大坂城跡	大阪市	府庁建替え	大阪府
H7	調査	新家遺跡	東大阪市	高速道路建設	阪神高速道路公社
H7	調査	巨摩遺跡	東大阪市	道路改良	大阪府土木部
H7	調査	若江北遺跡	東大阪市	道路改良	大阪府土木部
H7	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地建設	大阪府土木部
H7	試掘 / 調査	久宝寺遺跡	八尾市	駅舎建設等	国鉄清算事業団
H7	調査	久宝寺遺跡	八尾市	道路建設	大阪府土木部
H7	調査	志紀遺跡	八尾市	住宅建替え	大阪府建築部
H7	調査	志紀遺跡	八尾市	駐屯地施設建設	防衛省
H7	調査	田井中遺跡	八尾市	駐屯地施設建設	防衛省



年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H7	整理	天理吹田線関連遺跡		高速道路建設	日本道路公団
H7	調査	余部B遺跡	美原町	住宅建替え	大阪府建築部
H7	調査	船橋遺跡	藤井寺市	高規格堤防建設	建設省
H7	調査	浜寺元町遺跡	堺市	道路建設	大阪府土木部
H7	調査	深井清水町遺跡	堺市	道路改良	大阪府土木部
H7	調査	土井の木遺跡	岸和田市	道路建設	大阪府土木部
H7	調査	男里遺跡	泉南市	道路建設	大阪府土木部
H7	調査	箱作今池遺跡	阪南市	区画整理	阪南市箱作土地区画整理組合
H7	整理	西大井遺跡	藤井寺市	下水処理場建設	大阪府土木部
H7	整理	真福寺遺跡	美原町	高速道路等建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H7	整理	太井遺跡	美原町	高速道路等建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H7	整理	大庭寺遺跡	堺市	高速道路建設	日本道路公団
H7	整理	下田遺跡	堺市	道路建設	大阪府土木部
H7	整理	日根野遺跡他	泉佐野市	道路・鉄道建設	建設省 / 日本道路公団
H7	整理	中嶋遺跡	泉佐野市	区画整理	泉佐野市日根野土地区画整理組合
H7	総合	安威川	茨木市	ダム建設	大阪府土木部
H7	総合	国際文化公園都市	茨木市	区画整理	住宅都市整備公団
H7	整備	池上曾根遺跡	和泉市	史跡整備	和泉市教育委員会
H8	調査	粟生岩坂北遺跡	茨木市	区画整理	住宅都市整備公団
H8	調査	徳大寺遺跡	箕面市	区画整理	住宅都市整備公団
H8	試掘	国際文化公園都市遺跡群	箕面市	区画整理	住宅都市整備公団
H8	調査	総持寺遺跡	茨木市	住宅建替え	住宅都市整備公団
H8	調査	溝咋遺跡	茨木市	住宅建設	住宅都市整備公団
H8	調査	東奈良遺跡	茨木市	住宅建替え	大阪府建築部
H8	調査	蛸池遺跡	豊中市	モノレール建設	大阪府土木部
H8	調査	蛸池東遺跡	豊中市	モノレール建設	大阪府土木部
H8	調査	蛸池西遺跡	豊中市	モノレール建設	大阪府土木部
H8	試掘	下止々呂美地区	箕面市	区画整理	大阪府
H8	整理	玉櫛遺跡	茨木市	住宅建替え	大阪府建築部
H8	調査	志紀遺跡	八尾市	住宅建替え	大阪府建築部
H8	調査	田井中遺跡	八尾市	駐屯地施設建設	防衛省
H8	調査	久宝寺遺跡	八尾市	道路建設	大阪府土木部
H8	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地建設	大阪府土木部
H8	確認	三ツ島地区	門真市	有料道路等建設	建設省
H8	保管	大坂城跡	大阪市	府庁建替え	大阪府
H8	整理	近畿道天理吹田線遺跡群		高速道路建設	日本道路公団
H8	整理	若江北／巨摩遺跡	東大阪市	道路改良	大阪府土木部
H8	調査	土井の木遺跡	岸和田市	道路建設	大阪府土木部
H8	調査	大和川今池遺跡	堺市	河川整備	建設省
H8	調査	日根野遺跡	泉佐野市	道路建設	大阪府土木部
H8	調査	男里遺跡	泉南市	道路建設	大阪府土木部
H8	試掘	久保田／井関遺跡他	阪南市	道路建設	建設省
H8	試掘	師道谷／四郎太郎遺跡	阪南市	道路建設	建設省
H8	調査	久保田遺跡	阪南市	道路建設	建設省
H8	調査	船橋遺跡	藤井寺市	住宅建替え	大阪府建築部
H8	調査	船橋遺跡	藤井寺市	高規格堤防建設	建設省
H8	試掘	地獄谷遺跡	太子町	有料道路等建設	大阪府土木部
H8	調査	田須谷古墳群	太子町	有料道路等建設	大阪府土木部
H8	調査	駒ヶ谷遺跡	羽曳野市	有料道路等建設	建設省
H8	試掘 / 調査	尺度遺跡	羽曳野市	有料道路等建設	大阪府土木部
H8	試掘	楠木石切場跡	太子町	有料道路等建設	日本道路公団
H8	調査	加治神前畠中遺跡	貝塚市	鉄道立体交差	南海電鉄
H8	整理	丹上遺跡	美原町	高速道路等建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H8	整理	大庭寺／伏尾遺跡	堺市	高速道路建設	日本道路公団
H8	整理	真福寺遺跡	美原町	高速道路等建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H8	整理	下田遺跡	堺市	道路建設	大阪府土木部
H8	整理	浜寺元町遺跡	堺市	道路建設	大阪府土木部
H8	整理	箱作今池遺跡	阪南市	区画整理	阪南市箱作土地区画整理組合
H8	総合	安威川	茨木市	ダム建設	大阪府土木部
H8	総合	国際文化公園都市	茨木市 / 箕面市	区画整理	住宅都市整備公団
H8	整備	池上曾根遺跡	和泉市	史跡整備	和泉市教育委員会
H9	整理	総持寺遺跡	茨木市	住宅建替え	住宅都市整備公団
H9	調査	溝咋遺跡	茨木市	住宅建設	住宅都市整備公団
H9	調査	徳大寺遺跡	箕面市	区画整理	住宅都市整備公団
H9	調査	粟生間谷遺跡	箕面市	区画整理	住宅都市整備公団
H9	調査	佐保栗栖山砦跡	茨木市	区画整理	住宅都市整備公団
H9	試掘	箕面市遺跡群	箕面市	モノレール建設	大阪府土木部
H9	調査	庄田遺跡	箕面市	モノレール建設	大阪府土木部

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H9	調査	東京良遺跡	茨木市	住宅建替え	大阪府建築部
H9	調査	玉櫛遺跡	茨木市	住宅建替え	大阪府建築部
H9	調査	蛭池遺跡	豊中市	モノレール建設	大阪府土木部
H9	調査	小畑遺跡	箕面市	区画整理	大阪府
H9	整理	大坂城跡	大阪市	府庁建替え	大阪府
H9	整理	近畿道天理吹田線遺跡群		高速道路建設	日本道路公団
H9	整理	志紀遺跡	八尾市	住宅建替え	大阪府建築部
H9	整理	田井中遺跡	八尾市	駐屯地施設建設	防衛省
H9	確認	長尾台	枚方市	有料道路等建設	建設省
H9	調査	久宝寺遺跡	八尾市	道路建設	大阪府土木部
H9	調査	久宝寺遺跡	八尾市	区画整理	住宅都市整備公団
H9	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地建設	大阪府土木部
H9	調査	小阪合遺跡	八尾市	住宅建替え	住宅都市整備公団
H9	整理	観音寺遺跡	松原市	高速道路建設	日本道路公団
H9	整理	丹上遺跡	美原町	高速道路等建設	日本道路公団 / 大阪府土木部
H9	整理	伏尾／大庭寺遺跡	堺市	高速道路建設	日本道路公団
H9	調査	中の社遺跡	岸和田市	道路建設	大阪府土木部
H9	調査	山直中遺跡	岸和田市	道路建設	大阪府土木部
H9	調査	井関遺跡	阪南市	道路建設	建設省
H9	調査	向出遺跡	阪南市	道路建設	建設省
H9	調査	大和川今池遺跡	松原市	河川整備	建設省
H9	調査	貝塚市東山丘陵遺跡群	貝塚市	区画整理	貝塚市東山丘陵土地区画整理組合
H9	整理	船橋遺跡	藤井寺市	住宅建替え	大阪府建築部
H9	調査	尺度遺跡	羽曳野市	有料道路等建設	大阪府土木部
H9	調査	田須谷古墳群他	太子町他	有料道路等建設	大阪府土木部
H9	調査	駒ヶ谷遺跡	羽曳野市	有料道路等建設	建設省
H9	調査	尺度／西浦地区	羽曳野市	有料道路等建設	建設省
H9	調査	楠木石切場跡	太子町	有料道路等建設	日本道路公団
H9	整備	池上曾根遺跡	和泉市	史跡整備	和泉市
H9	総合	国際文化公園都市	茨木市	区画整理	住宅都市整備公団
H9	撮影	泉大津市織編館	泉大津市	写真撮影	泉大津市
H9	保存	富木車塚古墳出土品	高石市	保存処理	高石市
H9	保存	如意谷出土銅鐻埋納坑	箕面市	保存処理	箕面市
H10	整理	庄田遺跡他	箕面市	モノレール建設	大阪府土木部
H10	試掘	宿久庄西遺跡	箕面市	モノレール建設	大阪府土木部
H10	調査 / 整理	溝咋遺跡	茨木市	住宅建設	住宅都市整備公団
H10	整理	小畑遺跡	箕面市	区画整理	大阪府
H10	試掘	吹田操車場	茨木市	再開発	日本鉄道建設公団
H10	調査	粟生間谷遺跡	箕面市	区画整理	住宅都市整備公団
H10	調査	佐保栗栖山砦跡他	茨木市	区画整理	住宅都市整備公団
H10	整理	大坂城跡	大阪市	府庁建替え	大阪府
H10	調査	大坂城跡	大阪市	府警本部建替え	府警本部
H10	整理	近畿道天理吹田線遺跡群		高速道路建設	日本道路公団
H10	調査	小阪合遺跡	八尾市	住宅建替え	住宅都市整備公団
H10	調査	久宝寺遺跡	八尾市	区画整理	住宅都市整備公団
H10	試掘	長尾台地区	枚方市	有料道路等建設	建設省
H10	試掘	門真市遺跡群	門真市	有料道路等建設	建設省
H10	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地建設	大阪府土木部
H10	調査 / 整理	中の社遺跡	岸和田市	道路建設	大阪府土木部
H10	調査	向山遺跡他	阪南市	道路建設	建設省
H10	調査	大和川今池遺跡	松原市	河川整備	建設省
H10	調査	湊遺跡他	泉佐野市	鉄道高架化	南海電鉄
H10	整理	貝塚東山遺跡群	貝塚市	区画整理	貝塚市東山丘陵土地区画整理組合
H10	調査	河原城遺跡	堺市 / 羽曳野市	有料道路等建設	大阪府土木部
H10	整理	駒ヶ谷遺跡	羽曳野市	有料道路等建設	建設省
H10	調査	尺度／西浦東遺跡	羽曳野市	有料道路等建設	建設省
H10	整理	楠木石切場跡	太子町	有料道路等建設	日本道路公団
H10	総合	国際文化公園都市	茨木市	区画整理	住宅都市整備公団
H10	撮影	泉大津市織編館	泉大津市	写真撮影	泉大津市
H10	保存	富木車塚古墳出土品	高石市	保存処理	高石市
H10	整備	池上曾根遺跡	和泉市	史跡整備	和泉市 / 泉大津市
H11	調査 / 整理	粟生間谷遺跡	箕面市	区画整理	都市基盤整備公団
H11	調査	佐保栗栖山砦跡	茨木市	区画整理	都市基盤整備公団
H11	調査	麻田藩陣屋跡	豊中市	市街地再開発	蛭池駅西地区市街地再開発組合
H11	調査 / 整理	溝咋遺跡	茨木市	住宅建設	都市基盤整備公団
H11	調査	吹田操車場	吹田市	駅基盤整備等	日本鉄道建設公団

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H11	確認	枚方市遺跡群(杉地区)	枚方市	有料道路等建設	建設省
H11	確認	枚方市遺跡群(津田城)	枚方市	有料道路等建設	建設省
H11	確認	有池遺跡	交野市	有料道路等建設	日本道路公団
H11	調査/整理	久宝寺遺跡	八尾市	区画整理	都市基盤整備公団
H11	調査	志紀遺跡	八尾市	住宅建替え	大阪府建築部
H11	調査	大坂城跡	大阪市	府警本部建替え	府警本部
H11	保管	大坂城跡	大阪市	府庁建替え	大阪府
H11	整理	小阪合遺跡	八尾市	住宅建替え	都市基盤整備公団
H11	調査	瓜生堂遺跡	東大阪市	鉄道高架化	大阪府土木部
H11	保存	富木塚古墳出土遺物	高石市	保存処理	高石市
H11	印本	近畿道天理吹田線遺跡群		高速道路建設	日本道路公団
H11	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地建設	大阪府土木部
H11	調査	大和川今池遺跡	大阪市/松原市	河川整備	建設省
H11	調査	伽羅橋遺跡	高石市	道路建設	大阪府土木部
H11	調査	湊遺跡他	泉佐野市	鉄道高架化	南海電鉄
H11	調査	男里遺跡	泉南市	道路建設	大阪府土木部
H11	試掘	阪南市遺跡群	阪南市	道路建設	建設省
H11	調査	亀川遺跡	阪南市	道路建設	建設省
H11	調査/整理	小島北磯遺跡	岬町	土砂運搬施設建設	大阪府土地開発公社
H11	調査	丹上/真福寺遺跡	美原町	有料道路等建設	大阪府土木部
H11	調査/整理	河原城遺跡	美原町/羽曳野市	有料道路等建設	大阪府土木部
H11	調査/整理	尺度遺跡	羽曳野市	有料道路等建設	大阪府土木部
H11	調査	駒ヶ谷遺跡	羽曳野市	有料道路等建設	建設省
H11	整備	池上曾根遺跡	和泉市	史跡整備	和泉市/泉大津市
H12	整理	粟生間谷遺跡	箕面市	区画整理	都市基盤整備公団
H12	調査	佐保遺跡	茨木市	区画整理	都市基盤整備公団
H12	調査/整理	吹田操車場遺跡	吹田市	駅基盤整備等	日本鉄道建設公団
H12	調査/整理	麻田藩陣屋跡	豊中市	市街地再開発	宝池駅西地区市街地再開発組合
H12	調査/整理	住吉宮の前遺跡	池田市	空港施設整備	大阪航空局
H12	調査	宿久庄西遺跡	茨木市	道路建設	大阪府土木部
H12	調査	玉櫛遺跡	茨木市	住宅建替え	大阪府建築部
H12	調査	杉遺跡	枚方市	有料道路等建設	建設省
H12	調査	杉中貴谷遺跡	枚方市	有料道路等建設	建設省
H12	確認	藤阪大亀谷遺跡/長尾窯跡群	枚方市	有料道路等建設	建設省
H12	調査	津田城遺跡	枚方市	有料道路等建設	建設省/日本道路公団
H12	確認	上の山遺跡	枚方市/交野市	有料道路等建設	建設省/日本道路公団
H12	確認	太秦遺跡/太秦古墳群	寝屋川市	有料道路等建設	建設省
H12	確認	高宮/大尾遺跡	寝屋川市	有料道路等建設	建設省
H12	確認	讃良郡条里遺跡	寝屋川市/四条畷市	有料道路等建設	建設省
H12	調査/整理	久宝寺遺跡	八尾市	区画整理	都市基盤整備公団
H12	保管	大坂城跡	大阪市	府庁建替え	大阪府
H12	調査	瓜生堂遺跡	東大阪市	鉄道高架化	大阪府土木部
H12	調査	志紀遺跡	八尾市	住宅建替え	大阪府建築都市部
H12	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地建設	大阪府土木部
H12	調査	男里遺跡	泉南市	道路建設	大阪府土木部
H12	調査/整理	大和川今池遺跡	大阪市	河川整備	建設省
H12	調査	亀川遺跡	阪南市	道路建設	建設省
H12	調査/整理	若宮遺跡	泉佐野市	鉄道高架化	南海電鉄
H12	調査	伽羅橋東遺跡	高石市	道路建設	大阪府土木部
H12	調査/整理	小阪遺跡	堺市	道路建設	日本道路公団
H12	調査	船橋遺跡	藤井寺市	高規格堤防建設	建設省
H12	調査/整理	丹上/真福寺遺跡	美原町	有料道路等建設	大阪府土木部
H12	調査/整理	棕谷石切場跡	太子町	有料道路等建設	大阪府土木部
H12	調査	河原城遺跡	美原町	有料道路等建設	大阪府土木部
H12	調査	郡戸遺跡	羽曳野市	有料道路等建設	大阪府道路公社
H12	確認/調査	西浦東遺跡	羽曳野市	有料道路等建設	建設省
H12	整理	小島北磯遺跡	岬町	土砂搬出施設建設	大阪府土地開発公社
H12	整備	池上曾根遺跡 和	和泉市	史跡整備	和泉市/泉大津市
H13	調査/整理	粟生間谷遺跡他	箕面市	区画整理	都市基盤整備公団
H13	整理	吹田操車場遺跡	茨木市	駅基盤整備等	日本鉄道建設公団
H13	調査/整理	麻田藩陣屋跡遺跡	豊中市	市街地再開発	宝池駅西地区市街地再開発組合
H13	調査	勝部遺跡	豊中市	空港施設建設	大阪航空局
H13	調査	玉櫛遺跡	茨木市	住宅建替え	大阪府建築都市部
H13	調査/整理	宿久庄西遺跡	茨木市	道路建設	大阪府土木部
H13	調査	耳原遺跡	茨木市	道路建設	大阪府土木部
H13	確認	津田城遺跡	枚方市	有料道路等建設	建設省/日本道路公団
H13	確認	寝屋東遺跡	寝屋川市	有料道路等建設	建設省/日本道路公団
H13	確認	門真西地区	門真市	有料道路等建設	建設省/日本道路公団

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H13	確認	私部南遺跡他	交野市	有料道路等建設	建設省 / 日本道路公団
H13	確認	大秦遺跡 / 大秦古墳群	寝屋川市	有料道路等建設	建設省
H13	確認	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	有料道路等建設	建設省
H13	確認	寝屋南遺跡	寝屋川市	有料道路等建設	建設省
H13	確認	寝屋東遺跡他	寝屋川市	有料道路等建設	建設省
H13	調査	小路遺跡	寝屋川市	有料道路等建設	建設省
H13	調査	瓜生堂遺跡	東大阪市	鉄道高架化	大阪府土木部
H13	整理	志紀遺跡	八尾市	住宅建替え	大阪府建築都市部
H13	調査	新上小阪遺跡	東大阪市	住宅建替え	大阪府建築都市部
H13	調査	久宝寺遺跡	八尾市	区画整理	都市基盤整備公団
H13	調査	久宝寺遺跡	八尾市	下水処理場建設	大阪府土木部
H13	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地建設	大阪府土木部
H13	整理	大坂城跡	大阪市	府警本部建替え	府警本部
H13	保管	大坂城跡	大阪市	府庁建替え	大阪府
H13	調査 / 整理	大和川今池遺跡	大阪市 / 松原市	河川整備	建設省
H13	調査	船橋遺跡	藤井寺市	高規格堤防建設	建設省
H13	調査 / 整理	亀川遺跡	阪南市	道路建設	建設省
H13	調査 / 整理	西浦東遺跡	羽曳野市	有料道路等建設	建設省
H13	調査 / 整理	丹上・真福寺遺跡	羽曳野市	有料道路等建設	大阪府土木部
H13	調査 / 整理	郡戸遺跡	羽曳野市	有料道路等建設	大阪府道路公社
H13	調査 / 整理	伽羅橋遺跡	高石市	道路建設	大阪府土木部
H13	整理	男里遺跡	泉南市	道路建設	大阪府土木部
H13	確認	池上曾根遺跡	和泉市	史跡整備	和泉市

## 大阪府文化財センター

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H12	確認	茄子作遺跡	枚方 / 交野市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H12	確認	打上遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H12	確認	小路遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H12	確認	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H12	確認	西浦東遺跡	羽曳野市	道路建設	国土交通省
H12	整理	国文整理 (2)	箕面市	国際文化公園都市建設	都市基盤整備公団
H12	調査 / 整理	佐保遺跡	茨木市	国際文化公園都市建設	都市基盤整備公団
H12	調査	吹田操車場遺跡 (3)	吹田市	貨物ターミナル建設	日本鉄道建設公団
H12	調査 / 整理	吹田操車場遺跡 (4)	吹田市	貨車区整備	日本鉄道建設公団
H12	調査	麻田藩陣屋跡	豊中市	市街地再開発	蛍池駅西地区市街地再開発組合
H12	整理	麻田藩陣屋跡	豊中市	市街地再開発	蛍池駅西地区市街地再開発組合
H12	整理	住吉宮の前遺跡	池田市	空港施設整備	大阪航空局
H12	調査	宿久庄西遺跡	茨木市	道路建設	大阪府土木部
H12	調査	宿久庄西遺跡 (2)	茨木市	道路建設	大阪府土木部
H12	調査	玉櫛遺跡	茨木市	住宅建設	大阪府建築都市部
H12	調査	杉遺跡ほか	枚方市	道路建設	国土交通省
H12	調査	津田城	枚方市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H12	整理	久宝寺遺跡 (久宝寺線)	八尾市	道路建設	都市基盤整備公団
H12	整理	久宝寺遺跡 (東西線)	八尾市	道路建設	都市基盤整備公団
H12	調査	久宝寺遺跡 (多目的広場)	八尾市	市街地再開発	都市基盤整備公団
H12	調査	久宝寺遺跡 (下水立坑)	八尾市	下水道整備	大阪府土木部
H12	整理	大坂城三の丸	大阪市	府庁舎建設	大阪府総務部
H12	調査	瓜生堂遺跡	東大阪市	線路の高架化	大阪府土木部 / 近畿日本鉄道
H12	調査	志紀遺跡	八尾市	集合住宅建設	大阪府建築都市部
H12	調査	池島・福万寺遺跡 (10 工区)	東大阪市	治水緑地造成	大阪府土木部
H12	調査 / 整理	池島・福万寺遺跡 (11 工区)	東大阪市	治水緑地造成	大阪府土木部
H12	調査	男里遺跡 (7-1)	泉南市	道路建設	大阪府土木部
H12	調査	男里遺跡 (7-2)	泉南市	道路建設	大阪府土木部
H12	調査 / 整理	大和川今池遺跡 (6)	大阪市	大和川改修	国土交通省
H12	調査	亀川遺跡 (2)	阪南市	道路建設	国土交通省
H12	調査 / 整理	湊遺跡他	泉佐野市	線路の高架化	南海電気鉄道 (株)
H12	調査	伽羅橋遺跡 (2)	高石市	道路建設	大阪府土木部
H12	調査	伽羅橋遺跡 (3)	高石市	道路建設	大阪府土木部
H12	調査 / 整理	小阪遺跡	堺市	道路建設	日本道路公団
H12	調査	船橋遺跡	藤井寺市	高規格堤防建設	国土交通省
H12	調査	西浦東遺跡 (2)	羽曳野市	道路建設	国土交通省
H12	調査	丹上・真福寺遺跡	美原町	道路建設	大阪府土木部
H12	調査	丹上・真福寺遺跡 (2)	美原町	道路建設	大阪府土木部
H12	調査 / 整理	椋谷石切場跡	太子町	道路建設	大阪府土木部
H12	調査	河原城遺跡 (その2)	羽曳野市	道路建設	大阪府土木部
H12	調査	郡戸遺跡	羽曳野市	道路建設	大阪府道路公社



年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H14	試掘	国際文化公園都市	茨木市 / 箕面市	区画整理	都市基盤整備公団
H14	試掘	住吉宮の前遺跡	池田市	学校建設	国土交通省
H14	試掘	讃良郡条里遺跡西地区	門真市	道路建設	国土交通省
H14	試掘	門真西地区	門真市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H14	確認	寝屋南遺跡西地区	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H14	確認	倉治遺跡	交野市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H14	確認	津田城遺跡	枚方市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H14	試掘	農林センター散布地	羽曳野市	住宅建設	大阪府住宅供給公社
H14	整理	麻田藩陣屋跡	豊中市	市街地再開発	蛍池駅西地区市街地再開発組合
H14	整理	宿久庄西遺跡	茨木市	道路建設	大阪府土木部
H14	調査/整理	耳原遺跡	茨木市	道路建設	大阪府土木部
H14	調査	勝部遺跡	豊中市	公園造成	国土交通省
H14	整理	玉櫛遺跡	茨木市	集合住宅建設	大阪府建築都市部
H14	調査	蛍池遺跡	豊中市	道路建設	大阪府土木部
H14	調査	総持寺遺跡	茨木市	集合住宅建設	大阪府建築都市部
H14	調査/整理	豊川遺跡	茨木市	道路建設	大阪府土木部
H14	調査	寝屋東遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H14	調査	寝屋東遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H14	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H14	調査	小路遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H14	調査/確認	高宮遺跡ほか	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H14	調査/確認	小路遺跡ほか	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H14	調査	有池遺跡	交野市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H14	調査	寝屋東遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H14	調査	小阪合遺跡	八尾市	集合住宅建設	都市基盤整備公団
H14	調査	瓜生堂遺跡	東大阪市	鉄道高架化	大阪府土木部
H14	調査/整理	瓜生堂遺跡	東大阪市	鉄道高架化	大阪府土木部
H14	調査	瓜生堂遺跡	東大阪市	地下河川建設	大阪府土木部
H14	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市 / 八尾市	治水緑地造成	大阪府土木部
H14	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市 / 八尾市	治水緑地造成	大阪府土木部
H14	整理	新上小阪遺跡	東大阪市	集合住宅建設	大阪府建築都市部
H14	整理	大坂城遺物保管他	大阪市	府庁舎建設	大阪府総務部
H14	調査	久宝寺遺跡	八尾市	道路建設	都市基盤整備公団
H14	整理	久宝寺遺跡	八尾市	市街地再開発	都市基盤整備公団
H14	調査	久宝寺遺跡	八尾市	水処理施設建設他	大阪府土木部
H14	調査	久宝寺遺跡	八尾市	防火水槽建設	都市基盤整備公団
H14	整理	大和川今池遺跡	大阪市	河川整備	国土交通省
H14	整理	伽羅橋遺跡	高石市	道路建設	大阪府土木部
H14	調査	男里遺跡	泉南市	道路建設	大阪府土木部
H14	調査/整理	湊遺跡ほか	泉佐野市	鉄道高架化	南海電気鉄道(株)
H14	整理	都戸遺跡	羽曳野市	道路建設	大阪府道路公社
H14	調査	船橋遺跡ほか	藤井寺市 / 八尾市	高規格堤防建設	国土交通省
H14	調査/整理	駒ヶ谷遺跡	羽曳野市	道路建設	国土交通省
H14	調査	はざみ山遺跡	藤井寺市	集合住宅建設	都市基盤整備公団
H14	調査	尺度遺跡	羽曳野市	道路建設	大阪府土木部
H14	整備	史跡池上曾根遺跡	和泉市	史跡整備	和泉市
H15	確認	津田遺跡ほか	枚方市 / 交野市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H15	調査	東倉治遺跡	交野市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H15	調査	有池遺跡	交野市	道路建設	国土交通省
H15	調査	有池遺跡	交野市	道路建設	国土交通省
H15	調査	上私部遺跡	交野市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H15	調査	上の山遺跡	交野市 / 枚方市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H15	試掘	茄子作遺跡	交野市 / 枚方市	道路建設	国土交通省 / 日本道路公団
H15	調査	寝屋東遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H15	調査	寝屋南遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H15	調査	奥山遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H15	調査	太秦遺跡ほか	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H15	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H15	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H15	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H15	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H15	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H15	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H15	試掘	淀川河床遺跡	枚方市	高規格堤防建設	国土交通省
H15	調査/整理	総持寺遺跡	茨木市	集合住宅建設	大阪府建築都市部
H15	調査	禁野本町遺跡	枚方市	集合住宅建設	財務省
H15	調査/整理	蛍池遺跡	豊中市	道路建設	大阪府土木部
H15	整理	勝部遺跡ほか	豊中市	公園造成	国土交通省

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H15	調査	大坂城跡	大阪市	府庁舎建設	大阪府警察本部
H15	調査/確認	岩田遺跡	東大阪市	鉄道高架化	近畿日本鉄道(株)
H15	整理	瓜生堂遺跡	東大阪市	河川建設	大阪府土木部
H15	調査/整理	瓜生堂遺跡	東大阪市	下水道整備	大阪府土木部
H15	整理	瓜生堂遺跡	東大阪市	鉄道高架化	大阪府土木部
H15	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地建設	大阪府土木部
H15	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市/東大阪市	治水緑地建設	大阪府土木部
H15	調査/整理	池島・福万寺遺跡	八尾市/東大阪市	治水緑地建設	大阪府土木部
H15	調査	山賀遺跡	八尾市	調整池築造	大阪府土木部
H15	整理	小阪合遺跡	八尾市	集合住宅建設	都市基盤整備公団
H15	調査/整理	久宝寺遺跡	八尾市	水処理施設建設	大阪府土木部
H15	調査/整理	久宝寺遺跡	八尾市	防火水槽建設	都市基盤整備公団
H15	整理	久宝寺遺跡	八尾市	道路建設	都市基盤整備公団
H15	試掘	東大阪市南西部遺跡群	東大阪市	鉄道高架化	大阪外環状鉄道(株)
H15	試掘	松原市内遺跡群	松原市	道路建設	大阪府土木部/阪神高速道路公団
H15	調査/整理	八尾南遺跡ほか	八尾市/藤井寺市/柏原市	高規格堤防建設	国土交通省
H15	調査/整理	船橋遺跡ほか	八尾市/藤井寺市/柏原市	高規格堤防建設	国土交通省
H15	調査/整理	はざみ山遺跡	藤井寺市	集合住宅建設	都市基盤整備公団
H15	調査/整理	尺度遺跡	羽曳野市	道路建設	大阪府土木部
H15	整備	史跡池上曾根遺跡	和泉市	史跡整備	和泉市
H15	調査	大西遺跡	泉佐野市	鉄道高架化	南海電気鉄道(株)
H15	整理	湊遺跡ほか	泉佐野市	鉄道高架化	南海電気鉄道(株)
H15	調査/整理	男里遺跡	泉南市	道路建設	大阪府土木部
H16	確認	走井遺跡	豊中市	公園造成	国土交通省
H16	試掘	花園遺跡隣接地	東大阪市	鉄道高架化	近畿日本鉄道(株)
H16	確認	松原市内遺跡群	松原市	道路建設	阪神高速道路公団/大阪府土木部
H16	試掘	東雲遺跡隣接地	泉大津市	鉄道高架化	南海電気鉄道(株)
H16	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H16	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H16	調査/整理/確認	高宮遺跡ほか	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H16	調査/整理	太秦遺跡(太秦古墳群)	寝屋川市	道路建設	大阪府土木部
H16	調査/整理	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H16	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H16	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H16	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H16	調査	巢本遺跡	門真市	道路建設	国土交通省
H16	調査	巢本遺跡	門真市	道路建設	国土交通省
H16	調査	私部南遺跡	交野市	道路建設	日本道路公団
H16	調査	上の山遺跡	交野市/枚方市	道路建設	日本道路公団
H16	調査	上の山遺跡	交野市	道路建設	大阪府土木部
H16	調査/整理	上私部遺跡ほか	交野市	道路建設	日本道路公団
H16	調査/整理	東倉治遺跡	交野市	道路建設	日本道路公団
H16	調査	東倉治遺跡	交野市	道路建設	日本道路公団
H16	調査/整理	茄子作遺跡	枚方市	道路建設	日本道路公団
H16	調査	平池遺跡	交野市	道路建設	日本道路公団
H16	調査	有池遺跡	交野市	道路建設	大阪府土木部
H16	調査	禁野本町遺跡	枚方市	集合住宅建設	財務省
H16	整理	禁野本町遺跡	枚方市	集合住宅建設	財務省
H16	調査/整理	福井遺跡	茨木市	病院増築	財団法人大阪府警察協会
H16	整理	総持寺遺跡	茨木市	集合住宅建設	大阪府建築都市部
H16	整理	久宝寺遺跡	八尾市	道路建設	独立行政法人都市再生機構
H16	調査	山賀遺跡	八尾市	調整池築造	大阪府土木部
H16	調査/整理	小阪合遺跡	八尾市	集合住宅建設	大阪府住宅供給公社
H16	調査/整理	久宝寺遺跡	八尾市	水処理施設建設	大阪府土木部
H16	調査/整理	岩田遺跡	東大阪市	鉄道高架化	近畿日本鉄道(株)
H16	調査/整理	池島・福万寺遺跡	八尾市/東大阪市	治水緑地造成	大阪府土木部
H16	調査/整理	池島・福万寺遺跡	八尾市/東大阪市	治水緑地造成	大阪府土木部
H16	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市/東大阪市	治水緑地造成	大阪府土木部
H16	調査/整理	弓削ノ庄遺跡ほか/確認	東大阪市	鉄道高架化	大阪外環状鉄道(株)
H16	調査	三宅西遺跡ほか	松原市	道路建設	大阪府土木部
H16	調査	男里遺跡	泉南市	道路建設	大阪府土木部
H16	整理	男里遺跡	泉南市	道路建設	大阪府土木部
H16	整理	大坂城跡	大阪市	府庁舎建設	大阪府警察本部
H16	調査/整理	伽羅橋遺跡	高石市	道路建設	大阪府土木部

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H16	調査/整理	八尾南遺跡ほか	八尾市/藤井寺市/柏原市	高規格堤防建設	国土交通省
H16	整理	はざみ山遺跡	藤井寺市	集合住宅建設	独立行政法人都市再生機構
H16	整備	史跡池上曾根遺跡	和泉市	史跡整備	和泉市
H17	試掘	花園遺跡隣接地	東大阪市	連続立体交差化事業	近畿日本鉄道(株)
H17	調査	讃良郡条里	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H17	調査	讃良郡条里	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H17	調査/整理	太秦遺跡(太秦古墳群)ほか	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H17	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市/四條畷市	道路建設	国土交通省
H17	調査/整理	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H17	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H17	調査	巢本遺跡	門真市	道路建設	国土交通省
H17	調査	巢本遺跡	門真市	道路建設	国土交通省
H17	調査/整理	上の山遺跡ほか	枚方市/交野市	道路建設	西日本高速道路(株)
H17	調査	上私部遺跡	交野市	道路建設	西日本高速道路(株)
H17	調査	津田遺跡	枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)
H17	調査	東倉治遺跡	交野市	道路建設	西日本高速道路(株)
H17	調査	茄子作・茄子作下浦遺跡	枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)
H17	調査	太秦遺跡(太秦古墳群)ほか	寝屋川市/交野市	道路建設	大阪府土木部
H17	調査/整理	片山荒池遺跡	吹田市	集合住宅建設	大阪府住宅供給公社
H17	調査	勝部遺跡	豊中市	緑地整備	国土交通省
H17	整理	禁野本町遺跡	枚方市	集合住宅建設	財務省
H17	整理	福井遺跡	茨木市	病院増築	財団法人大阪府警察協会
H17	調査	吹田操車場遺跡	吹田市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H17	調査	山賀遺跡	八尾市	調節池築造	大阪府土木部
H17	調査/整理	山賀遺跡	八尾市	調節池築造	大阪府土木部
H17	調査/整理	小阪合遺跡	八尾市	集合住宅建設	大阪府住宅供給公社
H17	調査	新上小阪遺跡	東大阪市	集合住宅建設	大阪府建築都市部
H17	調査	植松遺跡	八尾市	集合住宅建設	大阪府建築都市部
H17	整理	久宝寺遺跡	八尾市	水処理施設建設	大阪府東部流域下水道事務所
H17	調査	玉櫛遺跡	茨木市	集合住宅建設	大阪府建築都市部
H17	調査/整理	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府土木部
H17	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府土木部
H17	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府土木部
H17	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府土木部
H17	整理	弓削ノ庄遺跡ほか	東大阪市	連続立体交差化事業	大阪外環状鉄道(株)
H17	調査	三宅西遺跡	松原市	道路建設	大阪府土木部
H17	調査	池内遺跡	松原市	道路建設	大阪府土木部
H17	整理	伽羅橋遺跡	高石市	道路建設	大阪府土木部
H17	整理	大坂城跡	大阪市	府庁舎建設	大阪府警察本部
H17	調査	湊遺跡ほか	泉佐野市	連続立体交差化事業	大阪府土木部
H17	調査/整理	童子畑遺跡ほか	泉南市	道路建設	大阪府土木部
H17	整理	八尾南遺跡	八尾市	高規格堤防建設	国土交通省
H17	調査	田井中遺跡	八尾市	警衛所及び浴場建設	防衛省
H17	調査/整理	はざみ山遺跡	藤井寺市	集合住宅建設	独立行政法人都市再生機構
H17	整備	池上曾根遺跡	和泉市	史跡整備	和泉市
H18	調査/整理	太秦遺跡(太秦古墳群)ほか	寝屋川市/四條畷市	道路建設	国土交通省
H18	調査/整理	讃良郡条里遺跡	寝屋川市/四條畷市	道路建設	国土交通省
H18	調査/整理	巢本遺跡	門真市	道路建設	国土交通省
H18	調査	私部南遺跡	交野市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H18	調査	私部南遺跡	交野市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H18	整理	有池遺跡ほか	交野市/枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)
H18	調査/整理	上の山遺跡ほか	交野市	道路建設	大阪府都市整備部
H18	調査	津田遺跡	枚方市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H18	調査	吹田操車場遺跡	吹田市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H18	調査	玉櫛遺跡	茨木市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H18	整理	片山荒池遺跡	吹田市	集合住宅建設	大阪府住宅供給公社
H18	整理	山賀遺跡	八尾市	調節池築造	大阪府都市整備部
H18	調査/整理	花屋敷遺跡	東大阪市	市街地再開発	河内花園駅前地区市街地再開発組合
H18	調査/整理	花屋敷遺跡	東大阪市	近畿日本鉄道奈良線連続立体交差化	近畿日本鉄道(株)
H18	整理	久宝寺遺跡	八尾市	水処理施設建設	大阪府東部流域下水道事務所
H18	調査/整理	新上小阪遺跡	東大阪市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H18	調査/整理	植松遺跡	八尾市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H18	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H18	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H18	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H18	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H18	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H18	調査/整理	三宅西遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H18	調査	池内遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H18	調査/整理	湊遺跡	泉佐野市	南海本線連続立体交差化	大阪府都市整備部
H18	調査/整理	若宮遺跡	泉佐野市	南海本線連続立体交差化	南海電気鉄道(株)
H18	調査/整理	大西遺跡ほか	泉佐野市	南海本線連続立体交差化	大阪府都市整備部
H18	調査	堺環濠都市遺跡	堺市	集合住宅建設	大阪府住宅供給公社
H18	調査	堺環濠都市遺跡	堺市	集合住宅建設	大阪府住宅供給公社
H18	整理	八尾南遺跡	八尾市	高規格堤防建設	国土交通省
H18	調査	大和川今池遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H18	整理	はごみ山遺跡	藤井寺市	集合住宅建替事業	独立行政法人都市再生機構
H18	整理	田井中遺跡	八尾市	警衛所及び浴場建設	防衛省
H18	整備	池上曾根遺跡	和泉市	史跡整備	和泉市
H19	調査/整理	太秦遺跡(太秦古墳群)ほか	寝屋川市/四條畷市	道路建設	国土交通省
H19	調査/整理	巢本遺跡	門真市	道路建設	国土交通省
H19	調査	私部南遺跡	交野市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H19	調査	私部南遺跡	交野市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H19	調査	私部南遺跡	交野市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H19	調査/整理	茄子作遺跡ほか /確認	枚方市/交野市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H19	調査/整理	上の山遺跡ほか	交野市	道路建設	大阪府都市整備部
H19	調査	上私部遺跡ほか	交野市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H19	調査/整理	吹田操車場遺跡	吹田市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H19	調査	吹田操車場遺跡	吹田市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H19	調査/確認	勝部遺跡	豊中市	緑地造成工事	国土交通省
H19	整理	玉櫛遺跡	茨木市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H19	整理	新上小阪遺跡	東大阪市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H19	整理	植松遺跡	八尾市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H19	整理	山賀遺跡	八尾市	調整池築造	大阪府都市整備部
H19	調査/整理	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H19	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H19	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H19	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H19	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H19	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H19	調査/整理	三宅西遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H19	調査/整理	池内遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H19	整理	湊遺跡	泉佐野市	南海本線連続立体交差化	大阪府都市整備部
H19	調査/整理	堺環濠都市遺跡	堺市	集合住宅建設	大阪府住宅供給公社
H19	調査/整理	堺環濠都市遺跡	堺市	集合住宅建設	大阪府住宅供給公社
H19	調査	下池田遺跡	岸和田市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H19	調査/整理	大和川今池遺跡	松原市/大阪市	道路建設	大阪府都市整備部
H19	調査	大和川今池遺跡	堺市/松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H19	調査/整理	船橋遺跡	柏原市	高規格堤防建設	国土交通省
H19	試掘	上田町遺跡隣接地	松原市	ポンプ場建設	大阪府水道部
H19	整備	池上曾根遺跡	和泉市	史跡整備	和泉市
H20	試掘/確認	吹田市南部遺跡群	吹田市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H20	試掘	池内遺跡隣接地	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H20	確認	禁野本町遺跡	枚方市	集合住宅建設	財務省
H20	調査/整理	太秦遺跡(太秦古墳群)ほか	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H20	整理	巢本遺跡	門真市	道路建設	国土交通省
H20	調査	私部南遺跡	交野市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H20	調査/整理	津田遺跡	枚方市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H20	調査	津田遺跡	枚方市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H20	調査/整理	上の山遺跡ほか	交野市/枚方市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H20	整理	吹田操車場遺跡	吹田市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H20	調査	吹田操車場遺跡	吹田市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H20	整理	吹田操車場遺跡	吹田市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H20	調査/確認	走井遺跡	豊中市	緑地造成工事	国土交通省
H20	整理	玉櫛遺跡	茨木市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H20	調査	新上小阪遺跡	東大阪市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H20	調査	植松遺跡	八尾市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部



年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H20	調査/整理	山賀遺跡	八尾市	調整池築造	大阪府都市整備部
H20	調査	久宝寺遺跡	八尾市	下水道人孔築造工事	大阪府東部流域下水道事務所
H20	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H20	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H20	調査/整理	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H20	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H20	調査/整理	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H20	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H20	整理	三宅西遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H20	調査	池内遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H20	調査	池内遺跡ほか	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H20	整理	池内遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H20	調査/整理	下池田遺跡	岸和田市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H20	整理	大和川今池遺跡	松原市/大阪市	道路建設	大阪府都市整備部
H20	調査/整理	大和川今池遺跡	堺市/松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H20	整理	船橋遺跡	柏原市	高規格堤防建設	国土交通省
H20	調査	若山遺跡	松原市	ポンプ場建設	大阪府水道部
H21	試掘	吹田城跡隣接地	吹田市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H21	試掘	大掘遺跡隣接地	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H21	試掘	片山荒池遺跡隣接地	吹田市	道路建設	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H21	試掘	止々呂美城跡隣接地	箕面市	道路建設	西日本高速道路(株)
H21	試掘	三宅西遺跡隣接地	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H21	整理	上私部遺跡ほか	交野市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H21	調査/整理	有池遺跡ほか	交野市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H21	調査	上の山遺跡	交野市	道路建設	大阪府都市整備部
H21	調査/整理	津田遺跡	枚方市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H21	調査	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	治水(地下河川)建設	大阪府都市整備部
H21	調査/整理	吹田操車場遺跡ほか	吹田市/摂津市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H21	調査	吹田操車場遺跡	吹田市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H21	調査	吹田操車場遺跡	吹田市	土地区画整理	独立行政法人都市再生機構
H21	調査/整理	新上小阪遺跡	東大阪市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H21	整理	山賀遺跡	八尾市	調節池建設	大阪府都市整備部
H21	調査/整理	久宝寺遺跡	八尾市	下水道人孔築造工事	大阪府東部流域下水道事務所
H21	調査/整理	植松遺跡	八尾市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H21	調査/整理	北鳥池遺跡ほか	東大阪市	送水管布設	大阪府東部水道事業所
H21	調査/整理	久宝寺遺跡	八尾市	下水道人孔築造工事	大阪府東部流域下水道事務所
H21	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H21	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H21	調査/整理	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H21	調査/整理	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H21	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H21	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H21	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H21	調査/整理	池内遺跡ほか	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H21	調査	池内遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H21	調査	池内遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H21	調査	太井遺跡ほか	堺市	送水管布設	大阪府水道部
H21	整理	下池田遺跡	岸和田市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H21	整理	大和川今池遺跡	堺市/松原市	道路建設	大阪府都市整備部/堺市
H21	整理	大和川今池遺跡	松原市/大阪市	道路建設	大阪府都市整備部
H21	調査/整理	若山遺跡	松原市	ポンプ場建設	大阪府水道部
H21	調査	大和川今池遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H22	試掘	成合・宮が谷地区	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)/大阪府都市整備部
H22	試掘	安満遺跡隣接地	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H22	試掘	千提寺地区	茨木市	道路建設	西日本高速道路(株)
H22	試掘	深井畑山窯跡群隣接地	堺市	送水管布設	大阪府水道部
H22	確認	信太千塚古墳群	和泉市	倉庫建設	防衛省
H22	整理	高宮遺跡ほか	寝屋川市	道路建設	国土交通省
H22	整理	私部南遺跡ほか	交野市	道路建設	国土交通省/西日本高速道路(株)
H22	調査/整理	讃良郡条里遺跡	寝屋川市	治水(地下河川)建設	大阪府都市整備部
H22	調査	止々呂美城跡	箕面市	道路建設	西日本高速道路(株)
H22	調査	吹田操車場遺跡	吹田市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H22	調査/整理	吹田操車場遺跡ほか	吹田市/摂津市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H22	調査/整理	吹田操車場遺跡	吹田市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H22	調査	吹田操車場遺跡ほか	吹田市/摂津市	土地区画整理	独立行政法人都市再生機構
H22	整理	新上小阪遺跡	東大阪市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H22	整理	植松遺跡	八尾市	集合住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H22	調査/整理	北島池遺跡ほか	東大阪市	送水管布設	大阪府東部水道事業所
H22	調査	禁野本町遺跡	枚方市	公務員宿舍建設	財務省
H22	整理	久宝寺遺跡	八尾市	下水道人孔築造工事	大阪府東部流域下水道事務所
H22	調査	瓜生堂遺跡ほか	東大阪市	鉄道建設	近畿日本鉄道(株)
H22	調査	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H22	調査	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H22	整理	池島・福万寺遺跡	八尾市/東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H22	調査/整理	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H22	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H22	調査/整理	池内遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H22	整理	若山遺跡	松原市	ポンプ場建設	大阪府水道部
H22	調査	並松町遺跡	堺市	道路建設	阪神高速道路(株)
H22	整理	三宅西遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H22	整理	大和川今池遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H22	調査/整理	大和川今池遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H22	調査	鬼虎川遺跡	東大阪市	送水管敷設	大阪府水道部
H23	試掘	成合遺跡隣接地	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H23	確認/試掘	金龍寺旧境内跡跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H23	試掘	千提寺地区	茨木市	道路建設	西日本高速道路(株)
H23	調査	成合遺跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H23	調査	千提寺西遺跡	茨木市	道路建設	西日本高速道路(株)
H23	調査	千提寺南遺跡	茨木市	道路建設	西日本高速道路(株)
H23	調査	止々呂美城跡	箕面市	道路建設	西日本高速道路(株)
H23	調査/整理	金龍寺旧境内跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)/大阪府都市整備部
H23	調査	萩之庄南遺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H23	調査	久宝寺遺跡	八尾市	パーキングエリア建設	西日本高速道路(株)
H23	調査/整理	吹田操車場遺跡ほか	吹田市/摂津市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H23	調査/整理	西ノ庄東遺跡ほか	吹田市/摂津市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H23	調査/整理	吹田操車場遺跡ほか	吹田市/摂津市	土地区画整理	独立行政法人都市再生機構
H23	調査/整理	明和池遺跡	摂津市	防災公園街区整備	独立行政法人都市再生機構
H23	調査/整理	禁野本町遺跡	枚方市	公務員宿舍建設	財務省
H23	調査/整理	瓜生堂遺跡ほか	東大阪市	鉄道建設	近畿日本鉄道(株)
H23	調査/整理	旧大阪府庁舎	大阪市	駅前再開発	(株)長谷川コーポレーション
H23	調査	讃良郡条里遺跡	四條畷市/寝屋川市	店舗建設	イオンモール(株)
H23	調査/整理	池島・福万寺遺跡	八尾市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H23	調査/整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H23	整理	池島・福万寺遺跡	八尾市/東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H23	調査/整理	鬼虎川遺跡	東大阪市	送水管布設	大阪広域水道企業団
H23	調査	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
H23	調査	瓜破北遺跡	大阪市	府営住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H23	調査/整理	並松町遺跡	堺市	道路建設	阪神高速道路(株)
H23	調査/整理	大和川今池遺跡ほか	大阪市/松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H23	調査/整理	池内遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H23	調査	池内遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H23	調査	諸目遺跡	泉佐野市	小学校建替	泉佐野市
H24	試掘	成合遺跡隣接地	高槻市	高速道路建設	西日本高速道路(株)
H24	確認	金龍寺旧境内跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H24	調査/整理	田井中遺跡ほか	八尾市	電源施設等新設	防衛省
H24	整理	西ノ庄東遺跡ほか	吹田市/摂津市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H24	調査/整理	吹田操車場遺跡ほか	吹田市/摂津市	土地区画整理	独立行政法人都市再生機構
H24	調査/整理	明和池遺跡	摂津市	防災公園街区整備	独立行政法人都市再生機構
H24	整理	池島・福万寺遺跡	東大阪市	治水緑地造成	大阪府都市整備部
H24	調査/整理	萩之庄南遺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H24	調査	萩之庄南遺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H24	整理	金龍寺旧境内跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)/大阪府都市整備部
H24	調査/整理	金龍寺旧境内跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)/大阪府都市整備部
H24	調査	成合遺跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H24	整理	成合遺跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H24	調査	千提寺西遺跡	茨木市	道路建設	西日本高速道路(株)
H24	調査	千提寺西遺跡ほか	茨木市	道路建設	西日本高速道路(株)
H24	調査	千提寺南遺跡	茨木市	道路建設	西日本高速道路(株)
H24	調査/整理	千提寺南遺跡	茨木市	道路建設	西日本高速道路(株)
H24	調査	止々呂美城跡	箕面市	道路建設	西日本高速道路(株)
H24	調査/整理	久宝寺遺跡	八尾市	パーキングエリア建設	西日本高速道路(株)
H24	調査	本町遺跡	豊中市	共同住宅建設	三菱地所レジデンス(株)
H24	整理	禁野本町遺跡	枚方市	公務員宿舍建設	財務省
H24	調査/整理	讃良郡条里遺跡	四條畷市/寝屋川市	店舗建設	イオンモール(株)
H24	整理	旧大阪府庁跡	大阪市	駅前再開発	(株)長谷工コーポレーション
H24	調査	田井中遺跡	八尾市	格納庫建替	防衛省
H24	調査/整理	瓜破北遺跡	大阪市	府営住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H24	調査	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
H24	調査/整理	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
H24	整理	池内遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H24	整理	池内遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H24	整理	鬼虎川遺跡	東大阪市	送水管布設	大阪広域水道企業団
H24	整理	並松町遺跡	堺市	道路建設	阪神高速道路(株)
H24	調査/整理	諸日遺跡	泉佐野市	小学校建替	泉佐野市
H25	試掘	梶原寺跡隣接地	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H25	試掘	上牧遺跡隣接地	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H25	試掘	千提寺南遺跡隣接地	茨木市	道路建設	大阪府都市整備部
H25	調査/整理	吹田操車場遺跡	吹田市	信号場基盤整備	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
H25	整理	吹田操車場遺跡ほか	吹田市/摂津市	土地区画整理	独立行政法人都市再生機構
H25	調査	梶原西遺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H25	調査	井尻遺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H25	確認/試掘	磐手杜古墳群ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)/大阪府都市整備部
H25	調査	磐手杜古墳群	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)/大阪府都市整備部
H25	調査	大坂城跡ほか	大阪市	立体駐車場建設	大阪府警察本部
H25	調査/整理	大坂城跡ほか	大阪市	医療施設建設	地方独立行政法人大阪府立病院機構
H25	整理	成合遺跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H25	調査	成合地獄谷遺跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H25	調査	千提寺西遺跡ほか	茨木市	道路建設	西日本高速道路(株)
H25	整理	千提寺西遺跡ほか	茨木市	道路建設	西日本高速道路(株)
H25	調査/整理	千提寺南遺跡	茨木市	道路建設	西日本高速道路(株)
H25	調査	止々呂美城跡	箕面市	道路建設	西日本高速道路(株)
H25	整理	止々呂美城跡	箕面市	道路建設	西日本高速道路(株)
H25	整理	久宝寺遺跡	八尾市	パーキングエリア建設	西日本高速道路(株)
H25	調査/整理	総持寺遺跡	茨木市	新駅設置	西日本旅客鉄道(株)
H25	整理	本町遺跡	豊中市	共同住宅建設	三菱地所レジデンス(株)
H25	調査/整理	蛭池北遺跡	豊中市	教会建設	宗教法人神慈秀明会
H25	調査/整理	讃良郡条里遺跡	寝屋川市/四條畷市	店舗建設	イオンモール(株)
H25	調査/整理	田井中遺跡	八尾市	格納庫建替	防衛省
H25	調査/整理	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
H25	調査/整理	天美北6丁目北遺跡	松原市	道路建設	大阪府都市整備部
H25	調査	伯太藩陣屋跡ほか	和泉市	道路建設	大阪府都市整備部
H25	整理	瓜破北遺跡	大阪市	府営住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H25	調査/整理	川北遺跡	藤井寺市	送水管布設	大阪広域水道企業団
H26	試掘/確認	梶原古墳群ほか	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H26	確認	禁野本町遺跡	枚方市	新キャンパス建設	学校法人関西外国語大学
H26	整理	田井中遺跡	八尾市	納庫建替	防衛省
H26	整理	吹田操車場遺跡ほか	吹田市/摂津市	土地区画整理	独立行政法人都市再生機構
H26	調査	吹田操車場遺跡	吹田市	土地区画整理	独立行政法人都市再生機構
H26	調査	吹田操車場遺跡	吹田市	医療施設建替整備	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
H26	調査	吹田操車場遺跡	吹田市	医療施設移転建替	地方独立行政法人市立吹田市民病院
H26	調査/整理	総持寺遺跡	茨木市	新駅設置	西日本旅客鉄道(株)
H26	整理	成合遺跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H26	調査/整理	成合地獄谷遺跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H26	整理	成合地獄谷遺跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H26	調査	磐手杜古墳群	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)/大阪府都市整備部

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H26	整理	千提寺西遺跡ほか	茨木市	道路建設	西日本高速道路(株)
H26	調査/整理	井尻遺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H26	調査	梶原西遺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H26	調査/整理	梶原西遺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H26	調査/整理	梶原古墳群	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H26	調査/整理	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
H26	調査/整理	伯太藩陣屋跡ほか	和泉市	道路建設	大阪府都市整備部
H26	調査	瓜破北遺跡	大阪市	府営住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H26	調査/整理	大坂城跡	大阪市	大阪府庁本館耐震改修	大阪府総務部
H26	整理	大坂城跡ほか	大阪市	立体駐車場建設	大阪府警察本部
H26	整理	大坂城跡ほか	大阪市	医療施設建設	地方独立行政法人大阪府立病院 機構
H26	調査	大坂城跡ほか	大阪市	医療施設建設	地方独立行政法人大阪府立病院 機構
H26	調査	天満蔵屋敷跡	大阪市	警察署改築	大阪府警察本部
H26	調査/整理	讃良郡条里遺跡	寝屋川市 / 四條畷市	店舗建設	イオンモール(株)
H27	確認	長原遺跡ほか	大阪市 / 八尾市	道路建設	国土交通省
H27	試掘	国見遺跡隣接地	茨木市	道路建設	大阪府都市整備部
H27	調査/整理	明和池遺跡	摂津市	医療施設建替整備	国立研究開発法人国立循環器病 研究センター
H27	整理	吹田操車場遺跡	吹田市	医療施設建替整備	国立研究開発法人国立循環器病 研究センター
H27	整理	成合地獄谷遺跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H27	整理	千提寺西遺跡ほか	茨木市	道路建設	西日本高速道路(株)
H27	整理	磐手杜古墳群	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株) / 大阪府都 市整備部
H27	調査	井尻遺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H27	調査/整理	梶原西遺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H27	整理	梶原古墳群	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H27	調査	禁野本町遺跡	枚方市	新キャンパス建設	学校法人関西外国語大学
H27	調査	中ノ坪遺跡	吹田市	物流施設建設	吹田ロジスティック特定目的会 社
H27	調査/整理	大坂城跡	大阪市	大阪府庁本館耐震改修	大阪府総務部
H27	調査/整理	大坂城跡ほか	大阪市	医療施設建設	地方独立行政法人大阪府立病院 機構
H27	調査	亀田遺跡	東大阪市	新駅設置	大阪外環状鉄道(株)
H27	調査/整理	服部遺跡	豊中市	学校校舎建替工事	豊中市教育委員会
H27	調査/整理	吹田操車場遺跡	吹田市	医療施設移転建替	地方独立行政法人市立吹田市民 病院
H27	調査	明和池遺跡	摂津市	中高層住宅建設	近鉄不動産JV
H27	調査	吹田操車場遺跡	吹田市	商業複合施設建設	JR西日本不動産開発(株)
H27	調査/整理	津堂遺跡	藤井寺市	物流施設建設	RW4 特定目的会社
H27	調査	瓜破北遺跡	大阪市	府営住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H27	調査/整理	川北遺跡	藤井寺市	送水管布設	大阪広域水道企業団
H27	調査	池内遺跡	松原市	土地区画整理	松原市天美東土地区画整理組合
H27	整理	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
H27	調査/整理	大泉郡条里遺跡ほか	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
H27	整理	伯太藩陣屋跡ほか	和泉市	道路建設	大阪府都市整備部
H28	確認/試掘	鶴殿遺跡ほか	高槻市 / 枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)
H28	試掘	梶原中村地区ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H28	試掘	梶原地区	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H28	調査/整理	招提北代遺跡	枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)
H28	調査/整理	井尻遺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H28	調査	梶原寺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H28	調査/整理	吹田操車場遺跡	吹田市	医療施設建替整備	国立研究開発法人国立循環器病 研究センター
H28	整理	吹田操車場遺跡	吹田市	商業複合施設建設	JR西日本不動産開発(株)
H28	整理	明和池遺跡	摂津市	医療施設建替整備	国立研究開発法人国立循環器病 研究センター
H28	調査/整理	明和池遺跡	摂津市	中高層住宅建設	近鉄不動産JV
H28	整理	中ノ坪遺跡	吹田市	物流施設建設	吹田ロジスティック特定目的会 社
H28	調査/整理	郡遺跡ほか	茨木市	物流施設建設	茨木松下開発特定目的会社
H28	調査/整理	総持寺遺跡	茨木市	新駅設置	西日本旅客鉄道(株)
H28	整理	禁野本町遺跡	枚方市	新キャンパス建設	学校法人関西外国語大学
H28	整理	大坂城跡ほか	大阪市	医療施設建設	地方独立行政法人大阪府立病院 機構
H28	調査/整理	西三荘遺跡	門真市	建物建築	パナソニック(株)
H28	調査	坊領遺跡	交野市	土地区画整理	京阪電鉄不動産(株)

年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
H28	整理	大県郡条里遺跡ほか	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
H28	調査/整理	大県郡条里遺跡ほか	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
H28	整理	瓜破北遺跡	大阪市	府営住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H28	調査/整理	伯太藩陣屋跡ほか	和泉市	道路建設	大阪府都市整備部
H28	整理	津堂遺跡	藤井寺市	物流施設建設	RW 4 特定目的会社
H28	調査/整理	池内遺跡	松原市	土地区画整理	松原市天美東土地区画整理組合
H28	調査/整理	船橋遺跡	柏原市	河川改修	国土交通省
H28	調査	川北遺跡	藤井寺市	送水管布設	大阪広域水道企業団
H29	試掘	上牧地区	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H29	試掘	星田北・星田駅北地区	交野市	土地区画整理	星田北・高田土地区画整理準備組合・星田駅北土地区画整理準備組合
H29	整理	吹田操車場遺跡	吹田市	医療施設建替整備	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
H29	調査/試掘	上牧遺跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H29	調査/試掘	船橋遺跡ほか	枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)
H29	整理	総持寺遺跡	茨木市	新駅設置	西日本旅客鉄道(株)
H29	整理	梶原寺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H29	整理	大県郡条里遺跡ほか	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
H29	調査/整理	山ノ井遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部/柏原市
H29	整理	瓜破北遺跡	大阪市	府営住宅建設	大阪府住宅まちづくり部
H29	整理	川北遺跡	藤井寺市	送水管布設	大阪広域水道企業団
H29	調査/整理	花屋敷遺跡	東大阪市	連続立体交差化事業	近畿日本鉄道(株)
H29	調査/整理	吹田操車場遺跡	吹田市	図書館建設	吹田市教育委員会
H29	調査/整理	宮ノ前遺跡	泉佐野市	公民館・プール建設	泉佐野市
H29	整理	郡遺跡ほか	茨木市	物流施設建設	茨木松下開発特定目的会社
H29	調査/確認/試掘	太田遺跡ほか	茨木市	東芝町計画	(株)東芝
H29	整理	明和池遺跡	摂津市	中高層住宅建設	近鉄不動産JV
H29	調査/整理	明和池遺跡	摂津市	敷地計画	近鉄不動産JV
H29	調査/整理	吹田操車場遺跡	吹田市	住宅整備運営事業	バナホーム(株)
H29	整理	禁野本町遺跡	枚方市	新キャンパス建設	学校法人関西外国語大学
H29	整理	坊領遺跡	交野市	土地区画整理	京阪電鉄不動産(株)
H29	整理	池内遺跡	松原市	土地区画整理	松原市天美東土地区画整理組合
H30	試掘	目伎地区	吹田市	総合車両所近代化事業	西日本旅客鉄道(株)
H30	確認/試掘	黒山遺跡ほか	堺市	商業店舗建設	三井不動産(株)
H30	調査	大坂城跡ほか	大阪市	合同庁舎建設	国土交通省
H30	調査	船橋遺跡ほか	枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)
H30	調査	船橋遺跡	枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)
H30	調査	上牧遺跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H30	調査/試掘	上牧遺跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
H30	調査/整理	井尻遺跡	高槻市	道路建設	大阪府都市整備部
H30	調査/整理	大県郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
H30	調査/整理	川北遺跡	藤井寺市	送水管布設	大阪広域水道企業団
H30	整理	吹田操車場遺跡	吹田市	図書館建設	吹田市教育委員会
H30	調査	禁野本町遺跡	枚方市	浄水場建設	枚方市上下水道局
H30	調査	金龍寺旧境内跡	高槻市	土地区画整理	高槻市成合南土地区画整理組合
H30	整理	郡遺跡ほか	茨木市	物流施設建設	茨木松下開発特定目的会社
H30	整理	太田遺跡ほか	茨木市	東芝町計画	NREG東芝不動産(株)
H30	整理	明和池遺跡	摂津市	敷地計画	近鉄不動産JV
H30	整理	吹田操車場遺跡	吹田市	住宅整備運営事業	バナホーム(株)
H30	調査	平池遺跡ほか	交野市	土地区画整理	星田北土地区画整理組合・星田駅北土地区画整理組合
H30	調査/整理	池内遺跡	松原市	土地区画整理	松原市天美東土地区画整理組合
H30	調査	新堂遺跡	松原市	土地区画整理	松原市新堂4丁目土地区画整理組合
H30	調査	東山遺跡	河南町	大学新棟建築	学校法人塚本学院
R1	確認/試掘	伊加賀遺跡ほか	枚方市/寝屋川市	京阪本線連立交差	大阪府都市整備部
R1	試掘	桜井地区	島本町	土地区画整理	JR島本駅西土地区画整理準備組合
R1	試掘	南目垣地区ほか	茨木市	土地区画整理	茨木市南目垣・東野々宮土地区画整理準備組合
R1	確認/試掘	駒ヶ谷遺跡ほか	羽曳野市	土地区画整理	近鉄不動産(株)
R1	確認/試掘	黒山遺跡ほか	堺市	土地区画整理	三井不動産(株)
R1	調査/整理	大坂城跡ほか	大阪市	合同庁舎建設	国土交通省
R1	調査	上牧遺跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R1	調査	船橋遺跡	枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)
R1	調査	船橋遺跡	枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)



年度	種別	遺跡名	所在地	調査原因	委託者
R1	整理	船橋遺跡	枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)
R1	調査	上牧遺跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R1	整理	上牧遺跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R1	調査	梶原南遺跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R1	調査/整理	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
R1	調査	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
R1	整理	禁野本町遺跡	枚方市	浄水場建設	枚方市上下水道局
R1	調査/整理	出合遺跡	千早赤阪村	新庁舎建設	千早赤阪村
R1	調査/整理	金龍寺旧境内跡	高槻市	土地区画整理	高槻市成合南土地区画整理組合
R1	調査/整理	太田遺跡	茨木市	共同住宅建設	三井不動産レジデンシャル(株)・野村不動産(株)
R1	調査/整理	太田遺跡	茨木市	店舗建設	イオンタウン(株)
R1	調査/整理	明和池遺跡	摂津市	施設建設	ニプロ(株)
R1	調査/整理	平池遺跡ほか	交野市	土地区画整理	星田北土地区画整理組合・星田駅北土地区画整理組合
R1	調査/整理	新堂遺跡	松原市	土地区画整理	松原市新堂4丁目土地区画整理組合
R1	調査/整理	東山遺跡	河南町	大学新築建築	学校法人塚本学院
R1	調査	黒山遺跡ほか	堺市	土地区画整理	三井不動産(株)
R1	整理	和歌山城跡	和歌山市	市民文化交流センター建設	和歌山市
R2	試掘/確認	金龍寺旧境内跡ほか	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R2	整理	大坂城跡ほか	大阪市	合同庁舎建設	国土交通省
R2	調査	船橋遺跡	枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)
R2	整理	船橋遺跡	枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)
R2	整理	上牧遺跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R2	調査	梶原南遺跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R2	整理	梶原南遺跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R2	調査	伊加賀遺跡ほか	枚方市	京阪本線連立交差	大阪府都市整備部
R2	調査	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
R2	調査/整理	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
R2	調査/整理	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
R2	調査	庄内遺跡	豊中市	学校建設	豊中市教育委員会
R2	整理	禁野本町遺跡	枚方市	浄水場建設	枚方市上下水道局
R2	調査	普賢寺遺跡	門真市	土地区画整理	門真市
R2	調査	尾山遺跡	島本町	土地区画整理	JR島本駅西土地区画整理準備組合
R2	調査/整理	金龍寺旧境内跡	高槻市	土地区画整理	高槻市成合南土地区画整理組合
R2	整理	太田遺跡ほか	茨木市	店舗建設	イオンタウン(株)
R2	調査/整理	難波御蔵跡ほか	大阪市	難波中計画	大成建設JV
R2	整理	平池遺跡ほか	交野市	土地区画整理	星田北土地区画整理組合・星田駅北土地区画整理組合
R2	整理	新堂遺跡	松原市	土地区画整理	松原市新堂4丁目土地区画整理組合
R2	調査/整理	黒山遺跡ほか	堺市	土地区画整理	三井不動産(株)
R2	整理	和歌山城跡	和歌山市	市民文化交流センター建設	和歌山市
R3	試掘	成合地区	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R3	整理	庄内遺跡	豊中市	学校建設	豊中市教育委員会
R3	調査/整理	尾山遺跡	島本町	土地区画整理	JR島本駅西土地区画整理組合
R3	整理	金龍寺旧境内跡	高槻市	土地区画整理	高槻市成合南土地区画整理組合
R3	調査/整理	金龍寺旧境内跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R3	調査/整理	金龍寺旧境内跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R3	調査	梶原古墳群	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R3	整理	上牧遺跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R3	整理	梶原南遺跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R3	調査	梶原南遺跡	高槻市	道路建設	西日本高速道路(株)
R3	整理	船橋遺跡	枚方市	道路建設	西日本高速道路(株)
R3	調査	太田遺跡ほか	茨木市	学校建設	学校法人追手門学院
R3	調査	中条小学校遺跡ほか	茨木市	学校建設	学校法人立命館
R3	調査	目依遺跡ほか	吹田市	車両所近代化改良事業	西日本旅客鉄道(株)
R3	調査/整理	伊加賀遺跡ほか	枚方市	京阪本線連立交差	大阪府都市整備部
R3	整理	普賢寺遺跡	門真市	土地区画整理事業	門真市
R3	調査	西岩田遺跡	東大阪市	モノレール延伸事業	大阪モノレール(株)
R3	整理	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
R3	調査/整理	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
R3	調査/整理	大泉郡条里遺跡	柏原市	治水緑地建設	大阪府都市整備部
R3	整理	黒山遺跡ほか	堺市	土地区画整理	三井不動産(株)
R3	整理	和歌山城跡	和歌山市	市民交流センター建設	和歌山市

※「所在地」は調査当時の地名である。

### 3. 発掘調査の歩み

#### 財団法人大阪文化財センター（昭和47年～平成6年）

##### 分布調査・試掘調査の時代（昭和47～50年）

昭和47年11月28日、財団法人大阪文化財センター（以下、旧センター）は大阪府教育委員会（現、大阪府教育庁）の認可を受け設立され、昭和48年1月に事務、普及啓発、遺物整理、分布・試掘調査を事業別に分担し3名で発足した。調査に関する事業は、遺物整理、分布・試掘調査の2部門である。

遺物整理については、第二阪和国道内遺跡調査会解散に伴う池上・四ツ池遺跡の遺物整理事業の継承が旧センター設立の契機であり、当初より事業の主要部門として位置づけられていた。池上・四ツ池遺跡の遺物整理事業は、設立年度の昭和47年から実施しているが、昭和49年当初の組織改組により第1遺物整理室が担当となり、昭和53年まで実施した。泉州方面の幾つかの遺跡調査会からも要請があり、それに対応するために昭和49年に第2遺物整理室を設置した。昭和49・50年に、岸和田遺跡調査会・豊中古池遺跡調査会・大園遺跡調査会等が実施した発掘調査の遺物整理を受託している。

調査室が担当した分布・試掘調査であるが、旧センターでの埋蔵文化財調査の当初の方針は、いわゆる行政発掘の本調査には手を染めず、もっぱら分布調査と試掘調査を行うことになっていた。これは、遺跡破壊を前提とする行政発掘そのものではなく、大阪府教育委員会（現、大阪府教育庁文化財保護課）の指導のもとに文化財保護の観点から分布・試掘調査を実施し、客観的なデータ提供を行うという考えからであった。

##### オイルショック

設立当初は、当時の田中角栄首相の唱える日本列島改造論による民間企業の大規模開発計画が多かった。そのため、分布・試掘調査は多忙であった。ところが、昭和48年10月に勃発した第4次中東戦争を引き金とする第1次オイルショックによる急激な景気後退は、民間企業の大規模開発意欲を萎縮させてしまった。旧センターでは、分布調査では昭和50年、試掘調査は昭和51年を最後に、民間企業の独自事業による調査委託は途絶えている。

民間企業からの事業委託を喪失したため、旧センターの分布・試掘調査は、もっぱら国・地方公共団



久宝寺遺跡

体や公社・公団（当時）が実施する公共事業に限定されることになった。この時期の事業で特筆すべきものは、日本道路公団（現、NEXCO西日本）が建設を進めていた近畿自動車道天理吹田線の第1次発掘調査（試掘調査）を昭和48・49年に実施したことである。路線が南北に縦貫する河内平野の低湿地部に分布する遺跡群は、旧大和川のもたらした膨大な土砂の下に埋没しているが故に、通常の分布調査では発見できない。遺跡の存在は、地中深く掘削が及ぶ土木工事等によって偶然発見されたものである。そこに試掘トレンチを設定するためには、困難な条件が待っていた。一つは府道大阪中央環状線という主要幹線道路の中央分離帯の中での発掘調査で種々の安全対策が必要であること、もう一つは地表下5mまでは掘削が必要のため、鋼矢板を使った土留工の施工が不

可避ということである。こうした難問を解決するために、工事請負方式が採用された。この方式は、発掘調査の中での土木的な要素について建設会社から調査支援を受けるものであるが、これにより土木工事並みの安全管理、鋼矢板の打設やクラムシェル使用の機械掘削などの土木技術を駆使した発掘調査が可能となった。この経験により、低湿地遺跡発掘調査のノウハウが蓄積されるとともに、これ以降の発掘調査における旧センターが発注する工事請負方式の全面採用につながった。

この第1次発掘調査は、路線内周知の遺跡を対象に5×5mの調査区を合計45箇所設定し、地表下5mの深さまで調査した。調査した遺跡は、昭和48年が亀井・久宝寺・友井東の3遺跡、昭和49年が山賀・若江北・巨摩・瓜生堂・西岩田・新家の6遺跡である。なお、49年の調査で佐堂遺跡が新規発見された。

なお、旧センターの調査部門の特徴として挙げられるのは、草創期から写真室を設置し、写真専門職員を配属したことである。これは、遺物整理の促進とともに、文化財の一般市民への普及には写真が重要との意図であるが、専門職員の利を生かして外部機関の依頼による写真撮影も行った。この撮影受託は、昭和53年まで行われた。

#### 近畿自動車道天理吹田線本調査の時代(昭和51～60年)

旧センターの調査部門が大きく転換したのは、近畿自動車道天理吹田線本調査の調査主体になったことによる。この時点で、設立時の方針であった分布・試掘調査限定の枠を撤廃した。

近畿自動車道天理吹田線は、奈良県天理市と大阪府吹田市を結ぶ高速自動車国道であるが、そのうちの天理～松原間は西名阪自動車道として昭和44年3月、吹田～門真間は大阪万国博覧会開催前の昭和45年3月に供用を開始した。残る門真～松原間のうちの遺跡の存在する東大阪市以南は、前述したように河内平野の低湿地遺跡群の中を縦貫することから、昭和46年から大阪府教育委員会、建設主体の日本道路公団との間で協議が続けられた。その間の経緯は、天理吹田線本報告『河内平野の動態』第1巻 第1章 第1節に詳述されているので、ここでは省略する。

昭和48・49年に旧センターは路線内の周知の9遺跡を対象として第1次発掘調査を実施したが、この時に佐堂遺跡が発見された。この前後、路線周辺でも地下鉄やガス管敷設に伴う旧センターや大阪府教育委員会の試掘調査や発掘調査が実施され、新たに長原・城山・美園遺跡が発見された。このように、路線内の遺跡群の実態が明らかになると、本調査には大規模な調査体制と相当な期間・費用が必要なことが判明した。そこで、大阪府教育委員会は、この調査主体をどうするか検討を進めた結果、旧センターへ協力要請を行うことになった。両者は、大阪府教育委員会文化財専門職員の中の反対意見も考慮し、あくまで大阪府教育委員会の指導の下に共同調査を行うことを原則として、業務分担の明確化で了解点に達した。これにより、旧センターはこの一大調査事業の受諾を決意した。

昭和51年4月7日に日本道路公団を加えた三者で、当時周知されていた13遺跡の内の長原・城山・亀井の3遺跡を対象として協定書が締結されたが、参考までに旧センターと大阪府教育委員会の業務分担を下記に示す。

- ◇ 大阪府教育委員会 調査全般の総括／調査の場所及び範囲の決定／調査方法の決定／調査結果に基づく協議／国・市・その他外部機関との連絡協議
- ◇ 両者 調査報告書の作成



巨摩遺跡



◇ 旧センター 発掘調査／出土品の分析調査委託／出土品の整理及び保管（報告書作成時まで）  
／調査経費の収入及び支出

この後、調査対象範囲を路線内の全面とする大阪府教育委員会と遺跡を破壊する橋脚基礎部のみに限定すべきとする日本道路公団との間で意見対立が生じたが、この間の経緯も前掲本報告第1巻に詳述されているので省略する。結論として、橋脚基礎部のみ調査の対象とするが、重要遺構が検出されれば保存に配慮するという事になった。ともかく、昭和51年7月1日付けをもって大阪府教育委員会・日本道路公団・財団法人大阪文化財センターの三者による長原遺跡発掘調査の委託契約が締結され、天理吹田線の発掘調査が正式に開始された。天理吹田線の調査開始に伴い、旧センターとしては第二阪和国道の遺物整理要員と合わせた調査体制の拡充に迫られたため、昭和51年9月1日付けをもって文化財専門職員15名を採用し、職員数は29名となった。

発掘調査は、当初長原遺跡から順に北に進む予定であった。ところが、最初の長原遺跡の調査で埋没古墳群等が検出され、遺構保存による橋脚位置の変更と再調査が繰り返されたため、7ヶ月の調査予定期間が1年9ヶ月かかってしまった。そこで、日本道路公団は、このままでは高速道路の建設の目処が立たないと判断し、次の調査対象を重要遺跡との評価が定まっている瓜生堂遺跡とすること、調査方法の変更による保存協議の迅速化の2点を求めた。この間の経緯も前掲本報告第1巻に詳述されているので省略するが、結論として「トレンチ切掘り方式」が採用され、以後天理吹田線の調査方式として踏襲される。この方式は、路線幅30mの中央を縦貫する幅10mのトレンチを発掘調査し、その調査結果をもとに重要遺構を避けて橋脚の位置を決定する。そして、次に決定した橋脚基礎部のうちの未調査部として残された両端を調査するという2段階調査方式である。また、瓜生堂遺跡の発掘調査着手にあたって、大阪府教育委員会は、日本道路公団から道路供用日程の切迫から更なる調査体制の拡充を要請されたため、管理職および多数の文化財専門職員の旧センターへの派遣を決めた。1職員の派遣期間が最長3年のため、大阪府教育委員会では新規に専門職員を採用し、順次センターに派遣した。そのため、昭和57年度を例にとると、大阪府教育委員会から文化財専門職員だけで24名の派遣を得ている。このような調査体制の拡充により、天理吹田線の発掘調査は全面展開となり、久宝寺遺跡と亀井遺跡の間で新規発見された亀井北遺跡、松原ジャンクションの南側に位置する大堀遺跡を加えた15遺跡の現地調査を昭和61年で完了した。

この天理吹田線の発掘調査の意義は、遺構面が地中深く埋没しているため発掘調査例の少なかった河内平野の低湿地遺跡群をほぼ連続して調査し、その豊かな歴史性を明らかにしたことにある。低湿地遺跡は、生活面が洪水堆積層に覆われてそのまま残存している場合が多く、この一連の調査により、主に



久宝寺遺跡

弥生時代から古墳時代にかけての様相解明に大いに寄与した。

また、天理吹田線の本報告作成のための遺物整理については、これも関係機関の間で長い協議が費やされたが、昭和60年4月1日付けで委託契約が締結された。この遺物整理は、15遺跡を南北2群に分け、時期毎に報告書をまとめることで、遺跡群を有機的に把握しようと意図したものである。遺物整理は、平成11年まで継続され、平成12年の第8巻の刊行をもって天理吹田線のすべての事業が終了した。

この時期、天理吹田線以外の調査では、引き続

き分布・試掘調査を行うとともに、大阪府土木部の事業として長吉ポンプ場建設に伴う亀井遺跡、府道松原泉大津線建設に伴う太平寺・万崎池・菱木下・西浦橋遺跡等の調査を実施している。

また、天理吹田線から南に延伸する近畿自動車道松原海南線（現在は松原那智勝浦線、事業名として前半は通称の和歌山線を使用した）についても試掘調査を開始するとともに、熊取町所在の成合寺遺跡の本調査を実施している。

#### 近畿自動車道松原海南線・府道松原泉大津線本調査の時代（昭和60～平成6年）

近畿自動車道松原海南線は、同天理吹田線の松原ジャンクションから南に分岐し、和歌山県海南市まで続く高速自動車国道である。日本道路公団が建設主体となるこの高速道路は、府道大阪中央環状線の美原町（現、堺市美原区）所在の美原ロータリーから堺市小阪までは大阪府土木部南部特定事業建設事務所が建設主体となる府道松原泉大津線（国の補助金の出所の違いで泉大津美原線とも呼称）と併設された。

当初の計画では、公団単独区間および併設区間の埋蔵文化財調査のすべてが旧センターの調査担当であった。ところが、関西新空港の建設に伴う埋蔵文化財調査のために昭和60年4月に財団法人大阪府埋蔵文化財協会（以下、旧協会）が設立され、旧センターと旧協会の両方で発掘調査を分担することになった。旧センターの担当は併設区間とその北側の公団単独区間、旧協会の担当は併設区間より南の公団単独区間となった。ただ、熊取町成合（成合寺と呼ぶ場合もある）遺跡については、昭和57・58年の第1次調査と59年の本調査を旧センターが実施した。また、両者の調査工程の都合から、併設区間の平井遺跡を旧協会で、公団単独区間の伏尾・大庭寺遺跡の一部を旧センターで調査している。

旧センター担当の併設区間の調査方法については、中央部に高架方式の高速道路、両側に平面方式の府道が設置されるため、大阪府教育委員会と大阪府土木部・日本道路公団の協議の結果、昭和61年より3段階調査方式が採用された。この方式は、まず1段階として府道両端の幅5mの歩道部分を第1遺構面もしくは包含層上面まで機械掘削し、本調査の必要範囲を決定する。第2段階として本調査が必要と判断された両側各約20mの府道部分を全面調査する。この調査成果をもとに、高速道路の橋脚位置を遺構等の保存の必要な場所を避けて決定する。第3段階として、高速道路用地内の橋脚位置とそれ以外に特に必要と認められる場所を発掘調査するというものである。第3段階での高速道路用地の発掘調査面積は、70%程度が目安であった。このような複雑な調査方式が採用されたのは、全面調査を原則とする府道と、天理吹田線の2段階調査方式の折衷が図られたためである。

松原海南線と併設区間の旧センター担当遺跡は、北側から公団単独区間の観音寺遺跡、併設区間の丹上・真福寺・太井・日置荘・福田・小阪遺跡、公団単独区間の伏尾・大庭寺遺跡の一部である。この区間の遺跡は、天理吹田線のような低湿地ではなく、丘陵や段丘上に立地するため、開析谷や谷底平野を除けば遺構面の埋没深度が浅い特徴を有する。そのため、発掘調査の大半は順調に推移したが、一部用地買収等で調査着手が遅れ、平成4年の伏尾遺跡（その3）が最後の調査となった。

この一連の調査で最も特筆すべき成果としては、中世に全国的に活躍した河内鑄物師の活動を具体的な遺構で明らかにしたことである。その他、泉北丘陵の谷底平野の沖積地に埋没する縄文時代の重複する遺構面、陶邑関連の集落や窯跡群の検出など多くの成果を獲得している。なお、昭和



日置荘遺跡



61 年末をもって、近畿自動車道天理吹田線瓜生堂遺跡の発掘調査以来継続してきた大阪府教育委員会からの文化財専門職員の出向が終了している。

近畿自動車道関係の発掘調査が終了したことにより、旧センターの発掘調査の対象地域は、協会が主に担当している泉州方面を除いた府全域に拡大した。

この他の特筆すべき発掘調査としては、恩智川治水緑地建設に伴う池島・福万寺遺跡の発掘調査がある。この調査は、大阪府教育委員会が昭和 56 年度の試掘調査から継続してきたものであるが、平成元年から旧センターがその後を引き継いで実施することになった。事業地面積が 40.2ha、調査深度が 4 m 以上に及ぶ大規模調査であり、これ以降のセンターの発掘調査事業の大きな柱となった。平成 4 年には当該事業の拠点として池島分室が設置された。調査では進捗に合わせて現地説明会を数多く実施したが、特に昭和 64 年から平成 5 年と平成 11 年に行った現地説明会は、背景となる時代や、米作りや古墳祭祀、玉作りなどのテーマを決めて実施した。説明会では、当時の衣装や装身具、農具などの小道具を自作して着用、センター職員総出でパフォーマンスを前面に押し出し、出土遺物や遺構を説明する今までとは異なった、ビジュアルな現地説明会で参加者からは大好評を博した。

平成 2 年から大阪府庁建替えに伴う大坂城跡の発掘調査も開始し、平成 8 年にかけて 6 次にわたり実施された。この調査は、昭和 62 年 9 月に発表された「庁舎・周辺整備計画」に基づいて、平成元年 10 月に策定された大阪府庁・周辺整備基本計画によるもので、庁舎周辺整備事業として府庁舎の建替えが開始された当初計画としては、新別館、行政棟、議会棟、警察棟へと進む予定であった。

平成 3 年から大阪府土木部施工の府道大阪中央環状線関連の改良工事（立体交差）に伴う発掘調査が、巨摩遺跡、若江北遺跡、丹上遺跡、観音寺遺跡、清堂遺跡、新金岡更池遺跡で実施された。このうち、巨摩・若江北遺跡では縄文時代から古墳時代前期までの遺構や遺物が見つかっており、なかでも巨摩遺跡は既往の調査成果を考え合わせると、北側に隣接する瓜生堂遺跡と共に 70 基以上の方形周溝墓からなる、弥生時代中期末から後期にかけての墓域と考えられる。

平成 4 年から大阪府土木部施工の大阪モノレール蛍池東線・西線建設に伴う発掘調査が開始された。この調査は「都市計画道路大阪モノレール整備事業」に伴うもので、第 I 区間は大阪府教育委員会と豊中市教育委員会が発掘調査を行っている。センターが行った調査は第 II 期区間に関わるもので、豊中市麻田藩陣屋跡、蛍池東遺跡、蛍池遺跡、蛍池西遺跡、宮の前遺跡を対象として、平成 9 年まで行った。平成 9 年に大阪モノレールは大阪空港駅から門真市駅まで開業している。なお、令和 3 年 8 月には、門真市駅から（仮）瓜生堂駅までの延伸に伴う発掘調査が開始されている。

また、安威川総合開発に伴う安威川文化財等総合調査を平成 2 年から開始している。この総合調査は、



池島・福万寺遺跡 現地説明会

茨木市での安威川ダム建設を中心とする安威川総合開発事業に伴って影響を受ける地域を対象に、自然・文化・歴史を総合的に調査し、記録保存するものである。各分野の専門家を集めた安威川総合調査委員会を平成 2 年に発足させ、3 年より調査の了解を得られた地区から調査に着手し、当初計画では平成 6 年に報告書を刊行する予定であったが、調査の了解を得られず、平成 9 年にこれまでの成果をまとめた中間報告書を刊行した。

平成 5 年には、平成 23 年以降に本格化する新名神高速道路建設に伴う発掘調査に先立つ分布調査を実施している。

平成6年5月には、近畿自動車道の調査拠点の最後の分室である、東大阪市本庄西1丁目にあった長田分室を、現中部調査事務所である東大阪市長田東1丁目に竣工した東大阪文化財整理収蔵庫へ移転し、新たに長田分室とした。また、同年8月には大阪府城東区中央1丁目の京橋ハイツより、普及資料室を長田分室内へ移転した。この長田分室は平成7年の財団法人大阪府埋蔵文化財協会との統合による組織改正により中部調査事務所と名前を変え、現在まで当法人の調査拠点として機能している。

### 財団法人大阪府埋蔵文化財協会（昭和60年～平成6年）

#### 国際空港建設および周辺整備促進に関わる発掘調査（昭和60～平成3年）

財団法人大阪府埋蔵文化財協会の発掘調査は関西国際空港建設に伴うアクセス道路予定地と周辺整備等の関連事業が主たる対象であった。国際空港開港の時期が定められているため、財団専属職員（発足初年度15名）だけではとても必要な組織体制を組むことができず、大阪府からの派遣職員以外に京都府、奈良県、和歌山県、兵庫県、池田市、和泉市、泉大津市、泉佐野市、柏原市、岸和田市、堺市、泉南市、阪南市、熊取町、岬町、財団法人（現、一般財団法人）大阪市文化財協会からの応援を得て、最盛期の平成2年は事務職員を含め総勢60名体制（初年度は41名）でこれにあたった。

昭和60年は近畿自動車道予定地の和泉市信太山遺跡と泉南市滑瀬遺跡、国道170号線バイパス予定地の和泉市仏並遺跡、府道磯之上山直線とその延長となる岸和田・牛滝山・貝塚線予定地の岸和田市内各遺跡、府道貝塚中央線予定地の脇浜遺跡の発掘調査と試掘調査、空港島埋め立て用土砂採取地の阪南丘陵開発予定地の分布調査などが行われた。この年は大阪市中央区谷町にあった総務・経理の事務を行う本部事務所しかなく、調査部門を担当する技師は遺物整理を抱えながら発掘現場事務所を渡り歩く状態にあったが、年度末に延べ床面積約400㎡の泉大津調査事務所が完成し、ようやく安住の地を得て61年から本格的な整理業務を開始した。

昭和61・62年は岸和田市以南の調査が中心となり、府道岸和田・牛滝山・貝塚線、府道貝塚中央線、近畿自動車道予定地、阪南丘陵開発予定地の発掘調査と試掘調査が主な事業となった。

ミノバ石切場跡や井山城、金剛寺遺跡、貝掛遺跡など広範囲に発掘調査が行われ、初期須恵器窯跡が発見され、海外の研究者からも注目を集めた堺市大庭寺遺跡の発掘調査も始まった。

近畿自動車道から関西国際空港へのアクセス道路である空港連絡道路部の調査は昭和63年から始まり、平成元年からは毎年4ないし5パーティで平成4年まで実施した。近畿自動車道予定地内についても堺市伏尾・大庭寺・野々井・野々井西の4遺跡の発掘調査が同年度に終了し、国際空港島への最重点アクセス予定地のすべての現地調査が終了した。空港連絡道路が縦断する泉佐野市域ではこのほかに、JR空港線および南海電鉄空港線の新設や市内各所で関連事業が計画され、日根荘の景観がこれまでと大きく変わることが懸念されたため、発掘調査成果との対比を検討することを目的として水利調査や民俗学的な聞き取り調査、歴史資料調査を含む総合調査を実施した。

#### 中河内・北摂津地域への展開（平成4～6年）

平成4年からは残された道路網の整備と区画整理事業や住宅施設など各種関連事業に関わる発掘調査が加わり、5年以降はこのほかに箕面・茨木市の山中に計画されていた国際文化公園都市事業予定地内の分布調査・発掘調査や都市公園住宅建設に関わる総持寺遺跡などの調査が新たに始まった。事業範囲が中河内や北摂津地域にも広がり、



大庭寺遺跡 TG232号窯



平成7年4月に財団法人大阪文化財センターと統合後に本格化した溝咋遺跡の事前交渉も始まった。

昭和60～平成6年の調査件数は約300件、95遺跡にのぼり、総調査面積は130万㎡に及んだ。ただし、分布調査や試掘調査のみに終わった対象範囲の面積も含まれており、実際の発掘調査面積はおおよそ90万㎡ほどである。

岸和田市以南の泉州南部地域ではそれまで大規模な発掘調査が少なかったためか、各地で著しい発掘調査成果が得られた。初期の調査では和泉市山中の仏並遺跡で縄文時代中期末から後期の竪穴住居跡を伴う集落遺跡が発掘され、おびただしい土器とともに2点の土製仮面が出土し、1点は調査員の腐心の末に復元され、全国的に注目を浴びた。令和2年3月には大阪府指定有形文化財に指定された。阪南市のミノバ石切場跡の調査では、石臼材の大石の切り出しから粗加工、細部加工と加工場を変えながらの工程を明らかにすることができた。河内長野市高向遺跡では、細かくメッシュを設け定量的な耕作土の土壌サンプルを水洗し、剥片と石器の分類・分析を行って縄文時代前期相当の石器製作地を見事に見つけた。

昭和62年から平成4年にかけて行われた堺市大庭寺遺跡では当初から古い須恵器を伴うことが注目され、ついに列島最古段階の須恵器窯を発掘することができた。担当者達の努力もあって、調査・整理段階から各方面から注目を集め、韓国の研究者にもたびたび来訪してもらった。現在もこの資料の見学者が途絶えない。令和4年3月15日に「陶器窯跡群（TG231・232）出土品」として大阪府指定有形文化財に指定されている。平成5年に行われた堺市下田遺跡の調査では平成29年に大阪府指定有形文化財となった銅鐸が出土したほか、四方転びの箱や威儀具、短甲等種々の木製品と古墳時代初頭の土師器が大量に出土し、ここで行われた古式土師器の編年は、大阪府下はおろか畿内の基準資料になっている。また、伴出の木製品の年輪年代から下田遺跡で整理された布留式最古段階が西暦270年前後に相当することも明らかにされている。

### 統合 財団法人大阪府文化財調査研究センター（平成7年～13年）

平成7年4月1日、旧センターと旧協会が統合され、財団法人大阪府文化財調査研究センター（以下、センター）と改称された。これにより、発掘調査業務は北摂から泉南までという文字通り府全域が対象となった。

調査部門の人数は調査部長以下59名となり、組織としては本部に全体的な調整機能と工事設計・施工管理を受け持つ調整課を新設するとともに、北・中・南の3調査事務所制をしいた。各調査事務所の担当地域は、淀川以北が北部、淀川から大和川までが中部、大和川以南が南部である。また池島分室と泉北分室を引き続き置いた。調査部門の拡充に伴い、大阪府教育委員会から文化財専門職員による管理職7人の派遣を得たほか、平成7年は、泉南地域



下田遺跡

2市から文化財専門職員2名の派遣を得ている。

両組織の統合に伴い、報告書作成方式が原則変更された。旧センターでは、長期にわたる事業は、現地調査優先という観点から概要報告書→本報告書という2段階方式を行ってきた。ところが、この方式では本報告書作成がかなり後になるため、綿密な整理ができる代わりに調査成果の鮮度が落ちる欠点があった。そこで、センターでは、旧協会が行ってきた調査毎に遺物整理を行って本報告書を作成する方式を採用した。但し、旧センターで概要報告書→本報告書という方式で行っていた

事業については、従来の方式を踏襲した。

また、調査や整理に関わる基準として、調査マニュアルの整備を開始した。旧センターでは、昭和61年12月20日に「遺跡調査マニュアル」、旧協会では昭和60年6月1日に「発掘調査規程」が制定されていた。統合に先立ち、平成6年には両者のマニュアルのすり合わせが行われたが、両者のマニュアルは、ベーシックな部分以外は共通点がほとんどないほど異なったもので、話し合いは難航した。最終的には、両者の良い部分を取り出した上で、旧センターのマニュアルをベースとすることに決定した。

統合後の平成7年以降の調査として、旧センターから引き続き行っている恩智川治水緑地建設に伴う池島・福万寺遺跡の発掘調査がある。この遺跡は、生駒山西麓前面に広がる恩智川流域の低湿地に立地する。地表下4～5mまでの分厚い洪水堆積層の累積の中に、弥生時代前期から現代まで連続した水田・畠が検出され、ひとつの遺跡で農業の変遷が把握できる希少な遺跡となった。この恩智川治水緑地は、恩智川を挟んで東側の東大阪市池島地区と西側の八尾市福万寺地区に各二つの遊水池を作るもので、事業対象面積が40.2haにも及ぶ広大なものである。発掘調査は、福万寺Ⅰ期が平成6年度、池島Ⅰ期が平成13年度に終了し、池島Ⅱ期と福万寺Ⅱ期の発掘調査に移行する予定であった。

大阪府庁建替えに伴う大坂城跡の発掘調査は平成7年まで実施したが、大阪府の財政難により新別館2棟を建設した段階で、以降の行政棟や議会棟の建設計画が凍結された。平成7年までの発掘調査については、調査単位毎に6冊の概要報告書を作成したが、凍結期間中に本報告作成のための遺物整理を行うことになり、平成9年から3ヵ年の予定で開始された。ところが、さらなる大阪府の財政悪化で3年目の平成11年の遺物整理予算が付かず、以後木製品の水替え等の遺物保管費用のみ予算化されることになった。また、2ヶ年でまとめた本報告書の刊行費用も平成14年ようやく認められた。

一方、大阪警察本部の建替えについては、建物の老朽化が著しく遅延が許されないため、平成10年から11年にかけて第Ⅰ期の発掘調査を実施し、引き続いて遺物整理、報告書を刊行後、平成15年から第Ⅱ期の調査を開始し、平成18年に報告書の刊行を行った。一連の調査では谷内から前期難波宮、後期難波宮に関係する遺構や遺物がみつき、中でも難波宮跡の北辺を考える上で重要な柱穴列や、難波宮を巡る祭祀の具体的様相を示す30点を超える絵馬、戊申年の木簡（大阪府指定有形文化財）の出土は貴重な資料となった。第Ⅱ期調査の、豊臣期大坂城としては、各種の絵図に描かれた二の丸生玉口を逆コの字状に巡る、堀障子を施した堀がみつかった。この堀は一気に埋め戻されており、埋土中から慶長19年12月26日に当地で切腹したとされる「菅平右衛門」に宛てた木簡が出土したことなどから、大坂冬の陣講和直後に埋め戻された、二ノ丸の堀であったことが明らかとなった。

統合後の平成7年には、住宅・都市整備公団（現、独立行政法人都市再生機構）による「国際文化公園都市特定土地地区画整理事業」に伴う発掘調査が、箕面市と茨木市にまたがる丘陵で開始された。この事業は、平成5年に分布調査を大阪府教育委員会と旧協会が行い、平成6年に確認調査を旧協会が、平成7年からはセンターが実施している。平成6年の旧協会による粟生間谷遺跡の発掘調査を皮切りに、センターが粟生岩阪遺跡、粟生岩阪北遺跡、徳大寺遺跡、佐保栗栖山砦跡、栗栖山南墳墓群、宿久庄北遺跡、佐保遺跡の発掘調査を行い、報告書を刊行している。平成12・13年の佐保遺跡、粟生間谷遺跡他の発掘調査と報告書刊行をもって本事業に伴う調査は終了した。



大坂城跡



八尾市が「竜華操車場跡地の基本構想」を昭和 61 年に発表し、大阪府、八尾市、都市整備基盤公団の三者が事業主体となる旧国鉄竜華操車場跡地内における再開発事業が進められることとなった。事業に伴う発掘調査を八尾市教育委員会と財団法人八尾市文化財調査研究会が実施していたが、平成 7 年からセンターも発掘調査を行うこととなった。以降、JR 久宝寺駅舎、府道住吉八尾線、都市計画道路竜華東西線、水処理施設など再開発に伴う諸事業の発掘調査を平成 16 年まで実施している。

平成 8 年には美原町（現、堺市美原区）から奈良県葛城市に至る南阪奈道路の試掘調査を実施し、同年に田須谷古墳群、駒ヶ谷遺跡、尺度遺跡の発掘調査を開始した。南阪奈道路は、大阪府土木部（現、大阪府都市整備部）、建設省（現、国土交通省）、日本道路公団の三者が事業者となるもので、発掘調査は平成 8 年以降継続して行われ、楠木石切場、丹上・真福寺遺跡、河原城遺跡、棕谷石切場、郡戸遺跡、西浦東遺跡の発掘調査を実施している。平成 9 年には、調査拠点として羽曳野市軽里 3 丁目に古市分室を置いた。本事業に伴う発掘調査は平成 15 年に実施した尺度遺跡が最後となる。調査では、土嚢を使用したと推定される土木技術が明らかになった 6 世紀中頃の蔵塚古墳や、楠木・棕谷石切場などの中世の生活を彷彿とさせる石切場、郡戸遺跡での規格性の高い飛鳥時代と平安時代の掘立柱建物群など多くの成果が得られた。調査完了まで、昭和 46 年にルート選定に伴い実施した財団法人元興寺仏教民俗資料研究所（現、公益財団法人元興寺文化財研究所）の分布調査から数えて 32 年、平成 8 年からは 7 年が経過している。

また、平成 8 年には、センターにとってこれまでにない広大な面積を調査することになった第二京阪道路（大阪北道路）の建設事業に伴う調査も始まった。平成 8 年の門真市三ツ島地区の確認調査を最初として、試掘・確認調査を平成 15 年まで実施し、並行して平成 12 年には、枚方市杉遺跡、杉中賣谷遺跡の発掘調査を行った。第二京阪道路建設に伴う本格的な発掘調査の開始は、平成 14 年からである。

このほかにも、一般国道 26 号（第二阪和国道）建設に伴う発掘調査を実施することとなり、阪南市遺跡群の発掘調査を行った。平成 12 年までに師道谷遺跡、四郎太郎遺跡、久保田遺跡、井関遺跡、亀川遺跡、向山遺跡、亀川遺跡の調査が行われた。

なお、平成 8 年から平成 10 年にかけては、バブルの崩壊と共に全国的に発掘調査件数が激減し、センターの事業量は 4 割程の減となった。しかし平成 11 年以降は、南阪奈道路建設事業、国際文化公園都市特定土地区画整理事業などの大規模事業に伴う発掘調査が本格化したことにより、センターが行った調査件数は平成 8 年次並みに徐々に増えている。

平成 10 年には、吹田市と摂津市にまたがって位置する吹田操車場跡地を対象とした、吹田操車場跡地土地区画整理事業に伴う発掘調査が開始された。同年に跡地内全域を対象とした試掘・確認調査を経て、平成 12 年から吹田信号場基盤整備事業に伴う発掘調査に着手している。



丹上遺跡・真福寺遺跡・郡戸遺跡

平成 12 年には、大阪府土木部を事業者とする近畿日本鉄道奈良線連立立体交差事業に伴う瓜生堂遺跡の発掘調査が開始された。連立立体交差の調査は営業中の鉄道と並行して実施するため、一つ一つの調査区が狭く、かつ長期間にわたる。また、瓜生堂遺跡は河内平野に位置し、近畿自動車道の調査と同様に地下 5 m 近くまで掘削することが必要であったため、鋼矢板を用いた土留め支保工が必要な調査となり、センターが近畿自動車道で行った調査のノウハウが大きく生かされること



となった。その後も、河内花園駅前地区第一種市街地開発事業や都市計画道路大阪瓢箪山線街路整備事業などに伴う周辺の調査も併せて行い、平成 29 年の花屋敷遺跡の発掘調査をもって一連の事業に伴う発掘調査は終了した。

また、センター初めての史跡整備に伴う事業となった、池上・曾根遺跡の発掘調査と整理作業が和泉市から委託され、第Ⅰ期整備事業における平成 7 年～12 年と平成 13 年～19 年にかけての第Ⅱ期整備事業を行った。池上・曾根遺跡は居住域を大溝群で区画する弥生時代の典型的な環濠集落であり、また方形周溝墓や土坑墓からなる墓域、生産域を示す水口遺構（シガラミ）が埋没流路で確認されるなど、集落の具体的な様子をみることができるとして、環濠に囲まれた範囲を中心とした 11.5ha を対象に、昭和 51 年に国史跡の指定を受けた。平成 2 年に「整備基本計画」が作成され、史跡公園化に必要な考古学的情報を得るための発掘調査が開始された。調査によって見つかった弥生時代中期では最大級の高床式大形掘立柱建物や、弥生時代最大となるクスノキを材とする直径 2 m を超える一木の大型刳抜き井戸は貴重な成果である。また、大形掘立柱建物の柱材のうち 1 本は年輪年代測定法によって紀元前 52 年に伐採されたことが明らかとなり、弥生時代の実年代の定点が初めて得られた。これは、考古学史に重要な資料を提供することとなった。

このほかにも、平成 7～13 年にかけて国、府、旧公社・公団が事業者となる発掘調査を行っている。摂津では、池田市で住吉宮の前遺跡、茨木市で溝咋遺跡、宿久庄西遺跡、玉櫛遺跡、耳原遺跡、総持寺遺跡、東奈良遺跡、豊中市で麻田藩陣屋跡、勝部遺跡、小畑遺跡。河内では、大阪市で大和川今池遺跡、東大阪市で新上小阪遺跡、新家遺跡、巨摩遺跡、若江北遺跡、藤井寺市で船橋遺跡、松原市で大和川今池遺跡、堺市美原区で余部 B 遺跡、八尾市で小阪遺跡、志紀遺跡、田井中遺跡。和泉では、泉佐野市で湊遺跡他、若宮遺跡、日根野遺跡、貝塚市で加治神前畠中遺跡、貝塚市東山丘陵遺跡群、岸和田市で中の社遺跡、土井の木遺跡、山直中遺跡、堺市で小阪遺跡、浜寺元町遺跡、深井清水町遺跡、大和川今池遺跡、泉南市で男里遺跡、高石市で伽羅橋遺跡、伽羅橋東遺跡、阪南市で箱作今池遺跡、岬町で小島北磯遺跡の発掘調査を行った。

#### 統合 財団法人大阪府文化財センター（平成 14 年～22 年）

平成 14 年 1 月、センターは財団法人大阪府博物館協会と統合し、財団法人大阪府文化財センター（以下、新センター）と改称する。

これにより、日本民家集落博物館が直営となり、同時に大阪府立弥生文化博物館と大阪府立近つ飛鳥博物館の管理を行うこととなった。これにより同年 4 月から、組織としては総務部、調査部、普及部の 3 部に加え弥生文化博物館部、近つ飛鳥博物館部、日本民家集落博物館部の 3 博物館部を置くこととなった。調査部は引き続き調整課と、調査課に北・中・南の 3 調査事務所制をしき、池島分室と古市分室を置いた。なお、平成 15 年には管内での調査事業の減少に伴い北部調査事務所を閉鎖している。古市分室は、南阪奈道路建設に伴う発掘調査終了後も府道住吉八尾線、都市計画道路大和川線、大和川改修（高規格堤防）事業などに伴う発掘調査に携わったが、事業終了に伴い平成 21 年に閉鎖している。

平成 14 年、国土交通省、日本道路公団を事業者とする第二京阪道路建設に伴う発掘調査が本格化し、寝屋川市の寝屋東遺跡、讃良郡条里遺跡、



私部南遺跡

小路遺跡、高宮遺跡、交野市の有池遺跡で実施された。平成15年からはこの大規模な発掘調査に対応するため他組織からの支援を求め、これに応じた財団法人（現、一般財団法人）大阪市文化財協会、財団法人（現、公益財団法人）京都市埋蔵文化財研究所、財団法人（現、公益財団法人）八尾市文化財調査研究会、財団法人（現、公益財団法人）和歌山県文化財センター、柏原市教育委員会からの出向を受けた。平成17年には19名の派遣を受けたほか、大阪府からも近畿自動車道の調査以来となる技術系職員18名の派遣を受けている。平成18年には、プロパー、出向、派遣、専門調査員を合わせた技術系職員はセンター史最大の122名を有することとなった。府からの技術系職員の派遣については平成18年の24名が最大で、事業の終息と共に徐々に減り、平成23年には0名となった。

この事業を円滑に進めるため、平成15年に寝屋川市に京阪支所を、交野市に交野分室を新たに開設した。平成16年には京阪支所を京阪調査事務所とした。その後、調査の進捗と共に、平成18年には交野分室を京阪調査事務所とし、京阪調査事務所の整理棟を寝屋川分室とし、新たに門真分室を開設する。両分室は、第二京阪道路建設に伴う発掘調査のピークをむかえ、他団体からの職員出向の受入などに対応したものであったが、事業の収束に伴い、門真分室は平成20年、寝屋川分室は平成21年に閉鎖した。

また、平成7年以降のマニュアルの歪みや電子化、最新技術への未対応と、多くの出向者が円滑で均質な発掘調査や整理が行えるよう、調査・整理のマニュアルの整備が急務であった。平成15年8月には、平成14年から作業を開始した改訂作業が完了し、「遺跡調査基本マニュアル（暫定版）」を制定した。その後も改善点を抽出した上で加筆と修正を行った「遺跡調査基本マニュアル（第2版）」を平成22年12月に制定している。従来は冊子として作成したが、目まぐるしく変化する法や技術に対応できるようバインダー形式とし、以降は学問的成果や調査方法などの変化に合わせて追加や修正を行いながら、現在もこれに拠って調査・整理を行っている。

本事業に伴う発掘調査は、枚方市・交野市の津田遺跡、上ノ山遺跡、茄子作遺跡、交野市の東倉治遺跡、有池遺跡、上私部遺跡、私部南遺跡、平池遺跡、寝屋川市の寝屋東遺跡、寝屋南遺跡、奥山遺跡、太秦遺跡、讚良郡条里遺跡、高宮遺跡、太秦遺跡（太秦古墳群）、門真市の巢本遺跡、枚方市の茄子作遺跡、茄子作下浦遺跡で実施している。平成21年の津田遺跡の発掘調査と報告書の刊行をもって、本事業に関わる調査は終了している。4市20遺跡以上に及ぶ一連の調査は北河内を北東から南西へ横断するもので、讚良郡条里遺跡では火を焚いた跡の周辺に散らばって出土した縄文時代中期末の深鉢、上の山遺跡の弥生時代中期に属する独立棟持柱を持つ大形掘立柱建物や、上私部遺跡の古墳時代の大規模集落、高宮遺跡では古代の大形倉庫の一群など、数多くの遺構や遺物を検出し、重要な成果が蓄積された。



久宝寺遺跡

このほか、平成14年からは、大和川河川改修（高規格堤防）事業に伴う八尾南遺跡の発掘調査を行っている。この調査では中世から弥生時代前期末までの遺構や遺物を多数検出しており、なかでも弥生時代後期前半の竪穴建物では周堤が立体的に検出され、かつ遺存状態の良い木質構造物を確認できたことは、竪穴建物の構造解明につながる重要な知見となった。このほかにも当事業に伴い、船橋遺跡の発掘調査を行っている。

平成16年には、平成7年から順次実施してきた、旧国鉄竜華操車場跡地内におけるJR久宝寺



駅舎、一般府道住吉八尾線、都市計画道路竜華東西線、水処理施設などの諸事業に伴って行われた久宝寺遺跡の一連の発掘調査が終了した。これらの調査では旧大和川が形成した沖積地特有の堆積を示す地形で、縄文時代晩期から近代まで連続と続く遺構面を確認している。中でも60基以上からなる古墳時代初頭の墳墓群、同時期の水田や畑、堰を含む生産域が見つかったことは、当地の意義を考える上での貴重な資料となった。

平成17年からは、試掘・確認調査を平成10年に実施している、摂津市の明和池遺跡と吹田市の吹田操車場遺跡、西の庄東遺跡での発掘調査が本格化する。JR梅田貨物駅の機能の半分を吹田操車場跡地へ移転することに伴う独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が実施する「吹田信号場基盤整備事業」と、貨物駅機能に使用される以外に関する独立行政法人都市再生機構が実施する「北部大阪都市計画事業吹田操車場跡地土地区画整理事業」の2事業に伴う発掘調査が行われた。

平成17年からは、平成22年まで行った一般府道住吉八尾線や都市計画道路大和川線建設に伴う大和川今池遺跡、三宅西遺跡、池内遺跡の発掘調査のうち、大和川今池遺跡で古代の官道である「難波大道」の廃絶の様相を明らかにする成果が得られた。

平成18年には、大阪府住宅供給公社の委託を受けて、堺環濠都市遺跡の発掘調査を行った。調査では、倉が建ち並んだ中世後期や江戸時代の町屋、「自治都市」あるいは「自由都市」堺を彷彿とさせる巨大な環濠や、近世期の職人町の構造を明らかにする貴重な成果を得た。

平成19年末には、大阪府財政立て直しのため、府外郭団体や公共事業への出資の全面的な見直しが行われた。このため、平成8年から平成10年にかけてのバブル崩壊と同様の事業量減少がみられたが、第二京阪道路建設に伴う調査や吹田操車場跡地、大和川線建設等に伴う池内遺跡、三宅西遺跡等、国の事業が継続した。しかし、第二京阪道路建設に伴う発掘調査の終了とともに新センターの調査件数は年によって増減はあるものの現在に至るまで、減少の一途を辿っている。

池島・福万寺遺跡の調査は、平成元年から平成23年まで23年間実施してきた代表的な府の事業だが、平成23年に実施した池島Ⅱ期の2調査をもって、事業計画の変更により終了した。これに伴い、同調査の報告書の刊行ののち、平成25年に調査拠点である池島支所を閉鎖している。当遺跡は、洪水堆積物により当時の地表面を埋め、地面の高さが上がって行くという沖積地の特徴により、土壌化や耕作による攪拌を受けていなければ、過去の地面がそのまま遺存している状況もみられた。こういった、重層的な沖積地の調査手法かつ、広い面積を一度に面的に調査する手法を蓄積できたことは全国的に見ても貴重であり、新センターの調査技術の向上に資することとなった。また、奈良文化財研究所が実施した全国の埋蔵文化財担当職員を対象とした低湿地遺跡の調査技術を研修する場として幾度も利用された。

平成21年から府内の事業量減少に対応するため、府外技術支援として財団法人（現、公益財団法人）鳥取県教育文化財団が実施する鳥取西道路建設事業へ職員を外向させる他府県調査技術支援事業を展開した。その後も、他府県調査技術支援事業として平成25年からは公益財団法人岩手県文化振興財団埋蔵文化財センターが実施する東日本大震災復興関連事業への支援外向と、公益財団法人和歌山県文化財センター、公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センター、公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所への外向を行っている。また、平成27年からは公益財団法



池島・福万寺遺跡

人かながわ考古学財団が実施する新東名高速道路建設事業に関わる支援出向も行っている。なお、これらの出向は、各事業の収束と共に順次終了し、令和3年の公益財団法人かながわ考古学財団への出向をもって他府県調査技術支援を終了した。

そのほかにも平成14年から22年にかけて、国、大阪府、公社・公団を事業者とする発掘調査を延べ71遺跡で行っている。北摂では茨木市で耳原遺跡、総持寺遺跡、豊川遺跡、玉櫛遺跡、豊中市で勝部遺跡、蛍池遺跡、吹田市で片山荒池遺跡の調査。河内では、寝屋川市で讃良郡条里遺跡、東大阪市で瓜生堂遺跡、新上小阪遺跡、北島池遺跡、鬼虎川遺跡、枚方市で禁野本町遺跡、藤井寺市ではごみ山遺跡、船橋遺跡、松原市で若山遺跡、八尾市で小阪合遺跡、山賀遺跡、植松遺跡、田井中遺跡、久宝寺遺跡。和泉では、泉佐野市で湊遺跡、大西遺跡、若宮遺跡、岸和田市で下池田遺跡、泉南市で男里遺跡、童子畑遺跡、堺市で堺環濠都市遺跡、太井遺跡、並松町遺跡の発掘調査を行っている。

### 公益財団法人大阪府文化財センター（平成23年～）

平成20年12月1日に公益財団法人制度改革関連三法案が施行され、当法人は大阪府から公益認定を受け、平成23年4月1日に「公益財団法人大阪府文化財センター」となる。翌平成24年4月1日からは、平成21年4月に調査事務所制・係制を廃して改正したグループ制を廃止し、総務企画部の下に総務企画課、調査部の下に調査課および調整課を置くといった改正を行うなど、技術系職員が39名となった職員数に合わせた組織改変を実施している。

平成24年、当法人の存続を考える大きな出来事が起る。いわゆる府市統合で、大阪府市統合本部の会議が開かれ業務が重複する法人として当法人と大阪市文化財協会が取り上げられ、必要性を検証した上で、組織や運営体制の一本化に加え、当面の効率化・連携方策などを検討するとされた。その後、平成25年8月の会議において、当法人は広域自治体の発掘調査事業を引き続き担うほか、市町村からの要請に応じ積極的に支援を行うこととされ、組織の存続の方向性が示された。

こういった状況の中、平成20年前後の吹田操車場遺跡の調査が本格化した頃から、昭和48・49年の近畿自動車道天理吹田線の調査以来実施してきた、工事請負方式が減り始め、開発の事業者が工事請負を発注し当法人は調査の指示・監理のみを行う、いわゆる事業者発注方式が増加し、平成30年あたりからはほぼ全てが事業者発注となった。

平成21～22年には「高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業」、いわゆる新名神高速道路建設に伴う試掘調査が開始される。平成23年には千提寺西遺跡、成合遺跡、千提寺南遺跡、止々呂美城跡、金龍寺旧境内跡の発掘調査が行われた。新名神建設事業に関わる分布調査を平成5年に実施してから18年後の事である。以降、新名神高速道路にアクセスする府道などの整備に伴う発掘調査は現在も



梶原南遺跡

も続いており、令和3年の梶原古墳群の調査まで、止々呂美遺跡、金龍寺旧境内跡、千提寺南遺跡、成合遺跡、千提寺西遺跡、日奈戸遺跡、千提寺市阪遺跡、千提寺クルス山遺跡、梶原古墳群、成合地獄谷遺跡、梶原南遺跡、梶原西遺跡、井尻遺跡、萩之庄南遺跡、上牧遺跡、船橋遺跡の16遺跡にのぼる遺跡の発掘調査を行っており、現在も、継続中の事業である。平成24年からは当法人の発掘調査の約6割を本事業に関わる調査が占めている。これらの調査成果については、本書の「I部 摂河泉 発掘資料集」を参照頂きたい。

平成23年にはPFI事業である（仮称）阿波座



駅前プロジェクトに伴う旧大阪府庁舎跡の発掘調査が行われた。明治期に建てられた大阪府2代目の庁舎であったこの建物跡の調査では、建築に関わる仕様書、設計図面が確認されていない中で、基礎構造や間取、施工方法、使用材料を窺うことのできる資料が得られた。

同年以降、減り続ける大阪府関係の公共事業にかわり、民間からの委託による市町村を支援する事業が徐々に増えてくる。

平成24年には、寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）に伴う大県郡条里遺跡の調査が開始された。本事業は、先に調査を実施した池島・福万寺遺跡の発掘調査の起因となった恩智川治水緑地建設と一体のもので、平成23年に財政難を理由に事業がストップしていたが、同年に発生した新潟県、福島県や紀伊半島の水害を受け、豪雨時の恩智川を抑制するものとして事業再開が見直された。大阪府による治水計画が見直されたため、当初予定されたほどの面積はないものの、広大な面積で重層的な遺構面を調査する機会となり、現代から中世に至る条里型水田と古代、弥生時代から縄文時代まで及ぶ多くの遺構・遺物が見つかっている。当法人がこれまで培ってきた、広大な面積でかつ重層的な遺構面を有する低湿地遺跡の調査ノウハウが生きるもので、現在も継続中の事業である。

また、平成25年から大坂城跡での発掘調査が再開された。平成15年に行った大阪府警察本部建替に伴う発掘調査から10年後のことである。この調査は、凍結された大阪府庁舎・周辺整備計画地に移転する、大阪府立成人病センター（現、大阪国際がんセンター）建設に伴う発掘調査である。同年には大阪府警察本部による大手前立体駐車場建設に伴う発掘調査、平成26年には重粒子線がん治療施設建設（大阪重粒子線センター）に伴う発掘調査、平成30年には大阪第6合同庁舎（仮称）整備事業に関わる発掘調査が行われ、これをもって大坂城跡での調査は一応終了をみている。調査成果については、本書の「I部 摂河泉 発掘資料集」を参照頂きたい。

摂津市の明和池遺跡、吹田市の吹田操車場遺跡では、平成17年から実施している吹田操車場跡地の発掘調査が引き続き行われ、平成26年は、吹田市市民病院の移転や国立循環器病センター移転に伴う調査が、平成27年は集合住宅建設など民間開発に伴う調査が実施された。令和元年の明和池遺跡の調査をもって、吹田市と摂津市にまたがる北大阪健康医療都市に伴う一連の事業が終了した。

平成23年以降、府の事業に反比例して徐々に増えてきた市町村事業や民間開発事業が、平成27年以降には大型物流施設建設や土地区画整理事業、私立大学校舎の建設などに伴い大きく増加し、吹田市の中ノ坪遺跡、藤井寺市の津堂遺跡、茨木市の郡遺跡、倍賀遺跡、太田遺跡、太田城跡、中条小学校遺跡、松ヶ本南遺跡、高槻市の金龍寺旧境内跡、河南町の東山遺跡、堺市の黒山遺跡、太井遺跡、島本町の尾山遺跡の発掘調査が行われている。

また、平成23年以降は和泉地域での調査が激減し、泉佐野市の諸目遺跡と宮ノ前遺跡のみで、大部分を摂津と河内が大部分を占めている。この傾向は、平成から令和へと時代が変わっても同様な状況であった。

平成23年から令和元年までの上述以外の発掘調査をみると、摂津では茨木市の総持寺遺跡、豊中市では本町遺跡、蛍池北遺跡、服部遺跡、庄内遺跡、大阪市では天満蔵屋敷跡、難波御蔵跡。河内では大阪市の瓜破北遺跡、柏原市の船橋遺跡、交野市の坊領遺跡、星田北遺跡、平池遺跡、門真市では西三荘遺跡、普賢寺遺跡、四條畷市では讃良郡条里遺跡、東大阪市では亀田遺跡、鬼虎川遺跡、西岩田遺跡、枚方市では禁野本町遺跡、伊加賀遺跡、藤井寺市では川北遺跡、松原市では池内遺跡、天美北6丁目北遺跡、新堂遺跡、八尾市では久宝寺遺跡、田井中遺跡、長原遺跡、千早赤阪村では出合遺跡、堺市では並松町遺跡、太井遺跡。和泉では和泉市の伯太藩陣屋跡、泉佐野市の諸目遺跡、宮ノ前遺跡の発掘調査を行っている。

※平成24年以降の調査成果については本書の「I部 摂河泉 発掘資料集」を参照。（佐伯）

## 事業2 文化財資料活用事業

設立時～平成19年度	普及部において「普及啓発事業」実施
平成20年度	調査部資料活用課において「普及啓発事業」実施
平成21年度～	調査グループ（現調査課）において「資料活用事業」として文化財の資料活用を図るための事業を実施
平成23年度～	公益財団法人への公益認定申請に際し「文化財資料活用事業」と事業名称変更、調査グループ（現調査課）および調整グループ（現総務企画課）において事業を実施
平成25年度～	総務企画課において事業を実施

### 1. 普及部における普及啓発事業

#### 重要調査に基づくシンポジウム

- 平成16年度 「難波宮－宮城北辺をさぐる－」「大坂城－秀吉の大坂城縄張りをさぐる－」
- 平成17年度 「河内平野における古墳の出現－久宝寺遺跡と加美遺跡－」
- 平成18年度 「古墳時代に生きた渡来人の軌跡－長原遺跡・葦屋北遺跡・上私部遺跡を中心に－」
- 平成19年度 「弥生人の住まいを探る－長原遺跡・久宝寺遺跡・八尾南遺跡－」

#### 文化財講座

- 平成14年度 「考古学から港を語る」全10回
- 平成15年度 「古墳時代の鏡」全5回、「古墳時代のはじまりを考える」全5回
- 平成16年度 「日本の海外考古学調査 part 2」全10回
- 平成17年度 「魏志倭人伝の世界」（全10回）
- 平成18年度 「東アジアの古墳壁画の世界」（全10回）
- 平成19年度 「難波津から東アジアへ－遣唐使からの1400年間－」（全10回）

#### 郷土の文化財を見学する会（毎年10回程度）

##### 小テーマ展示「シリーズ ここまでわかった考古学」

- 平成15年度 「考古学と実年代－考古学が歴史を変える－」  
「最古の土師器－庄内式土器の誕生－」  
「竈形土器の語るもの」
- 平成16年度 「古墳時代の池島・福万寺遺跡－初めてのすみごち－」  
「瓜生堂遺跡の最新研究」  
「久宝寺遺跡の最新成果－河内平野における古墳出現を探る－」
- 平成17年度 「はたおりの歴史展－古代の織物生産を考える－」  
「弥生ムラの風景－八尾南遺跡の最新成果－」  
「太秦古墳群発掘調査成果－大阪の初期群集墳を考える－」
- 平成18年度 「池島・福万寺遺跡発掘調査25周年記念 弥生人現れる－大地は実り 人は祈る－」  
「出土木器が語る考古学－弥生時代・古墳時代の諸様相－」  
「禁野火薬庫の調査」
- 平成19年度 「山賀遺跡の最新調査成果」  
「大阪の古墳時代を考える－（財）大阪府文化財センター35年の発掘調査精華－」  
「つわもの達の夢－追悼 藤澤一夫・鳥越憲三郎・堅田直－」

## スポット展示

- 平成16年度 「菅平右衛門」木簡（於大阪府立近つ飛鳥博物館、日本民家集落博物館）  
池上曾根遺跡出土遺物（於大阪府立弥生文化博物館）  
奥山1号墳出土遺物（於大阪歴史博物館）  
山賀遺跡発掘調査速報（於大阪府立弥生文化博物館）  
上の山遺跡発掘調査速報（於大阪府立弥生文化博物館）  
八尾南遺跡発掘調査速報（於大阪府立弥生文化博物館）
- 平成17年度 「山賀遺跡の垂飾形木製品」（於大阪府立弥生文化博物館）
- 平成18年度 「速報展示 四條畷市部屋北遺跡出土の資料」（於大阪府立近つ飛鳥博物館）  
「瓜生堂遺跡でみつかったおもしろいものー土佐（高知県）の土器と円頭形木製品ー」（於大阪府立弥生文化博物館）  
「讚良郡条里遺跡で見つかった近畿最古の弥生土器」（於大阪府立弥生文化博物館）  
「池内遺跡で見つかった近畿最古の水田と環濠集落」（於大阪府立弥生文化博物館）
- 平成19年度 「湊遺跡出土の製塩土器」（於大阪府立弥生文化博物館）  
「玉櫛遺跡出土の鞍」（於大阪府立近つ飛鳥博物館）
- 共同研究（センター一部と日本民家集落博物館・弥生文化博物館・近つ飛鳥博物館の共同研究）
- 平成14年度 「住居に関する総合的研究」「弥生時代の始まり」「『河内名所図会』にあらわれた遺跡の研究」
- 平成15年度 「住居に関する総合的研究2」「北の文化ー続縄文の世界ー」「墳墓と墓誌」
- 平成16年度 「住居に関する総合的研究3」「東海の弥生文化」「古墳出土金工製品の日韓比較研究」
- 平成17年度 「住居に関する総合的研究4」「弥生後期集落の景観的研究」「須恵器生産の成立と展開」
- 平成18年度 「住居に関する総合的研究5」「山の暮らしつづらうらー信濃秋山郷から日向椎葉村までー」「南九州弥生文化の実像」「摂河泉古代寺院の総合研究」
- 平成19年度 「住居に関する総合的研究6」「旅人が見た山村の暮らしー江戸時代の秋山郷と昭和30年代の九州山地ー」「土偶ー近畿地方を中心にー」「埋葬施設からみた弥生墳丘墓と前期古墳」

## 映画制作

- 平成16年度 「河内平野における古墳の出現ー久宝寺遺跡の発掘調査ー」（約13分）  
「河内馬飼いの里ー讚良郡条里遺跡の発掘調査ー」（約12分）  
「弥生時代の住まいー八尾南遺跡の発掘調査ー」（約12分）
- 平成17年度 「北河内発掘ー第二京阪道路内遺跡の発掘調査ー」（約11分）  
「古墳時代の大規模集落ー上私部遺跡ー」（約13分）  
「讚良郡条里遺跡ー埋もれた井戸の発掘ー」（約15分）  
「羽曳野市庭鳥塚古墳ーすがたを見せた前方後円墳ー」（約14分）
- 平成18年度 「池内遺跡ー私たちの発掘体験ー」（約15分）
- 平成19年度 「甦った大坂冬の陣ー戦国武将・菅平右衛門への木簡」（約4分）

## DVD・VHS制作

- 平成16年度 「難波宮と大坂城ー発掘調査とシンポジウムの記録ー」（2枚組約2時間）  
「久宝寺遺跡に最古の土器を探る」（講演会記録 約1時間）  
文化財講座第2回、第5～10回の記録（各約1時間）
- 平成17年度 「シンポジウム 河内平野における古墳の出現」（2枚組約3時間）  
「北河内発掘ー第二京阪道路内遺跡の発掘調査展と講演会の記録ー」（2枚組約6時間）
- 平成18年度 「身近なところに文化財ー平成18年度発掘調査現地説明会ー」（約34分）

平成19年度 「シンポジウム古墳時代に生きた渡来人の軌跡ー長原遺跡・葺屋北遺跡・上私部遺跡を中心にー」(3枚組約4時間半)  
「シンポジウム弥生人の住まいを探るー長原遺跡・八尾南遺跡・久宝寺遺跡を中心にー」  
(2枚組約3時間)

#### その他

ホームページ開設(平成14年度)

設立30周年記念事業「過去からのメッセージ大阪発掘30年ー」展開催(平成14年度)

府立三博物館館長・(財)大阪府文化財センター理事長リレー講演会(平成18年度、平成19年度)

日本民家集落博物館との共催行事(ミニ講座、展示、見学ツアー等 平成15年度～平成19年度)

スポット展示(平成16年度～平成19年度)

遺跡見学ツアー(平成15年度～平成19年度)

全国埋蔵文化財法人連絡協議会海外研修に職員派遣(平成14年度、平成16年度、平成17年度)

考古学国際交流研究会(平成2年度～平成18年度)

体験学習受入、資料貸出、図書の収集、図書の出版・配付・頒布、情報誌O C C Hの発行、年報の発行、大阪府埋蔵文化財研究会の開催、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック埋文研究会への参加 等

## 2. 調査部資料活用課における普及啓発事業

体験学習受入、「関西考古学の日」への参加、資料貸出、図書の収集、図書の出版・配付・頒布、年報の発行、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック埋文研究会への参加 等

## 3. 資料活用事業

### 文化財講演会

平成21年度 「大阪の歴史遺産を語る」(全4回、於エルおおさか)

平成22年度 「大阪の重要遺跡を考える」(全5回、於大阪府立弥生文化博物館)

「発掘・復元・検証 いま、よみがえる枚方の20世紀」(於メセナひらかた)

「百舌鳥古墳群とその周辺」(於堺市立西文化会館) 等

### 文化財展示

平成22年度 「速報! 弥生の土偶と石棒ー池島・福万寺遺跡出土ー」(於大阪府立弥生文化博物館)

「発見! 池島・福万寺遺跡の弥生時代前期のムラ」(於大阪府立弥生文化博物館)

「泉佐野市湊遺跡の製塩土器」(於大阪府立近つ飛鳥博物館)

「枚方市津田遺跡から出土した埴仏と鋳型」(於大阪府立近つ飛鳥博物館) 等

### その他

出前授業(弥生文化博物館と連携、平成22年度)

体験学習受入、「関西考古学の日」への参加、資料貸出、図書の収集、図書の出版・配付・頒布、年報の発行、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック埋文研究会への参加 等

## 4. 文化財資料活用事業

### 文化財講演会事業

平成23年度 滋京阪連携歴史講演会2011「祈る・作る・運ぶの考古学」(全3回)

「古市古墳群とその周辺」(於国民会館)



- 「天下の台所「大坂」－魚食文化の歴史を探る－」（全3回）
- 平成24年度 理事長・館長承継記念シンポジウム「邪馬台国から奈良の都へ」（於オーバルホール）  
「激動の時代「慶長」を掘る」（於堺市産業振興センター）  
「堺の風車修復記念シンポジウム」（於堺市博物館）  
「古代の技に学ぶ」（全10回、於大阪府立中央図書館）  
NPO法人いずみ健老大学「歴史講座」（全35回、於泉ヶ丘センタービル）
- 平成25年度 「発掘！検証！キリシタン墓－高山右近とキリシタン－」（於高槻市生涯学習センター）  
「考古学からみる古代の生活」（全10回、於近鉄文化サロン阿倍野）
- 平成26年度 「考古学からみる古代の生活2」（全10回、於近鉄文化サロン阿倍野）  
「発掘された大阪の歴史」（全3回、於近鉄文化サロン阿倍野）
- 平成27年度 「考古学からみる古代の生活3」（全10回、於近鉄文化サロン阿倍野）  
「昭和史を掘る」（全3回、於近鉄文化サロン阿倍野）  
「天下の台所」（全2回、於大阪市中央卸売市場）
- 平成28年度 「近つ飛鳥と遠つ飛鳥－ふたつの飛鳥の古代史－」（於LICはびきの）  
「考古学からみる古代の生活4」（全10回、於近鉄文化サロン阿倍野）
- 平成29年度 「百舌鳥古市古墳群の時代－考古学と文献史学から－」（於りそな銀行本店）  
「「倭人」の考古学」（全6回、於近鉄文化サロン阿倍野）  
「古墳が語る古代史」（全6回、於近鉄文化サロン阿倍野）  
「正倉院文書「和泉監正税帳」を読む」（全3回、於近鉄文化サロン阿倍野）
- 平成30年度 近つ飛鳥博物館館長承継記念講演会（於エルおおさか）  
「考古学からみる古代の生活5」（全11回、於近鉄文化サロン阿倍野）  
「入門くずし字解説講座－中・近世の文字－」（全3回、於近鉄文化サロン阿倍野）  
羽曳野市立陵南の森公民館「はびきの古代史博物館」（3回、於陵南の森公民館）
- 令和元年度 「考古学からみる古代の生活6」（全11回、於近鉄文化サロン阿倍野）  
「遺跡が語る」（全3回、於近鉄文化サロン阿倍野）  
羽曳野市立陵南の森公民館「歴史文化講座」（4回、於陵南の森公民館）
- 令和2年度 「考古学からみる古代の生活7」（全9回、於近鉄文化サロン阿倍野）  
羽曳野市立陵南の森公民館「歴史文化講座」（5回、於陵南の森公民館）  
四天王寺大学「日本学特殊講義 考古学」（全15回、於四天王寺大学）
- 令和3年度 「考古学からみる古代の生活8」（全11回、於近鉄文化サロン阿倍野）  
四天王寺大学「日本学特殊講義 考古学」（全15回、於四天王寺大学）
- 令和4年度 「考古学からみる古代の生活9」（全11回、於近鉄文化サロン阿倍野）  
四天王寺大学「日本学特殊講義 考古学」（全15回、於四天王寺大学） 等

現地説明会事業・現地公開事業

- 平成23年度 旧大阪府庁舎跡、明和池遺跡、讃良郡条里遺跡
- 平成24年度 諸目遺跡<sub>※1</sub>、成合遺跡、萩之庄南遺跡、讃良郡条里遺跡、千提寺西遺跡、本町遺跡<sub>※1</sub>
- 平成25年度 大県郡条里遺跡<sub>※1</sub>、大坂城跡
- 平成26年度 井尻遺跡<sub>※1</sub>、大県郡条里遺跡<sub>※1</sub>、伯太藩陣屋跡<sub>※1</sub>、瓜破北遺跡<sub>※1</sub>、吹田操車場遺跡
- 平成27年度 大坂城跡、禁野本町遺跡、津堂遺跡<sub>※1</sub>、明和池遺跡<sub>※1</sub>、服部遺跡<sub>※1</sub>、吹田操車場遺跡、池内遺跡
- 平成28年度 明和池遺跡、郡遺跡・倍賀遺跡、坊領遺跡<sub>※1</sub>
- 平成29年度 太田遺跡<sub>※2</sub>
- 平成30年度 船橋遺跡<sub>※1</sub>、井尻遺跡<sub>※1</sub>、上牧遺跡、新堂遺跡<sub>※1</sub>、大坂城跡

- 令和 元 年度 出合遺跡※<sub>1</sub>、平池遺跡・星田駅北遺跡※<sub>1</sub>  
 令和 2 年度 普賢寺遺跡※<sub>1</sub>、尾山遺跡※<sub>1</sub>、黒山遺跡※<sub>3</sub>、庄内遺跡※<sub>1</sub>  
 令和 3 年度 太田遺跡・太田廃寺跡※<sub>1</sub>、中条小学校遺跡※<sub>1</sub>、大県郡条里遺跡※<sub>3</sub>、成合古墳群※<sub>3</sub>  
 ※1 現地公開 ※2 現地見学会 ※3 インターネット動画配信

#### 文化財体験学習事業

学校の受入、子ども向け体験の実施

#### 文化財展示会事業

- 平成 23 年度 スポット展示「寝屋川市高宮遺跡の発掘調査成果」（於大阪府立近つ飛鳥博物館）  
 写真パネル展示「旧大阪府庁舎跡の発掘調査」（於大阪市立中央図書館）  
 パネル展示「大阪考古楽 第1話」（於りそな銀行泉北支店）  
 「最古の官道・竹内街道の源流―難波大道の発掘調査―」（於太子町立竹内街道歴史資料館）  
 平成 24 年度 スポット展示「成合遺跡の発掘調査」（於大阪府立弥生文化博物館）  
 スポット展示「東大阪市瓜生堂遺跡・岩田遺跡・花屋敷遺跡の調査成果」（於大阪府立近つ飛鳥博物館）  
 スポット展示「松原市池内遺跡の調査成果」（於大阪府立近つ飛鳥博物館）  
 「奥河内の縄文時代展」（於河内長野市立ふるさと歴史学習館）  
 平成 25 年度 スポット展示「国内最古の「分銅」の発見とその意義」（於大阪府立弥生文化博物館）  
 スポット展示「最新報告 讃良郡条里遺跡の弥生時代」（於大阪府立弥生文化博物館）  
 スポット展示「難波宮跡出土柱材の年代―新たな年代測定法の誕生―」（於大阪府立近つ飛鳥博物館）  
 「歴史街道でめぐる大阪の魅力再発見（旧大阪府庁舎跡）」（於大阪府立中央図書館）  
 「キリシタン墓発見！～千提寺地区発掘調査速報展～」（於茨木市立キリシタン遺物史料館）  
 「茅渚の海のなりわい」（於高石市立図書館、堺市立すえむら資料館）  
 平成 26 年度 スポット展示「成合須恵器窯の系譜」（於大阪府立弥生文化博物館）  
 「歴史街道でめぐる大阪の魅力再発見「城と陣屋」」（於大阪府立中央図書館）  
 「古墳が好き！埴輪が好き！！高石の古墳と埴輪の魅力を探る」（於高石市立図書館）  
 平成 27 年度 「大園遺跡を語る」（於高石市立図書館）  
 「吹田操車場遺跡・明和池遺跡」（於吹田市立博物館）  
 平成 28 年度 「大和川今池遺跡の調査成果展」（於大阪府立狭山池博物館）  
 平成 29 年度 スポット展示「郡遺跡・倍賀遺跡の最新調査成果」（於大阪府立弥生文化博物館）  
 「掘りたてホヤホヤ―発掘速報展いばらき2016―」（於茨木市立文化財資料館）  
 「ホネの動物ランド―ホネがわかる ホネでわかる―」（於大阪府立狭山池博物館）  
 「南河内の縄文遺跡を探る」（於大阪府立狭山池博物館）  
 平成 30 年度 スポット展示「上牧遺跡の最新調査成果」（於大阪府立弥生文化博物館）  
 「河内の初期弥生集落を探る」（於大阪府立狭山池博物館）  
 令和 元 年度 「古代の装身具―古鏡の世界―」（於大阪府立狭山池博物館）  
 令和 2 年度 「古代の相貌」（於大阪府立狭山池博物館）  
 令和 3 年度 「町内発掘調査成果速報展 尾山遺跡」（於島本町立歴史文化資料館）  
 「上牧遺跡調査成果スポット展示」（於高槻市立今城塚古代歴史館）  
 令和 4 年度 「ららぽーと堺の下に眠る歴史～黒山遺跡・太井遺跡の発掘調査～」（於堺市立みはら歴史博物館）  
 「高槻市梶原南遺跡発掘調査成果展示」（於高槻市立今城塚古代歴史館） 等

## 文化財広報事業

年報の発行、ホームページにおける情報提供、「関西考古学の日」への参加 等

## 文化財資料収集事業

令和3年度末時点の累計蔵書 100,905 冊、蔵書データベース総計 100,000 レコード

報告書掲載写真の画像データ化

発掘調査資料（遺物、写真、各種台帳等）の管理 等

## 文化財資料提供事業

発掘資料の出土品・写真の貸出、資料調査の対応

出版物の寄贈・交換

図書等の頒布

刊行図書の電子化（奈良文化財研究所が運用する「全国遺跡報告総覧」への掲載）

調査成果の公開協力

## 文化財研究事業

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック埋文研究会への参加

## 5. 補助金事業

平成16年度	埋蔵文化財保存活用整備事業（文化庁） シンポジウム、シリーズ ここまでわかった考古学展、スポット展示、 文化財講座、郷土の文化財を見学する会、文化財記録映画・DVD制作	8,850,000 円
平成17年度	埋蔵文化財保存活用整備事業（文化庁） シンポジウム、シリーズ ここまでわかった考古学展、スポット展示、 文化財講座、郷土の文化財を見学する会、文化財記録映画・DVD制作	8,000,000 円
	子どもゆめ基金（独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター） 体験学習「歴史探検隊」	359,597 円
平成18年度	埋蔵文化財保存活用整備事業（文化庁） シンポジウム、シリーズ ここまでわかった考古学展、スポット展示、 文化財講座、郷土の文化財を見学する会、文化財記録映画・DVD制作	7,000,000 円
平成19年度	埋蔵文化財保存活用整備事業（文化庁） シンポジウム、シリーズ ここまでわかった考古学展、スポット展示、 文化財講座、郷土の文化財を見学する会、文化財記録DVD・VHS制作	5,900,000 円
平成22年度	地域伝統文化総合活性化事業（文化庁） シンポジウム「発掘・復元・検証 いま、よみがえる枚方の20世紀」 シンポジウム「百舌鳥古墳群とその周辺」	1,003,937 円
平成23年度	文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（文化庁） シンポジウム「古市古墳群とその周辺」 シンポジウム「天下の台所「大坂」－魚食文化の歴史を探る－」	1,673,000 円
平成24年度	文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（文化庁） シンポジウム「激動の時代「慶長」を掘る」	936,000 円
平成25年度	文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（文化庁） シンポジウム「発掘！検証！キリシタン墓－高山右近とキリシタン－」	615,000 円

## 事業3 弥生文化博物館事業

### 1. 博物館の概要

平成3年2月2日 開館

所在地 大阪府和泉市池上町四丁目8番27号

開館時間 午前9時30分から午後5時まで（平成17年度以前は午前10時開館）

休館日 月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）、12月28日から1月4日

平成13年度以前	(財)大阪府博物館協会による管理運営ならびに入館料徴収事務
平成14年度～平成17年度	博物館管理業務ならびに入館料徴収事務委託契約（単年度契約）
平成18年4月1日	公募による指定管理者制度の導入
平成18年度～平成22年度	管理運営業務（指定管理）
平成23年度	同上
平成24年度～平成27年度	管理運営業務（指定管理） 近鉄ビルサービス（株）との共同管理
平成28年度	同上
平成29年度～令和元年度	同上
令和2年度～令和4年度	同上

館長	開館	～平成24年3月31日	金関 恕
		平成24年4月1日～平成31年3月31日	黒崎 直
		平成31年4月1日～	瀬垣田佳男

### 2. 展示公開事業

#### (1) 常設展示

##### 第1展示室

「目で見る弥生文化」として3つのゾーン展示からなる。

導入ゾーン タイムトンネルと実物大の竪穴住居

テーマゾーン 「米づくりの始まり」「新しい技術の誕生」「ムラ・戦い・クニ」「交流」「死とまつり」「弥生人」

シンボルゾーン 大阪府教育委員会により平成26年度末にリニューアル

平成26年度以前 弥生プラザとして各地の弥生文化を紹介

平成27年度以降 鏡を掲げる卑弥呼像を中心に、卑弥呼の時代前後の鏡と卑弥呼ゆかりの復元品を展示

##### 第2展示室

「池上曽根ワールド」と題して、国指定史跡池上曽根遺跡から出土した資料を展示。

床面の博物館周辺弥生時代遺跡マップは、平成26年度末の一部リニューアルにより設置された。

#### (2) 特別展・企画展

##### 平成14年度

春季特別展 青いガラスの燦きー丹後王国が見えてきたー

夏季企画展 稲と森の神ー東アジア世界のまつりから見た弥生文化ー



- 秋季特別展 王の居館を探る  
 冬季企画展 (財)大阪府文化財センター設立30周年記念 過去からのメッセージ—大阪発掘30年—  
 平成15年度  
 春季特別展 弥生創世記—検証・縄文から弥生へ—  
 夏季企画展 世界の貨幣展—金は天下のまわりもの—  
 秋季特別展 弥生文化研究への熱いまなざし—森本六爾、小林行雄と佐原 真—  
 冬季企画展 文様を描く心  
 平成16年度  
 春季企画展 シリーズ ここまでわかった考古学  
 1 考古学と実年代—考古学が歴史を変える— / 2 最古の土師器—庄内式土器の誕生—  
 春季特別展 弥生のころの北海道  
 夏季企画展示 小灘—紀絵画展—日展会員賞受賞記念—  
 秋季特別展 大和王権と渡来人—三・四世紀の倭人社会—  
 冬季企画展示 船橋遺跡優品展  
 冬季企画展 シリーズ ここまでわかった考古学 瓜生堂遺跡の最新研究  
 平成17年度  
 春季特別展 東海の弥生フロンティア  
 夏季企画展示 熊谷守一の世界—水墨画・書—  
 秋季特別展 北陸の玉と鉄—弥生王権の光と影—  
 冬季企画展 シリーズ ここまでわかった考古学 弥生ムラの風景—八尾南遺跡の最新成果—  
 平成18年度  
 春季特別展 弥生画帖—弥生人が描いた世界—  
 夏季企画展示 とんぼ玉100人展—魂のきらめき 現代作家とそのたまごたち—  
 秋季特別展 弥生人躍動す—池上曾根と吉野ヶ里—  
 冬季特別展 発掘された日本列島2006 (新発見考古速報展)  
 冬季企画展 シリーズここまでわかった考古学 池島・福万寺遺跡発掘調査25周年記念  
 弥生人現れる—大地は実り 人は祈る—  
 平成19年度  
 春季特別展 稲作とともに伝わった武器  
 夏季企画展 計る・量る・測る—度量衡の歴史展—  
 秋季特別展 日向・薩摩・大隅の原像—南九州の弥生文化—  
 冬季特別展 発掘された日本列島2007 (新発見考古速報) 地域展 発掘された大阪2007—水都大阪の国際交流史—  
 春季企画展 シリーズここまでわかった考古学 山賀遺跡の最新調査成果  
 平成20年度  
 春の展示 館藏品展—もっと知りたい弥生のくらし—  
 夏季企画展 鉄道発掘物語  
 秋季企画展 静かなる煌めき—石田亘・征希・知史 パート・ド・ヴェール作品展—  
 冬季特別展 倭人がみた龍—龍の絵とかたち—  
 平成21年度  
 春季特別展 弥生建築—卑弥呼のすまい—  
 夏季特別展 火焰土器の国—5000年前のメッセージ—  
 秋季特別展 発掘された日本列島2009 (新発見考古速報) 地域展 大阪の宝物—出土品が歴史を語る—  
 冬季企画展 とんぼ玉100人展—掌から無限の世界へ—

- 冬季企画展 大阪の二十世紀—古写真・出土品などからみた昔の暮らし—  
平成22年度  
春季企画展示 脇田啓子〈女〉展  
春季企画展 いずみの高殿発掘15年 弥生鳥瞰—池上曾根に生きた人びと—  
夏季特別展 M A S K—仮面の考古学—  
秋季特別展 邪馬台国—九州と近畿—  
冬季企画展 四国地区埋蔵文化財センター巡回展 続・発掘へんろ—四国の弥生時代—  
平成23年度  
春季企画展示 創作展いずみ—和泉市文化協会美術部門十二部門の粋—  
春季企画展 河内のムラの物語—池島・福万寺遺跡の3500年—  
夏季特別展 豊饒をもたらす響き 銅鐸  
秋季特別展 弥生文化のはじまり—土井ヶ浜遺跡と響灘周辺—  
冬季企画展Ⅰ 子規の叔父「加藤拓川」が残した絵葉書—明治を生きた外交官の足跡—  
冬季企画展Ⅱ とんぼ玉100人展—ガラスの中の夢幻—  
平成24年度  
春季企画展Ⅰ 弥生事件簿—弥生博がみた驚きの大ニュース—  
春季企画展Ⅱ ぎょ？ギョ！魚！！アート魚拓の世界—松永正津と拓正会会員 作品展—  
夏季特別展 穂落とし神の足跡—農具でひもとく弥生社会—  
秋季特別展 縄文の世界像—八ヶ岳山麓の恵み—  
冬季企画展 飾K A Z A R I—装剣金具の粋—  
平成25年度  
春季企画展示 創作展いずみ—和泉市文化協会美術部門十一部門の粋—  
春季企画展 とんぼ玉100人展—小さな夏の涼 現代作家のおもてなし—  
夏季特別展 弥生人の船—モンゴロイドの海洋世界—  
秋季特別展 吉備と邪馬台国—霊威の継承—  
冬季企画展 摂河泉シリーズ第1弾：和泉 王の系譜—稲作の伝来から前方後円墳の成立—  
平成26年度  
春季企画展示 炎・炭・土の芸術—信田窯20年の歩み—  
春季特別展 縄文！岩手10000年のたび  
夏季特別展 遥かなるメソポタミア—時空を超えたヒトの営み—  
秋季特別展 摂河泉シリーズ第2弾：河内 発掘された日本列島2014（新発見考古速報）地域展 河内地寶  
冬季企画展 河内の美・技・心—考古学研究と船橋遺跡—  
平成27年度  
春季特別展 卑弥呼—女王創出の現象学—  
夏季企画展 とんぼ玉100人展—きらめく創造、ガラス作家たちのアトリエ—  
秋季特別展 海をみつめた縄文人—放生津潟とヒスイ海岸—  
冬季企画展 海の王都・原の辻遺跡と壱岐の至宝—『魏志』倭人伝、一支国の世界—  
ミュージアムギャラリー 創作展いずみ—和泉市文化協会美術部門十一部門の粋—  
平成28年度  
春季特別展 鉄の弥生時代—鉄器は社会を変えたのか？—  
夏季特別展 世界の文字の物語—ユーラシア 文字のかたち—  
秋季企画展 摂河泉シリーズ第3弾：摂津 キリシタン墓とその前史—摂津の人びとが生きた証—  
冬季企画展 なにわの伝統工芸—受け継がれゆく匠の技と美—

## 平成29年度

- ミュージアムギャラリー 創作展いずみー和泉市文化協会美術部門十一部門の粹ー
- 夏季特別展 沖縄の旧石器人と南島文化
- 秋季特別展 海に生きた人びとー漁撈・塩づくり・交流の考古学ー
- 冬季企画展 かけがえのない文化財を守る、伝えるー大阪における歩みと展望ー

## 平成30年度

- 春季企画展 とんぼ玉100人展ー輝く手のひらの華ー
- 夏季特別展 弥生のマツリを探るー祈りのイメージと祭場ー
- 秋季特別展 発見！古代エジプトー7つのひみつと最新エジプト研究ー
- 冬季企画展 弥生時代の高地性集落とはー大阪における特徴と性質ー

## 平成31年度・令和元年度

- ミュージアムギャラリー 創作展いずみー和泉市文化協会美術部門十部門の粹ー
- 夏季特別展 白兎のクニへー発掘された因幡のあけぼのー
- 秋季特別展 北陸の弥生世界 わざとこころ
- 冬季企画展 はくふだでめぐる泉州の歴史と文化ーカードで発掘！地域の宝ものー

## 令和2年度

- 夏季企画展 とんぼ玉100人展ー煌めく技、艶めく心ー
- 秋季特別展 弥生農耕ー田んぼとはたけー
- 冬季企画展 泉州を貫く軌跡ー阪和電鉄全通90周年ー

## 令和3年度

- 春夏季企画展 繁栄の池上曾根遺跡ー拠点集落としての姿ー
- 秋季特別展 近畿最初の弥生人

- ミュージアムギャラリー 創作展いずみー和泉市文化協会美術部門八部門の粹ー

## 令和4年度

- 春季企画展 とんぼ玉100人展ー炎から生まれる 小さないのちー
- 夏季特別展 南関東の弥生文化ー東からの視点ー

### (3) スポット展示

大阪府内における遺跡を紹介するスポット展示、大阪府教育庁による発掘調査成果等の展示コーナー 弥生プラザを毎年度数回程度実施。

### 3. 講演会事業

特別展・企画展等に関連する講演会を実施。

平成21年度から、近畿弥生の会との共催による「弥生時代講座 聞いてなっとく弥生の世界」を開催。

平成25年度から館長、副館長による連続講座「木曜大学」を、令和元年度から館長による「木曜大学大学院」を開催。

その他、「弥生フェスティバル連続講座」、「めおとde考古学」、大学生・大学院生が研究成果を発表する「若き考古学徒、論壇デビュー！」等さまざまな講座を開催。

### 4. 「府民が参加する博物館」事業

エントランスホールを活用した「やよいミュージアムコンサート」「ミニギャラリー」、小中学生を対

象に公募し優秀作品を表彰・展示する絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」等を実施。

展示室巡回、体験学習補助、体験学習素材の準備、書庫整理や開催要項等の英語等への翻訳においてボランティア活動を受入。

#### 5. 「博物館 in school」事業－博学連携事業－

学校等団体の見学受入、府立高校の課外授業受入、体験ゾーンの活用、出前授業、大学生の博物館実習受入、博学連携セミナー開催等の事業を実施。

#### 6. 「どこでも博物館」事業

館外において展示、講演、体験学習を実施。

#### 7. 補助金事業

平成18年度	芸術文化振興基金助成金（独立行政法人日本芸術文化振興基金） 春季特別展	1,300,000円
平成22年度	地域伝統文化総合活性化事業（文化庁） 常設展示室映像資料製作	5,554,286円
平成23年度	ミュージアム活性化支援事業（文化庁） 体験学習資料製作	* 4,685,100円
平成24年度	ミュージアム活性化支援事業（文化庁） 体験学習資料製作	* 5,595,739円
平成26年度	地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業（文化庁） マンガ冊子製作、館キャラ着ぐるみ・音声ガイド・カード製作	* 5,020,000円
平成27年度	地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業（文化庁） 多言語化（カイトとリュウさんの音声ガイド製作、見学のしおり製作）	* 6,835,577円
平成28年度	地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業（文化庁） 遺跡ガイド・博物館ガイド製作、ICタグ展示巡回システムの構築	* 9,515,085円
平成29年度	地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業（文化庁） 歴史すごろく製作、歴史絵手紙事業、遺跡VR製作、「はくふだ」製作	11,912,700円
	海の企画展サポート支援金（公益財団法人日本海事科学振興財団） 秋季特別展	6,200,000円
令和3年度	文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業（文化庁） 体温検知カメラ設置、空中ディスプレイ設置、動画配信機材整備	2,455,000円

\*文化財資料活用事業（平成22年度以前は府立博物自主事業）として実施

#### 8. その他

他館と連携した館内ワークショップ、企業と連携した遺跡見学ツアー等を実施。

インターネットホームページやフェイスブック、インスタグラムを用いての情報発信。

ホームページやYouTubeで動画配信。令和元年度から展示解説動画を配信。

毎年『弥生文化博物館要覧』を発行。

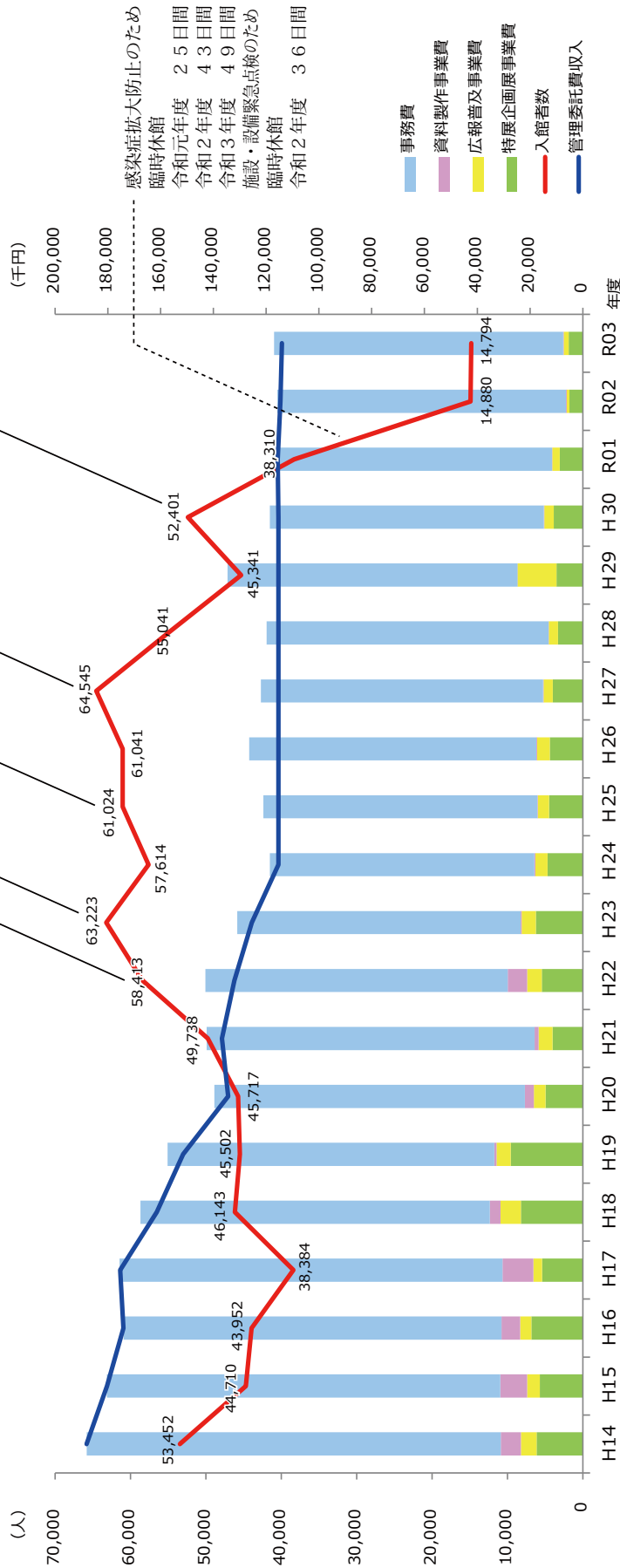
平成20年5月25日（日）入館者数100万人達成。



### 入館者数と事業費の推移 (弥生文化博物館)

秋季特別展「邪馬台国」(224人/日)、弥生フェスティバル(5,948人/8日間)  
 冬季企画展「とんぼ玉100人展」(239人/日)、弥生フェスティバル(9,232人/8日)  
 秋季特別展「吉備と邪馬台国」(290人/日)  
 常設展示室一部リニューアル  
 秋季特別展「海をみつめた縄文人」(272人/日)  
 秋季特別展「発見!古代エジプト」(221人/日)

※1日あたりの入館者数は学校団体を除いた数値である



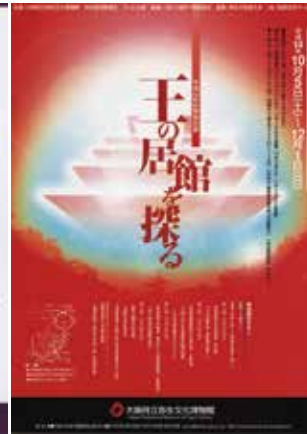
管理業務ならびに入館料徴収事務委託  
 管理運営業務 (指定管理)  
 管理運営業務 (指定管理)  
 管理運営業務 (指定管理)



平成 14 年春季特別展



夏季企画展



秋季特別展



平成 15 年冬季企画展



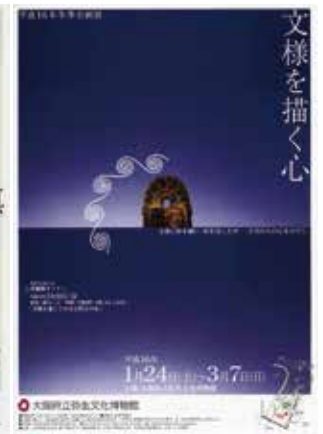
春季特別展



夏季企画展



秋季特別展



平成 16 年冬季企画展



春季特別展



夏季企画展示



秋季特別展



平成 17 年冬季企画展



春季特別展



夏季企画展示



秋季特別展



平成 18 年冬季企画展





春季特別展



夏季企画展示



秋季特別展



冬季特別展（全国版）



平成19年冬季企画展



春季特別展



夏季企画展



秋季特別展



平成19年度冬季特別展



平成20年度春の展示



夏季企画展



秋季企画展



冬季特別展



平成21年度春季特別展



夏季特別展



秋季特別展





冬季企画展



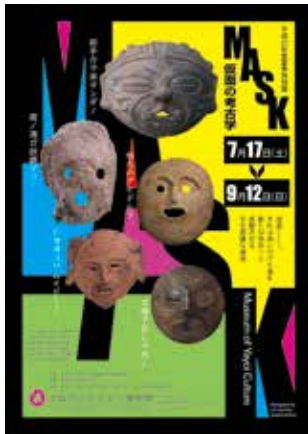
冬季企画展



平成22年度春季企画展示



春季企画展



夏季特別展



秋季特別展



冬季企画展



平成23年度春季企画展



夏季特別展



秋季特別展



冬季企画展 I



冬季企画展 II



平成24年度春季企画展 I



春季企画展 II



夏季特別展



秋季特別展





冬季企画展



平成25年度春季企画展



夏季特別展



秋季特別展



冬季企画展



平成26年度春季特別展



夏季特別展



秋季特別展



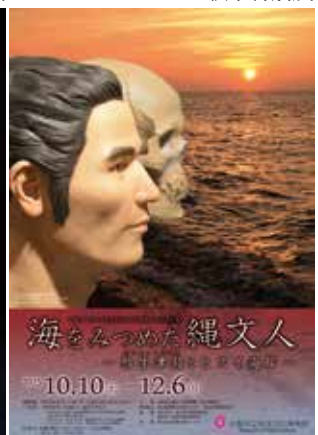
冬季企画展



平成27年度春季特別展



夏季企画展



秋季特別展



冬季企画展



平成28年度春季特別展



夏季特別展



秋季企画展





冬季企画展



平成29年度夏季特別展



秋季特別展



冬季企画展



平成30年度春季企画展



夏季特別展



秋季特別展



冬季企画展



令和元年度夏季特別展



秋季特別展



冬季企画展



令和2年度夏季企画展



秋季特別展



冬季企画展



令和3年度春夏季企画展



秋季特別展



令和4年度春季企画展



夏季特別展

## 事業4 近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘事業

### 1. 博物館の概要

平成6年3月25日 開館

所在地 大阪府南河内郡河南町大字東山299番地

開館時間 午前10時から午後5時

休館日 月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）、12月28日から1月4日

平成13年度以前	(財)大阪府博物館協会による管理運営ならびに入館料徴収事務
平成14年度～平成17年度	博物館管理業務ならびに入館料徴収事務委託契約（単年度契約）
平成18年4月1日	公募による指定管理者制度の導入
平成18年度～平成22年度	管理運営業務（指定管理）
平成23年度～平成27年度	管理運営業務（指定管理） 近鉄ビルサービス（株）との共同管理
平成28年度	同上
平成29年度～令和元年度	同上
令和2年度～令和4年度	同上

館長	開館	～平成14年11月27日	大庭 脩
	平成15年2月1日～平成15年12月31日		金関 恕
	平成16年1月1日～平成30年3月31日		白石 太郎
	平成30年4月1日～		館野 和己

### 2. 展示公開事業

#### (1) 常設展示

「日本古代国家の形成過程と国際交流をさぐる」をメインテーマとして3つのゾーン展示からなる。

第1ゾーン 「近つ飛鳥と国際交流」 倭の五王と渡来文化／聖徳太子の時代／仏教文化の開花／文字の時代／古墳の終わり

第2ゾーン 「古代国家の源流」 竪穴式石室の世界／王と民衆／横穴式石室の世界／古墳造営のムラ／大古墳の造営

第3ゾーン 「現代科学と文化遺産」 修羅の保存／現代科学と考古学

#### (2) 特別展・企画展

##### 平成14年度

春季特別展 未盗掘古墳の世界－埋葬時のイメージを探る－

夏季企画陳列 水門会写真展－近つ飛鳥・遠つ飛鳥－

夏休み企画 ちかつの夏はびっくり箱－なにをつくろう？どこかざろう？－

秋季企画展 西域への道－シルクロードと大谷探検隊－

冬季企画展 一須賀古墳群と飛鳥千塚古墳群

##### 平成15年度

春季特別展 黄泉のアクセサリー－古墳時代の装身具－

スポット展示 南河内の文化財シリーズ1－河南町－



夏季企画陳列 水門会写真展二〇〇三  
 秋季企画展 壁画古墳の流れ－高松塚とキトラ－  
 冬季企画陳列 一須賀古墳群の調査－B支群－  
 平成16年度  
 春季特別展 古墳から奈良時代墳墓へ－古代律令国家の墓制－  
 夏季企画展 旬夏秀陶 関西編－府立大阪博物館が集めた近世のやきもの－  
 スポット展示 南河内の文化財シリーズ2－太子町－近つ飛鳥自叙展 1994~2004  
 秋季特別展 今来才伎－古墳・飛鳥の渡来人－  
 冬季企画陳列 一須賀古墳群の調査V－D・E・F・J・K・L・P支群－  
 テーマ展示 シリーズここまでわかった考古学 久宝寺遺跡の最新成果－河内平野の古墳出現期を探る－  
 平成17年度  
 春季特別展 遙かなり音の道－日本音楽の源流を探る－  
 夏季企画陳列 須田剋太が描いた司馬遼太郎『街道をゆく』  
 スポット展 南河内の文化財シリーズ3－富田林市－  
 秋季特別展 王権と儀礼－埴輪群像の世界－  
 冬季企画展 年代のものさし－陶邑の須恵器－  
 小テーマ展示 シリーズここまでわかった考古学 太秦古墳群発掘調査成果－大阪の初期群集墳を考える－  
 平成18年度  
 春季特別展 古代の工房－豊かなる都・寺のきらめき－  
 夏季企画展示 夏休み親子で学ぶむかしの台所いまの台所  
 秋季特別展 応神大王の時代－河内政権の幕開け－  
 冬季企画展 発掘された日本列島 2006（新発見考古速報）地域展  
 河内湖周辺に定着した渡来人－5世紀の渡来人の足跡－  
 小テーマ展示 シリーズここまでわかった考古学 出土木器が語る考古学－弥生時代・古墳時代の諸様相－  
 平成19年度  
 春季特別展 河内古代寺院巡礼  
 夏季企画展 絵でみる考古学  
 秋季特別展 横穴式石室誕生－黄泉国の成立－  
 冬季特別展 発掘された日本列島 2007（新発見考古速報）  
 春季企画展 大阪の古墳時代を考える－（財）大阪府文化財センター 35年の発掘調査精華－  
 平成20年度  
 春の展示 近つ飛鳥と渡来人－よみがえる一須賀古墳群－  
 夏季企画展 きる・ほる・けずるの道具箱－ぼくらのアイテム－  
 秋季特別展 考古学からみた古代の女性－巫女王卑弥呼の残影－  
 冬季特別展 百舌鳥・古市大古墳群展－巨大古墳の時代－  
 冬の企画展陳列 近つ飛鳥博物館ポスター展－15年をめぐる－  
 平成21年度  
 春季特別展 卑弥呼死す、大いに冢をつくる－前方後円墳の成立－  
 夏季企画陳列 大阪の古墳－最近の調査成果から－  
 夏季特別展 発掘された日本列島 2009（新発見考古速報）  
 秋季企画展 河内平野の集落と古墳－謎の4世紀を探る－  
 冬季特別展 ふたつの飛鳥の終末期古墳－河内飛鳥と大和飛鳥－  
 平成22年度

- 春季特別展 継体大王の時代―百舌鳥・古市古墳群の終焉と新時代の幕開け―  
 夏季企画展 古墳ってなあに「こふんなになぜ教室」  
 秋季特別展 鉄とヤマト王権―邪馬台国から百舌鳥・古市古墳群の時代へ―  
 冬季特別展 歴史発掘おおさか―大阪府発掘調査最新情報―  
 平成23年度  
 春季特別展 倭人と文字の出会い  
 夏季企画展 動物大百科―出土品からさぐる動物とのかかわり―  
 秋季特別展 百舌鳥・古市の陵墓古墳―巨大前方後円墳の実像―  
 冬季特別展 歴史発掘おおさか 2011―大阪府発掘調査最新情報―  
 平成24年度  
 春季特別展 王と首長の神まつり―古墳時代の祭祀と信仰―  
 夏季企画展 古代の装身具（アクセサリー）―出土品からみる男性と女性―  
 秋季特別展 南九州とヤマト王権―日向・大隅の古墳―  
 冬季特別展 歴史発掘おおさか 2012―大阪府発掘調査最新情報―  
 平成25年度  
 春季特別展 百舌鳥・古市古墳群出現前夜  
 夏季企画展 さまざまなお墓―墳墓のうつりかわり―  
 秋季特別展 考古学からみた推古朝  
 冬季特別展 歴史発掘おおさか 2013―大阪府発掘調査最新情報―  
 平成26年度  
 春季特別展 ヤマト王権と葛城氏―考古学からみた古代氏族の盛衰―  
 夏季企画展 大阪平野はむかし海だった―海に生きたおおさかの古代人―  
 秋季特別展 箸墓以降―邪馬台国連合から初期ヤマト政権へ―  
 冬季特別展 歴史発掘おおさか 2014―大阪府発掘調査最新情報―  
 平成27年度  
 春季特別展 古代出雲とヤマト王権―神話の国の考古学―  
 夏季企画展 馬がやってきたころ―古墳時代の文明開化―  
 秋季特別展 ワカタケル大王の時代―ヤマト王権の成熟と革新―  
 冬季特別展 歴史発掘おおさか 2015―大阪府発掘調査最新情報―  
 平成28年度  
 春季特別展 古墳とは何か―葬送儀礼からみた古墳―  
 夏季企画展 古代人がみた色と光―色彩と輝きの考古学―  
 秋季特別展 大王と豪族―6世紀の大和と河内―  
 冬季企画展 歴史発掘おおさか 2016―大阪府発掘調査最新情報―  
 平成29年度  
 春季特別展 東国尾張とヤマト王権―考古学からみた狗奴国と尾張連氏―  
 夏季企画展 百舌鳥・古市古墳群を世界遺産に！―この夏、きみは古墳を知る―  
 秋季特別展 古墳出現期の筑紫・吉備・畿内―2・3世紀の社会と経済―  
 冬季特別展 慈雲生誕 300年記念 慈雲尊者と高貴寺―いつくしみの書とその教え―  
 平成30年度  
 春季企画展 渡来人と群集墳―須賀古墳群を考える―  
 夏季企画展 古墳と水のマツリ―百舌鳥・古市古墳群に学ぶ―  
 秋季特別展 4世紀のヤマト王権と対外交渉―東アジア情勢と古墳の変化―

- 冬季企画展 歴史発掘おおさか 2017・2018 ー大阪府発掘調査最新情報ー
- 平成31年度・令和元年度
- 春季企画展 寛弘寺古墳群と紺川県主ー古墳時代の地域と王権ー
- 夏季特別展 百舌鳥・古市古墳群と土師氏
- 秋季企画展 ヤマト王権とその拠点ー政治拠点と経済拠点ー
- 冬季企画展 歴史発掘おおさか 2019 ー大阪府発掘調査最新情報ー
- 令和2年度
- 春季特別陳列 青山古墳群の埴輪
- 夏季企画展 堂山1号墳ーその被葬者像をさぐるー
- 秋季企画展 王権麾下の古墳とその被葬者ー古市古墳群の小規模墳ー
- 冬季特別陳列 南河内の古代寺院と造宮氏族
- 令和3年度
- 春季特別陳列 献ずる器ー須賀古墳群を中心にー
- 夏季企画展 古墳群に暮らした人たちー集落遺跡からみる古市古墳群ー
- 秋季特別展 玉からみた古墳時代
- 冬季特別展 オホーツク文化ーあなたの知らない古代ー
- 令和4年度
- 春季特別陳列 茅渟縣陶邑と須恵器生産のはじまりー大庭寺遺跡出土品指定記念ー
- 夏季特別展 献ずる器ー横穴式石室を彩るものたちー
- 秋季企画展 川と道の織りなす河内の交通ー大和川と船橋・国府遺跡ー

### (3) スポット展示

大阪府内における遺跡を紹介するスポット展示、滋賀県立安土城考古博物館との相互展示等を毎年度数回実施。

### 3. 講演会事業

特別展・企画展等に関連する講演会を実施。

その他、「入門講座」、「土曜講座」や河南町との共催講座「かなん文化財講座」等を開催。

### 4. 「府民が参加する博物館」事業

博物館屋上階段広場を利用して地元高等学校の軽音楽部が発表する「古墳の森コンサート」、風土記の丘を活用した「古墳時代まつり」「うめまつり」「さくらまつり」「風土記の丘古墳探検ツアー」、博物館地階広場や1階ロビーを活用した「近つ飛鳥ギャラリー」等を実施。

体験学習や講演会補助等においてボランティア活動を受入。

### 5. 「博物館 in school」事業ー博学連携事業ー

学校等団体の見学受入、出前授業、大学生の博物館実習受入、大阪芸術大学との連携等の事業を実施。

## 6. 「どこでも博物館」事業

館外において展示、講演、体験学習、学芸員の案内による現地見学会「れきしウォーク」を実施。

## 7. 補助金事業

平成16年度	芸術拠点形成事業（文化庁） 展示模型「修羅」制作	* 1,797,600 円
平成17年度	芸術文化振興基金助成金（独立行政法人日本芸術文化振興基金） 春季特別展「遥かなり音の道」	* 1,900,000 円
平成22年度	地域伝統文化総合活性化事業（文化庁） 体験学習資料製作	4,243,577 円
平成23年度	ミュージアム活性化支援事業（文化庁） 多言語化（館案内リーフレット、音声ガイド、常設展示題箋）	* 1,931,195 円
	文化講演会事業助成金（安藤忠雄文化財団） でかける博物館講演会（於りそな銀行本店）	* 250,000 円
平成24年度	ミュージアム活性化支援事業（文化庁） 体験学習資料製作	* 1,454,250 円
	文化講演会事業助成金（安藤忠雄文化財団） でかける博物館講演会（於りそな銀行本店）	* 250,000 円
平成25年度	文化講演会事業助成金（安藤忠雄文化財団） でかける博物館講演会（於りそな銀行本店）	* 250,000 円
平成26年度	文化講演会事業助成金（安藤忠雄文化財団） でかける博物館講演会（於りそな銀行本店）	* 250,000 円
平成27年度	文化講演会事業助成金（安藤忠雄文化財団） でかける博物館講演会（於りそな銀行本店）	* 250,000 円
平成28年度	地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業（文化庁） 歴史遺産データベース製作	* 5,077,000 円
平成29年度	文化講演会事業助成金（安藤忠雄文化財団） でかける博物館講演会（於りそな銀行本店）	* 250,000 円
平成30年度	文化講演会事業助成金（安藤忠雄文化財団） でかける博物館講演会（於りそな銀行本店）	250,000 円
令和元年度	文化講演会事業助成金（安藤忠雄文化財団） でかける博物館講演会（於りそな銀行本店）	250,000 円
令和3年度	文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業（文化庁） 体温検知カメラ設置、動画配信用機材整備	1,348,301 円

\*文化財資料活用事業（平成22年度以前は府立博物自主事業）として実施

## 8. その他

インターネットホームページやフェイスブック、ライン、インスタグラムを用いての情報発信。

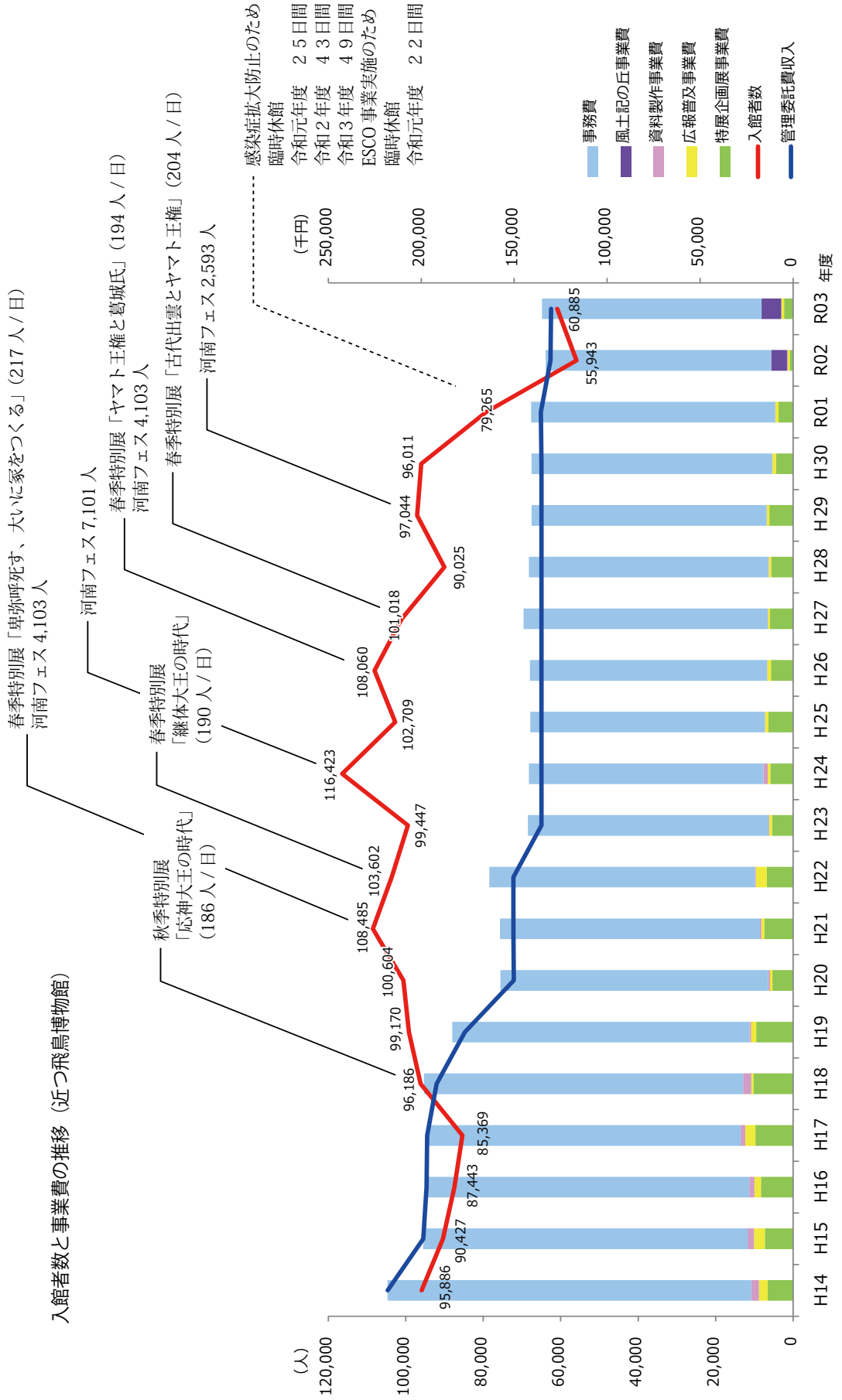
令和2年度からはホームページや YouTube で動画配信。

毎年『館報』を発行。

令和元年に「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産に登録されたことを受け、令和3年3月に館1階ロビーに百舌鳥・古市古墳群解説パネルが設置された。

令和3年8月3日（火）入館者数300万人達成。





管理業務ならびに入館料徴収事務委託

管理運営業務 (指定管理)

管理運営業務 (指定管理/近鉄ビルサービス株式会社との共同管理)



平成 14 年度春季特別展



秋季企画展



冬季企画展



平成 15 年度春季特別展



秋季企画展



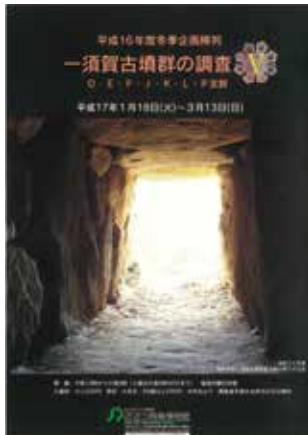
平成 16 年度春季特別展



夏季企画展



秋季特別展



冬季企画陳列



テーマ展示



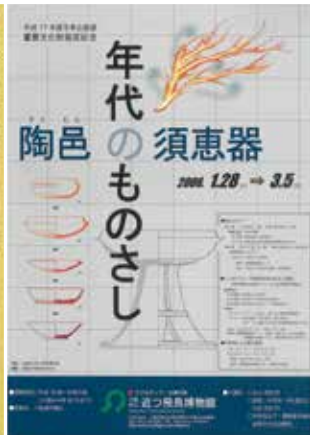
平成 17 年度春季特別展



夏季企画陳列



秋季特別展



冬季企画展



小テーマ展示



平成 18 年度春季特別展





夏季企画展示



秋季特別展



冬季企画展



小テーマ展示



平成19年度春季特別展



夏季企画展



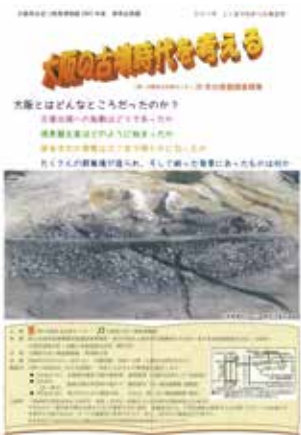
秋季特別展



冬季特別展(全国版)



冬季特別展(当館版)



春季企画展



平成20年度春の展示



夏季企画展



秋季特別展



冬季特別展



平成21年度春季特別展



夏季企画陳列





夏季特別展 (全国版)



夏季特別展 (当館版)



秋季企画展



冬季特別展



平成 22 年度春季特別展



夏季企画展



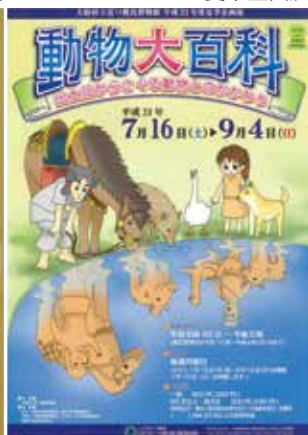
秋季特別展



冬季特別展



平成 23 年度春季特別展



夏季企画展



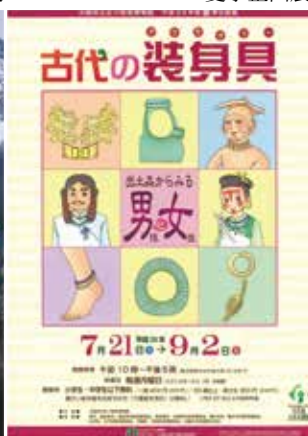
秋季特別展



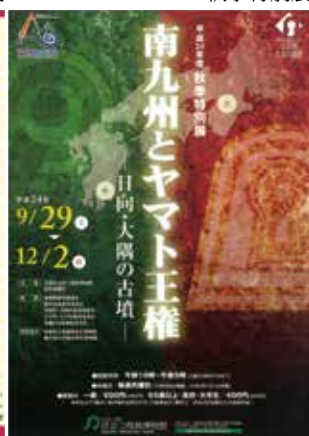
冬季特別展



平成 24 年度春季特別展



夏季企画展



秋季特別展



冬季特別展





平成 25 年度春季特別展



夏季企画展



秋季特別展



冬季特別展



平成 26 年度春季特別展



夏季企画展



秋季特別展



冬季特別展



平成 27 年度春季特別展



夏季企画展



秋季特別展



冬季特別展



平成 28 年度春季特別展



夏季企画展



秋季特別展



冬季特別展





平成 29 年度春季特別展



夏季企画展



秋季特別展



冬季特別展



平成 30 年度春季企画展



夏季企画展



秋季特別展



冬季企画展



平成 31 年度春季企画展



令和元年度夏季特別展



秋季企画展



冬季企画展



令和 2 年度春季特別陳列



夏季企画展



秋季企画展



冬季特別陳列





令和3年度春季特別陳列



夏季企画展



秋季特別展



冬季特別展



令和4年度春季特別陳列



夏季特別展



秋季企画展

## 事業5 歴史館いずみさの事業

---

### 1. 施設の概要

平成8年5月18日 開館

所在地 大阪府泉佐野市市場東一丁目2番1号

開館時間 午前9時から午後5時

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、毎月最終木曜日（その日が祝日の場合はその翌日／令和3年4月1日以降）、12月29日から1月3日  
（平成28年4月1日から令和3年3月31日の間は休日が休館日）

平成28年度～令和2年度 管理運營業務（指定管理）

令和3年度～令和7年度 同上

館長 平成28年4月1日～令和2年3月31日 田邊征夫  
令和2年4月1日～ 坂井秀弥

### 2. 展示公開事業

#### （1）常設展示

泉佐野を代表する歴史遺産である中世荘園の日根荘の時代をテーマにした展示。

常設展示の一部は、令和2年度にリニューアルされた。

#### （2）特別展・企画展

##### 平成28年度

春季館蔵品展 日根対山と小川翠村～春から秋の作品～

春季特別展 卑弥呼の時代と泉州－拠点集落「下田遺跡」を探る－

夏季特別展示 全国おもちゃ紀行

秋季特別展 奈良の都と泉佐野

特別展示 泉佐野の文化遺産～文化遺産を未来へつなぐ～

冬季企画展 道具今昔 農業とくらしの道具

##### 平成29年度

春季特別展 泉佐野の遺跡

夏季企画展 ちょっと昔の泉佐野－戦争といずみさの－

秋季特別展 向井久万裸婦像展

冬季企画展 昔の道具展－漁具とくらし－

##### 平成30年度

春季特別展 奥家の足跡－奥家資料寄贈記念展－

夏季企画展 日本の郷土玩具－込められた人びとの思い－

秋季特別展 祈りと願いと信仰と

冬季企画展 くらしの道具展

##### 平成31年度・令和元年度

春季特別展 里井浮丘とその周辺～里井家資料寄贈記念展～



夏季企画展	摂河泉の考古学ー小さな速報展ー
秋季特別展	向井久万仏画展
冬季企画展	恵方？鬼門？泉佐野の家相図～江戸時代の占いブーム～
令和2年度	
春季企画展	新収蔵資料展
夏季特別展	江戸時代の屋敷図と占い書～恵方・鬼門と家相～
秋季特別展	天下分け目の樫井合戦～中世から近世へ～
冬季企画展	タオル誕生ー和泉木綿の紡いだ軌跡ー
令和3年度	
春季企画展	絵図をよむ
秋季特別展	いのりよ、とどけ
冬季企画展	むかしなつかし 昭和のくらし
令和4年度	
春季企画展	耕す 育てる 収穫する
秋季企画展	ぜんこく縦断！郷土玩具展
冬季特別展	大阪の弥生文化ー和泉と河内ー

### (3) エントランスホール展示

市民創作活動の発表や他自治体と連携した展示を歴史館ギャラリーとし、絵画や写真等の作品展を自主事業として毎年数回実施。

### (4) 日本遺産ガイドセンター

令和元年5月20日「旅引付と二枚の絵図が伝えるまちー中世日根荘の風景ー」が日本遺産として認定されたことから、令和3年1月23日エントランスホールに開設された。日本遺産の情報発信及び普及啓発を実施。

## 3. 講演会事業

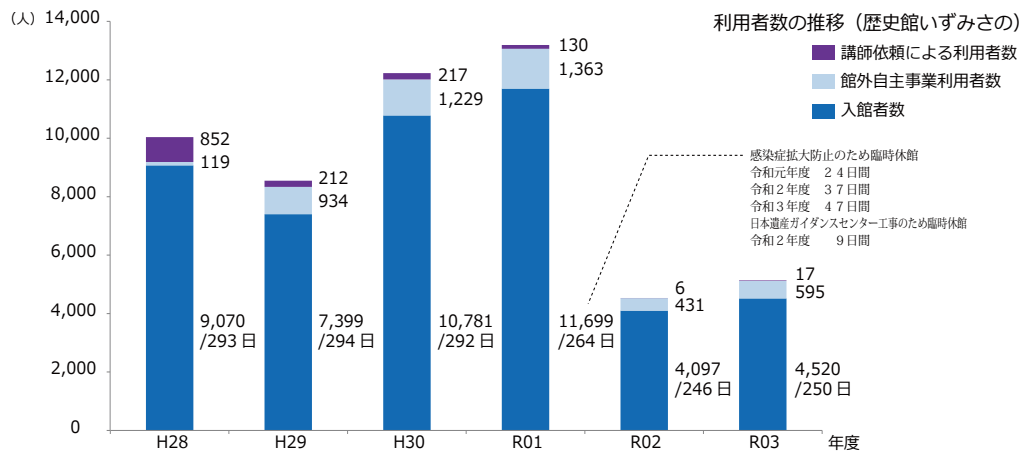
館長講演会（年2回）、特別展・企画展関連講演会を実施。  
歴史学講座、古文書講座等さまざまな講座を開催。

## 4. 体験学習事業

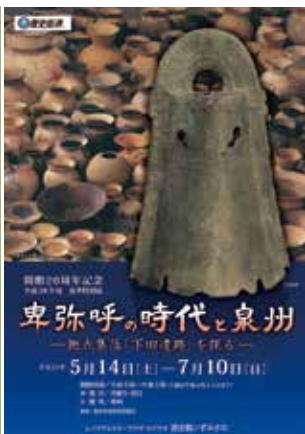
学校等団体の見学受入、出前授業、「れきし館ワークショップ」（毎月2回程度）等を実施。

## 5. その他

フェイスブック、Twitter を用いての情報発信。  
年1回『歴史通信』を発行。



平成 28 年度春季館蔵品展



春季特別展



夏季特別展示



秋季特別展



特別展示



冬季企画展



平成 29 年度春季特別展



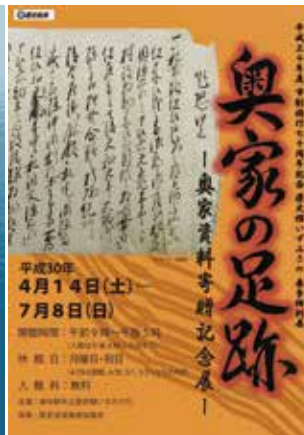
夏季企画展



秋季特別展



冬季企画展



平成 30 年度春季特別展



夏季企画展





秋季特別展



冬季企画展



平成31年度春季特別展



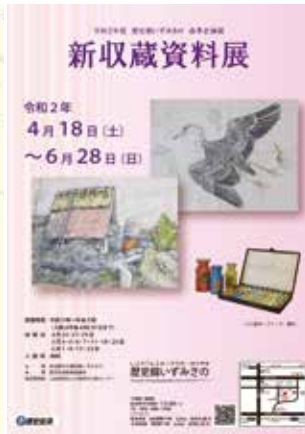
令和元年度夏季企画展



秋季特別展



冬季企画展



令和2年度春季企画展



夏季特別展



秋季特別展



冬季企画展



令和3年度春季企画展



秋季特別展



冬季企画展



令和4年度春季企画展



秋季企画展

## 事業6 日本民家集落博物館事業

### 1. 施設の概要

昭和31年 8月20日 岐阜県大野郡白川村より合掌造り民家を移築復元  
昭和31年10月 6日 豊中市立民俗館として開館  
昭和33年 6月19日 財団法人日本民家集落設立  
昭和36年 3月 6日 財団法人日本民家集落博物館に改称  
平成 9年 3月31日 財団法人日本民家集落博物館解散  
平成 9年 4月 1日 財団法人大阪府博物館協会に統合  
平成14年 3月31日 財団法人大阪府博物館協会解散  
平成14年 4月 1日 財団法人大阪府文化財センターに統合

所在地 大阪府豊中市服部緑地1番2号

開館時間 午前9時30分から午後5時

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、12月27日から1月4日

館長	平成14年4月1日～平成21年3月31日	井藤 徹
	平成21年4月1日～平成23年3月31日	中平正子
	平成23年4月1日～平成24年3月31日	山野重和
	平成24年4月1日～	井藤 徹

### 2. 展示公開事業

#### (1) 常設展示

国指定重要文化財3件、国指定重要有形民俗文化財1件、国登録文化財3件、大阪府指定有形文化財4件、大阪府指定有形民俗文化財1件を展示。「むかしのくらし展示」（平成24年度以降）では、民具の展示や昭和30年代の一部屋を再現しているほか、石臼体験コーナーを併設している。

飛騨白川の民家（岐阜県／旧大井家住宅／江戸後期）	国指定重要有形民俗文化財＜S34.5.6＞
摂津能勢の民家（大阪府／旧泉家住宅／江戸中期）	国指定重要文化財＜S39.5.29＞
日向椎葉の民家（宮崎県／旧椎葉家住宅／江戸末期）	国指定重要文化財＜S48.2.23＞
信濃秋山の民家（長野県／旧山田家住宅／江戸後期）	国指定重要文化財＜S39.5.29＞
大和十津川の民家（奈良県／旧丸田家住宅／江戸1835）	大阪府指定有形文化財＜S49.3.29＞
越前敦賀の民家（福井県／旧山下家住宅／江戸後期）	大阪府指定有形文化財＜S49.3.29＞
南部の曲家（岩手県／旧藤原家住宅／江戸後期）	大阪府指定有形文化財＜S49.3.29＞
奄美大島の高倉（鹿児島県／旧重光家高倉／江戸末期）	大阪府指定有形文化財＜S49.3.29＞
小豆島の農村歌舞伎舞台（香川県／旧吉田の農村歌舞伎舞台／江戸1859）	大阪府指定有形民俗文化財＜S49.3.29＞
河内布施の長屋門（大阪府／旧塩川家長屋門／江戸末期）	国登録有形文化財＜H29.6.28＞
堂島の米倉（大阪府／旧日本工芸館／江戸末期）	国登録有形文化財＜H29.6.28＞
北河内の茶室（大阪府／旧原田家茶室／江戸1851）	国登録有形文化財＜H29.6.28＞
剝舟 ソリコ（島根県）、スブネ（鹿児島県）	＜ ＞は指定年月日



堺の風車（大阪府／旧所有者 川端岩松氏）

原田右衛門尉供養塔（大阪府）

## （2）市民展示

地域の文化サークルや団体向けに日向椎葉の民家や堂島の米蔵を開放し、ギャラリーとして活用。

## （3）企画展・企画展示・特別展

- 平成14年度 白川郷のくらし
- 平成15年度 世界遺産白川郷－合掌造りと大家族－  
民家の今昔  
かやぶき－いにしへの民家－  
ともしび－祭りの灯・暮らしの灯－  
竈形土器の語るもの
- 平成16年度 山に生きる人々－宮崎県椎葉村の民家と暮らし－  
－はかる－どりょうこう  
－いのる－いのり・ねがい・おもふ  
－とき－江戸のこよみ  
－つむぐ－とつづくの糸・わこくの糸  
やね－覆う 葺く 被せる－  
はこぶ－花 人 魂－  
考古学と模型  
古墳時代の池島・福万寺遺跡－初めてのすみごち－
- 平成17年度 山に生きる人々－宮崎県椎葉村の民家と暮らし2－『生業と伝承』  
きざむ－時の記念日に因んで－  
かおる－香の文化の変遷－  
お金－江戸時代のお金を考える－  
ひく－日本の粉の歴史を展示－  
むかしの道具（発掘民具）1 農具  
はたおりの歴史展－古代の機織生産を考える－
- 平成18年度 信濃秋山郷の暮らし－北越雪譜の世界－  
日本の暮らし－春の歳時記－  
日本の暮らし－秋の歳時記－  
昔の暮らし  
むかしの道具（発掘民具）2 漁具  
禁野火薬庫の調査  
民俗芸能公演 椎葉神楽（大河内神楽）
- 平成19年度 信濃秋山郷の暮らし2－北国の生業－  
日本の暮らし－春の歳時記－  
日本の暮らし－秋の歳時記－  
鳥越憲三郎メモリアル  
昔の暮らし  
むかしの道具（発掘民具）3 武具  
つわもの達の夢－追悼、藤澤一夫・鳥越憲三郎・堅田直－

- アイヌ民族の伝統芸能公演
- 平成20年度 椎葉の民家解体修理工事を終えて  
奄美大島の民家と暮らし  
昔の暮らし  
民俗芸能公演 椎葉神楽（十根川神楽）
- 平成21年度 奄美大島・南西諸島の民家と暮らし  
昔の暮らし  
民俗芸能公演 奄美の島唄と島踊り
- 平成22年度 岩手県・南部地方の民家と暮らし  
古民家再生  
昔の暮らし  
民俗芸能公演 能勢浄瑠璃
- 平成23年度 岩手県・南部地方の民家と暮らし2  
昔の暮らし  
民俗芸能公演 岩手県早池峰神楽
- 平成24年度 香川県の民家と農村歌舞伎  
公演 小豆島の農村歌舞伎
- 平成25年度 茅葺き民家とその風景写真展  
椎葉の神楽面展  
民俗芸能公演 椎葉神楽（尾前神楽）  
ミニ公演 文楽
- 平成26年度 越中五箇山茅葺きの技写真展  
民俗芸能公演 奄美の島唄と踊り
- 平成27年度 陳国棟スケッチ紀行  
民俗芸能公演 椎葉神楽（大河内神楽）
- 平成28年度 陳国棟作品展Ⅱ  
伝統芸能公演 文楽
- 平成29年度 王慶平の民家模型作品展
- 平成30年度 とほるのかいこ日記
- 令和元年度 とほるのかいこ日記  
民家修復工事写真展  
今昔いわきの年中行事写真展
- 令和2年度 とほるのかいこ日記
- 令和3年度 みんなちゃんのかいこ日記  
奄美大島の高倉修復工事写真展
- 令和4年度 みんなちゃんのかいこ日記  
（仮）国重要文化財 信濃秋山の民家（旧山田家住宅）保存修理工事竣工記念写真展

### 3. 講演会解説事業

ボランティアによる展示民家の解説、北河内の茶室特別公開、白川の民家2階特別公開を開催。

保存修理に関連して、日向椎葉の民家保存修理工事公開説明会（平成19年度）、摂津能勢の民家工事見学会・茅葺体験（平成22年度）、南部の曲家保存修理工事完成記念解説見学会（平成25年度）、

茅葺職人技術研修及び茅葺きフォーラム（令和2年度）、信濃秋山の民家保存修理工事見学会（令和3年度）を開催。

その他、民家や日本の暮らし等について考えを深める講座を開催。

#### 4. 体験学習・学校連携事業

夏休み親子企画、季節の行事（こいのぼり・五月人形飾り、ようか日、七夕飾り、お盆飾り、正月飾り、お雑煮・ぜんざい、七草がゆ、節分・豆まき、桃の節句・雛飾り等）、囲炉裏体験、参加型体験事業（コマ遊び、紙芝居、竹細工づくり等）、こども囲碁クラブ、校外学習の受け入れ・体験学習等を実施。

#### 5. 補助金事業

平成14年度	助成金	170,000円
平成18年度	芸術文化振興基金助成金（独立行政法人日本芸術文化振興会） 椎葉神楽公演	400,000円
平成19年度	文化財観光・活用振興事業（大阪府） 日向椎葉の民家公開（長屋門前掲示板設置を含む）	300,000円
平成22年度	地域伝統文化総合活性化事業（文化庁） 茅葺セミナー、能勢浄瑠璃公演 みんか伝統文化体験教室	979,645円 ***—円
平成23年度	ミュージアム活性化支援事業（文化庁） むかしのくらし体験学習、みんか子ども絵画教室、英語表示順路案内板、総合整備計画の基礎作成	* 6,867,705円
	文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（文化庁） 早池峰神楽公演 みんか伝統文化体験教室	1,827,265円 ***—円
平成24年度	ミュージアム活性化支援事業（文化庁） 小豆島農村歌舞伎公演及び土壁・むしろの補修ワークショップ等、堺の風車修復記念シンポジウム、むかしのくらし体験学習、みんか子ども絵画教室、案内パンフレット製作	* 6,454,011円
	文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（文化庁） みんか伝統文化体験教室	***—円
平成25年度	地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業（文化庁） むかしのくらし体験学習、みんか子ども絵画教室、外国語パンフレット製作、外国人向けプロモーションビデオ製作	* 4,780,000円
	文化遺産を活かした地域活性化事業（文化庁） みんか伝統文化体験教室	***—円
毎年	文化財保存事業（日本民家集落博物館展示公開事業）（大阪府教育委員会）	別に示す
毎年	国宝重要文化財等保存・活用事業（指定文化財管理）（大阪府教育委員会）	47,000円

\* 文化財資料活用事業として実施

\*\* 実行委員会が補助金を受け実施

保存修理に係る補助金は次章に記載

## 6. 保存修理・施設整備事業

平成14年度

越前敦賀の民家 : 床板の一部差し替え

平成15年度

その他 : 展示室「カルチュアはっとり」(現「セミナールーム」)完成

平成16年度

北河内の茶室 : 移築

石臼体験コーナー : 堂島の米蔵の南側に設置

その他 : 「歌の小径」豊中南ロータリークラブより寄贈  
入館券売所2棟撤去

平成18年度

日向椎葉の民家 : 解体修理

国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化庁)27,846,000円

日本民家集落博物館展示民家改修事業補助金(大阪府教育委員会)4,328,000円

平成19年度

日向椎葉の民家 : 解体修理(5月21日起工式)

国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化庁)87,703,000円

日本民家集落博物館展示民家改修事業補助金(大阪府教育委員会)20,087,000円

信濃秋山の民家 : 茅葺部分補修

摂津能勢の民家 : 茅葺部分補修

館内設備 : 館内電気幹線全面改修  
館入口前に看板新設

平成20年度

日向椎葉の民家 : 解体修理(7月8日竣工式)

国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化庁)12,670,000円

日本民家集落博物館展示民家改修事業補助金(大阪府教育委員会)4,682,000円

越前敦賀の民家 : 屋根上部の修理

館内設備 : 火災報知器更新、インターフォンの更新・増設

平成21年度

園路整備 : 摂津能勢の民家から奄美大島の高倉を經由し南部の曲家までの園路の悪路箇所  
改善及びバリアフリー化

日本民家集落博物館活性化基盤整備事業補助金(大阪府教育委員会)10,000,000円

平成22年度

摂津能勢の民家 : 屋根全面葺替等 国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化庁)15,759,000円

平成23年度

大和十津川の民家・越前敦賀の民家 : 土間補修 公益財団法人朝日新聞文化財団助成金500,000円

平成24年度

南部の曲家 : 耐震調査、柱・梁の取替、棟茅替等

文化財保存事業費補助金(大阪府教育委員会)3,007,000円

小豆島の農村歌舞伎舞台 : 土壁・むしろ(こも)の補修

堺の風車 : 前年度の台風で倒壊したため復元

むかしのくらし展示コーナー : 改修、「昭和の部屋」設置、石臼体験コーナー設置



## 平成25年度

- 飛騨白川の民家 : 耐震診断、床板等の補修  
国宝重要文化財等保存整備費補助金（文化庁）5,420,000円
- 南部の曲家 : 差茅、土壁塗り直し、土間たたき塗り直し、建具補修等  
文化財保存事業費補助金（大阪府教育委員会）2,841,000円

## 平成26年度

- 飛騨白川の民家 : 耐震補強、建具補修、仏間の壁紙張替え、電気設備更新、防虫防蟻処理  
国宝重要文化財等保存整備費補助金（文化庁）14,653,000円
- その他 : 越前敦賀の民家周辺及び日向椎葉の民家前広場の排水溝整備  
前年度の台風で破損した外周柵の補修

## 平成27年度

- 河内布施の長屋門 : 耐震診断 公益財団法人朝日新聞文化財団助成金 640,000円
- 園路整備 : 信濃秋山の民家前階段の整備

## 平成28年度

- 園路整備 : 信濃秋山の民家前階段の整備

## 平成29年度

- 園路整備 : 大和十津川の民家前階段の整備

## 平成30年度

- 摂津能勢の民家 : 大阪北部地震被害の補修  
国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（文化庁）1,526,000円
- 大和十津川の民家 : 同上、耐震補強 文化財保存事業費補助金（大阪府教育委員会）5,468,000円
- 南部の曲家 : 同上 文化財保存事業費補助金（大阪府教育委員会）1,084,000円
- 越前敦賀の民家 : 同上 文化財保存事業費補助金（大阪府教育委員会）1,151,000円
- 小豆島の農村歌舞伎舞台 : 同上 文化財保存事業費補助金（大阪府教育委員会）1,581,000円
- 事務所棟移築 : 福島県いわき市より東日本大震災の応急仮設住宅を移築（3月31日竣工式）

## 令和2年度

- 奄美の高倉 : 屋根の葺替・逆葺復元 公益財団法人全国社寺等屋根保存技術協会の協力による
- 信濃秋山の民家 : 全面葺替、大棟の一部取替、土間補修（～令和3年度）  
国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（文化庁）10,602,000円

## 令和3年度

- 信濃秋山の民家 : 全面葺替、大棟の一部取替、土間補修  
国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（文化庁）25,585,000円

## その他

ボランティアによる囲炉裏の燻蒸、竹林や植栽整備、畑作物の栽培等活動。

## 7. その他

展示民家の提供・活用（映画撮影等への協力、文化活動団体への会場提供等）

民家集落わくわくワークまつり（平成20～23年度日本民家集落博物館まつり、平成24年度みんなの秋フェア）

「民家の案内」「民俗（上・下巻）」の頒布

民家ツアー（平成16年度白川郷・富山・石川、椎葉、平成17年度備前、平成18年度滋賀県湖北地方、平成19年度信濃秋山郷、平成20年度備中高梁、平成21年度奄美大島、平成22年度岩手県、

平成23年度小豆島

故きを温ねて（史跡見学会 ～平成19年度）

観月会（平成21・22・23年度）、夜間特別開館（平成17～19年度）

ボランティア研修旅行（平成24年度南丹市美山町）

開館50周年記念式典（平成18年10月6日）

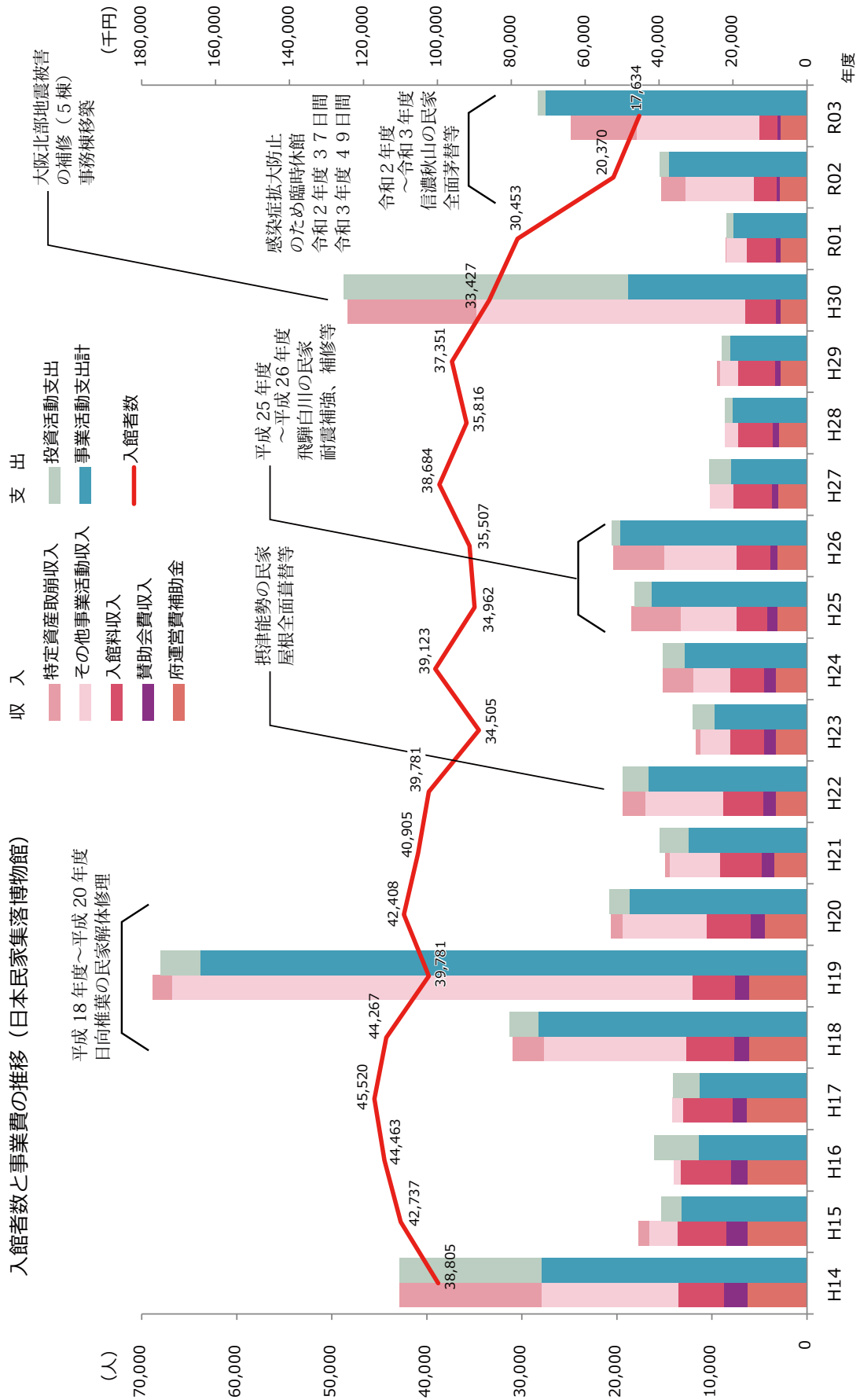
博物館友の会（～平成16年度）

移築民家を守る会（募金活動 平成17年度～19年度）



館内マップ

### 入館者数と事業費の推移（日本民家集落博物館）







- |    |   |               |           |
|----|---|---------------|-----------|
| 1  | 2 | 1 飛騨白川の民家     | 2 摂津能勢の民家 |
| 3  | 4 | 3 日向椎葉の民家     | 4 信濃秋山の民家 |
| 5  | 6 | 5 大和十津川の民家    | 6 越前敦賀の民家 |
| 7  | 8 | 7 南部の曲家       | 8 奄美大島の高倉 |
|    |   | 9 小豆島の農村歌舞伎舞台 |           |
|    |   | 10 北河内の茶室     |           |
|    |   | 11 堂島の米蔵      |           |
| 12 |   | 12 河内布施の長屋門   |           |





上 飛騨白川の民家 / 下 日向椎葉の民家



調査地

国際文化公園都市  
 麻田藩陣屋跡  
 宿久庄西遺跡  
 耳原遺跡  
 勝部遺跡  
 住吉宮の前遺跡  
 玉櫛遺跡  
 蛭池遺跡  
 総持寺遺跡  
 豊川遺跡  
 讚良郡条里遺跡  
 小路遺跡  
 高宮遺跡  
 大尾遺跡  
 太秦遺跡  
 讚良郡条里遺跡西地区  
 門真西地区  
 寝屋南遺跡西地区  
 寝屋東遺跡  
 有池遺跡  
 倉治遺跡  
 津田城遺跡  
 小阪合遺跡  
 瓜生堂遺跡  
 池島・福万寺遺跡  
 新上小阪遺跡  
 久宝寺遺跡  
 大和川今池遺跡  
 伽羅橋遺跡  
 男里遺跡  
 史跡池上曾根遺跡  
 湊遺跡他  
 若宮遺跡  
 大西遺跡他  
 郡戸遺跡  
 船橋遺跡  
 八尾南遺跡  
 駒ヶ谷遺跡  
 はざみ山遺跡  
 農林センター散布地  
 尺度遺跡

[左列上から]

センター 30 周年記念展「過去からのメッセージー大阪発掘 30 年ー」講演会（於弥生文化博物館）／日本民家集落博物館 ふるさとのお雑煮会／弥生文化博物館 写真撮影会／近つ飛鳥博物館 春季特別展歴史セミナー／近つ飛鳥博物館 一須賀古墳群講座「古墳群を歩く」

[右列上から] 久宝寺遺跡 古墳時代前期の墳墓群／総持寺遺跡 奈良時代の掘立柱建物跡／讚良郡条里遺跡 絵馬（奈良時代）出土状況／船橋遺跡 ガラス小玉鍔型・鞆の羽口等（飛鳥時代）



できごと

(財) 大阪府博物館協会と統合。日本民家集落博物館、大阪府立弥生文化博物館（委託）、大阪府立近つ飛鳥博物館（委託）の管理運営を始める。  
 調査事業量増加のため、(財) 京都市埋蔵文化財研究所から調査員派遣の支援を受ける。  
 当法人設立 30 周年記念式典（12 月 8 日）、記念展（1 月 25 日～3 月 23 日）開催。  
 讚良郡条里遺跡の調査で出土した 2 点の絵馬（奈良時代末～平安時代初頭）のほか、人形、墨書人面土器、馬の下顎骨等が「発掘された日本列島 2003」展（文化庁主催）の展示物件に選ばれる。



調査地



- 津田遺跡
- 東倉治遺跡
- 有池遺跡
- 上私部遺跡
- 上の山遺跡
- 茄子作遺跡
- 寝屋東遺跡
- 寝屋南遺跡
- 奥山遺跡
- 太秦遺跡
- 大尾遺跡
- 讚良郡条里遺跡
- 淀川河床遺跡
- 総持寺遺跡
- 禁野本町遺跡
- 蛭池遺跡
- 勝部遺跡
- 勝部東遺跡
- 大坂城跡
- 岩田遺跡
- 岩田遺跡隣接地
- 瓜生堂遺跡
- 池島・福万寺遺跡
- 山賀遺跡
- 小阪合遺跡
- 久宝寺遺跡
- 東大阪市南西部遺跡群
- 松原市内遺跡群
- 八尾南遺跡
- 船橋遺跡
- はざみ山遺跡
- 尺度遺跡
- 史跡池上曾根遺跡
- 大西遺跡
- 湊遺跡
- 上町東遺跡
- 若宮遺跡
- 男里遺跡

[左列上から] 大坂城跡 堀障子跡（近世）／太秦遺跡 弥生時代中期の塹穴住居群／はざみ山遺跡 飛鳥時代の掘立柱建物群／奥山1号墳現地公開  
[右列上から] 日本民家集落博物館 養蚕体験／日本民家集落博物館「カルチュアはっとり」展示室オープン記念講演会／弥生文化博物館 佐原真氏一周忌追悼対談／弥生文化博物館 小学校への出前授業／近つ飛鳥博物館 春季特別展展示状況

できごと

第二京阪道路建設の調査事業の増加に伴い、京阪支所、京阪支所交野分室を開設。  
(財)京都市埋蔵文化財研究所、(財)大阪市文化財協会、(財)和歌山県文化財センターから調査員派遣の支援を受ける。  
当法人理事で大阪府立弥生文化博物館館長の金関恕先生が地域文化功労者表彰、大阪文化賞を受賞。  
大坂城跡の調査(大阪府警察本部改築用地)の出土資料が「発掘された日本列島 2004」展(文化庁主催)の展示物件に選ばれる。



調査地

東倉治遺跡  
有池遺跡  
上私部遺跡  
私部南遺跡  
上の山遺跡  
茄子作遺跡  
平池遺跡  
太秦遺跡  
太秦古墳群  
高宮遺跡  
大尾遺跡  
小路遺跡  
讀良郡条里遺跡  
巢本遺跡  
福井遺跡  
総持寺遺跡  
禁野本町遺跡  
走井遺跡  
岩田遺跡  
花園遺跡隣接地  
池島・福万寺遺跡  
山賀遺跡  
弓削ノ庄遺跡  
亀田遺跡  
東大阪市南西部遺跡群  
小阪合遺跡  
久宝寺遺跡  
大坂城跡  
八尾南遺跡  
船橋遺跡  
松原市内遺跡群  
三宅西遺跡  
大和川今池遺跡  
はざみ山遺跡  
伽羅橋遺跡  
史跡池上曾根遺跡  
東雲遺跡隣接地  
男里遺跡



[左列上から] 大阪府立今宮高等学校体験学習（於八尾南遺跡）／親と子の考古学教室（於日本民家集落博物館）／博物館部・センター一部共同研究（於弥生文化博物館）／弥生文化博物館 秋季特別展考古学セミナー／近つ飛鳥博物館 古墳の森コンサート  
[右列上から] 八尾南遺跡 竪穴建物（弥生時代後期）調査状況／禁野本町遺跡 旧日本陸軍禁野火薬庫跡（近代）／上の山遺跡 独立棟持柱をもつ大型掘立柱建物（弥生時代中期前半）／日本民家集落博物館「北河内の茶室」移築事業竣工式

できごと

北部調査事務所を閉鎖、京阪調査事務所を開設。  
前年度に引き続き3財団から調査員派遣の支援を受ける。  
ドイツで開催される「日本の考古—曙光の時代—」展（文化庁主催）に大庭寺遺跡出土の須恵器等を貸出。これまで多くの展示会に出展しているが、海外での展示は初。  
日本民家集落博物館に前年度寄贈を得た大阪府交野市原田邸茶室の移築復元が完了。「北河内の茶室」として新たな常設展示民家となる。建設費は（財）萬野記念文化財団の寄付による。



調査地

- 讃良郡条里遺跡
- 太秦遺跡
- 太秦古墳群
- 寝屋東遺跡
- 大尾遺跡
- 小路遺跡
- 巢本遺跡
- 有池遺跡
- 上の山遺跡
- 上私部遺跡
- 平池遺跡
- 私部南遺跡
- 東倉治遺跡
- 津田遺跡
- 茄子作遺跡
- 茄子作下浦遺跡
- 倉治遺跡
- 片山荒池遺跡
- 勝部遺跡
- 禁野本町遺跡
- 福井遺跡
- 吹田操車場遺跡
- 山賀遺跡
- 小阪合遺跡
- 花園遺跡隣接地遺跡
- 新上小阪遺跡
- 植松遺跡
- 久宝寺遺跡
- 玉櫛遺跡
- 池島・福万寺遺跡
- 弓削ノ庄遺跡
- 亀田遺跡
- 東大阪市南西部遺跡群
- 三宅西遺跡
- 池内遺跡
- 史跡池上曾根遺跡
- 伽羅橋遺跡
- 大坂城跡
- 上町東遺跡
- 湊遺跡
- 童子畑遺跡
- 童子畑北遺跡
- 八尾南遺跡
- 田井中遺跡
- はざみ山遺跡

[左列上から] 上私部遺跡 6世紀の掘立柱建物群 / 上の山遺跡 弥生時代中期前葉の方形周溝墓 / 池内遺跡 平安時代中期の大溝 / 巢本遺跡 12世紀頃の堀下部構造

[右列上から] 地元小学生対象現地説明会(於讃良郡条里遺跡) / 文化財講座(於大阪歴史博物館) / 映画「讃良郡条里遺跡一埋もれた井戸の発掘」制作のための撮影(於讃良郡条里遺跡) / 歴史体験隊「土器づくり」(於日本民家集落博物館) / 大阪府文化財センター・日本民家集落博物館共催ミニ講座(於日本民家集落博物館)



できごと

第二京阪道路建設の調査がピークを迎え、職員数過去最多となる。大阪府教育委員会、国土交通省、西日本高速道路株式会社とともに、第二京阪道路内遺跡の埋蔵文化財調査成果を紹介する展示会・講演会を地元の寝屋川市民会館で開催。「発掘された日本列島 2005」展（文化庁主催）に八尾南遺跡から出土した龍の絵画土器、竪穴建物周壁の有機質壁材（レプリカ）等を出展。山賀遺跡の調査で出土した垂飾形木製品等が「発掘された日本列島 2006」展（同）の展示物件に選ばれる。



## 調査地

太秦遺跡(太秦古墳群)  
 讃良郡条里遺跡  
 砂遺跡  
 巢本遺跡  
 私部南遺跡  
 上私部遺跡  
 東倉治遺跡  
 有池遺跡  
 上の山遺跡  
 平池遺跡  
 茄子作遺跡  
 茄子作下浦遺跡  
 倉治遺跡  
 津田遺跡  
 吹田操車場遺跡  
 玉櫛遺跡  
 片山荒地遺跡  
 山賀遺跡  
 花屋敷遺跡  
 久宝寺遺跡  
 新上小阪遺跡  
 植松遺跡  
 池島・福万寺遺跡  
 三宅西遺跡  
 池内遺跡  
 湊遺跡  
 大西遺跡  
 若宮遺跡  
 堺環濠都市遺跡  
 史跡池上曾根遺跡  
 八尾南遺跡  
 大和川今池遺跡  
 はざみ山遺跡  
 田井中遺跡



[左列上から] 玉櫛遺跡 木製鞍(古墳時代)出土状況/小学校の体験学習(於京阪調査事務所寝屋川分室)/日本民家集落博物館 開館 50 周年記念式典/弥生文化博物館 春季特別展開会式/近つ飛鳥博物館 春季特別展 展示解説



[右列上から] 私部南遺跡 弥生時代前期末~中期初頭の大型円形建物/堺環濠都市遺跡 慶長 20 年の火災にあった専列建物(近世)/池上曾根遺跡現地説明会/日本民家集落博物館「日向椎葉の民家」解体工事中

## できごと

指定管理者として大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館及び大阪府立近つ飛鳥風土記の丘の運営開始。  
 日本民家集落博物館開館 50 周年式典(10月6日)。  
 「発掘された日本列島 2006」展(文化庁主催)を弥生文化博物館で開催。  
 関西財界の寄付により宮崎県椎葉村から移築され 47 年になる日向椎葉の民家の解体修理に着手。  
 池島・福万寺遺跡発掘調査 25 周年記念展を弥生文化博物館で開催。



調査地

- 寝屋東遺跡
- 大尾遺跡
- 砂遺跡
- 太秦遺跡(太秦古墳群)
- 讚良郡条里遺跡
- 巢本遺跡
- 私部南遺跡
- 茄子作遺跡
- 津田遺跡
- 上私部遺跡
- 有池遺跡
- 上の山遺跡
- 倉治遺跡
- 吹田操車場
- 勝部遺跡
- 玉櫛遺跡
- 山賀遺跡
- 新上小阪遺跡
- 植松遺跡
- 池島・福万寺遺跡
- 三宅西遺跡
- 池内遺跡
- 湊遺跡
- 堺環濠都市遺跡
- 史跡池上曾根遺跡
- 下池田遺跡
- 大和川今池遺跡
- 船橋遺跡
- 上田町遺跡隣接地



[左列上から] 堺環濠都市遺跡 最大規模をもつ環濠断面(近世)／堺環濠都市遺跡現地説明会／下池田遺跡古墳時代初頭の溝／大和川今池遺跡「難波大道」

[右列上から] 私部南遺跡 弥生時代後期のシガラミ／大阪府立大手前高等学校考古学入門(於池島・福万寺遺跡)／郷土の文化財を見学する会「奈良県葛城地域の文化財探訪」／近つ飛鳥博物館 小学校の体験学習「修羅引き」／弥生文化博物館 橋下新知事の視察

できごと

日本民家集落博物館日向椎葉の民家解体修理工事の起工式(5月21日)。「発掘された日本列島2007」展(文化庁主催)を近つ飛鳥博物館で開催。大阪府新知事就任(2月6日)。新規公共事業、公の施設等の見直しが始まる。第二京阪道路建設の調査が終息。他団体からの調査員派遣支援は年度末で終了。



調査地

太秦遺跡(太秦古墳群)  
高宮遺跡  
讚良郡条里遺跡  
巢本遺跡  
上の山遺跡  
上私部遺跡  
有池遺跡  
私部南遺跡  
津田遺跡  
吹田操車場遺跡  
走井遺跡  
玉櫛遺跡  
新上小阪遺跡  
山賀遺跡  
久宝寺遺跡  
植松遺跡  
池島・福万寺遺跡  
禁野本町遺跡  
三宅西遺跡  
池内遺跡  
下池田遺跡  
大和川今池遺跡  
池内遺跡隣接地  
船橋遺跡  
若宮遺跡



[左列上から] 池島・福万寺遺跡 中世末の埋納銭貨／石切中学校職業体験(於池島・福万寺遺跡)／JICA アフリカ地域道路維持管理技術研修の遺跡発掘調査現場視察(於津田遺跡)／弥生文化博物館 来館者 100 万人達成／近つ飛鳥博物館開館 15 周年記念シンポジウム(於エルおおさか)



[右列上から] 新上小阪遺跡 弥生時代中期の方形周溝墓／津田遺跡 室町時代～近世初頭の礎石建物群／津田遺跡現地公開／日本民家集落博物館「日向椎葉の民家」竣工式

できごと

大阪府からの派遣職員の一部を除き派遣元に復帰のため、調査部職員数が 102 名から 62 名に減。大阪府の「財政再建プログラム(案)」において出資法人や公の施設について見直し案が示される。大阪府立博物館の 2 館では 7 月まで事業費ゼロの暫定予算となり、上半期の事業に影響。弥生文化博物館は廃止・売却案が浮上し、学会その他各方面からの存続を求める運動が起こる。解体修理を行っていた日本民家集落博物館日向椎葉の民家の竣工式(7月8日)。



調査地

- 上私部遺跡
- 有池遺跡
- 私部南遺跡
- 上の山遺跡
- 津田遺跡
- 讃良郡条里遺跡
- 吹田操車場遺跡
- 明和池遺跡
- 吹田城跡隣接地
- 新上小阪遺跡
- 山賀遺跡
- 久宝寺遺跡
- 植松遺跡
- 大堀遺跡隣接地
- 北鳥池遺跡
- 若江北遺跡
- 片山荒池遺跡隣接地
- 止々呂美城跡隣接地
- 止々呂美城跡
- 池島・福万寺遺跡
- 池内遺跡
- 三宅西遺跡
- 太井遺跡
- 余部日置荘遺跡
- 下池田遺跡
- 大和川今池遺跡
- 若山遺跡
- 三宅西遺跡隣接地

技術支援  
(財)鳥取県教育文化財団



[左列上から] 池島・福万寺遺跡 古墳時代のヒスイ製勾玉／吹田操車場遺跡 中世墓完掘状況／讃良郡条里遺跡 古墳時代中期遺構面／池島・福万寺遺跡 現地公開

[右列上から] 大阪府立今宮高等学校考古学講座（於池島・福万寺遺跡）／日本民家集落博物館 大阪ジュニアバンドによる演奏／近つ飛鳥博物館 河内飛鳥れきしウォーク「おおやまと古墳群を歩く」／弥生文化博物館・大阪市立信太山青少年野外活動センター共同企画「野外で体感 弥生の暮らし」（於大阪市立信太山青少年野外活動センター）／弥生文化博物館 夏季特別展展示解説

大阪府外への技術支援を開始。(財)鳥取県教育文化財団からの依頼により、職員3名を鳥取西道路建設事業地内の発掘調査の技術支援のために派遣。  
日本民家集落博物館が新型インフルエンザの流行により6日間臨時休館。  
「発掘された日本列島 2009」展(文化庁主催)を近つ飛鳥博物館で開催。  
九州国立博物館の常設展示に大庭寺遺跡出土須恵器を貸出(～平成24年度)。これまでも常設展示に貸し出しているが、国立博物館の常設展示は初。

できごと



## 調査地

高宮遺跡  
 讚良郡条里遺跡  
 太秦遺跡  
 私部南遺跡  
 上の山遺跡  
 上私部遺跡  
 有池遺跡  
 止々呂美城跡隣接地  
 止々呂美城跡  
 成合・宮が谷地区  
 安満遺跡隣接地  
 千提寺地区  
 吹田操車場遺跡  
 明和池遺跡  
 新上小阪遺跡  
 植松遺跡  
 北鳥池遺跡  
 若江北遺跡  
 禁野本町遺跡  
 久宝寺遺跡  
 瓜生堂遺跡  
 岩田遺跡  
 花屋敷遺跡  
 池島・福万寺遺跡  
 池内遺跡  
 若山遺跡  
 並松町遺跡  
 三宅西遺跡  
 大和川今池遺跡  
 深井畑山窯跡群隣接地  
 信太千塚古墳群  
 鬼虎川遺跡

技術支援  
 (財) 鳥取県教育文化財団



[左列上から] シンポジウム「百舌鳥古墳群とその周辺」(平成22年度文化庁地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業・於堺市立西文化会館) / 古代体験秋まつり(於兵庫県立考古博物館) / 弥生文化博物館 弥生フェスティバル / 近つ飛鳥博物館 講演会大盛況で超満車の駐車場 / 近つ飛鳥博物館 来館者 200 万人達成  
 [右列上から] 池島・福万寺遺跡 弥生時代前期の溝出土遺物 / 岩田遺跡 弥生時代中期後半の土器棺 / 新上小阪遺跡現地説明会 / 日本民家集落博物館「摂津能勢の民家」改修工事

## できごと

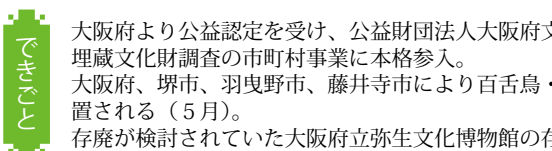
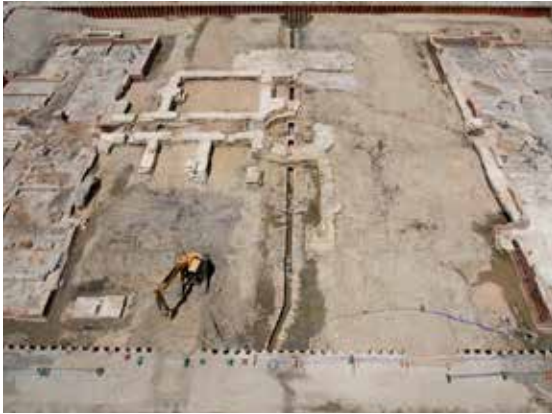
新名神高速道路関連の調査に着手。  
 百舌鳥・古市古墳群が世界遺産暫定一覧表に記載される(11月)。  
 弥生文化博物館が弥生フェスティバル開催により大きく入館者数を伸ばす(前年比117.4%)。  
 日本民家集落博物館摂津能勢の民家の屋根全面葺き替え(3月完了)。  
 京阪調査事務所閉鎖(3月31日)。



調査地

- 成合遺跡
- 成合遺跡隣接地
- 金龍寺旧境内跡
- 茨木市千提寺地区
- 千提寺西遺跡
- 千提寺南遺跡
- 止々呂美城跡
- 金龍寺旧境内跡
- 萩之庄南遺跡
- 久宝寺遺跡
- 吹田操車場遺跡
- 明和池遺跡
- 西ノ庄東遺跡
- 祭野本町遺跡
- 瓜生堂遺跡
- 岩田遺跡
- 花屋敷遺跡
- 旧大阪府庁跡
- 讚良郡条里遺跡
- 池島・福万寺遺跡
- 鬼虎川遺跡
- 大泉郡条里遺跡
- 瓜破北遺跡
- 並松町遺跡
- 天美西遺跡
- 大和川今池遺跡
- 池内遺跡
- 諸目遺跡

技術支援  
(財)鳥取県教育文化財団



[左列上から] 旧大阪府庁舎跡(近代)／西の庄東遺跡 平安時代井戸出土遺物／明和池遺跡現地説明会／講演会「古市古墳群とその周辺」(平成 23 年度文化庁地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 於国民会館武藤記念ホール)  
[右列上から]「八尾の遺跡を知ろうー久宝寺遺跡の墳墓と古墳」(於しおんじやま学び場)／リソな銀行泉北支店パネル展示／近鉄文化サロン共催講座「着て学ぶ、卑弥呼の衣裳」(於近鉄文化サロン阿倍野)／日本民家集落博物館「観月会」／弥生文化博物館「やよいミュージアムコンサート」

お知らせ

大阪府より公益認定を受け、公益財団法人大阪府文化財センターに名称変更(4月1日)。埋蔵文化財調査の市町村事業に本格参加。大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市により百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議が設置される(5月)。存廃が検討されていた大阪府立弥生文化博物館の存続が決定。



## 調査地

成合遺跡  
 金龍寺旧境内跡  
 成合遺跡隣接地  
 萩之庄南遺跡  
 千提寺西遺跡  
 日奈戸遺跡  
 千提寺市阪遺跡  
 千提寺クルス山遺跡  
 千提寺南遺跡  
 止々呂美城跡  
 禁野本町遺跡  
 吹田操車場遺跡  
 明和池遺跡  
 西ノ庄東遺跡  
 本町遺跡  
 讃良郡条里遺跡  
 池島・福万寺遺跡  
 旧大阪府庁跡  
 久宝寺遺跡  
 田井中遺跡  
 木の本遺跡  
 鬼虎川遺跡  
 瓜破北遺跡  
 大県郡条里遺跡  
 池内遺跡  
 並松町遺跡  
 諸目遺跡

技術支援  
 (公財)鳥取県教育文化財団



[左列上から] 成合遺跡現地説明会／講演会「慶長を掘る」(平成24年度文化庁地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 於堺市産業振興センターイベントホール)／大阪府立今宮高等学校夏季集中講座「考古学入門」(於近つ飛鳥風土記の丘)／弥生文化博物館 近鉄百貨店コトラ「勾玉消しゴム作り」(於近鉄百貨店阿倍野店子供服・教養品売場)／近つ飛鳥博物館 かなんフェス

[右列上から] 萩之庄南遺跡 弥生時代後期～古墳時代初頭の竪穴建物／千提寺西遺跡 中世を中心とする墓跡／千提寺西遺跡 キリシタン墓(近世)／日本民家集落博物館「小豆島農村歌舞伎」

## できごと

当法人理事長と弥生文化博物館館長が交代し(水野正好→田邊征夫、金関恕→黒崎直)、承継記念シンポジウムを開催。当法人設立40周年。フランスのバリ日本文化会館で開催される「笑いの日本美術史」展(独立行政法人国際交流基金主催)に仏並遺跡出土土面を貸出。大阪府による一級河川恩智川治水緑地建設事業が凍結され池島・福万寺遺跡の調査事業が終了、池島支所を閉鎖(3月29日)。



調査地

- 成合遺跡
- 金龍寺旧境内跡
- 成合地獄谷遺跡
- 磐手杜古墳群
- 磐手杜古墳群隣接地
- 上牧遺跡隣接地
- 井尻遺跡
- 梶原寺跡隣接地
- 梶原西遺跡
- 千提寺西遺跡
- 日奈戸遺跡
- 千提寺市阪遺跡
- 千提寺クルス山遺跡
- 千提寺南遺跡
- 千提寺南遺跡隣接地
- 総持寺遺跡
- 止々呂美城跡
- 吹田操車場遺跡
- 明和池遺跡
- 本町遺跡
- 蛭池北遺跡
- 讚良郡条里遺跡
- 大坂城跡
- 難波宮跡
- 久宝寺遺跡
- 瓜破北遺跡
- 田井中遺跡
- 大県郡条里遺跡
- 天美北 6 丁目北遺跡
- 川北遺跡
- 伯太藩陣屋跡
- 信太千塚古墳群

技術支援

- (公財) 鳥取県教育文化財団
- (公財) 岩手県文化振興事業団
- (公財) 和歌山県文化財センター
- (公財) 和歌山市文化スポーツ振興財団



埋蔵文化財調査の公共事業量の減少傾向が顕著となる。『発掘調査業務受託積算基準』を改定し、調査人件費の積算・精算方法を実従事見込額・支出額に改める。  
(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターからの依頼により、職員 2 名を東日本大震災の復旧・復興事業地内での発掘調査の技術支援のために派遣。(公財) 和歌山県文化財センター、(公財) 和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センターにも各 1 名を派遣。  
日本民家集落博物館南部の曲家の保存修理工事が完了 (9 月 15 日)。

[左列上から] 井尻遺跡の調査 / 大坂城跡現地説明会 / シンポジウム「発掘! 検証! キリシタン墓 - 高山右近とキリシタン -」(於高槻市生涯学習センター) / 日本民家集落博物館 南部の曲家の保存修理工事  
[右列上から] 弥生文化博物館 スポット展示「国内最古の分銅の発見とその意義」 / 弥生文化博物館 春季企画展関連「とんぼ玉製作体験」(体験する黒崎館長) / 近つ飛鳥博物館 出前授業 (埴輪作り) / 近つ飛鳥博物館 中学生の職業体験 / 日本民家集落博物館 文楽ミニ公演

できごと



## 調査地

成合遺跡  
 金龍寺旧境内跡  
 成合地獄谷遺跡  
 磐手杜古墳群  
 井尻遺跡  
 梶原西遺跡  
 梶原古墳群  
 磐手杜古墳群隣接地  
 千提寺西遺跡  
 日奈戸遺跡  
 千提寺市阪遺跡  
 千提寺クルス山遺跡  
 国見遺跡隣接地  
 総持寺遺跡  
 吹田操車場遺跡  
 明和池遺跡  
 禁野本町遺跡  
 讃良郡条里遺跡  
 天満蔵屋敷跡  
 大坂城跡  
 難波宮跡  
 瓜破北遺跡  
 田井中遺跡  
 大泉郡条里遺跡  
 伯太藩陣屋跡  
 信太千塚古墳群

## 技術支援

(公財) 鳥取県教育文化財団  
 (公財) 岩手県文化振興事業団  
 (公財) 和歌山市文化スポーツ振興財団



[左列上から] 体験学習の受け入れ 大阪府立今宮高等学校夏期集中講座「考古学入門」(於吹田操車場遺跡) / 弥生文化博物館 常設展示室リニューアル / 弥生文化博物館 キャラクター着ぐるみ / 近つ飛鳥博物館 小学校団体見学 / 近つ飛鳥博物館 海の日工作教室

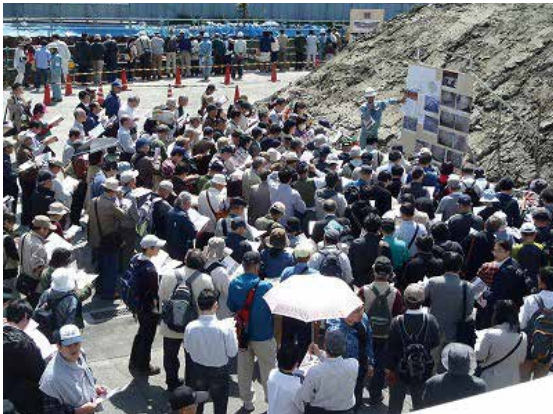
[右列上から] 吹田操車場遺跡の調査 / 大坂城跡の調査 / 日本民家集落博物館 奄美・沖縄の島唄と踊り / 日本民家集落博物館 飛騨白川の合掌造り民家保存修理工事

## できごと

定年退職後の高齢職員の雇用確保のため再雇用制度を創設。  
 埋蔵文化財調査の公共事業量の減少傾向がさらに進行。  
 当法人の評議員かつ前理事長水野正好先生ご逝去(1月27日)。  
 大阪府教育委員会により大阪府立弥生文化博物館の常設展示が一部リニューアルされる(2月1日～3月1日常設展示室閉鎖、3月3日再開)。  
 日本民家集落博物館飛騨白川の合掌造り民家の保存修理工事完了(3月31日)。



調査地



- 長原遺跡
- 八尾南遺跡
- 明和池遺跡
- 吹田操車場遺跡
- 成合地獄谷遺跡
- 成合遺跡
- 金龍寺旧境内跡
- 千提寺西遺跡
- 日奈戸遺跡
- 千提寺市阪遺跡
- 千提寺クルス山遺跡
- 磐手杜古墳群
- 高槻市梶原地区
- 井尻遺跡
- 梶原西遺跡
- 梶原古墳群
- 国見遺跡隣接地
- 禁野本町遺跡
- 中ノ坪遺跡
- 大坂城跡
- 難波宮跡
- 亀田遺跡
- 服部遺跡
- 津堂遺跡
- 瓜破北遺跡
- 川北遺跡
- 池内遺跡
- 大県郡条里遺跡
- 山ノ井遺跡
- 伯太藩陣屋跡
- 信太千塚古墳群

- 技術支援
- (公財) 鳥取県教育文化財団
  - (公財) 岩手県文化振興事業団
  - (公財) 和歌山市文化スポーツ振興財団
  - (公財) かながわ考古学財団

[左列上から] 吹田操車場遺跡の調査 / 禁野本町遺跡 現地説明会 / 大坂城跡 現地説明会 / 近つ飛鳥博物館でかける博物館講演会 (於りそな銀行本店) 「倭の五王の時代ー考古学と文献史学から考えるー」

[右列上から] 出張展示 吹田市立博物館 / 弥生文化博物館 冬季企画展 / 弥生文化博物館 ミュージアムコンサート 通算 300 回記念 / 近つ飛鳥博物館 スポット展示 (水野正好先生追悼企画) / 日本民家集落博物館 体験学習 (洗濯)

できごと

(公財) かながわ考古学財団からの依頼により、職員を新東名高速道路建設予定地内での発掘調査の技術支援のために派遣。  
 公益目的事業に技術者派遣事業を新規設定する (事業実績なし、平成 29 年度末をもって廃止)。  
 埋蔵文化財調査のうち市町村・民間開発事業が 50%以上となり、国・大阪府関連公共事業をはじめ上回る。  
 当法人の田邊征夫理事長が瑞宝小綬章を受章。



## 調査地

吹田操車場遺跡  
 明和池遺跡  
 禁野本町遺跡  
 中ノ坪遺跡  
 郡遺跡  
 倍賀遺跡  
 総持寺遺跡  
 鶴殿遺跡  
 枚方市西船橋地区他  
 高槻市梶原中村・上牧地区  
 招提北代遺跡  
 高槻市梶原地区  
 梶原寺跡  
 井尻遺跡  
 坊領遺跡  
 西三荘遺跡  
 大坂城跡  
 難波宮跡  
 川北遺跡  
 瓜破北遺跡  
 池内遺跡  
 大県郡条里遺跡  
 山ノ井遺跡  
 船橋遺跡  
 伯太藩陣屋跡  
 信太千塚古墳群  
 津堂遺跡

### 技術支援

(公財) 鳥取県教育文化財団  
 (公財) 岩手県文化振興事業団  
 (公財) かながわ考古学財団  
 (公財) 京都市埋蔵文化財研究所



[左列上から] 発掘現場体験の受け入れ 地元小学校(於郡遺跡・倍賀遺跡) / 弥生文化博物館 出前授業(本物の土器にふれる) / 近つ飛鳥博物館 現地見学会(新沢千塚古墳群) / 日本民家集落博物館 親子イモ掘り体験 / 歴史館いずみさの 歴史ウォーク(樫井古戦場、熊野古道)



[右列上から] 総持寺遺跡の調査 / 郡遺跡・倍賀遺跡 現地説明会 / 坊領遺跡 現地公開 / 近つ飛鳥博物館 年1回の展示模型(仁徳陵古墳) メンテナンス

## できごと

指定管理者として泉佐野市立歴史館いずみさのの管理運営を開始。

当法人顧問で元理事長の坪井清足先生ご逝去(5月7日)。

郡遺跡・倍賀遺跡現地説明会に1,184名の参加を得る(平成14年度以降の現地説明会参加者数1位は平成15年12月開催大坂城跡2,350名、2位は平成16年2月開催難波宮跡1,350名、本件3位)。発掘調査の出土遺物の保管に関し、令和5年度末までに大阪府教育委員会へ返還する覚書を大阪府教育庁との間で締結。



調査地

吹田操車場遺跡  
高槻市上牧地区  
上牧遺跡他  
船橋遺跡他  
総持寺遺跡  
梶原寺跡  
祭野本町遺跡  
郡遺跡  
倍賀遺跡  
太田遺跡  
太田廃寺跡  
太田城跡  
明和池遺跡  
坊領遺跡  
交野市星田北・星田駅北地区  
花屋敷遺跡  
大県都条里遺跡  
山ノ井遺跡  
瓜破北遺跡  
川北遺跡  
宮ノ前遺跡  
池内遺跡

技術支援

(公財) 鳥取県教育文化財団  
(公財) 岩手県文化振興事業団  
(公財) かながわ考古学財団  
(公財) 京都市埋蔵文化財研究所  
(公財) 和歌山市文化スポーツ  
振興財団



できごと

他府県への技術支援がピークとなる（職員 13 名出向）。  
日本民家集落博物館の 3 施設が国登録有形文化財となる（6 月 28 日公示：河内布施の長屋門・第 27-0679 号、堂島の米蔵・第 27-0680 号、北河内の茶室・第 27-0681 号）。  
岸和田収蔵庫 4 棟を大阪府に譲渡。  
弥生文化博物館名誉館長金関恕先生ご逝去（3 月 13 日）。  
専門職員の退職、機器類の老朽化に伴い、保存処理事業を中止（3 月 31 日）。

[左列上から] 吹田操車場遺跡の調査 / 花屋敷遺跡の調査 / 体験学習の受け入れ 大阪府立今宮高等学校夏期集中講座「考古学入門」（於太田遺跡） / 日本民家集落博物館 消防訓練

[右列上から] 体験学習の受け入れ 学校法人和光学園和光高等学校古代日本史研究旅行「考古学体験」（於太田遺跡） / 弥生文化博物館 いにし絵手紙事業 / 近つ飛鳥博物館 冬季特別展ワークショップ「想いを書いたためよう」 / 歴史館いずみさの 学校教育連携事業（和歌山大学資料保存論講義） / 日本民家集落博物館 テレビ局へのロケ地提供



調査地

大坂城跡  
難波宮跡  
船橋遺跡他  
上牧遺跡他  
吹田市目伎地区  
井尻遺跡  
吹田操車場遺跡  
禁野本町遺跡  
金龍寺旧境内跡  
郡遺跡  
倍賀遺跡  
太田遺跡  
太田廃寺跡  
太田城跡  
明和池遺跡  
平池遺跡  
星田駅北遺跡  
四馬塚遺跡  
堀之内遺跡  
大県郡条里遺跡  
川北遺跡  
池内遺跡  
新堂遺跡  
東山遺跡  
黒山遺跡  
太井遺跡他

技術支援

(公財) かながわ考古学財団  
(公財) 京都市埋蔵文化財研究所  
(公財) 和歌山市文化スポーツ振興財団



[左列上から] 船橋遺跡の調査／弥生文化博物館 木曜大学（崎崎館長）／近つ飛鳥博物館 大阪府広報担当副知事「もずやん」と群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」来館／日本民家集落博物館 コマ遊び／歴史館いずみさの 小学校団体見学  
[右列上から] 大坂城跡 現地説明会／太田遺跡他 出土遺物の写真撮影／近つ飛鳥博物館 百舌鳥・古市古墳群 世界文化遺産登録に向けた講演会「古市古墳群と渡来人」（於 LIC はびきの）／日本民家集落博物館 事務棟（旧福島県高久第十急仮設住宅）竣工式

できごと

近つ飛鳥博物館館長が交代し（白石太郎→館野和己）、承継記念講演会を開催。  
国立歴史民俗博物館の常設展示に大庭寺遺跡出土須恵器を貸出（～継続中）。  
大阪北部地震（6月18日）、台風21号（9月4日）と災害が相次ぐ。日本民家集落博物館の民家や樹木、弥生文化博物館の建物、近つ飛鳥博物館風土記の丘に被害が出る。  
日本民家集落博物館の事務棟として利用するため、東日本大震災後に福島県いわき市で使用された木造応急仮設住宅を福島県より無償で譲り受けて移築（3月31日竣工式）。



調査地



- 大坂城跡
- 難波宮跡
- 上牧遺跡他
- 船橋遺跡
- 梶原南遺跡
- 伊加賀遺跡他
- 禁野本町遺跡
- 金龍寺旧境内跡
- 島本町桜井地区
- 太田遺跡
- 太田城跡
- 茨木市南目垣地区
- 明和池遺跡
- 平池遺跡
- 堀之内遺跡
- 星田駅北遺跡
- 四馬塚遺跡
- 大泉郡条里遺跡
- 駒ヶ谷遺跡
- 河内飛鳥寺跡
- 東山遺跡
- 新堂遺跡
- 出合遺跡
- 黒山遺跡
- 太井遺跡他
- 和歌山城跡

技術支援  
(公財) かながわ考古学財団

[左列上から] 上牧遺跡 集落・方形周溝墓 / 上牧遺跡の調査 / 発掘現場見学の受け入れ 大阪府立茨木高等学校 (於太田遺跡) / 日本民家集落博物館 弦楽アンサンブルコンサート

[右列上から] 弥生文化博物館 夏休みフェスタ / でかける博物館講座 (於近鉄文化サロン阿倍野) / 近つ飛鳥博物館 出前授業 (勾玉づくり) / 近つ飛鳥博物館 バックヤードツアー / 歴史館いずみさの館長特別講演会

できごと

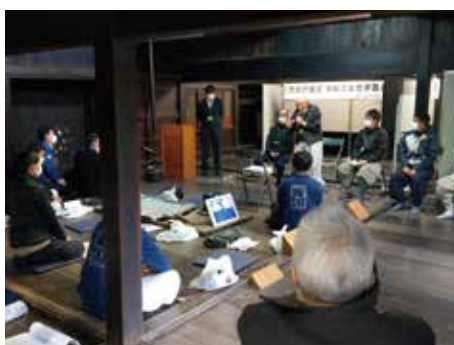
弥生文化博物館館長が交代し(黒崎直→禰宜田佳男)、承継記念講演会を開催。大阪府立近つ飛鳥博物館名誉館長の白石太郎先生が大阪府の憲法記念日知事表彰を受賞。泉佐野市「旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—」日本遺産に認定(5月20日)。百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録される(7月6日)。新型コロナウイルス感染拡大防止のため府立博物館、歴史館いずみさの臨時休館(3月3日〜)。日本民家集落博物館は野外博物館のため感染リスクが低いと判断し開館を継続。



調査地

大坂城跡  
難波宮跡  
船橋遺跡  
上牧遺跡  
梶原南遺跡  
金龍寺旧境内跡  
高槻市梶原地区  
高槻市成合地区  
伊加賀遺跡他  
大県郡条里遺跡  
庄内遺跡  
禁野本町遺跡  
普賢寺遺跡  
尾山遺跡  
太田遺跡  
太田城跡  
難波御蔵跡  
船出遺跡  
平池遺跡  
堀之内遺跡  
星田駅北遺跡  
四馬塚遺跡  
新堂遺跡  
黒山遺跡  
太井遺跡他  
和歌山城跡

技術支援  
(公財) かながわ考古学財団



[左列上から] 梶原南遺跡の調査／黒山遺跡の調査／弥生文化博物館 博学連携事業（大阪府立貝塚高等学校による展示）／歴史館いずみさの 冬季企画展展示解説／日本民家集落博物館 茅葺きフォーラム

[右列上から] 尾山遺跡 現地公開／普賢寺遺跡 現地公開／近つ飛鳥博物館 古墳の森コンサート／日本民家集落博物館 奄美大島の高倉の屋根葺き替え

できごと

当法人理事長が交代（田邊征夫→坂井秀弥）。  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（府立博物館～5月20日、歴史館いずみさの～5月18日、日本民家集落博物館4月8日～5月20日）。  
弥生文化博物館、施設緊急点検のため臨時休館（5月21～6月26日）。  
歴史館いずみさの、日本遺産ガイドセンター工事のため臨時休館（1月13日～22日）。  
日本民家集落博物館奄美大島の高倉の屋根を葺き替え。逆葺工法により本来の姿に。



調査地

- 船橋遺跡
  - 上牧遺跡
  - 梶原南遺跡
  - 梶原古墳群
  - 金龍寺旧境内跡
  - 伊加賀遺跡
  - 伊加賀古墳群
  - 大県郡条里遺跡
  - 西岩田遺跡
  - 目倭遺跡
  - 吹田操車場遺跡
  - 庄内遺跡
  - 普賢寺遺跡
  - 尾山遺跡
  - 太田遺跡
  - 中条小学校遺跡
  - 松ヶ本南遺跡
  - 黒山遺跡
  - 太井遺跡他
  - 和歌山城跡
- 技術支援  
(公財) かながわ考古学財団



**できごと** 大阪モノレール延伸工事着手。埋蔵文化財調査の国・府関連公共事業が回復基調。日本民家集落博物館信濃秋山の民家保存修理工事にかかるクラウドファンディングを実施（4月19日～5月31日）。新型コロナウイルス感染拡大防止のため博物館4館が臨時休館（4月25日～6月20日）。府外技術支援終息（3月）。日本民家集落博物館信濃秋山の民家、保存修理工事完了（3月）。

[左列上から] 大県郡条里遺跡 方形周溝墓／金龍寺旧境内跡 成合4号墳／日本民家集落博物館 クラウドファンディングリターン工事体験会／日本民家集落博物館 保存修理が完成した信濃秋山の民家  
[右列上から] 梶原南遺跡 古代瓦出土状況／弥生文化博物館 出前授業（火おこし体験）／近つ飛鳥博物館 来館者300万人達成／近つ飛鳥風土記の丘古墳探検ツアー／歴史館いずみさの 博物館実習

公益財団法人大阪府文化財センター設立 40 周年記念 大阪府立弥生文化博物館開館 20 周年記念  
 公益財団法人大阪府文化財センター理事長・大阪府立弥生文化博物館館長 承継記念シンポジウム





日時：平成 24（2012）年 8 月 18 日（土）午前 10 時～午後 4 時 45 分

会場：オーバルホール 大阪市北区梅田（毎日新聞ビル地下 1 階）

主催：公益財団法人大阪府文化財センター、大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館

共催：朝日新聞社、産経新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

「邪馬台国から奈良の都へー古代都市成立へのみちのりー」

講演Ⅰ 「卑弥呼の都」 大阪府立弥生文化博物館名誉館長（前館長） 金関 恕

講演Ⅱ 「「難波」の宮たち」 公益財団法人大阪府文化財センター前理事長 水野正好

講演Ⅲ 「飛鳥・藤原京」 大阪府立弥生文化博物館館長 黒崎 直

講演Ⅳ 「平城京」 公益財団法人大阪府文化財センター理事長 田邊征夫

パネル討論 金関 恕／水野正好／黒崎 直／田邊征夫

コーディネーター 毎日新聞社学芸部専門編集委員 佐々木泰造

公益財団法人大阪府文化財センター理事長、大阪府立弥生文化博物館館長の交代を記念して、シンポジウムを開催。定員 450 名の会場に、1,000 名以上のお申込みをいただくほどの大盛況であった。

当日は、各先生の熱の入ったご講演と 3 倍近い競争率をクリアした聴衆の熱気で、大いに盛り上がった。





大阪府立近つ飛鳥博物館館長 承継記念講演会

日時：平成 30（2018）年 5 月 20 日（日）午後 1 時～午後 4 時 30 分

会場：エル・シアター 大阪市中央区北浜東（エル・おおさか 2 階）

主催：公益財団法人大阪府文化財センター、大阪府立近つ飛鳥博物館、一般財団法人大阪労働協会

講演Ⅰ 「前方後円墳の出現と終末の意味するもの」

大阪府立近つ飛鳥博物館名誉館長（前館長） 白石太一郎

講演Ⅱ 「木簡に見る古代の大阪」

大阪府立近つ飛鳥博物館館長

館野和己

対談 白石太一郎／館野和己

コーディネーター 公益財団法人大阪府文化財センター理事長 田邊征夫

大阪府立近つ飛鳥博物館館長の交代を記念して講演会を開催。聴衆から講演時間が短すぎる、足りないなどのご意見を多くいただくほど内容の濃い講演会であった。考古学の権威から古代史学の権威への承継となったことから、古代史学の視点からの新しい近つ飛鳥博物館に期待する声も聞かれた。



大阪府立弥生文化博物館館長 承継記念講演会

日時：令和元（2019）年6月22日（土）午後1時～午後4時

会場：大阪府立弥生文化博物館 1階ホール

主催：大阪府立弥生文化博物館、公益財団法人大阪府文化財センター

「時代の変革と国家論ー弥生のクニグニから律令国家へー」

講演Ⅰ 「国家形成への道ー弥生からの展望ー」 大阪府立弥生文化博物館館長 禰宜田佳男

講演Ⅱ 「古代国家の完成ー大宝律令と飛鳥・藤原宮ー」大阪府立弥生文化博物館名誉館長 黒崎 直  
 鼎談 黒崎 直／禰宜田佳男／公益財団法人大阪府文化財センター理事長 田邊征夫

大阪府立弥生文化博物館館長の交代を記念して講演会を開催。日本列島に「国家」はいつから出現したのかという難題に新旧館長が挑んだ講演会は、会場に入りきれなかった人が出るほどの大盛況であった。







## 1. シンボルマーク



昭和 55 年度から 58 年度にかけて近畿自動車道建設に伴い当法人が調査を実施した、八尾市美園古墳から出土の家形埴輪（国指定重要文化財、文化庁所蔵）をデザイン化したものです。

財団法人大阪文化財センターと財団法人大阪府埋蔵文化財協会との統合を記念し制定したもので、職員から原案を募集し、23 名 48 件の応募の中から選ばれたものを、プロのデザイナーに整えてもらいました。

実物資料は、大阪府立近つ飛鳥博物館の常設展示「埴輪の世界」コーナーに展示されています。



美園古墳出土の家形埴輪（シンボルマークのモデルは左の埴輪）

入母屋造（いりもやづくり）高床式住居を表現した精緻な埴輪で、外面全体と内部の一部がベンガラで赤く塗られています。大きさは、高さ 70cm、棟の最大長 75cm、桁行最大長 55cm、梁行の最大長 45cm です。

屋根には 11 個の鱗（ひれ）飾りが付き、四方の壁の中央の柱には、鋸歯文による文様が施された盾の線刻が見られます。家の内部は、床の中央に方形の透かし穴があるほか、市松模様で網代（あじろ）を表現した小さなベッドがあります。大棟（おおむね）の妻部には束（つか）の上に斗（ます）が表現され、わが国建築史上注目されています。この家形埴輪は、当時の首長の家を忠実に再現している可能性が大きいとされています。

## 2. 設立発起人ならびに役員任期一覧

### 設立発起人

赤堀四郎	大阪府教育委員会委員長／前大阪大学総長
浅野 清	大阪工業大学教授
坪井清足	奈良国立文化財研究所調査部長
藤沢一夫	帝塚山大学講師
小川栄一	財団法人藤田美術館理事長
加藤三之雄	財団法人日本民家集落博物館常務理事
高松忠清	宗教法人住吉大社代表役員
出口常順	宗教法人四天王寺代表役員
玉田義美	大阪府教育委員会教育長
高尾正二	大阪府都市教育長協議会副会長／堺市教育委員会教育長
益倉辰次郎	大阪府都市教育長協議会副会長／東大阪市教育委員会教育長
戸谷宣道	大阪府町村教育委員会連絡協議会副会長／島本町教育委員会教育長

### 理事長

氏名	就任時所属	任 期（理事の任期は理事欄に記載）		
		自	至	
加藤三之雄	財団法人日本民家集落博物館常任理事	昭和 47 年 11 月 28 日	昭和 61 年 3 月 31 日	
坪井清足	元奈良国立文化財研究所長	昭和 61 年 4 月 1 日	平成 12 年 3 月 31 日	
水野正好	奈良大学教授	平成 12 年 4 月 1 日	平成 24 年 3 月 31 日	→評議員
田邊征夫	元独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所長	平成 24 年 4 月 1 日	令和 2 年 3 月 31 日	→評議員
坂井秀弥	奈良大学名誉教授	令和 2 年 4 月 1 日	現	

### 副理事長

氏名	就任時所属	任 期（理事の任期は理事欄に記載）		
		自	至	
河島 潔	財団法人大阪文化財センター事務局長	平成 8 年 4 月 1 日	平成 9 年 4 月 30 日	
田宮謙之助	財団法人大阪文化財センター事務局長	平成 9 年 5 月 1 日	平成 11 年 6 月 24 日	

### 専務理事

氏名	就任時所属	任 期		
		自	至	
谷川秀善	大阪府教育委員会文化財保護課長	昭和 53 年 3 月 30 日	昭和 55 年 4 月 1 日	
住羽地米治	大阪府教育委員会教育次長	昭和 60 年 2 月 1 日	昭和 60 年 3 月 31 日	
村田和三郎	財団法人大阪文化財センター事務局長	昭和 60 年 4 月 1 日	平成 元年 4 月 30 日	
廣瀬智生	財団法人大阪文化財センター事務局長	平成 元年 5 月 1 日	平成 4 年 6 月 9 日	
河島 潔	財団法人大阪文化財センター事務局長	平成 4 年 6 月 10 日	平成 8 年 3 月 31 日	→副理事長
森 繁	財団法人大阪府文化財調査研究センター事務局長	平成 11 年 6 月 25 日	平成 13 年 6 月 24 日	
中山重光	財団法人大阪府文化財調査研究センター事務局長	平成 13 年 6 月 25 日	平成 16 年 6 月 30 日	
鳴澤成泰	財団法人大阪府文化財センター事務局長	平成 16 年 7 月 1 日	平成 18 年 3 月 31 日	
横山敏郎	財団法人大阪府文化財センター事務局長	平成 18 年 4 月 1 日	平成 20 年 3 月 31 日	
中平正子	財団法人大阪府文化財センター事務局長	平成 20 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	
山野重和	公益財団法人大阪府文化財センター事務局長	平成 23 年 4 月 1 日	平成 25 年 3 月 31 日	
秋山芳廣	公益財団法人大阪府文化財センター事務局長	平成 25 年 4 月 1 日	平成 29 年 12 月 31 日	
江浦 洋	公益財団法人大阪府文化財センター事務局長	平成 30 年 1 月 1 日	令和 3 年 3 月 31 日	
岡本茂史	公益財団法人大阪府文化財センター事務局長	令和 3 年 4 月 1 日	現	

常勤理事

氏名	就任時所属	任 期	
		自	至
井上定清	財団法人大阪文化財センター事務局長	昭和 54 年 6 月 1 日	昭和 58 年 6 月 15 日
小林廣喜	財団法人大阪文化財センター事務局長	昭和 59 年 12 月 21 日	昭和 61 年 3 月 31 日
森本弥之介	財団法人大阪文化財センター事務局長	平成 7 年 4 月 1 日	平成 8 年 12 月 31 日

理事

氏名	就任時所属	任 期		
		自	至	
浅野 清	大阪工業大学教授	昭和 47 年 11 月 28 日	平成 3 年 8 月 19 日	
加藤三之雄	財団法人日本民家集落博物館常任理事	昭和 47 年 11 月 28 日	昭和 61 年 3 月 31 日	理事長
高松忠清	宗教法人住吉大社代表役員	昭和 47 年 11 月 28 日	昭和 49 年 10 月 13 日	
坪井清足	奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部長	昭和 47 年 11 月 28 日	昭和 51 年 12 月 13 日	
出口常順	宗教法人四天王寺代表役員	昭和 47 年 11 月 28 日	昭和 55 年 11 月 27 日	
藤澤一夫	帝塚山大学専任講師	昭和 47 年 11 月 28 日	平成 15 年 11 月 3 日	
奥野茂壽	住吉大社権宮司	昭和 49 年 12 月 13 日	平成 6 年 8 月 28 日	
堅田 直	帝塚山大学教授	昭和 52 年 12 月 13 日	平成 18 年 8 月 15 日	
南谷恵澄	四天王寺副住職	昭和 55 年 11 月 28 日	昭和 60 年 5 月 29 日	
坪井清足(再)	奈良国立文化財研究所長	昭和 57 年 12 月 21 日	平成 12 年 12 月 1 日	S 61.4.1 ~ H 12.3.31 理事長
住羽地米治	大阪府教育委員会教育次長	昭和 60 年 2 月 1 日	昭和 60 年 3 月 31 日	専務理事
村田和三郎	財団法人大阪文化財センター事務局長	昭和 60 年 4 月 1 日	平成 元年 4 月 30 日	専務理事
廣瀬智生	財団法人大阪文化財センター事務局長	平成 元年 5 月 1 日	平成 4 年 6 月 9 日	専務理事
河島 潔	財団法人大阪文化財センター事務局長	平成 4 年 6 月 10 日	平成 9 年 4 月 30 日	副理事長・専務理事
金関 恕	天理大学主任教授	平成 4 年 11 月 27 日	平成 24 年 3 月 31 日	
高野浩二	財団法人建設技術研究所理事	平成 7 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	
水野正好	奈良大学学長	平成 7 年 4 月 1 日	平成 24 年 3 月 31 日	H 12.4.1 ~ 理事長
横田健一	大阪府文化財保護審議会会長	平成 7 年 4 月 1 日	平成 7 年 11 月 30 日	
岡田英男	大阪府文化財保護審議会会長	平成 7 年 12 月 1 日	平成 10 年 11 月 26 日	
田宮謙之助	財団法人大阪文化財センター事務局長	平成 9 年 5 月 1 日	平成 11 年 6 月 24 日	副理事長
近藤公夫	神戸芸術工科大学教授	平成 10 年 11 月 27 日	平成 23 年 3 月 31 日	
森 繁	財団法人大阪文化財センター事務局長	平成 11 年 6 月 25 日	平成 13 年 6 月 24 日	専務理事
中山重光	財団法人大阪文化財センター事務局長	平成 13 年 6 月 25 日	平成 16 年 6 月 30 日	専務理事
伊賀節郎	財団法人大阪府私学総連合会代表	平成 14 年 4 月 1 日	平成 21 年 5 月 31 日	
石毛直道	国立民族学博物館館長	平成 14 年 4 月 1 日	平成 15 年 3 月 31 日	
岩田光利	大阪府立図書館協議会会長	平成 14 年 4 月 1 日	平成 17 年 3 月 31 日	
大橋太朗	阪急電鉄株式会社代表取締役社長	平成 14 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	
大庭 脩	大阪府立近つ飛鳥博物館館長	平成 14 年 4 月 1 日	平成 14 年 11 月 27 日	
佐々木高明	国立民族学博物館名誉教授	平成 14 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日	(博物館協会統合に伴う追加選任)
末次攝子	財団法人高槻市文化振興事業団副理事長	平成 14 年 4 月 1 日	平成 17 年 3 月 31 日	
藤 洋作	関西電力株式会社取締役社長	平成 14 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	
町田 章	独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所長	平成 14 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	
森下洋一	松下電器産業株式会社代表取締役社長	平成 14 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日	
領木新一郎	大阪瓦斯株式会社代表取締役会長	平成 14 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	
松園万亀雄	国立民族学博物館館長	平成 15 年 6 月 26 日	平成 21 年 3 月 31 日	
白石太一郎	奈良大学教授	平成 16 年 3 月 26 日	平成 30 年 3 月 31 日	→評議員
鳴澤成泰	財団法人大阪文化財センター事務局長	平成 16 年 6 月 28 日	平成 18 年 3 月 31 日	H 16.7.1 ~ 専務理事
田邊征夫	独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所長	平成 17 年 6 月 23 日	平成 23 年 3 月 31 日	→理事長
福岡澄男	財団法人大阪府文化財センター普及部長	平成 18 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	
横山敏郎	財団法人大阪府文化財センター事務局長	平成 18 年 4 月 1 日	平成 20 年 3 月 31 日	専務理事
井藤 徹	財団法人大阪府文化財センター日本民家集落博物館館長	平成 19 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日	
中平正子	財団法人大阪府文化財センター事務局長	平成 20 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	専務理事
須藤健一	国立民族学博物館館長	平成 21 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	→評議員



釜谷行藏	財団法人大阪府私学総連合会理事長	平成 21 年 6 月 25 日	平成 23 年 3 月 31 日	
秋山芳廣	公益財団法人大阪府文化財センター総務企画部総務企画課長	平成 23 年 4 月 1 日	現	H 25.4.1 ~ H 29.12.31 専務理事
興津厚志	大阪商工会議所人材開発部次長	平成 23 年 4 月 1 日	平成 27 年 6 月 25 日	
坂井秀弥	奈良大学教授	平成 23 年 4 月 1 日	現	R 2.4.1 ~ 理事長
狭間恵三子	財団法人大阪観光コンベンション協会情報発信担当部長	平成 23 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 19 日	
濱元博之	歴史街道推進協議会メインルート事業部長	平成 23 年 4 月 1 日	平成 24 年 11 月 20 日	
福永伸哉	大阪大学教授	平成 23 年 4 月 1 日	平成 29 年 6 月 23 日	
山野重和	公益財団法人大阪府文化財センター事務局長	平成 23 年 4 月 1 日	平成 25 年 3 月 31 日	専務理事
黒崎 直	大阪府立弥生文化博物館館長	平成 24 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	
田邊征夫 (再)	元独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所長	平成 24 年 4 月 1 日	令和 2 年 3 月 31 日	理事長
井藤 徹 (再)	公益財団法人大阪府文化財センター日本民家集落博物館館長	平成 24 年 6 月 28 日	現	
今井 涉	財団法人サントリー文化財団専務理事	平成 24 年 6 月 28 日	現	
駒田朝則	歴史街道推進協議会メインルート推進部長	平成 26 年 6 月 20 日	平成 27 年 6 月 25 日	
嶋岡昌利	歴史街道推進協議会メインルート推進部長	平成 27 年 6 月 23 日	平成 30 年 6 月 29 日	
網 伸也	近畿大学教授	平成 29 年 6 月 23 日	現	
江浦 洋	公益財団法人大阪府文化財センター事務局次長兼総務企画課長	平成 29 年 12 月 1 日	令和 3 年 3 月 31 日	H 30.1.1 ~ 専務理事
館野和己	大阪府立近つ飛鳥博物館館長	平成 30 年 4 月 1 日	現	
小野昌輝	歴史街道推進協議会地域事業推進部長	平成 30 年 6 月 30 日	平成 30 年 10 月 31 日	
松井宏好	歴史街道推進協議会事業推進部担当部長	平成 30 年 11 月 1 日	令和 4 年 6 月 30 日	
瀬川佳男	大阪府立弥生文化博物館館長	平成 31 年 4 月 26 日	現	
岡本茂史	公益財団法人大阪府文化財センター事務局長	令和 3 年 4 月 1 日	現	専務理事
河村陽一郎	歴史街道推進協議会事業推進部担当部長	令和 4 年 6 月 30 日	現	
大阪府教育委員会教育長				
玉田義美		昭和 47 年 11 月 28 日	昭和 49 年 5 月 30 日	
中畔 肇		昭和 49 年 5 月 30 日	昭和 53 年 3 月 30 日	
榊居 孝		昭和 53 年 3 月 30 日	昭和 55 年 7 月 14 日	
岩田光利		昭和 55 年 7 月 16 日	昭和 57 年 3 月 31 日	
黒田榮次		昭和 57 年 4 月 1 日	昭和 59 年 12 月 20 日	
黒田幸雄		昭和 59 年 12 月 21 日	昭和 61 年 3 月 31 日	
浅野素雄		昭和 61 年 4 月 1 日	平成 元年 4 月 1 日	
仁賀奈祐吉		平成 元年 4 月 1 日	平成 3 年 5 月 21 日	
伴 恭二		平成 3 年 5 月 21 日	平成 5 年 4 月 1 日	
谷口文夫		平成 5 年 4 月 1 日	平成 8 年 3 月 31 日	
服部正敏		平成 8 年 4 月 1 日	平成 10 年 3 月 31 日	
黒川芳朝		平成 10 年 4 月 1 日	平成 13 年 4 月 1 日	
竹内 脩		平成 13 年 4 月 2 日	平成 19 年 3 月 31 日	
総山哲男		平成 19 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日	
中西正人		平成 21 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	
大阪府教育委員会文化財保護課長				
谷川秀善		昭和 53 年 3 月 30 日	昭和 55 年 4 月 1 日	専務理事
野際治雄		昭和 55 年 4 月 1 日	昭和 56 年 12 月 31 日	
籾内盛雄		昭和 57 年 1 月 1 日	昭和 59 年 12 月 20 日	
吉房康幸		昭和 59 年 12 月 21 日	平成 元年 4 月 1 日	
川瀬 誠		平成 元年 4 月 1 日	平成 2 年 11 月 1 日	
橋内信昌		平成 2 年 11 月 1 日	平成 4 年 1 月 1 日	
亀岡勝敏		平成 4 年 1 月 1 日	平成 4 年 11 月 9 日	→ 評議員専任
野口雅昭		平成 23 年 4 月 1 日	平成 24 年 6 月 4 日	
荒井大作		平成 24 年 6 月 28 日	平成 27 年 3 月 31 日	
星住哲二		平成 27 年 4 月 1 日	平成 29 年 3 月 31 日	
森屋直樹		平成 29 年 4 月 7 日	平成 31 年 3 月 31 日	
大阪府企画調整部長				
原 正敏		平成 7 年 4 月 1 日	平成 8 年 3 月 31 日	
黒川芳朝		平成 8 年 4 月 1 日	平成 10 年 3 月 31 日	
梶本徳彦		平成 10 年 4 月 1 日	平成 11 年 7 月 21 日	
末吉 徹		平成 11 年 7 月 22 日	平成 12 年 11 月 26 日	
堺市文化観光局文化部長				
山口淳一		平成 23 年 4 月 1 日	平成 23 年 4 月 1 日	
岡崎尚喜		平成 23 年 6 月 17 日	平成 26 年 6 月 20 日	

河村直樹	平成 26 年 6 月 20 日	平成 28 年 6 月 20 日
大丸 一	平成 28 年 6 月 20 日	平成 30 年 6 月 29 日
左近孝明	平成 30 年 6 月 30 日	令和 2 年 7 月 27 日
勝真雅之	令和 2 年 7 月 27 日	令和 4 年 6 月 30 日

### 監事

氏名	就任時所属	任 期	
		自	至
藤田トミ	財団法人藤田美術館理事兼館長	昭和 47 年 11 月 28 日	昭和 51 年 5 月 28 日
藤田當子	財団法人藤田美術館理事兼館長	昭和 51 年 10 月 29 日	平成 14 年 6 月 24 日
藤田周子	財団法人藤田美術館理事兼館長	平成 14 年 6 月 25 日	平成 23 年 3 月 31 日
真川正満	公認会計士	平成 20 年 3 月 26 日	平成 30 年 10 月 31 日
鳴澤成泰	行政書士/元大阪府立中之島図書館館長	平成 23 年 4 月 1 日	現
徳永浩司	公認会計士	平成 30 年 11 月 1 日	現
大阪府		昭和 47 年 11 月 28 日	平成 17 年 3 月 22 日
田中啓二	(出納長)	昭和 47 年 11 月 28 日	昭和 51 年 3 月 31 日
住羽地米治	(以下、教育委員会事務局総務課長)	昭和 51 年 10 月 29 日	昭和 53 年 4 月 1 日
村田和二郎		昭和 53 年 4 月 1 日	昭和 54 年 4 月 1 日
岡本文男		昭和 54 年 4 月 1 日	昭和 55 年 4 月 1 日
山田 浩		昭和 55 年 4 月 1 日	昭和 56 年 4 月 1 日
山田宣夫		昭和 56 年 4 月 1 日	昭和 57 年 4 月 1 日
福本善英		昭和 57 年 4 月 1 日	昭和 58 年 4 月 1 日
増田博之		昭和 58 年 4 月 1 日	昭和 59 年 3 月 29 日
曾山武弘		昭和 59 年 3 月 29 日	昭和 60 年 4 月 1 日
新谷洋司		昭和 60 年 4 月 1 日	昭和 63 年 4 月 1 日
松本 茂		昭和 63 年 4 月 1 日	平成 2 年 4 月 1 日
山地盛男		平成 2 年 4 月 1 日	平成 4 年 4 月 1 日
鳴澤成泰		平成 4 年 4 月 1 日	平成 7 年 3 月 31 日
川上 勇	(以下、出納長)	平成 7 年 4 月 1 日	平成 7 年 9 月 29 日
今堀富三		平成 7 年 9 月 30 日	平成 11 年 7 月 21 日
鈴木重信		平成 11 年 7 月 22 日	平成 13 年 3 月 22 日
小坂裕次郎		平成 13 年 4 月 2 日	平成 17 年 3 月 31 日
中西正人	(教育委員会教育次長)	平成 17 年 4 月 1 日	平成 20 年 3 月 25 日

### 顧問

氏名	就任時所属	任 期	
		自	至
坪井清足		平成 13 年 4 月 1 日	平成 28 年 5 月 7 日

### 評議員

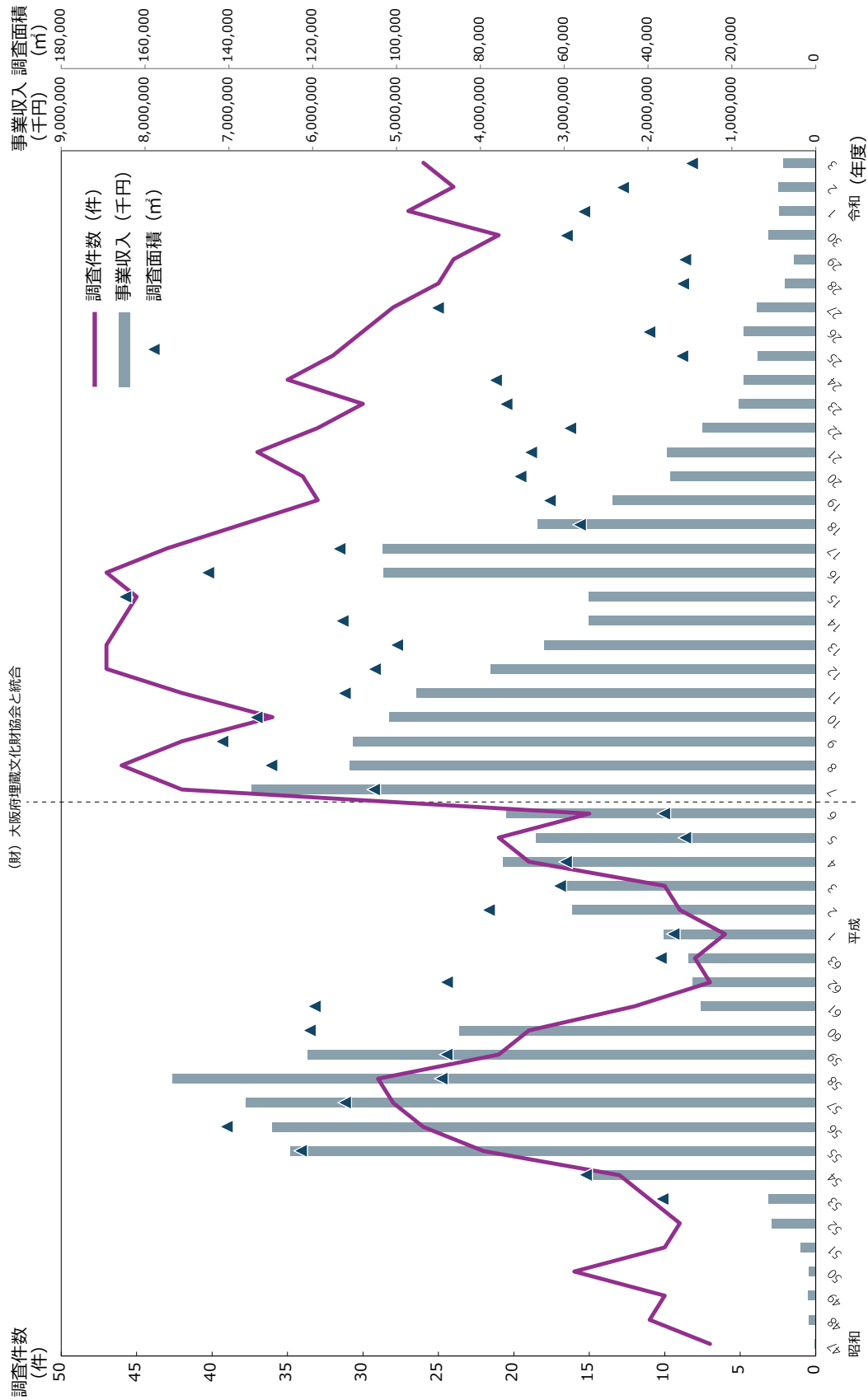
氏名	就任時所属	任 期		
		自	至	
浅野 清	愛知工業大学教授	昭和 48 年 5 月 25 日	昭和 52 年 5 月 24 日	→理事専任
奥野茂壽	住吉大社正禰宣	昭和 48 年 5 月 25 日	昭和 52 年 5 月 24 日	→理事専任
堅田 直	帝塚山大学教授	昭和 48 年 5 月 25 日	平成 14 年 3 月 31 日	→理事専任
後藤捷一	大阪史談会会長	昭和 48 年 5 月 25 日	昭和 54 年 5 月 25 日	
近藤博之	大阪市教育委員会社会教育部長	昭和 48 年 5 月 25 日	昭和 54 年 5 月 25 日	
出口神暁	和泉文化研究会代表 (稱名寺代表役員)	昭和 48 年 5 月 25 日	昭和 60 年 5 月 24 日	
藤澤一夫	帝塚山大学助教授	昭和 48 年 5 月 25 日	平成 7 年 6 月 23 日	→理事専任
南谷恵澄	四天王寺執事長	昭和 48 年 5 月 25 日	昭和 60 年 5 月 24 日	
二宮正彦	生国魂神社権宮司	昭和 52 年 5 月 25 日	平成 元年 4 月 2 日	
林野全孝	京都府立大学教授	昭和 52 年 5 月 25 日	平成 19 年 6 月 22 日	
山崎雪子		昭和 52 年 10 月 2 日	昭和 58 年 5 月 24 日	
水野正好	奈良大学教授	昭和 58 年 6 月 8 日	平成 7 年 6 月 23 日	→理事
金関 恕	天理大学教授	昭和 60 年 5 月 25 日	平成 5 年 5 月 24 日	→理事専任
辻本 勇	富本憲吉記念館館長	昭和 60 年 5 月 25 日	平成 20 年 2 月 27 日	
南谷恵敬	四天王寺文化財管理室長	昭和 60 年 5 月 25 日	現	
高野浩二	財団法人建設技術研究所理事	平成 5 年 6 月 7 日	平成 7 年 6 月 23 日	→理事
都出比呂志	大阪大学教授	平成 5 年 6 月 7 日	平成 23 年 3 月 31 日	
安部大就	大阪府立大学教授	平成 7 年 4 月 1 日	平成 10 年 9 月 6 日	

沢田正昭	奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター研究指導部長	平成 7 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	
敷田年博	住吉大社宮司	平成 7 年 4 月 1 日	平成 15 年 6 月 24 日	
脇田晴子	滋賀県立大学教授	平成 7 年 4 月 1 日	平成 11 年 6 月 24 日	
藤本裕子	報道記者	平成 11 年 6 月 25 日	平成 23 年 3 月 31 日	
有川春代	NPO法人千里アーカイブスステーション理事	平成 14 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	(博物館協会統合に伴う追加選任)
池田良治	弁護士	平成 14 年 4 月 1 日	現	
蔵口康裕	朝日監査法人大阪事務所公認会計士	平成 14 年 4 月 1 日	平成 25 年 6 月 24 日	
佐藤茂弘	ボーイスカウト大阪連盟泉州地区協議会会長	平成 14 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	
杉本尚次	大阪人間科学大学教授	平成 14 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	
狭間恵三子	サントリー不易流行研究所主任研究員	平成 14 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日	→理事
南 俊光	大和銀行本店公務部長	平成 14 年 4 月 1 日	平成 14 年 6 月 24 日	
高橋邦夫	大和銀行本店公務部長	平成 14 年 6 月 26 日	平成 16 年 3 月 26 日	
真弓常忠	住吉大社宮司	平成 15 年 6 月 26 日	平成 23 年 3 月 31 日	
南場賢一郎	りそな銀行大阪公務部長	平成 16 年 3 月 26 日	平成 16 年 6 月 28 日	
堤 一郎	りそな銀行大阪公務部長	平成 16 年 6 月 28 日	平成 18 年 3 月 27 日	
東 利也	りそな銀行大阪公務部長	平成 18 年 3 月 27 日	平成 19 年 6 月 25 日	
坂井秀弥	奈良大学教授	平成 22 年 3 月 26 日	平成 23 年 3 月 31 日	→理事
須藤健一	国立民族学博物館館長	平成 23 年 4 月 1 日	平成 29 年 6 月 23 日	
高井道弘	住吉大社総務部長	平成 23 年 4 月 1 日	現	
田邊征夫	独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所長	平成 23 年 4 月 1 日	平成 24 年 3 月 31 日	→理事
水野正好 (再)	前公益財団法人大阪府文化財センター理事長	平成 24 年 4 月 1 日	平成 27 年 1 月 27 日	
西野裕久	有限責任あずさ監査法人第二事業部第一グループ長	平成 25 年 6 月 25 日	現	
松村恵司	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所長	平成 25 年 6 月 25 日	令和 3 年 6 月 30 日	
工楽善通	大阪府立狭山池博物館館長	平成 27 年 6 月 25 日	現	
吉田憲司	国立民族学博物館館長	平成 29 年 6 月 23 日	現	
白石太一郎	大阪府立近つ飛鳥博物館名誉館長	平成 30 年 4 月 1 日	現	
田邊征夫 (再)	前公益財団法人大阪府文化財センター理事長	令和 2 年 4 月 1 日	現	
福田英人	藤井寺市教育委員会事務局教育部文化財保護課文化財調査員	令和 3 年 6 月 30 日	現	
本中 眞	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所長	令和 3 年 6 月 30 日	現	
大阪府教育委員会 (以下、事務局文化財保護課長)				
有本淳一		昭和 48 年 5 月 25 日	昭和 50 年 5 月 24 日	→理事
安達武敏		昭和 50 年 5 月 25 日	昭和 51 年 10 月 29 日	
谷川秀善		昭和 51 年 10 月 29 日	昭和 55 年 4 月 1 日	
野際治雄		昭和 55 年 4 月 1 日	昭和 56 年 12 月 31 日	
籾内盛雄		昭和 57 年 1 月 1 日	昭和 59 年 4 月 1 日	
吉房康幸		昭和 59 年 4 月 1 日	平成 元年 4 月 1 日	
川瀬 誠		平成 元年 4 月 1 日	平成 2 年 11 月 1 日	
橘内信昌		平成 2 年 11 月 1 日	平成 4 年 1 月 1 日	
亀岡勝敏		平成 4 年 1 月 1 日	平成 6 年 4 月 1 日	
田中 宏		平成 6 年 4 月 1 日	平成 8 年 6 月 30 日	
鹿野一美		平成 8 年 7 月 1 日	平成 11 年 12 月 31 日	
小林 栄		平成 12 年 1 月 1 日	平成 15 年 6 月 24 日	
向井正博		平成 15 年 6 月 26 日	平成 17 年 6 月 25 日	
丹上 務		平成 17 年 6 月 26 日	平成 20 年 3 月 25 日	
富尾昌秀		平成 20 年 3 月 26 日	平成 21 年 6 月 25 日	
野口雅昭		平成 21 年 6 月 26 日	平成 23 年 3 月 31 日	
中西正人	(教育長)	平成 23 年 4 月 1 日	平成 25 年 6 月 24 日	
大阪府都市教育長協議会代表				
高尾正二	(堺市)	昭和 48 年 5 月 25 日	昭和 49 年 6 月 24 日	
益倉辰次郎	(東大阪市)	昭和 48 年 5 月 25 日	昭和 49 年 6 月 24 日	
葛城宗一	(和泉市)	昭和 49 年 6 月 25 日	昭和 54 年 5 月 25 日	
平通米治	(藤井寺市)	昭和 49 年 6 月 25 日	昭和 56 年 5 月 25 日	
用木康夫	(藤井寺市)	昭和 56 年 5 月 26 日	平成 2 年 6 月 30 日	
西尾典次	(富田林市)	平成 2 年 7 月 1 日	平成 5 年 4 月 19 日	
杉本弘文	(和泉市)	平成 5 年 4 月 19 日	平成 8 年 4 月 22 日	
中谷 決	(門真市)	平成 8 年 4 月 23 日	平成 11 年 6 月 24 日	
久禮信夫	(岸和田市)	平成 11 年 6 月 25 日	平成 12 年 9 月 30 日	



福井利彦	(岸和田市)	平成 12 年 10 月 1 日	平成 17 年 6 月 25 日
小菅源治	(岸和田市)	平成 17 年 6 月 26 日	平成 18 年 3 月 31 日
永本定芳	(岸和田市)	平成 18 年 6 月 23 日	平成 21 年 6 月 25 日
竹林弘美	(藤井寺市)	平成 21 年 6 月 26 日	平成 25 年 6 月 24 日
首藤修一	(守口市)	平成 25 年 6 月 25 日	平成 28 年 6 月 20 日
高崎政勝	(羽曳野市)	平成 28 年 6 月 20 日	平成 30 年 6 月 29 日
芝本哲也	(富田林市)	平成 30 年 6 月 30 日	令和 元年 10 月 17 日
<b>大阪府町村教育長会代表</b>			
戸谷宣道	(島本町)	昭和 48 年 5 月 25 日	昭和 49 年 6 月 24 日
末谷春雄	(東能勢村)	昭和 49 年 6 月 25 日	昭和 50 年 5 月 24 日
原 治平	(熊取町)	昭和 50 年 5 月 25 日	昭和 54 年 5 月 25 日
石原克巳	(豊能町)	昭和 54 年 5 月 25 日	昭和 56 年 5 月 25 日
上ノ山通夫	(田尻町)	昭和 56 年 5 月 26 日	昭和 58 年 5 月 24 日
尾上庄治	(千早赤阪村)	昭和 58 年 6 月 8 日	昭和 60 年 5 月 24 日
原 治平	(熊取町)	昭和 60 年 5 月 25 日	昭和 62 年 5 月 24 日
井上栄光	(島本町)	昭和 62 年 6 月 26 日	平成 元年 5 月 24 日
奥田一郎	(河南町)	平成 元年 6 月 28 日	平成 3 年 5 月 9 日
林 芳弘	(太子町)	平成 3 年 5 月 9 日	平成 4 年 8 月 31 日
前田宗治	(能勢町)	平成 4 年 9 月 1 日	平成 4 年 12 月 7 日
向井増雄	(豊能町)	平成 4 年 12 月 7 日	平成 6 年 10 月 25 日
里中長治	(岬町)	平成 7 年 1 月 27 日	平成 16 年 9 月 30 日
福田惇一	(河南町)	平成 17 年 3 月 25 日	平成 18 年 3 月 31 日
矢加部英敏	(豊能町)	平成 18 年 6 月 23 日	平成 19 年 3 月 29 日
木村 博	(能勢町)	平成 19 年 3 月 29 日	平成 19 年 11 月 10 日
二澤隆史	(田尻町)	平成 20 年 3 月 26 日	平成 22 年 6 月 25 日
那谷定彦	(太子町)	平成 22 年 6 月 26 日	平成 24 年 6 月 27 日
小川照夫	(豊能町)	平成 24 年 6 月 28 日	平成 25 年 6 月 24 日
西牧研壯	(熊取町)	平成 25 年 6 月 25 日	平成 27 年 6 月 25 日
岡本克己	(島本町)	平成 27 年 6 月 25 日	平成 29 年 6 月 23 日
笠間光弘	(岬町)	平成 29 年 6 月 23 日	令和 元年 6 月 28 日
勝良憲治	(太子町)	令和 元年 6 月 28 日	令和 3 年 3 月 31 日

### 3. 埋蔵文化財事業量の推移

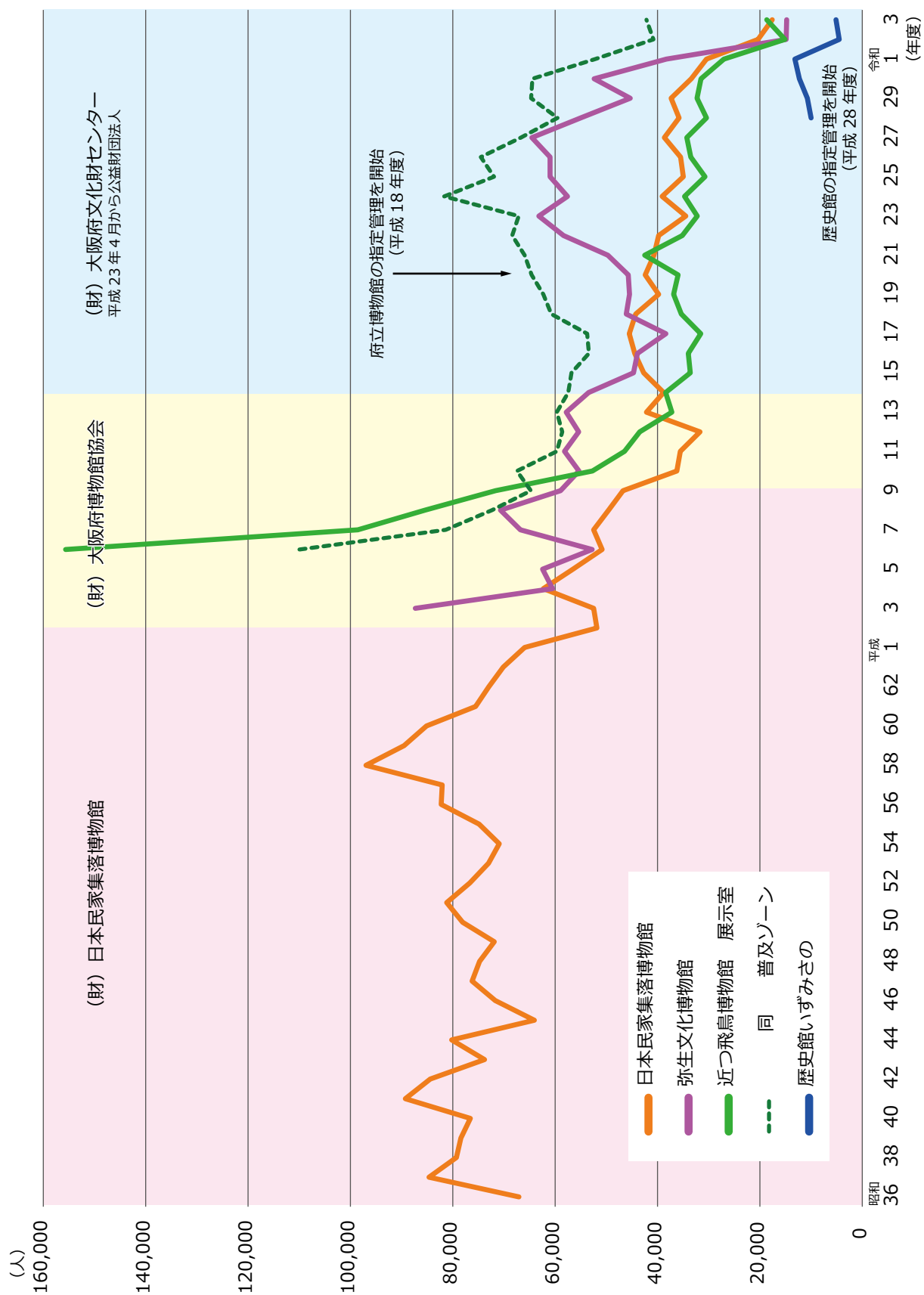


年度	調査件数 (件)	調査面積 (㎡)	埋蔵文化財事業収入 (円)		
昭和	47	7	14,894,000	池上・四ツ池遺跡出土遺物整理	
	48	11	79,394,420		
	49	10	92,111,081		
	50	16	82,371,274		
	51	10	182,931,912	近畿自動車道天理～吹田線（久宝寺南・美園・瓜生堂遺跡ほか）着手	
	52	9	529,338,800		
	53	11	36,261	567,415,295	
	54	13	54,529	2,658,497,000	
	55	22	122,606	6,269,683,000	
	56	26	140,295	6,485,310,000	
	57	28	112,095	6,794,819,000	近畿自動車道和歌山線（阪和道）関連（真福寺・日置荘遺跡ほか）着手
	58	29	89,014	7,669,707,000	
	59	21	87,814	6,063,655,000	
60	19	120,484	4,247,871,000	（調査面積は分布調査 170 千㎡を除いた数量である）	
61	12	119,269	1,372,326,000		
62	7	87,716	1,472,862,000		
63	8	36,701	1,520,166,000		
平成	1	6	33,626	1,815,215,000 恩智川治水事業（池島・福万寺遺跡）着手	
	2	9	77,725	2,900,773,000 大阪府警本部・府庁第2別館新築工事（大坂城跡）着手	
	3	10	60,715	2,980,295,000	
	4	19	59,311	3,736,407,000	（調査面積は分布調査 17,800 千㎡を除いた数量である）
	5	21	30,861	3,332,616,000	
	6	15	35,872	3,695,544,000	
	7	※ 42	105,123	6,732,633,583	国際文化公園都市特定土地区画整理事業（彩都）関連着手 （粟生間谷遺跡・栗栖山南墳墓群ほか）
	8	46	129,643	5,556,685,298	
	9	42	141,351	5,518,344,705	南阪奈道路関連事業（田須谷古墳群・駒ヶ谷遺跡ほか）着手
	10	36	133,184	5,090,869,477	吹田操車場跡地土地区画整理事業（吹田操車場・明和池遺跡ほか）
	11	42	112,128	4,760,001,620	着手
	12	47	104,924	3,876,292,763	
	13	47	99,618	3,239,764,762	第二京阪道路（讃良郡条里・高宮・太秦遺跡ほか）着手
	14	46	112,640	2,704,412,933	
	15	45	164,505	4,174,305,267	
	16	47	144,764	5,152,619,477	
	17	43	113,376	5,171,610,000	
	18	38	55,996	3,313,674,905	
	19	33	63,170	2,423,694,738	
	20	34	70,203	1,738,846,381	
21	37	67,626	1,772,084,000	府外技術支援（職員出向）開始	
22	33	58,255	1,356,131,000	新名神高速道路関連（千提寺西・成合遺跡ほか）着手	
23	30	73,521	920,211,000	恩智川法善寺多目的遊水地建設（大県郡条里遺跡）着手、	
24	35	76,041	859,804,000	恩智川治水事業（池島・福万寺遺跡）発掘終息	
25	32	31,542	692,843,000		
26	30	39,384	859,973,900		
27	28	89,865	701,470,000		
28	25	31,317	371,444,500		
29	24	30,836	262,135,000	府外技術支援ピーク（13名職員出向）	
30	21	59,103	567,302,100		
令和	1	27	54,931	441,633,700	
	2	24	45,672	442,822,500	
	3	26	29,230	383,937,200	大阪モノレール延伸工事（西岩田遺跡）着手、府外技術支援終息

※財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合



## 4. 博物館入館者数の推移



年 度	日本民家集落 博物館	弥生文化 博物館	近つ飛鳥博物館 展示室	普及ゾーン	歴史館 いずみさの	
昭和	35	48,344				
	36	67,112				(財団法人日本民家集落博物館に改称)
	37	84,664				
	38	79,311				
	39	78,458				
	40	76,567				
	41	89,302				
	42	84,430				
	43	73,810				
	44	80,235				
	45	64,085				
	46	71,727				
	47	76,251				財団法人大阪文化財センター設立
	48	74,809				
	49	71,918				
	50	78,074				
	51	81,209				
	52	76,677				
	53	73,045				
	54	70,963				
	55	74,892				
	56	82,296				
	57	82,097				
	58	96,964				
	59	89,514				
	60	85,176				(財団法人大阪府埋蔵文化財協会設立)
	61	75,563				
	62	72,993				
	63	70,172				
平成	1	65,985				
	2	51,880	28,870			(財団法人大阪府博物館協会設立)
	3	52,490	87,318			
	4	62,332	60,536			
	5	56,526	62,453	6,864	4,704	
	6	50,831	52,792	155,647	109,984	
	7	52,494	66,824	98,565	81,419	
	8	49,587	70,690	85,453	72,367	
	9	46,756	58,960	71,672	64,751	大阪府埋蔵文化財協会と統合
	10	36,236	55,369	52,753	67,498	
	11	35,588	58,179	46,484	59,695	
	12	31,742	55,406	43,500	58,637	
	13	42,178	57,843	37,202	59,701	
	14	38,805	53,452	38,439	57,447	博物館協会と統合
	15	42,737	44,710	33,598	56,829	
	16	44,463	43,952	34,027	53,416	
	17	45,520	38,384	31,598	53,771	
	18	44,267	46,143	35,392	60,794	府立2博物館指定管理開始
	19	39,781	45,502	36,860	62,310	
	20	42,408	45,717	35,983	64,621	
	21	40,730	49,738	42,506	65,979	
	22	39,781	58,413	35,170	68,432	
	23	34,505	63,223	32,276	67,171	
	24	39,123	57,612	34,736	81,687	
	25	34,962	61,024	30,748	71,961	
	26	35,507	61,041	33,519	74,541	
	27	38,684	64,545	34,293	66,725	
	28	35,816	55,041	30,471	59,554	10,041 歴史館いずみさの指定管理開始
	29	37,351	45,341	32,330	64,714	10,734
	30	33,427	52,401	31,541	64,470	12,297
令和	1	30,453	38,310	27,041	52,224	13,192 令和2年1月以降
	2	20,370	14,880	15,135	40,808	4,534 新型コロナウイルス感染症拡大の
	3	17,634	14,794	18,680	42,205	5,132 影響を受ける
累計 (人)	3,601,607	1,669,463	1,242,483	1,808,415	65,995	

## 5. 刊行物

### (1) 発掘調査報告書

#### a. 公益財団法人大阪府文化財センター調査報告書

(財団法人大阪府文化財センター調査報告書、財団法人大阪府文化財調査研究センター調査報告書)

集	図書名	サブタイトル	刊行年月
323	梶原古墳群 2	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2022年 10月
322	大県郡条里遺跡 8	寝屋川水系改良事業(一級河川恩智川法善寺多目的遊水地)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	10月
321	金龍寺旧境内跡 5	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	8月
320	普賢寺遺跡	門真市幸福東土地区画整理事業に伴う普賢寺遺跡発掘調査報告書	8月
319	成合 3号墳・成合 4号墳	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	8月
318	伊加賀遺跡・伊加賀古墳群	京阪本線(寝屋川市・枚方市)連続立体交差事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	6月
317	黒山遺跡・太井遺跡	堺市美原区黒山東事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	5月
316	尾山遺跡・御所池瓦窯跡	北部大阪都市計画事業 J R 島本駅西土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	5月
315	梶原南遺跡	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
314	大県郡条里遺跡 6	寝屋川水系改良事業(一級河川恩智川法善寺多目的遊水地)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2021年 12月
313	上牧遺跡	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	12月
312	庄内遺跡	(仮称)庄内さくら学園整備事業に伴う庄内遺跡第 5 次発掘調査報告書	11月
311	大県郡条里遺跡 7	寝屋川水系改良事業(一級河川恩智川法善寺多目的遊水地)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	10月
310	金龍寺旧境内跡 4	北部大阪都市計画事業成合南土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書	6月
309	船橋遺跡	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	4月
308	太田遺跡 太田遺跡・太田城跡 1		3月
307	大坂城跡 8	大阪第 6 地方合同庁舎(仮称)整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
306	星田駅北遺跡・平池遺跡・四馬塚遺跡・東高野街道	東部大阪都市計画事業星田駅北土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2020年 6月
305	平池遺跡・堀之内遺跡	東部大阪都市計画事業星田北土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	6月
304	禁野本町遺跡Ⅶ	中宮浄水場更新事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	6月
303	新堂遺跡	松原市新堂 4 丁目土地区画整理事業に伴う新堂遺跡(E 7-1-61)発掘調査報告書	6月
302	太田遺跡・太田廃寺跡 太田遺跡・太田城跡 1		3月
301	明和池遺跡 7	ニプロ健都イノベーションパーク施設計画に伴う明和池遺跡発掘調査	1月
300	出合遺跡	千早赤阪村役場新庁舎建て替えに伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	1月
299	大県郡条里遺跡 5	寝屋川水系改良事業(一級河川恩智川法善寺多目的遊水地)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	1月
298	東山遺跡発掘調査報告書Ⅲ	(仮称)大阪芸術大学キャラクター造形学科新築工事準備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	1月
297	池内遺跡	松原市天美東土地区画整理事業地区内における店舗建設に伴う池内遺跡(C 2-4-6)発掘調査報告書	2019年 3月
296	井尻遺跡 3	一般国道 170 号(十三高槻線)道路築造事業に伴う埋蔵文化財調査報告書	3月
295	郡遺跡・倍賀遺跡 1		2018年 12月
294	川北遺跡 3	バイパス送水管(藤井寺～長吉)整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	11月
293	明和池遺跡 6	(仮称)摂津市千里丘新町 B 敷地計画に伴う明和池遺跡発掘調査報告書	8月



292	吹田操車場遺跡 16	北大阪健康医療都市（健都）2街区高齢者向けウェルネス住宅整備・運営事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	6月
291	吹田操車場遺跡 15	（仮称）健都ライブラリー整備事業に伴う吹田操車場遺跡発掘調査報告書	4月
290	宮ノ前遺跡	日根野公民館・プール建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
289	山ノ井遺跡 3	寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）一級河川恩智川法善寺多目的遊水地市民スポーツ広場建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	1月
288	坊領遺跡	星田北二丁目土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2017年 10月
287	梶原寺跡	主要地方道西京高槻線B P道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	9月
286	花屋敷遺跡 4	近畿日本鉄道奈良線連続立体交差化に伴う花屋敷遺跡発掘調査報告書	8月
285	瓜破北遺跡 2	大阪府菅瓜破西（第4・5期）住宅（建て替え）建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	8月
284	吹田操車場遺跡 14	国立循環器病研究センター建替整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	8月
283	大県郡条里遺跡 4・山ノ井遺跡 2	寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	7月
282	池内遺跡	松原市天美東土地区画整理事業に伴う池内遺跡（C2-4-2）発掘調査 埋蔵文化財発掘調査報告書	7月
281	禁野本町遺跡VI	関西外国語大学新キャンパス建設に係る埋蔵文化財発掘調査報告書	7月
280	総持寺遺跡 4	摂津富田・茨木間新駅設置工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 2	6月
279	明和池遺跡 5	（仮称）摂津市千里丘新町（7街区）中高層住宅建設事業に伴う明和池遺跡発掘調査	6月
278	招提北代遺跡	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（枚方市域）その2 報告書	3月
277	中ノ坪遺跡	（仮称）GLP 吹田 物流施設建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
276	井尻遺跡 2	一般国道 170 号（十三高槻線）道路築造事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	1月
275	船橋遺跡 5	大和川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2016年 12月
274	吹田操車場遺跡 13	吹田操車場跡地開発に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	12月
273	津堂遺跡	－ T D 2014 － 3 区の発掘調査報告書	12月
272	西三荘遺跡	松下幸之助 歴史館新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	11月
271	伯太藩陣屋跡・信太千塚古墳群 2	都市計画道路池上下宮線建設工事にかかる埋蔵文化財発掘調査報告書	11月
270	吹田操車場遺跡 12	国立循環器病研究センター建替整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	6月
269	大坂城跡 7	重粒子線がん治療施設整備運営事業に伴う大坂城跡発掘調査報告書	4月
268	大県郡条里遺跡 3・山ノ井遺跡	寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	4月
267	明和池遺跡 4	国立循環器病研究センター建替整備事業に伴う埋蔵文化財調査	4月
266	服部遺跡	豊中市立第四中学校校舎建替工事に伴う発掘調査報告書	3月
265	大坂城跡 6	大阪府庁舎本館耐震改修工事に伴う大坂城跡発掘調査報告書	3月
264	川北遺跡 2	バイパス送水管（藤井寺～長吉）整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
263	磐手杜古墳群	近畿自動車道名古屋神戸線新設事業（補助車線事業）と主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス（仮称 高槻東道路）事業との同時施行に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	1月
262	吹田操車場遺跡 11	吹田市新市民病院移転建替事業に伴う吹田操車場遺跡発掘調査報告書	2015年 12月
261	梶原西遺跡	主要地方道伏見柳谷高槻線（高槻東道路梶原工区）道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	8月
260	成合地獄谷遺跡・成合遺跡 2・金龍寺旧境内跡 3	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財調査報告書	7月
259	梶原古墳群	主要地方道伏見柳谷高槻線（高槻東道路側道工区）道路改良事業に伴う埋蔵文化財調査報告書	7月
258	大県郡条里遺跡 2	寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）に伴う埋蔵文化財調査報告書	7月

257	伯太藩陣屋跡・信太千塚古墳群	都市計画道路池上下宮線建設工事にかかる埋蔵文化財発掘調査報告書	7月
256	千提寺西遺跡・日奈戸遺跡・千提寺市阪遺跡・千提寺クルス山遺跡	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	6月
255	井尻遺跡	一般国道170号線(十三高槻線)道路築造事業に伴う埋蔵文化財調査	3月
254	大坂城跡 5	大手前立体駐車場建設工事に伴う大坂城跡発掘調査報告書	3月
253	大坂城跡 4	大阪府立成人病センター整備事業に伴う大坂城跡発掘調査報告書	1月
252	讃良郡条里遺跡	イオンモール四条暇建設に係る文化財発掘調査報告書	1月
251	成合遺跡・金龍寺旧境内跡 2	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2014年 10月
250	総持寺遺跡 3	摂津富田・茨木間新駅設置工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	10月
249	田井中遺跡 3	陸上自衛隊八尾駐屯地格納庫建替に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	10月
248	吹田操車場遺跡 10・明和池遺跡 3	北部大阪都市計画事業吹田操車場跡地土地地区画整理事業埋蔵文化財発掘調査報告書	7月
247	天美北 6丁目北遺跡	都市計画道路堺松原線に伴う松原市道天美北 61号・62号・63号・64号線(近鉄環境側道)整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
246	止々呂美城跡	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
245	千提寺南遺跡	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
244	本町遺跡	豊中市本町1丁目マンション建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
243	川北遺跡	バイパス送水管(藤井寺~長吉)整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2013年 12月
242	蛭池北遺跡	宗教法人神慈秀明会教会(豊中支部)建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	11月
241	大泉郡条里遺跡	寝屋川水系改良事業(一級河川恩智川法善寺多目的遊水地)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	10月
240	吹田操車場遺跡 9	吹田(信)基礎整備工事(墓地造成工事)に伴う吹田操車場遺跡発掘調査報告書	9月
239	久宝寺遺跡 2	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線八尾パーキングエリア新設事業に伴う発掘調査報告書	9月
238	瓜破北遺跡	大阪府営瓜破西(第3期)住宅(建て替え)建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	8月
237	萩之庄南遺跡	主要地方道伏見柳谷高槻線(高槻東道路 梶原工区)工事用進入路工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
236	諸目遺跡	長南小学校屋内運動場増改築工事に伴う文化財発掘調査報告書	3月
235	田井中遺跡 2・木の本遺跡	陸上自衛隊八尾駐屯地内電源施設新設等に伴う埋蔵文化財調査	2月
234	成合 1号墳	主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス(高槻東道路成合工区)整備に伴う埋蔵文化財調査業務委託(その2)・近畿自動車道名古屋神戸線新設事業(高槻~箕面間)と主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス(高槻東道路成合工区)事業との同時施工に伴う埋蔵文化財調査(その3)	2月
233	池内遺跡 3	都市計画道路大阪河内長野線外建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2012年 12月
232	明和池遺跡 1・吹田操車場遺跡 8・西の庄東遺跡	吹田(信)基礎整備工事(貨物専用道路)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	12月
231	並松町遺跡	大阪府道高速大和川線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	9月
230	池島・福万寺遺跡 15	一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	9月
229	池島・福万寺遺跡 14(福万寺Ⅱ期地区 09-1 調査)	一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	9月
228	禁野本町遺跡 2	公務員宿舎枚方住宅(1期)整備事業民活プロジェクトに伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	7月
227	池内遺跡 2	都市計画道路大阪河内長野線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	6月
226	明和池遺跡 2	防災公園街区整備事業摂津市千里丘四丁目地区埋蔵文化財発掘調査報告書	12月
225	旧大阪府庁舎跡	(仮称)阿波座駅前プロジェクトに伴う旧大阪府庁舎跡発掘調査	7月

224	金龍寺旧境内跡	主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス(高槻東道路 成合工区)整備に伴う埋蔵文化財調査と近畿自動車道名古屋神戸線新設事業(高槻~箕面間)と主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス(高槻東道路 成合工区)事業との同時施工に伴う埋蔵文化財調査(その2)の発掘調査報告書	5月
223	鬼虎川遺跡	送水管布設替工事(4 拡南部幹線・東大阪市)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	4月
222	瓜生堂遺跡4・岩田遺跡2・花屋敷遺跡3	近畿日本鉄道奈良線連続立体交差化に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
221	大和川今池遺跡・天美西遺跡	都市計画道路大和川線外建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2011年 11月
220	吹田操車場遺跡Ⅶ	吹田(信)基盤整備工事(貨物専用道路)に伴う吹田操車場遺跡発掘調査報告書	9月
219	池島・福万寺遺跡13	一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	11月
218	池島・福万寺遺跡12	一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	11月
217	吹田操車場遺跡Ⅵ	吹田(信)基盤整備工事(貨物専用道路)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
216	吹田操車場遺跡Ⅴー吹田操車場遺跡・同C地点・明和池遺跡ー	吹田(信)基盤整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
215	私部南遺跡Ⅲ有池遺跡・上私部遺跡・上の山遺跡	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
214	大和川今池遺跡Ⅳ	都市計画道路大和川線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
213	若江北遺跡・北鳥池遺跡	大阪府営水道中期整備事業系統連絡送水管布設工事に伴う発掘調査報告書	2月
212	池島・福万寺遺跡11	一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	1月
211	池島・福万寺遺跡10	一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	1月
210	讃良郡条里遺跡Ⅹ	寝屋川北部地下河川讃良立坑築造工事に伴う発掘調査報告書	1月
209	新上小阪遺跡Ⅲ	大阪府営東大阪新上小阪住宅民活プロジェクトに伴う新上小阪遺跡発掘調査報告書	2010年 11月
208	植松遺跡2	大阪府営八尾植松(第2期)住宅(建て替え)建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	11月
207	私部南遺跡Ⅱ	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
206	高宮遺跡ー遺物編ー太秦遺跡、高宮遺跡、讃良郡条里遺跡	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	10月
205	若山遺跡	(仮称)松原ポンプ場築造工事に伴う発掘調査報告書	8月
204	三宅西遺跡Ⅱ	都市計画道路大和川線外建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	7月
203	久宝寺遺跡	寝屋川流域下水道中央南増補幹線(一)人孔築造工事外に伴う久宝寺遺跡発掘調査報告書	6月
202	大和川今池遺跡Ⅲ	都市計画道路大和川線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	5月
201	吹田操車場遺跡Ⅳ	吹田(信)基盤整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
200	津田遺跡Ⅱ	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
199	太井遺跡・余部日置荘遺跡	大阪府営水道中期整備事業「バイパス送水管布設工事」に伴う発掘調査	3月
198	池内遺跡	都市計画道路大和川線外建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
197	上の山遺跡Ⅳ	一般国道168号(枚方大和高田線、天の川磐船線)道路整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書	2009年 12月
196	池島・福万寺遺跡9	一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	12月
195	池島・福万寺遺跡8	一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	12月
194	山賀遺跡Ⅱ	寝屋川水系改良事業(一級河川寝屋川 新家調節池)地内の埋蔵文化財に係る発掘調査	8月
193	上私部遺跡Ⅲ・有池遺跡Ⅲ	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	8月
192	大和川今池遺跡Ⅱ	都市計画道路大和川線および都市計画道路堺松原線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	8月
191	大和川今池遺跡Ⅰー難波大道の調査ー	都市計画道路大和川線建設に伴う発掘調査報告書	7月
190	下池田遺跡	大阪府営岸和田下池田住宅民活プロジェクトに伴う発掘調査報告書	7月



189	三宅西遺跡	一般府道住吉八尾線外建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
188	讃良郡条里遺跡 IX	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
187	讃良郡条里遺跡 VIII	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	1月
186	池島・福万寺遺跡 7	一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	2008年 12月
185	池島・福万寺遺跡 6	一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	12月
184	玉櫛遺跡 III	大阪府営茨木玉櫛住宅(建て替え)建設工事に伴う発掘調査報告書	12月
183	巢本遺跡 II	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	12月
182	讃良郡条里遺跡 VII	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	9月
181	船橋遺跡 IV	大和川改修(高規格堤防)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	7月
180	吹田操車場遺跡 III	吹田信号場駅基盤整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	7月
179	池島・福万寺遺跡 5	一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	3月
178	堺環濠都市遺跡 II (SKT960 地点)	少林寺・B団地建替に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
177	堺環濠都市遺跡 I (SKT959 地点)	戎之町団地建替に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
176	寝屋東遺跡、太秦遺跡、太秦古墳群、大尾遺跡、讃良郡条里遺跡、砂遺跡	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
175	津田遺跡	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
174	茄子作遺跡	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
173	讃良郡条里遺跡 VI	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
172	八尾南遺跡	大和川改修(高規格堤防)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
171	上の山遺跡 III	一般国道168号(都市計画道路枚方大和高田線、天の川磐船線)他道路整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
170	湊遺跡他 III	南海本線(泉佐野市)連続立体化事業に伴う発掘調査報告書	2月
169	倉治遺跡	主要地方道枚方大和郡山線(都市計画道路村野神宮寺線)道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
168	池島・福万寺遺跡 4	一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	2月
167	巢本遺跡 I	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
166	新上小阪遺跡 II	大阪府営東大阪新上小阪(第2期)住宅(建て替え)建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2007年 12月
165	上私部遺跡 II	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	9月
164	植松遺跡	大阪府営八尾植松(第1期)住宅(建て替え)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	9月
163	山賀遺跡	寝屋川水系改良工事(一級河川寝屋川新家調節池)に伴う発掘調査報告書	9月
162	花屋敷遺跡 II	近畿日本鉄道奈良線立体交差化事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
161	花屋敷遺跡 I	河内花園駅前地区第一種市街地再開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
160	讃良郡条里遺跡 V	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
159	寝屋南遺跡・奥山遺跡	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
158	池島・福万寺遺跡 3	恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	3月
157	若宮遺跡	南海本線(泉佐野市)連続立体化事業(その5)に伴う発掘調査報告書	3月
156	久宝寺遺跡・竜華地区発掘調査報告書 VII	寝屋川流域下水道竜華水みらいセンター水処理施設等建設事業に伴う発掘調査報告書	3月
155	上の山遺跡 II	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
154	私部南遺跡 I	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月

153	大西遺跡、若宮遺跡	南海本線（泉佐野市）連続立体化事業（その4）に伴う発掘調査報告書	3月
152	有池遺跡Ⅰ	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
151	上私部遺跡Ⅰ	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
150	田井中遺跡	陸上自衛隊八尾駐屯地内警衛所及び浴場新設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2006年 12月
149	平池遺跡	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書	12月
148	有池遺跡Ⅱ	主要地方道枚方大和郡山線（都市計画道路村野神宮寺線）道路整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書	11月
147	はざみ山遺跡2	藤井寺団地建替事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（2）	9月
146	東倉治遺跡Ⅱ	第二京阪道路（一般国道1号）建設事業（大阪府域）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	9月
145	片山荒地遺跡	片山団地建替事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書	6月
144	大坂城址Ⅲ	大阪府警察本部棟新築2期工事に伴う発掘調査報告書	3月
143	太秦遺跡・太秦古墳群Ⅱ	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
142	小路遺跡Ⅲ	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
141	太秦遺跡・太秦古墳群Ⅲ	一般国道168号（枚方大和高田線、天の川磐船線）他道路整備事業に係る上の山遺跡他埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
140	禁野本町遺跡	公務員宿舍枚方住宅整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
139	童子畑遺跡・童子畑北遺跡	主要地方道泉佐野岩出線道路整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書	2月
138	讃良郡条里遺跡Ⅳ	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
137	上の山遺跡Ⅰ	一般国道168号（都市計画道路枚方大和高田線、天の川磐船線）道路整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書	2005年 12月
136	伽羅橋遺跡Ⅲ	都市計画道路高石北線整備事業に伴う発掘調査報告書	9月
135	はざみ山遺跡	藤井寺団地建て替へに伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	9月
134	福井遺跡	大阪第二警察病院増築工事に伴う福井遺跡04-1調査報告書	9月
133	弓削ノ庄遺跡他	大阪外環状線（東大阪市）連続立体交差事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書	8月
132	小阪合遺跡（その3）	山本団地建替へに伴う埋蔵文化財発掘調査報告	6月
131	太秦遺跡・太秦古墳群、大尾遺跡、高宮遺跡	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
130	寝屋東遺跡Ⅱ	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
129	船橋遺跡Ⅲ	大和川改修（高規格堤防）事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
128	船橋遺跡Ⅱ	大和川改修（高規格堤防）事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
127	男里遺跡	主要地方道泉佐野岩出線（都市計画道路泉南岩出線）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
126	太秦遺跡・太秦古墳群Ⅰ	主要地方道枚方富田林泉佐野線（都市計画道路国守黒原線）道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
125	大尾遺跡Ⅱ	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
124	津田遺跡、東倉治遺跡、茄子作遺跡他	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財確認調査報告書	2004年 12月
123	寝屋東遺跡Ⅰ	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書	12月
122	小路遺跡（その2）	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書	12月
121	岩田遺跡	近畿日本鉄道奈良線連続立体交差化事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	12月
120	東倉治遺跡Ⅰ	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	12月
119	東雲遺跡隣接地	南海本線連続立体交差事業に伴う発掘調査（確認）報告書	11月
118	久宝寺遺跡・竜華地区発掘調査報告書Ⅵ	大阪竜華都市拠点地区竜華東西線建設に伴う発掘調査	9月

117	総持寺遺跡Ⅱ	大阪府宮茨木三島丘住宅（建て替え）建設工事に伴う発掘調査報告書	9月
116	小阪合遺跡（その2）	八尾団地（建替）埋蔵文化財発掘調査（第2次）	3月
115	高宮遺跡—遺構編—	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
114	讃良郡条里遺跡（その3）	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
113	小路遺跡（その3）	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う発掘調査報告書	3月
112	高宮遺跡（その2）	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
111	湊遺跡他Ⅱ	南海本線（泉佐野市）連続立体交差事業（第1～3工区）に伴う発掘調査報告書	3月
110	尺度遺跡Ⅲ	南阪奈道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
109	讃良郡条里遺跡（その1）	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
108	瓜生堂遺跡3	寝屋川流域下水道中央南増補幹線（二）（第3工区）下水管渠築造工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
107	瓜生堂遺跡2	寝屋川南部地下河川若江立坑建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
106	瓜生堂遺跡1	近畿日本鉄道奈良線連続立体交差事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
105	蛭池遺跡 02-1	都市計画道路蛭池西側線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2003年 10月
104	淀川河床遺跡（その1）（確認）03-1	牧野北町地区淀川高規格堤防整備事業に伴う埋蔵文化財（確認）発掘調査報告書	10月
103	久宝寺遺跡・竜華地区発掘調査報告書Ⅴ	大阪竜華都市拠点土地区画整理事業（都市機能更新事業）に伴う発掘調査	10月
102	久宝寺遺跡・竜華地区発掘調査報告書Ⅳ	大阪竜華都市拠点地区駅前広場防火水槽設置工事に伴う発掘調査	9月
101	讃良郡条里遺跡、寝屋南遺跡、寝屋東遺跡、倉治遺跡、津田城遺跡	一般国道1号バイパス（大阪北道路）・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財確認調査報告	9月
100	勝部遺跡	大阪国際空港周辺緑地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	9月
99	太秦古墳群	一般国道1号バイパス（大阪北道路）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	6月
98	讃良郡条里遺跡（その2）	第二京阪道路（大阪北道路）建設に伴う埋蔵文化財調査報告書	6月
97	尺度遺跡Ⅱ	国道165号（南阪奈道路）の建設に伴う発掘調査報告書	3月
96	駒ヶ谷遺跡Ⅲ	国道165号（南阪奈道路）の建設に伴う発掘調査報告書	3月
95	玉櫛遺跡Ⅱ	大阪府宮茨木玉櫛住宅（建て替え）新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
94	新上小阪遺跡	大阪府宮東大阪上小阪（第1期）住宅（建て替え）建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査	3月
93	門真西地区、讃良郡条里遺跡西地区、讃良郡条里遺跡、大尾遺跡・太秦遺跡・太秦古墳群、打上遺跡、寝屋南遺跡、寝屋東遺跡、私部南遺跡、東倉治遺跡、津田城遺跡東地区	一般国道1号バイパス（大阪北道路）建設に伴う埋蔵文化財確認調査報告書	2月
92	大尾遺跡	一般国道1号バイパス（大阪北道路）建設に伴う小路遺跡発掘調査報告書	2月
91	杉遺跡	一般国道1号バイパス（大阪北道路）建設に伴う杉遺跡発掘調査報告書	2月
90	大和川今池遺跡（その5・その6・その7）	大和川河川改修事業に伴う発掘調査報告書	2月
89	豊川遺跡	都市計画道路道祖本摂津北線建設事業に伴う発掘調査報告書	2月
88	郡戸遺跡	南阪奈道路建設に伴う発掘調査報告書	2月
87	湊遺跡他	南海本線（泉佐野市）連続立体化工事（第1工区）に伴う発掘調査報告書	2月
86	粟生岩阪北遺跡、宿久庄北遺跡、佐保遺跡	国際文化公園都市特定土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財の調査	2月
85	粟生間谷遺跡—古代・中世編—	国際文化公園都市特定土地区画整理事業に伴う古代から中世の集落の調査	2月
84	粟生間谷遺跡—旧石器・縄紋時代編—	国際文化公園都市特定土地区画整理事業に伴う旧石器・縄紋時代遺跡の調査	2月
83	耳原遺跡	主要地方道茨木亀岡線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月



82	杉中責谷遺跡	第二京阪道路枚方市遺跡群（杉地区）発掘調査報告書	2002年 10月
81	麻田藩陣屋跡	蛭池駅西地区第1種市街地再開発工事に伴う埋蔵文化財調査報告書	9月
80	宿久庄西遺跡	都市計画道路事業茨木箕面丘陵線に伴う埋蔵文化財包蔵地の発掘調査	9月
79	池島・福万寺遺跡2	一級河川恩地川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書	8月
78	大坂城跡発掘調査報告書I	大阪府庁舎・周辺整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	6月
77	讃良郡条里遺跡、小路遺跡、打上遺跡、茄子作遺跡、藤阪大亀谷遺跡・長尾窯跡群、長尾東地区	一般国道1号線バイパス（大阪北道路）建設に伴う埋蔵文化財確認調査報告書	8月
76	西浦東遺跡	南阪奈道路建設に伴う発掘調査報告書	3月
75	亀川遺跡	一般国道26号線（第二阪和国道）建設に伴う発掘調査報告書	3月
74	大坂城址II	大坂城跡発掘調査報告書II 大阪府警察本部庁舎新築工事に伴う発掘調査報告書	3月
73	志紀遺跡（その2・3・5・6）	大阪府宮八尾志紀住宅建て替え事業に伴う発掘調査報告書	3月
72	向山遺跡発掘調査報告書	一般国道26号線（第二阪和国道）建設事業に伴う	3月
71	津田城遺跡	一般国道1号バイパス（大阪北道路）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
70	伽羅橋	府道高石北線建設事業に伴う伽羅橋東遺跡発掘調査報告書I	2月
69	丹上遺跡・真福寺遺跡	南阪奈道路美原ジャンクション建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2月
68	河原城遺跡II	南阪奈道路建設に伴う発掘調査報告書	2月
67	駒ヶ谷遺跡II	南阪奈道路建設に伴う発掘調査報告書	2月
66	吹田操車場遺跡・吹田操車場遺跡B地点	吹田信号場駅基盤整備工事・吹田地区貨車区改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2001年 10月
65	大和川今池遺跡（その3・その4）	大和川高水敷整備事業に伴う発掘調査報告書2	9月
64	伯太北遺跡	都市計画道路池上下宮線建設に伴う発掘調査報告書	3月
63	伽羅橋遺跡発掘調査報告書	府道高石北線建設事業に伴う	3月
62	小阪遺跡II	近畿自動車道松原那智勝浦線（松原～泉南平井TB）建設事業に伴う発掘調査報告書	3月
61	長尾台地区、杉・氷室地区、津田城遺跡、有池遺跡、門真遺跡群	一般国道1号バイパス（大阪北道路）建設に伴う埋蔵文化財確認調査報告書	3月
60	久宝寺遺跡・竜華地区発掘調査報告書III	一般府道住吉八尾線付け替え事業に伴う発掘調査	2月
59	住吉宮の前遺跡	大阪国際空港給水設備工事に伴う発掘調査報告書	1月
58	椋谷石切場跡	南阪奈道路建設に伴う凝灰岩石切場跡の調査	2000年 12月
57	栗栖山南墳墓群	国際文化公園都市特定土地区画整理事業に伴う古墳群および中近世墓群の調査	11月
56	佐保栗栖山砦跡	国際文化公園都市特定土地区画整理事業に伴う中世山城の調査報告書	11月
55	向出遺跡	一般国道26号（第2阪和国道）の建設に伴う発掘調査報告書	8月
54	小島北磯遺跡	岬町多奈川地区多目的公園用地造成土砂採取事業に伴う発掘調査	8月
53	大和川今池遺跡（その1・その2）	大和川高水敷整備事業に伴う発掘調査報告書1	5月
52	河原城遺跡I	南阪奈道路建設に伴う発掘調査報告書	4月
51	小阪合遺跡	都市基盤整備公団八尾団地建替に伴う発掘調査報告書	3月
50	溝咋遺跡（その3・4）	茨木・学園町地区埋蔵文化財発掘調査3次・4次報告書	3月
49	溝咋遺跡（その1・2）	茨木・学園町地区埋蔵文化財発掘調査1次・2次報告書	3月
48	池島・福万寺遺跡1	寝屋川流域下水道八尾枚岡幹線（第3工区）下水管渠築造工事に伴う発掘調査報告書	2月
47	久保田遺跡発掘調査報告書	一般国道26号線第二阪和国道建設事業に伴う	8月

46	井関・亀川遺跡発掘調査報告書	一般国道 26 号線第二阪和国道建設事業に伴う	8 月
45	徳大寺遺跡	国際文化公園都市特定土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書	1999 年 6 月
44	尺度遺跡 I	南阪奈道路建設に伴う発掘調査	7 月
43	田須谷古墳群	南阪奈道路建設に伴う終末期古墳の発掘調査	3 月
42	吹田操車場遺跡	吹田（信）基盤整備工事に伴う吹田操車場遺跡発掘調査報告書	3 月
41	駒ヶ谷遺跡	南阪奈道路建設に伴う発掘調査報告書	3 月
40	彩都（国際文化公園都市）周辺地域の歴史・文化総合調査報告書		3 月
39	中之社遺跡他発掘調査報告書	主要地方道岸和田・牛滝山・貝塚線建設に伴う発掘調査報告書	2 月
38	庄田遺跡	都市計画道路茨木箕面丘陵線建設に伴う発掘調査報告書	2 月
37	楠木石切場跡	南阪奈道路建設に伴う発掘調査報告書 二上山西麓における凝灰岩石切場跡の調査	1998 年 9 月
36	小畑遺跡	水と緑の健康都市箕面北部丘陵地区止々呂美東西線橋梁建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	6 月
35	貝塚市東山丘陵遺跡群	貝塚都市計画事業東山丘陵特定土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書	6 月
34	観音寺遺跡	近畿自動車道松原那智勝浦線建設に伴う発掘調査報告書	3 月
33	山直中遺跡Ⅲ	一般府道春木岸和田線道路拡幅に伴う調査	3 月
32-2	東奈良遺跡	茨木市東奈良 1 丁目府営茨木東奈良住宅建替に伴う発掘調査報告書（1994 年度）	3 月
32	東奈良遺跡	茨木市東奈良 1 丁目府営茨木東奈良住宅建替に伴う発掘調査報告書（1996 年度・1997 年度）（弥生時代集落跡と中世水田跡の調査）	3 月
31	玉櫛遺跡	大阪府営茨木玉櫛住宅建て替えに伴う発掘調査報告書	3 月
30	総持寺遺跡	住宅都市整備公団仮称茨木・三島丘地区住宅建設事業に伴う発掘調査 奈良・平安時代、鎌倉時代の集落跡の調査	3 月
29	船橋遺跡	建設省河川事業進入路建設及び府営美陵住宅建替に伴う調査報告書	2 月
28	丹上遺跡	近畿自動車道和歌山線・都市計画道松原泉大津線建設に伴う発掘調査報告書	3 月
27	大庭寺・伏尾遺跡	近畿自動車道松原那智勝浦線建設に伴う発掘調査報告書	3 月
26	久宝寺遺跡・竜華地区発掘調査報告書Ⅱ	一般府道住吉八尾線付け替え事業に伴う発掘調査	3 月
25	志紀遺跡（その 4）	大阪府営志紀住宅建替事業に伴う発掘調査報告書	3 月
24	蔵塚古墳	南阪奈道路建設に伴う後期前方後円墳の発掘調査	3 月
23	田井中遺跡（1～3 次）・志紀遺跡（防 1 次）	陸上自衛隊八尾駐屯地内施設建設事業に伴う発掘調査報告書	1997 年 12 月
22-2	蛭池遺跡（その 3-2）発掘調査報告書	大阪モノレール蛭池西線建設に伴う発掘調査	11 月
22-1	宮の前遺跡・蛭池東遺跡・麻田藩陣屋跡・蛭池遺跡・蛭池南地区・蛭池西遺跡 1993-1996 年度発掘調査報告書	大阪モノレール蛭池東・西線建設に伴う発掘調査	11 月
21	加治・神前・畠中遺跡Ⅱ	貝塚中央線・南海単独立体交差化事業に伴う発掘調査報告書	3 月
20-2	野々井遺跡Ⅱ	近畿自動車道松原ささみ線建設に伴う発掘調査報告書	3 月
20-1	陶邑・伏尾遺跡Ⅲ A 地区	近畿自動車道松原・ささみ線建設に伴う発掘調査報告書	3 月
19	真福寺遺跡	近畿自動車道松原ささみ線および府道松原泉大津線建設に伴う発掘調査報告書	3 月
—	三ツ島遺跡	一般国道 1 号バイパス（大阪北道路）建設に伴う門真市三ツ島地区埋蔵文化財確認調査報告書	3 月
—	箕面北部丘陵地区埋蔵文化財発掘調査報告書	水と緑の健康都市建設工事に伴う埋蔵文化財確認調査	3 月
18	下田遺跡	都市計画道路常盤浜寺線建設に伴う発掘調査報告書	1996 年 12 月
17	浜寺元町遺跡	都市計画道路常盤浜寺線改良工事に伴う発掘調査報告書	11 月

16	日根野遺跡	主要地方道大阪和泉泉南線建設に伴う発掘調査報告書	9月
15	巨摩・若江北遺跡発掘調査報告書―第5次―	都市計画道路大阪中央環状線巨摩橋交差点南行車線跨道橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	9月
14	箱作今池遺跡発掘調査報告書	空港関連事業・阪南市土地区画整理事業に伴う	6月
13	土井の木遺跡発掘調査報告書	主要地方道岸和田牛滝山貝塚線建設に伴う発掘調査	5月
12	深井清水町遺跡	府道下石津泉ヶ丘線改良工事に伴う発掘調査報告書	3月
11	余部遺跡	府営美原住宅の団地建設工事他に伴う発掘調査報告	3月
10	陶邑・大庭寺遺跡V	近畿自動車道松原・すさみ線建設に伴う発掘調査報告書	3月
9	安威川総合開発事業に伴う文化財等総合調査中間報告書	安威川ダム建設関係地域の自然・歴史・文化	1997年 3月
8	太井遺跡	近畿自動車道松原すさみ線および府道松原泉大津線建設に伴う発掘調査報告書	1996年 3月
7	植田池・長滝・安松遺跡	関西国際空港連絡道路建設に伴う発掘調査報告書Ⅲ	3月
6	久宝寺遺跡・竜華地区(その1)発掘調査報告書	JR久宝寺駅舎・自由通路設置に伴う	3月
5	久宝寺遺跡・竜華地区試掘調査報告書		3月
4	粟生岩阪遺跡	国際文化公園都市特定土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書	4月
3	中嶋遺跡他3区・8～13区	日根野土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書 中世の荘園「九条家領日根荘」の水田調査	1995年 11月
2	新家遺跡 第6次発掘調査報告書	大阪府道高速東大阪線東大阪ジャンクション建設に伴う発掘調査	11月
1	西大井遺跡	大和川下流東部流域下水道事業大井処理場建設に伴う発掘調査報告書	9月
【発行】 第1集～第76集 : (財)大阪府文化財調査研究センター 第77集～第217集 : (財)大阪府文化財センター 第218集以降 : (公財)大阪府文化財センター			

## b. 『河内平野遺跡群の動態』ならびに概要報告書

図書名	サブタイトル	刊行年月	発行
河内平野遺跡群の動態Ⅰ		1987年 3月	※1
河内平野遺跡群の動態Ⅱ	北遺跡群 旧石器・縄文・弥生時代前期編	1991年 3月	
河内平野遺跡群の動態Ⅲ	北遺跡群 弥生時代中期編	1996年 3月	※2
河内平野遺跡群の動態Ⅳ	北遺跡群 弥生時代後期以降編	1998年 3月	
河内平野遺跡群の動態Ⅴ	南遺跡群 旧石器・縄文・弥生時代前期編	1992年 3月	※1
河内平野遺跡群の動態Ⅵ	南遺跡群 弥生時代中期編	1993年 3月	
河内平野遺跡群の動態Ⅶ	南遺跡群 弥生時代後期～古墳時代前期編	1999年 9月	※2
河内平野遺跡群の動態Ⅷ	南遺跡群 古墳時代中期以降編	2000年 3月	

遺跡群	図書名	サブタイトル	刊行年月
北	新家(その1)	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1987年 3月
	新家(その2)	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1984年 3月
	新家(その3)	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1984年 3月
	新家(その5)	近畿自動車道天理～吹田線東大阪ジャンクション建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1993年 3月
	西岩田	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1983年 10月
	瓜生堂	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1980年 3月
	巨摩・瓜生堂	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1981年 3月



	巨摩・若江北（その２）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1984年 2月
	巨摩・若江北（その３）	都市計画道路中央環状線仮設迂回路建設に伴う巨摩・若江北遺跡埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1993年 3月
	若江北	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1983年 9月
	山賀（その１）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1983年 9月
	山賀（その２）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1983年 11月
	山賀（その３）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1984年 2月
	山賀（その４）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1983年 10月
	山賀（その５・６）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1986年 3月
	友井東（その１）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1984年 9月
	友井東（その２）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1983年 10月
	美園	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1985年 3月
南	佐堂（その１）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1985年 1月
	佐堂（その２）－Ⅰ	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1984年 3月
	佐堂（その２）－Ⅱ・他	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1985年 12月
	久宝寺北（その１～３）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1987年 3月
	久宝寺南（その１）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1987年 3月
	久宝寺南（その２）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1987年 3月
	久宝寺南（その３）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1986年 3月
	亀井北（その１）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1986年 3月
	亀井北（その２）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1986年 3月
	亀井北（その３）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1986年 3月
	亀井・城山	寝屋川南部流域下水道事業長吉ポンプ場築造工事関連埋蔵文化財発掘調査報告書	1980年 12月
	亀井遺跡	寝屋川南部流域下水道事業長吉ポンプ場築造工事関連埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ	1982年 3月
	亀井遺跡Ⅱ	寝屋川南部流域下水道事業長吉ポンプ場築造工事関連埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ	1984年 10月
	亀井	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1983年 10月
	亀井（その２）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1986年 3月
	亀井（その３）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1987年 3月
	城山（その１）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1986年 3月
	城山（その２）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1986年 3月
	城山（その３）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1986年 3月
	長原	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1978年 5月
	長原（その２）	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1985年 6月
	大堀城跡	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1984年 3月
	大堀城跡Ⅱ	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1985年 10月
大堀城跡Ⅲ	近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	1985年 10月	

【発行】 ※ 1（財）大阪文化財センター ※ 2（財）大阪府文化財調査研究センター 概要報告書：（財）大阪府文化財センター

### c. 池上遺跡

図書名	サブタイトル	刊行年月	発行
史跡池上曾根遺跡発掘調査報告書 2001～2007	史跡整備に伴う第2期発掘調査	2008年 3月	※3
史跡池上曾根99	平成11年度史跡池上曾根遺跡整備事業遺跡調査完了報告	2004年 3月	
史跡池上曾根97・98	平成9・10年度史跡池上曾根遺跡整備事業遺跡調査完了報告	1999年 12月	※2
史跡池上曾根96	平成8年度史跡池上曾根遺跡整備事業発掘調査完了報告	1998年 3月	
史跡池上曾根95	平成7年度史跡池上曾根遺跡整備事業発掘調査完了報告	1996年 3月	
池上・四ツ池遺跡 自然遺物編	池上遺跡・四ツ池遺跡発掘調査報告書 第6分冊	1980年 1月	※1
池上遺跡 土器編	池上遺跡・四ツ池遺跡発掘調査報告書 第2分冊	1979年 3月	
池上遺跡 石器編Ⅰ	池上遺跡・四ツ池遺跡発掘調査報告書 第3分冊のⅠ	1月	
池上遺跡 石器編Ⅱ	池上遺跡・四ツ池遺跡発掘調査報告書 第3分冊のⅡ	1月	
池上遺跡 木器編Ⅰ	池上遺跡・四ツ池遺跡発掘調査報告書 第4分冊のⅠ	1978年 3月	
池上遺跡 木器編Ⅱ	池上遺跡・四ツ池遺跡発掘調査報告書 第4分冊のⅡ	3月	

【発行】※1（財）大阪文化財センター ※2（財）大阪府文化財調査研究センター ※3（財）大阪府文化財センター

### d. 池島・福万寺遺跡発掘調査概要

シリーズ番号	サブタイトル	刊行年月	本報告書
34	02-4・5 調査区（2002～2004年度）の概要	2006年 2月	
33	01-1・2、02-6・7・8、03-2、04-1 調査区の概要	3月	
32	02-1 調査区（2002～2003年度）の概要	2月	196集「池島・福万寺遺跡9」
31	02-2・3 調査区（2002年度）の調査概要	2003年 5月	
XXX	99-2 調査区（1999年度）の調査概要	2005年 1月	158集「池島・福万寺遺跡3」
XXIX	IFJ98-2 調査区（1998～2000年度）の調査概要	2002年 3月	（同上）
XXVIII	98-1 調査区（1998年度）の調査概要	3月	（同上）
XXVII	IFJ97-3 調査区の概要	2001年 9月	（同上）
XXVI	97-2 調査区（1997～1999年度）の概要	2002年 3月	（同上）
XXV	IFJ97-1 調査区の調査概要	2001年 3月	（同上）
XXIV	IFJ96-3 調査区の概要	1996年 9月	（同上）
XXIII	96-2 調査区（1996年度）の調査概要	1997年 3月	（同上）
XXII	IFJ96-1 調査区の概要	3月	（同上）
XXI	95-2 調査区（1995～1996年度）の概要	1998年 3月	（同上）
XX	95-1 調査区の概要	3月	（同上）
XIX	95-3 調査区の概要	3月	（同上）
XVIII	94-1・2 調査区の概要	1997年 3月	（同上）
XVII	93-3・4 調査区の概要	1995年 3月	（同上）
XVI	93-2 調査区の概要	1995年 6月	79集「池島・福万寺遺跡2」
XV	93-1 調査区（1993～1994年度）の概要	1997年 3月	（同上）

XIV	92-6・92-7 調査区の概要	1996年 3月	(同上)
XIII	92-1・2・3・4・5 調査区の概要	1993年 3月	158集「池島・福万寺遺跡3」
XII	90-1・90-4 調査区(1990～1992年度)の調査概要	1995年 3月	79集「池島・福万寺遺跡2」
XI	90-3 調査区(1992年度)の概要 弥生時代小区画水田・古代～近世条里型水田面の調査	1995年 3月	(同上)
X	90-2(H4) 調査区の概要	3月	(同上)
IX	91-1・2 調査区の概要	1992年 3月	158集「池島・福万寺遺跡3」
VIII	90-1 調査区 1991年度の調査略報	3月	79集「池島・福万寺遺跡2」
VII	90-3 調査区(1991年度)の概要 弥生時代小区画水田・飛鳥～近世条里型水田の調査	3月	79集「池島・福万寺遺跡2」
VI	90-2(H3) 調査区の概要	3月	(同上)
V	90-7・8・9 調査区の概要	1991年 3月	158集「池島・福万寺遺跡3」
IV	90-1 調査区 1990年度の調査略報	3月	79集「池島・福万寺遺跡2」
III	90-2(H2)・90-5 調査区の概要	3月	(同上)
II	90-3・6 調査区(1990年度)の概要 弥生時代小区画水田・古墳時代集落・平安時代～近世条里型水田の調査	3月	(同上)
	89-1～6 調査区の概要	3月	79集「池島・福万寺遺跡2」 158集「池島・福万寺遺跡3」

【発行】 概要～概要XIII、概要XVII (財)大阪文化財センター  
概要XIV～概要XVI、概要XVIII～概要XXIX (財)大阪府文化財調査研究センター  
概要XXX～概要34、本報告書 (財)大阪府文化財センター

#### e. 大坂城跡発掘調査概要

シリーズ番号	図書名	刊行年月	本報告書
	難波宮跡北西の発掘調査 大阪府警察本部庁舎新築工事に伴う大坂城跡(その6)発掘調査速報	2000年 3月	74集「大坂城址II」
11	大坂城跡の発掘調査 6	1996年 3月	78集「大坂城跡I」
10	図録 大坂城跡の調査 5	1995年 -	(同上)
9	大坂城跡の発掘調査 5	9月	(同上)
8	図録 大坂城跡の調査 4	1994年 -	(同上)
7	大坂城跡の発掘調査 4	6月	(同上)
6	図録 大坂城跡の調査 3	1993年 -	(同上)
5	大坂城跡の発掘調査 3	6月	(同上)
4	図録 大坂城跡の調査 2	1992年 -	(同上)
3	大坂城跡の発掘調査 2	3月	(同上)
2	大坂城跡の発掘調査 1	1991年 3月	(同上)
1	図録 大坂城跡の調査 1	-	(同上)

【発行】シリーズ1～8：(財)大阪文化財センター その他：(財)大阪府文化財調査研究センター

#### f. 財団法人大阪文化財センター報告書

シリーズ番号	図書名	サブタイトル	刊行年月
	巨摩・若江北遺跡発掘調査報告-第4次-	都市計画道路大阪中央環状線立体交差建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	1995年 3月
	日置荘遺跡	近畿自動車道松原ささみ線および府道松原泉大津線建設に伴う調査報告書	3月



丹上遺跡（その9）・観音寺遺跡（その4）	主要地方道大阪中央環状線美原ロータリー改良工事に伴う発掘調査報告書 （本報告は第28集「丹上遺跡」1998※） （本報告は第34集「観音寺遺跡」1998※）	3月
丹上（その7）・観音寺（その3）	主要地方道中央環状線改良工事に伴う発掘調査報告書 （本報告は第28集「丹上遺跡」1998※）	3月
福田遺跡	近畿自動車道松原さみ線および府道松原泉大津線建設に伴う発掘調査報告書	1994年 9月
宮の前遺跡・蛭池東遺跡・蛭池遺跡・蛭池西遺跡 1992・1993年度発掘調査報告書	大阪モノレール蛭池東線・西線建設に伴う発掘調査	3月
新金岡更池遺跡	中央環状線新金岡交差点立体工事に伴う発掘調査報告書	3月
瓜生堂遺跡発掘調査報告	大阪府工業用水道改良事業分岐連絡管設置工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	3月
丹上遺跡（その8）	中央環状線美原ロータリー道路改良工事に伴う発掘調査報告書 （本報告は第28集「丹上遺跡」1998※）	3月
清堂遺跡	中央環状線丹南交差点立体工事に伴う発掘調査報告書	1993年 8月
和道遺跡発掘調査概要報告書	都市計画道路大阪モノレール建設に伴う	3月
大阪府松原市 河合遺跡		3月
一般府道本堂高井田線改良工事に伴う青谷地区埋蔵文化財分布調査報告書		1992年 11月
小阪遺跡	近畿自動車道松原海南線および府道松原泉大津線建設に伴う発掘調査報告書	3月
伏尾遺跡Ⅱ 近畿自動車道松原海南線建設に伴う	調査の概要	1992年 9月
大庭寺遺跡Ⅱ・伏尾遺跡Ⅰ 近畿自動車道松原—海南線建設に伴う	調査の概要	3月
大庭寺遺跡Ⅰ	調査の概要	1991年 3月
日置荘遺跡（その2-3、その6-2）	調査の概要（本報告は「日置荘遺跡」1995）	1991年 3月
日置荘遺跡（その2-2、その6）	調査の概要 （本報告は「日置荘遺跡」1995） （本報告は第8集「太井遺跡」1996※）	1990年 3月
日置荘遺跡（その5）	調査の概要（本報告は「日置荘遺跡」1995）	1989年 3月
日置荘遺跡（その4）	調査の概要（同上）	1988年 3月
日置荘遺跡（その3）	調査の概要（同上）	3月
日置荘遺跡（その2）	調査の概要（同上）	3月
日置荘遺跡（その1）	調査の概要（同上）	3月
小阪遺跡（南その2-2）	調査の概要（本報告は「小阪遺跡」1992）	1991年 3月
小阪遺跡（南その2）	調査の概要（同上）	1990年 3月
小阪遺跡（南その1）	調査の概要（同上）	1989年 3月
小阪遺跡（その9）	調査の概要（同上）	3月
小阪遺跡（その8、8-2）	調査の概要（同上）	3月
小阪遺跡（その7-3）	調査の概要（同上）	3月
小阪遺跡（その6-3）	調査の概要（同上）	3月
小阪遺跡（その7、7-2）	調査の概要（同上）	1988年 3月
小阪遺跡（その6、6-2）	調査の概要（同上）	3月
小阪遺跡（その5）	調査の概要（同上）	3月
小阪遺跡（その4）	調査の概要（同上）	1987年 3月
小阪遺跡（その3）	調査の概要（同上）	3月

小阪遺跡（その2）	調査の概要（同上）	1986年 12月
小阪遺跡（その1）	調査の概要（同上）	3月
太井遺跡（その4ほか）・日置荘遺跡（その1-2）	調査の概要 （本報告は第8集「太井遺跡」1996※） （本報告は「日置荘遺跡」1995）	1990年 3月
太井遺跡（その3）	調査の概要（同上）	1987年 3月
太井遺跡（その2）	調査の概要（同上）	3月
太井遺跡（その1）	調査の概要（同上）	3月
福田遺跡（その2）	調査の概要（本報告は「福田遺跡」1994）	1987年 12月
福田遺跡（その1）	調査の概要（同上）	3月
丹上遺跡（その3・5）	調査の概要	1987年 3月
丹上遺跡（その4・6）	調査の概要	3月
丹上遺跡（その2）	調査の概要	1986年 3月
丹上遺跡（その1）	発掘調査概要報告書	3月
真福寺遺跡	調査の概要 （本報告は第19集「真福寺遺跡」1997※）	1986年 3月
松原市観音寺遺跡第2次発掘調査概要	近畿自動車道と歌山線建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査概要報告書 （本報告は第34集「観音寺遺跡」1998※）	3月
河内長野市上原地区区画整理事業予定地内分布調査報告書		1985年 4月
成合寺	近畿自動車道と歌山線建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査概要報告書	3月
成合遺跡第1次発掘調査概要	近畿自動車道と歌山線建設に伴う	1984年 3月
観音寺遺跡第一次発掘調査概要報告書	近畿自動車道と歌山線建設に伴う （本報告は第34集「観音寺遺跡」1998※）	3月
府道松原泉大津線関連遺跡発掘調査報告書Ⅱ	西浦橋遺跡	3月
府道松原泉大津線関連遺跡発掘調査報告書Ⅰ	西浦橋遺跡・菱木下遺跡・万崎池遺跡・太平寺遺跡	3月
片添遺跡第1次発掘調査報告書	三日市地区特定土地区画整理事業施行地区内	3月
田山遺跡	淡輪・箱作海岸地区海岸環境整備事業に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書	1983年 3月
大堀城跡	大和川下流東部流域下水道大井処理場放流幹 線建設事業に伴う発掘調査報告書	1月

※本報告書は（財）大阪府文化財調査研究センター発行

### g. 大阪文化財センター調査報告

シリーズ番号	図書名	サブタイトル	刊行年月
XXXIII	脇浜・畠中・石才近義堂遺跡試掘調査報告書	大阪府都市計画街路貝塚中央線新設工事予定地内	1980年 3月
XXXII	明八塚周濠部試掘調査報告書	富田林市市道伏見堂東西線新設工事予定地内	1979年 3月
XXXI	太子町西山地区特定土地区画整理事業予定地内埋蔵文化財試掘調査報告書		3月
XXX	淡輪・箱作海岸地区海岸環境整備事業に伴う田山遺跡試掘調査報告書		1月
XXIX	応神陵茶山遺跡発掘調査報告書		1978年 6月
XXVIII	林遺跡発掘調査報告書	藤井寺市市道明寺中学校LL教室新設工事に伴う	1977年 10月
XXVII	大阪府営水道事業第6次拡張事業揚送水管布設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	高槻市二子山古墳・土保山古墳周濠確認のための調査	1978年 3月
XXVI	亀井遺跡発掘調査報告書	寝屋川南部流域下水道事業長吉ポンプ場築造工事に伴う	3月
XXV	南河内道路に関する第3回埋蔵文化財予察調査報告書		2月

XXV	みどり山古墳群試掘調査報告書	町営グラウンド造成計画に伴う確認調査	1977年 3月
XXIV	猪名川流域下水道原田処理場拡張用地内埋蔵文化財試掘調査報告書		3月
—	如意谷(2)事業地区における埋蔵文化財発掘調査概略報告書		3月
XXIII	泉大津助松岡地開発予定地内埋蔵文化財試掘調査		2月
XXII	大和川環境整備事業柏原地区高水敷整正工事に伴う船橋遺跡試掘調査報告書II		1976年 10月
XXI	泉南郡阪南町鳥取地区埋蔵文化財分布調査報告書		3月
XX	大和川環境整備事業柏原地区高水敷整正工事に伴う船橋遺跡試掘調査報告書		3月
XIV	都市計画道路貝塚中央線建設予定地内埋蔵文化財試掘調査報告書	(編集註: シリーズ番号XIXの誤り)	3月
XVIII	大阪府道高速大阪松原線建設に伴う瓜破遺跡試掘調査報告書		3月
XVII	国道166号線バイパスに関する第2回埋蔵文化財予察調査報告書		1月
XVI	美原町真福寺所在遺跡試掘調査報告書		1975年 10月
XV	寺門岡地他3団地開発予定地内埋蔵文化財試掘調査報告書		10月
XIV	蜂田鈴の宮遺跡発掘調査報告書	日本住宅公団鈴の宮団地開発計画に伴う	8月
XIII	大阪瓦斯河内ラインガス導管埋設予定地内久宝寺遺跡、城山遺跡試掘調査報告書		6月
XII	都市計画道路松原～泉大津線建設予定地内遺跡試掘分布調査報告書		3月
XI	近畿自動車道天理～吹田線建設予定地内瓜生堂遺跡他5遺跡第1次発掘調査報告書		3月
X	近畿自動車道天理～吹田線建設予定地内遺跡第1次発掘調査報告書	現地調査総括編	1974年 10月
IX	近畿自動車道天理～吹田線建設予定地内瓜生堂遺跡他5遺跡第1次発掘調査中間報告書		7月
VIII	泉南郡熊取町埋蔵文化財分布調査報告書	伊藤忠商事、日鐵不動産K.K. 開発予定に伴う	5月
VII	中央環状線内埋蔵文化財試掘調査報告	高速電気軌道第2号線建設工事に伴う	5月
VI	大阪府池田市伏尾地区埋蔵文化財分布調査報告書	阪急不動産株式会社開発予定地内	5月
V	大阪府柏原市高井田所在遺跡試掘調査報告書	村本建設株式会社開発計画に伴う	3月
V	大阪府柏原市高井田所在村本建設株式会社開発計画地内埋蔵文化財分布調査概要報告書		1973年 9月
IV	近畿自動車道吹田～松原線建設予定地内亀井遺跡他2遺跡第1次発掘調査報告書		1974年 3月
—	亀井遺跡他2遺跡第1次発掘調査中間報告		1月
IV	亀の瀬地すべり対策工事に伴う柏原市雁多尾畑地区埋蔵文化財分布調査報告書		1973年 7月
III	大阪府和泉市内田町及び唐国町所在埋蔵文化財試掘調査報告書	積水ハウス株式会社開発計画に伴う	10月
II	主要地方道枚方・富田林・泉佐野線バイパス(大阪外環状線) 予定路線内埋蔵文化財分布調査報告書		3月
I	柏原市本堂所在亀の瀬本堂地区内埋蔵文化財分布調査報告書		3月
I	大阪府泉南郡阪南町自然田地区埋蔵文化財分布調査報告書	大正不動産KK 開発予定に伴う	3月
—	第2阪和国道内遺跡出土遺物整理事業報告書I		3月
(合冊)	文化財調査報告集'76	大阪文化財センター調査報告集IV	1977年 5月
(合冊)	文化財調査報告集'75(I)(II)	大阪文化財センター調査報告集III(2分冊)	1976年 5月
(合冊)	文化財調査報告集'74	大阪文化財センター調査報告集II	1975年 5月
(合冊)	文化財調査報告集'73	大阪文化財センター調査報告集I	1974年 7月



## h. 財団法人大阪府埋蔵文化財協会調査報告書・調査事業報告書

輯	図書名	サブタイトル	刊行年月
92	東奈良遺跡	大阪府茨木東奈良第2期第1次住宅建替事業に伴う発掘調査報告書	1995年 3月
91	志紀遺跡	大阪府宮八尾志紀住宅建て替えに伴う発掘調査報告書	3月
90	陶邑・大庭寺遺跡Ⅳ	近畿自動車道松原ささみ線建設に伴う発掘調査報告書	3月
89	末廣・中開・松原遺跡	関西国際空港連絡道路建設に伴う発掘調査報告書Ⅱ	3月
88	棚原遺跡	関西国際空港連絡道路建設に伴う発掘調査報告書	3月
87	三軒屋遺跡Ⅱ	府営水質障害対策事業に伴う発掘調査報告書	1994年 10月
86	野々井西遺跡・ON231号窯跡	近畿自動車道松原ささみ線建設工事に伴う発掘調査報告書	5月
85	野々井遺跡	近畿自動車道松原ささみ線建設に伴う発掘調査報告書	5月
84	上町遺跡Ⅱ	泉佐野市駅上東地区第一種市街地再開発事業に伴う発掘調査報告書	3月
83	男里遺跡	都市計画道路樽井男里線建設に伴う発掘調査報告書	3月
82	中開遺跡Ⅲ・上町東遺跡	南海本線（泉佐野市）連続立体交差事業に伴う発掘調査報告書	3月
81	三ヶ山西遺跡Ⅱ	主要地方道枚方・富田林・泉佐野線建設に伴う発掘調査報告書	3月
80	上フジ遺跡Ⅲ・三田古墳	都市計画道路泉州山手線建設に伴う発掘調査報告書	1993年 12月
79	日根野遺跡		—
78	芝ノ垣外遺跡Ⅱ	主要地方道岸和田・牛滝山・貝塚線建設に伴う発掘調査報告書	6月
77	仏並遺跡Ⅲ	主要地方道枚方・富田林・泉佐野線建設に伴う発掘調査報告書	3月
76	大西・中開遺跡Ⅱ		—
75	陶邑・大庭寺遺跡Ⅲ	近畿自動車道松原ささみ線建設に伴う発掘調査報告書	3月
74	兵主庵寺	二級河川春木川改修工事に伴う発掘調査報告書	1992年 3月
73	吉井遺跡	府営岸和田春木第2期住宅（建て替え）建設工事に伴う発掘調査報告書	3月
72	陶邑・伏尾遺跡Ⅱ A地区	近畿自動車道松原海南線建設に伴う発掘調査報告書	3月
71	池田寺遺跡Ⅳ	近畿自動車道松原海南線・都市計画道路泉州山手線・和泉中央丘陵新住宅市街地開発事業に伴う発掘調査報告書	1991年 11月
70	軽部池西遺跡Ⅲ	都市計画道路大阪・岸和田・南海線建設に伴う発掘調査報告書	8月
69	脇浜遺跡Ⅲ	都市計画道路貝塚中央線建設に伴う発掘調査報告書	3月
68	中開遺跡	泉佐野都市計画道路事業・関西国際空港連絡鉄道南海分岐線事業・南海本線（泉佐野市）連続立体交差事業に伴う発掘調査報告書	3月
67	母山遺跡	泉佐野市上之郷母山地区土地改良事業に伴う発掘調査報告書	3月
66	加治・神前・畠中遺跡	都市計画道路貝塚中央線に伴う南海単独立体交差化事業に伴う発掘調査報告書	3月
65	池田寺遺跡Ⅲ	近畿自動車道松原海南線建設に伴う発掘調査報告書	3月
64	池園遺跡Ⅱ	大阪府営助松東第2期住宅（立替）建設に伴う発掘調査報告書	3月
63	石才南遺跡Ⅱ・清児遺跡Ⅱ	都市計画道路貝塚中央線建設に伴う発掘調査報告書	3月
62	三ヶ山西遺跡	主要地方道枚方・富田林・泉佐野線建設に伴う発掘調査報告書	1月
61	山ノ内遺跡Ⅱ他（山ノ内・山直北・二俣池北遺跡）	主要地方道岸和田・牛滝山・貝塚線建設に伴う発掘調査報告書	1990年 9月
60	陶邑・伏尾遺跡 A地区	近畿自動車道松原海南線建設に伴う発掘調査報告書	5月
59	黒石遺跡	主要地方道岸和田・牛滝山・貝塚線建設に伴う発掘調査報告書	5月

58	水込遺跡	主要地方道岸和田・牛滝山・貝塚線建設に伴う発掘調査報告書	3月
57	上町遺跡	泉佐野駅上西地区再開発事業に伴う発掘調査報告書	3月
56	大場遺跡	南海本線分岐線代替地造成事業に伴う発掘調査報告書	3月
55	唐国泉谷遺跡	和泉丘陵新住宅市街地開発事業地近畿自動車道松原海南線建設に伴う発掘調査報告書	3月
54	池田寺遺跡Ⅱ	近畿自動車道松原海南線建設に伴う発掘調査報告書	3月
53	小田遺跡	都市計画道路大阪・岸和田・南海線建設に伴う発掘調査報告書	3月
52	山直中遺跡Ⅱ	主要地方道岸和田・牛滝山・貝塚線建設に伴う発掘調査報告書	3月
51	軽部池西遺跡Ⅱ	都市計画道路・府道磯之上山直線建設に伴う発掘調査報告書	3月
50	陶邑・大庭寺遺跡Ⅱ	近畿自動車道松原海南線建設に伴う発掘調査報告書	3月
49	福瀬遺跡Ⅱ	主要地方道枚方・富田林・泉佐野線建設に伴う発掘調査報告書	3月
48	高向遺跡Ⅱ	主要地方道枚方・富田林・泉佐野線建設に伴う試掘並びに発掘調査報告書	1月
—	貝の池遺跡	貝の池埋め立て造成事業に伴う発掘調査事業報告書	1月
47	三軒屋遺跡	空港連絡道路代替地造成事業に伴う発掘調査報告書	1989年 12月
46	平井遺跡Ⅱ	都市計画道路松原泉大津線並びに近畿自動車道松原海南線建設に伴う発掘調査報告書	10月
45	二俣池北遺跡・上フジ遺跡	主要地方道岸和田・牛滝山・貝塚線建設に伴う発掘調査報告書	6月
44	伏尾遺跡（B地区）	近畿自動車道和歌山線建設に伴う発掘調査報告書	6月
43	池田寺遺跡	近畿自動車道和歌山線建設に伴う発掘調査報告書	6月
42	池園遺跡	大阪府営助松東第1期住宅建替の建設工事に伴う発掘調査報告書	6月
41	陶邑・大庭寺遺跡	近畿自動車道和歌山線建設に伴う発掘調査報告書	3月
40	高向遺跡	主要地方道枚方・富田林・泉佐野線建設に伴う発掘調査報告書	3月
39	福瀬遺跡	主要地方道枚方・富田林・泉佐野線建設に伴う発掘調査報告書	3月
38	羽倉崎遺跡	都市計画道路羽倉崎・嘉祥寺線建設に伴う発掘調査報告書	3月
37	山田海岸遺跡	淡輪箱作海岸整備事業に伴う発掘調査報告書	3月
36	今木遺跡	都市計画道路磯之上山直線建設に伴う発掘調査報告書	3月
35	滑瀬遺跡Ⅱ	近畿自動車道和歌山線建設に伴う発掘調査報告書	1月
34	山ノ内遺跡	主要地方道岸和田・牛滝山・貝塚線建設に伴う発掘調査報告書	1988年 12月
33	岡中西遺跡	主要地方道泉佐野・岩出線建設に伴う発掘調査報告書	12月
32	湊海岸遺跡	大阪府道高速湾岸線建設事業に伴う発掘調査報告書	1989年 3月
31	清児遺跡	都市計画道路貝塚中央線建設に伴う発掘調査報告書	1988年 10月
30	橋本遺跡	都市計画道路・貝塚中央線建設に伴う発掘調査報告書	10月
29	和泉寺跡	南大阪湾岸北部流域下水道事業に伴う発掘調査報告	8月
28	虫取遺跡・板原遺跡	南大阪湾岸北部流域下水道事業に伴う発掘調査報告	7月
27	仏並遺跡Ⅱ	主要地方道枚方・富田林・泉佐野線建設に伴う発掘調査報告書	3月
26	石才南遺跡	都市計画道路・貝塚中央線建設に伴う発掘調査報告書	3月
25	上フジ遺跡	主要地方道岸和田・牛滝山・貝塚線（府道磯之上山直線）建設に伴う発掘調査報告書	3月
24	山ノ内遺跡B地区・山直北遺跡	主要地方道岸和田・牛滝山・貝塚線建設に伴う発掘調査報告書	3月

23	西大路遺跡	都市計画道路磯之上山直線建設に伴う発掘調査報告書	3月
22	山直中遺跡	近畿自動車道と歌山線建設に伴う発掘調査報告書	3月
21	平井遺跡	発掘調査報告書	3月
20	井山城跡	発掘調査報告書	3月
19	貝掛遺跡	発掘調査報告書	3月
18	ミノバ石切場跡	阪南丘陵開発事業に伴う発掘調査報告書	3月
17	脇浜遺跡Ⅱ	都市計画道路貝塚中央線建設に伴う発掘調査報告書	3月
16	金剛寺遺跡	阪南丘陵開発事業に伴う発掘調査報告書	1987年 12月
15	三田遺跡	主要地方道岸和田牛滝山貝塚線建設に伴う発掘調査報告書	3月
14	向井代遺跡	発掘調査報告書	8月
13	箕土路遺跡	都市計画道路磯之上山直線建設に伴う発掘調査報告書	3月
12	信太山遺跡	近畿自動車道と歌山線建設に伴う発掘調査報告書	3月
11	軽部池西遺跡	都市計画道路・府道磯之上山直線建設に伴う発掘調査報告書	3月
10	滑瀬遺跡	近畿自動車道と歌山線建設に伴う発掘調査報告書	1月
9	阪南丘陵埋蔵文化財	試掘調査報告書	1月
8	芝ノ垣外遺跡	近畿自動車道と歌山線建設に伴う発掘調査報告書	1月
7	畠中遺跡	都市計画道路貝塚中央線建設に伴う発掘調査報告書	1986年 9月
6	脇浜遺跡	都市計画道路貝塚中央線建設に伴う発掘調査報告書	11月
—	福瀬遺跡・仏並遺跡	主要地方道枚方・富田林・泉佐野線（一般国道170号）建設に伴う試掘調査事業報告書	8月
5	仏並遺跡	主要地方道枚方・富田林・泉佐野線建設に伴う発掘調査報告書	3月
4	堺砲台跡	都市計画道路大阪臨海線外2線建設に伴う発掘調査報告書	3月
3	阪南町内埋蔵文化財	関西国際空港建設に伴う分布調査報告書	1985年 11月
—	西大路遺跡・今木廃寺遺跡	府道磯之上・山直線建設に伴う発掘調査事業報告書	11月
2	別所遺跡	近畿自動車道と歌山線建設に伴う試掘調査報告書	7月
1	向井池遺跡	近畿自動車道と歌山線建設に伴う試掘調査報告書	7月

#### i. その他刊行物

(公財) 大阪府文化財センター・(財) 大阪府文化財センター・(財) 大阪府文化財調査研究センター・(財) 大阪文化財センター 発行

	図書名	サブタイトル	刊行年月
	摂河泉発掘資料精選Ⅲ	(設立40周年記念事業)	2012年 11月
	摂河泉発掘資料精選Ⅱ	(設立30周年記念事業)	2002年 11月
	摂河泉発掘資料精選	(財団統合記念事業)	1995年 12月
	大阪文化財論集Ⅱ	財団法人大阪府文化財センター設立30周年記念論集	2002年 11月
	大阪文化財論集	財団法人大阪文化財センター設立15周年記念論集	1989年 3月
	古式土師器の年代学		2006年 3月
	30年のあゆみ	財団法人大阪府文化財センター設立30周年記念誌	2002年 11月
	20年のあゆみ	財団法人大阪文化財センター	1992年 11月



	10年のあゆみ	(財)大阪文化財センター	1982年 11月
	研究調査報告 第7集(2010年3月) 第6集(2008年3月) 第5集(2007年3月) 第4集(2006年3月) 第3集(2002年8月) 第2集(1999年9月) 第1集(1997年度)		
	研究紀要 Vol. 2 (1995年3月) 研究紀要 Vol. 1 (1993年3月)		
	財団法人大阪府文化財センター・日本民家集落博物館・大阪府立弥生文化博物館・大阪府立近つ飛鳥博物館 共同研究成果報告書 2007年度(2009年3月) 2006年度(2008年3月) 2005年度(2007年11月) 2004年度(2006年3月) 2003年度(2005年3月) 2002年度(2004年3月)		
図 録	池島・福万寺遺跡と周辺の文化財	考古学からわかる郷土の歴史 池島・福万寺遺跡発掘調査25年の歩み	2008年 1月
	北河内発掘! 緑立つ道に歴史わきたつ	第二京阪道路内遺跡の発掘調査記録	2005年 11月
	久宝寺遺跡発掘調査成果	2001～2004年度のまとめ	2005年 3月
	過去からのメッセージー大阪発掘30年ー	財団法人大阪府文化財センター設立30周年記念(大阪府立弥生文化博物館平成15年冬季企画展)	2003年 1月
	発掘速報展大阪 大河内展	弥生社会の発展と古墳の出現(大阪歴史博物館平成13年度特別展)	2002年 1月
	男里遺跡発掘調査資料集	平成四年度～平成十二年度	2001年 3月
	発掘速報展大阪 2001	難波宮と大坂城(大阪府立近つ飛鳥博物館平成12年度冬季企画展)	2001年 1月
	発掘速報展大阪 2000	(大阪府立弥生文化博物館平成12年冬季企画展)	2000年 1月
	発掘!! あおまだに	国際文化公園都市特定土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査図録	1999年 6月
	発掘速報展大阪 大陸文化へのまなざし	(大阪市立博物館平成10年度特別展)	1998年 11月
	発掘速報展大阪 '98	最近話題の出土品たち(大阪府立近つ飛鳥博物館平成9年度冬季企画展)	1998年 1月
	発掘速報展大阪 '97	(大阪府立弥生文化博物館平成9年冬季企画展)	1997年 1月
	掘ったらでできたむかしのくらし	大阪モノレール建設に伴う蛭池周辺発掘調査成果展	1996年 4月
	発掘速報展大阪 '96	(大阪府立弥生文化博物館平成8年冬季企画展)	1996年 1月
	古代の木の道具展	ここまできた保存技術(大阪府立弥生文化博物館平成7年冬季企画展)	1995年 1月
	図録 農耕の技術とまつり	池島・福万寺遺跡の調査から	1992年 12月
	第2回発掘速報展ー堺市日置荘・福田・小阪遺跡ー	近畿道と和歌山・府道松原泉大津線関連(大阪府立泉北考古資料館企画展)	1989年 11月
	発掘速報展 河内鑄物師の周辺	観音寺・丹上・真福寺・太井遺跡の調査	1987年 2月
	考古展 河内平野を掘る	近畿自動車道関連遺跡の発掘調査成果を中心として	1981年 8月
		和泉の古代生活	
ブ ク レ ッ ト (こ こ ま で わ か っ た 考 古 学)	山賀遺跡の最新調査成果	(大阪府立弥生文化博物館平成20年春季企画展)	2008年 3月
	大阪の古墳時代を考える	(財)大阪府文化財センター35年の発掘調査精華(大阪府立近つ飛鳥博物館平成19年度春季企画展)	2008年 3月
	出土木器が語る考古学	弥生時代・古墳時代の諸様相(大阪府立近つ飛鳥博物館平成18年度小テーマ展示)	2007年 3月
	弥生人現れるー大地は実り人は祈るー	池島・福万寺遺跡発掘調査25周年記念(大阪府立弥生文化博物館平成19年冬季企画展)	2007年 2月
	太秦古墳群発掘調査成果	大阪の初期群集墳を考える(大阪府立近つ飛鳥博物館平成17年度小テーマ展示)	2006年 3月
	弥生ムラの風景	八尾南遺跡の最新成果(大阪府立弥生文化博物館平成18年冬季企画展)	2006年 2月
	久宝寺遺跡の最新成果	河内平野における古墳出現を探る(大阪府立近つ飛鳥博物館平成16年度テーマ展示)	2005年 3月
	瓜生堂遺跡の最新研究	(大阪府立弥生文化博物館平成17年冬季企画展)	2005年 2月
	最古の土師器	庄内式土器の誕生(大阪府立弥生文化博物館平成16年春季企画展)	2004年 3月
	考古学と実年代	考古学が歴史を変える(大阪府立弥生文化博物館平成16年春季企画展)	2004年 3月

ブックレット (カルチャアはっとり)	No.11	小テーマ展示 つわもの達の夢―追悼 藤沢一夫・鳥越憲三郎・堅田直―	2008年 3月	
	No.10	シリーズここまでわかった考古学 禁野火薬庫の調査	2007年 3月	
	No. 9	むかしの道具(発掘民具) 2. 漁具	2006年 12月	
	No. 8	シリーズここまでわかった考古学はたおりの歴史展―古代の織物生産を考える―	2006年 2月	
	No. 7	小展示 むかしの道具(発掘民具) 1. 農具	2005年 9月	
	No. 6	ここまでわかった考古学 古墳時代の池島・福万寺遺跡―初めてのすみごち―	2005年 1月	
	No. 5	秋の企画展 山に生きる人々―宮崎県椎葉村の民家と暮らし1―	2004年 11月	
	No. 4	小展示 考古学と模型	2004年 9月	
	No. 3	シリーズここまでわかった考古学 甕形土器の語るもの	2004年 3月	
	No. 2	世界遺産白川郷―合掌造りと大家族―	2003年 10月	
No. 1	民家の今昔	2003年 9月		
考古学 ブックス	改定増補 酔古雑録(坪井良平著)	(財)大阪文化財センター考古学ブックス2	1995年 3月	
	大阪考古学文献目録	(財)大阪文化財センター考古学ブックス1	1995年 3月	
	考古学者の考古学(酒井龍一著)	(財)大阪文化財センター考古学ブックス	1990年 8月	
写真集	河内の遺宝	近畿自動車道関連遺跡出土遺物写真集	1986年 3月	
	文化財写真集1		1974年 9月	
	大阪の文化財(南部)イラスト地図			
	大阪府遺跡年表		1977年 6月	
目録	神原文庫目録		2008年 3月	
	財団法人大阪文化財センター蔵 図書目録(1994年12月27日現在)		1995年 3月	
	財団法人大阪文化財センター蔵 図書目録 追録(1985年2月10日現在)		1985年 8月	
	財団法人大阪文化財センター蔵 図書目録(1983年2月10日現在)		1983年 3月	
	遺跡調査基本マニュアル		1888年 3月	
	近畿自動車道大阪線遺物整理事業基本マニュアル		1985年 3月	
(逐次刊行物)	大阪文化財研究			
	第55号(2022年9月)	第54号(2021年3月)	第53号(2020年3月)	第52号(2019年6月)
	第51号(2018年3月)	第50号(2017年3月)	第49号(2016年11月)	第48号(2016年6月)
	第47号(2015年12月)	第46号(2015年3月)	第45号(2014年9月)	第44号(2014年3月)
	第43号(2013年9月)	第42号(2013年3月)	第41号(2012年9月)	第40号(2012年3月)
	第39号(2011年9月)	第38号(2011年3月)	第37号(2010年9月)	第36号(2010年3月)
	第35号(2009年11月)	第34号(2009年3月)	第33号(2008年3月)	第32号(2007年10月)
	第31号(2007年3月)	第30号(2006年11月)	第29号(2006年3月)	第28号(2005年11月)
	第27号(2005年3月)	第26号(2004年10月)	第25号(2004年3月)	第24号(2003年8月)
	第23号(2003年3月)	第22号(2002年6月)	第21号(2002年3月)	第20号(2001年7月)
	第19号(2000年12月)	第18号(2000年6月)	第17号(1999年12月)	第16号(1999年6月)
	第15号(1998年12月)	第14号(1998年6月)	第13号(1997年12月)	第12号(1997年6月)
	第11号(1996年12月)	第10号(1996年6月)	統合記念第9号(1995年12月)	第8号(1995年3月)
	第7号(1995年1月)	第6号(1994年2月)	第5号(1993年8月)	第4号(1993年2月)
	20周年記念増刊号(1992年11月)	第3号(1992年8月)	第2号(1991年12月)	創刊号(1991年7月)
	大阪文化誌			
	第18号(1985年3月)	第17号(1984年3月)	第16号(1983年7月)	第15号(1982年12月)
	第14号(1982年3月)	通巻13号(1980年3月)	通巻12号(1979年8月)	通巻11号(1978年5月)
	通巻10号(1977年12月)	通巻9号(1977年11月)	通巻8号(1977年7月)	通巻7号(1977年1月)
	通巻6号(1976年11月)	通巻5号(1976年4月)	通巻4号(1975年5月)	通巻3号(1974年11月)
通巻2号(1974年6月)	通巻1号(1974年1月)			

ニューズレター	O C C H	No.39 (2008年3月)	No.38 (2007年12月)	No.37 (2007年7月)	
	No.36 (2007年3月)	No.35 (2006年11月)	No.34 (2006年7月)	No.33 (2006年3月)	
	No.32 (2005年11月)	No.31 (2005年7月)	No.30 (2005年3月)	No.29 (2004年11月)	
	No.28 (2004年7月)	No.27 (2004年3月)	No.26 (2003年11月)	No.25 (2003年7月)	
	No.24 (2003年3月)	No.23 (2002年12月)	No.22 (2002年7月)	O C C H大文研通信	
	No.21 (2002年3月)	No.20 (2001年12月)	No.19 (2001年7月)	No.18 (2001年3月)	
	No.17 (2000年12月)	No.16 (2000年7月)	No.15 (2000年3月)	No.14 (2000年2月)	
	No.13 (1999年7月)	No.12 (1999年3月)	No.11 (1998年12月)	No.10 (1998年6月)	
	No. 9 (1998年3月)	No. 7・8合併号 (1997年12月)	No. 6 (1997年3月)	No. 5 (1996年12月)	
	No. 4 (1996年7月)	No. 3 (1996年3月)	No. 2 (1995年8月)	No. 1 (1995年4月)	
(財)大阪文化財センター通信 No. 1 (1988年6月)～No.13 (1995年3月)					
年報 平成7年度～毎年					
要覧 平成5年度～毎年					
資料集・発表要旨集	大阪府立近つ飛鳥博物館館長承継記念講演会				2018年 5月
	シンポジウム 発掘！検証！キリシタン墓－高山右近とキリシタン－				2014年 1月
	激動の時代「慶長」を掘る				2012年 11月
	邪馬台国から奈良の都へ－古代都市成立へのみちのり－ 公益財団法人大阪府文化財センター理事長・大阪府立弥生文化博物館館長承継記念シンポジウム				2012年 8月
	天下の台所 大坂 魚食文化の歴史を探る				2012年 3月
	世界遺産をめざす 古市古墳群とその周辺				2011年 11月
	シンポジウム 百舌鳥古墳群とその周辺				2011年 2月
	発掘・復元・検証 いま、よみがえる 枚方の20世紀				2011年 1月
	シンポジウム 弥生人の住まいを探る－長原遺跡・八尾南遺跡・久宝寺遺跡－ 要旨集				2007年 12月
	シンポジウム 木器研究最前線！ 出土木器が語る考古学 発表資料集				2007年 3月
	韓国の最新発掘調査報告会 第17回考古学国際交流研究会				2007年 2月
	シンポジウム 古墳時代に生きた渡来人の軌跡－長原遺跡・部屋北遺跡・上私部遺跡を中心に－				2006年 12月
	シンポジウム 世界の文化遺産を語る－多様な文化の共生に向けて－				2006年 1月
	シンポジウム 河内平野における古墳の出現－久宝寺と加美遺跡－ 要旨集				2005年 11月
	北河内発掘！緑立つ道に歴史わきたつ 第二京阪道路内遺跡の発掘調査講演会 発表資料				2005年 11月
	シンポジウム 「難波宮」、「大坂城」「大坂城」－秀吉の大坂城縄張りをさぐる－ 発表要旨				2004年 6月
	シンポジウム 「難波宮」、「大坂城」「難波宮」－宮城北辺をさぐる－ 発表要旨				2004年 6月
	古墳出現期の土師器と実年代 シンポジウム資料集				2003年 3月
	シンポジウム 考古学から災害と復興を考える 財団法人大阪府文化財調査研究センター発足記念公開シンポジウム				1995年 12月
	みるきくふれる 原始・古代のコメ作り－農耕の技術とまつり－ (財)大阪文化財センター設立20周年記念公開シンポジウム				1992年 12月
	シンポジウム 邪馬台国の謎を解く－弥生時代の近畿と九州－ (財)大阪文化財センター設立10周年記念				1982年 9月
	大阪の埴輪窯 埴輪窯の検討・発表会資料				1989年 7月
	共同研究発表会	住居に関する総合的研究(6)	2007年度(財)大阪府文化財センター・日本民家集落博物館		2008年 3月
		住居に関する総合的研究(5)	2006年度	同上	2007年 3月
		住居に関する総合的研究(4)	2005年度	同上	2006年 2月
		住居に関する総合的研究(3)	2004年度	同上	2005年 3月
		住居に関する総合的研究	平成14年度	同上	2003年 3月
土偶－近畿地方を中心に－		2007年度(財)大阪府文化財センター・弥生文化博物館		2008年 3月	
比較・検証 南九州弥生文化の実像		2006年度	同上	2007年 2月	
弥生後期集落の景観的研究		2005年度	同上	2006年 3月	
東海の弥生文化		2004年度	同上	2005年 3月	
北の文化－続縄文の世界－		平成15年度	同上	2004年 3月	
弥生時代のはじまり		平成14年度	同上	2003年 3月	
埋葬施設からみた弥生墳丘墓と前期古墳		2007年度(財)大阪府文化財センター・近つ飛鳥博物館		2008年 2月	
摂河泉古代寺院の総合的研究		2006年度	同上	2007年 2月	
須恵器生産の成立と展開		2005年度	同上	2006年 2月	
古墳出土金工製品の日韓比較研究		2004年度	同上	2005年 3月	
墳墓と墓誌		平成15年度	同上	2004年 2月	
『河内名所図絵』にあらわれた遺跡の研究		平成14年度	同上	2003年 3月	



他	文化財講座資料集	1989（昭和59）年度～2006（平成18）年度
	大阪府埋蔵文化財研究会資料 ※1 近畿地方埋蔵文化財研究会資料 ※2	第1回（1979年11月25日）～第56回（2008年3月8日） 第1回（1983年10月15・16日）～第12回（1994年10月30日）

※1 第1回～第15回大阪府下埋蔵文化財担当者研究会資料 第16回～第36回大阪府下埋蔵文化財研究会資料  
※2 第1回～第4回近畿地方埋蔵文化財担当者研究会資料

(財)大阪府埋蔵文化財協会 発行

	図書名	サブタイトル	刊行年月
	日根荘総合調査報告書		1994年 3月
研究紀要	大阪府埋蔵文化財協会研究紀要3		1995年 3月
	大阪府埋蔵文化財協会研究紀要2		1994年 3月
	大阪府埋蔵文化財協会研究紀要1		1988年 7月
図録	第9回 泉州の遺跡展	平成5年度発掘調査成果・堺市下田遺跡の銅鐸と木製品	1994年 9月
	第8回 泉州の遺跡 須恵器の始まりをさぐる	(大阪府立弥生文化博物館平成5年夏季企画展)	1993年 7月
	第7回 泉州の遺跡	平成3年度発掘調査成果から	1992年 10月
	第6回 泉州の遺跡	平成2年度発掘調査成果展	1991年 12月
	第5回 泉州の遺跡	5年間の発掘調査成果	1990年 2月
	第4回 泉州の遺跡	昭和63年度発掘調査成果展	1989年 2月
	第3回 泉州の遺跡	昭和62年度発掘調査成果展	1988年 2月
	第2回 泉州の遺跡	昭和61年度発掘調査成果展	1987年 2月
	泉州の遺跡	(財)大阪府埋蔵文化財協会昭和60年度発掘調査成果展	1986年 2月
	日根荘とその周辺	空港関連事業の調査から	1991年 12月
	山直郷とその周辺		1987年 6月
資料	シンポジウム「日根荘総合調査が語るもの」中世荘園世界の解明をめざして		1991年 12月
その他	10年のあゆみ		1995年 3月
	発掘調査規程		1986年 12月
	要覧		1985年 4月
	財団法人大阪府埋蔵文化財協会事業概要	昭和61年度、昭和62年度、昭和63年度、平成元年度、平成2年度、平成3年度、平成4年度、平成5年度、平成6年度	

j. 映像記録

	タイトル	上映時間	制作年月
記録映画	池内遺跡—私たちの発掘体験—	約15分	2007年 3月
	北河内発掘 第二京阪道路内遺跡の発掘調査	約11分	2006年 3月
	古墳時代の大規模集落—上私部遺跡—	約13分	3月
	讚良郡条里遺跡—埋もれた井戸の発掘—	約15分	3月
	羽曳野市 庭鳥塚古墳—すがたを見せた前方後方墳—	約14分	3月
	河内平野における古墳の出現—久宝寺遺跡の発掘調査—	約14分	2005年 3月
	河内馬飼いの里—讚良郡条里遺跡の発掘調査—	約13分	3月
	弥生時代の住まい—八尾南遺跡の発掘調査—	約14分	3月
	石切場跡の発掘調査	約13分	2003年 4月

	塩づくりの遺跡－小島北磯遺跡の調査－	約 17 分	2002 年 3 月
	佐保栗栖山砦跡・中世墓群の発掘調査－「戦国時代のとりで」と「村人の墓」	約 20 分	1999 年 8 月
	河内の弥生墳墓－巨摩遺跡の発掘－	約 18 分	1996 年 3 月
	泉州の遺跡－関西空港関連の調査－	約 20 分	1995 年 3 月
	地下に埋もれた歴史を探る－大阪発掘物語－	約 20 分	1994 年 3 月
	農耕の技術	約 15 分	1992 年 12 月
	甦る手工業集団－陶邑と河内鋳物師－	約 20 分	1988 年 6 月
	城山遺跡－発掘された弥生時代集落－	約 30 分	1985 年 5 月
	発掘された船－久宝寺遺跡の準構造船－	約 20 分	1984 年 7 月
	河内平野を掘る－低湿地遺跡の発掘調査－	約 35 分	1982 年 11 月
D V D ・ V H S 等	甦った大坂冬の陣 戦国武将・菅原右衛門への木簡	約 3 分 30 秒	2007 年度
	シンポジウム弥生人の住まいを探る－長原遺跡・八尾南遺跡・久宝寺遺跡を中心に－	2 枚組 約 3 時間	
	シンポジウム古墳時代に生きた渡来人の軌跡－長原遺跡・部屋北遺跡・上私部遺跡を中心に－	3 枚組 約 4 時間 30 分	
	身近なところに文化財！！平成 18 年度現地説明会 (吹田操車場遺跡・玉櫛遺跡・私部南遺跡・池内遺跡・堺環濠都市遺跡)	約 34 分	2006 年度
	シンポジウム 河内平野における古墳の出現	2 枚組 約 3 時間	2005 年度
	北河内発掘！緑立つ道に歴史わきたつ 第二京阪道路内遺跡の発掘調査展と講演会の記録	2 枚組 約 4 時間 30 分	
	難波宮と大坂城 発掘調査とシンポジウムの記録	2 枚組 約 2 時間	2004 年度
	久宝寺遺跡に最古の土器を探る（講演会記録）	約 1 時間	
	寝屋川市 奥山 1 号墳の調査	約 3 分 20 秒	
	八尾南遺跡 竪穴住居跡の調査 vol. 1	約 10 分 20 秒	
	八尾南遺跡 竪穴住居跡の調査 vol. 2	約 8 分 15 秒	
	上の山遺跡 現地説明会	約 7 分 15 秒	
	平成 16 年度文化財講座 第 2 回 カンボジア アンコール遺跡群の最新情報 第 5 回 中国河南省鞏義市黄冶 唐三彩窯跡の発掘調査 第 6 回 「もう一つの蒙古襲来」を検証する－ロシア サハリン島白土主土城を探る－ 第 7 回 ナイルから地中海へ－地方都市アコリスの軌跡－ 第 8 回 シリア パルミラ遺跡の調査 第 9 回 ローマ帝政期の二つの別荘 Villa Romana a Cazzanello と Villa della Augustusno の調査を中心に 第 10 回 イスラエル国 テル・ゼロールからエン・ゲヴへ	各約 1 時間	
	動 画 配 信	『成合西王寺山窯跡』の発掘調査	9 分 56 秒
WEB 発掘現場公開 よみがえる『摂津名所図会』～金龍寺跡 参詣道の発掘調査～		4 分 51 秒	7 月
WEB 発掘現場公開 大県郡条里遺跡 8		3 分	5 月
WEB 発掘現場公開 成合古墳群		6 分 32 秒	2 月
大県郡条里遺跡 調査成果（令和 3 年度）		1 分 48 秒	2021 年 9 月
WEB 発掘現場公開 黒山遺跡・太井遺跡発掘調査（令和 2 年度）		8 分 50 秒	2 月

k. 日本民家集落博物館刊行物

※(財)大阪府博物館協会と統合(平成14年4月1日)以降発行分

	図書名				刊行年月
図録	民家の案内 OPEN-AIR MUSEUM OF OLD JAPANESE FARM HOUSES むかしのおうちのはくぶつかん				2006年 10月
雑誌	民俗(復刻版)上・下巻 (編集註:昭和32年から昭和45年にかけて刊行した雑誌「民俗」を復刻・合冊したもの)				2006年 10月
その他	日本民家集落博物館 開館50周年記念誌				2006年 10月
	民家の版画(複製版) 5種類	飛騨白川の民家、日向椎葉の民家、信濃秋山の民家、大和十津川の民家、南部の曲家			2005年
	民家の絵葉書 第2集 6種類	日向椎葉の民家、大和十津川の民家、小豆島の農村歌舞伎舞台、奄美大島の高倉、堂島の米蔵、北河内の茶室			2005年
	民家の絵葉書 第1集 6種類	飛騨白川の民家、河内布施の長屋門、摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家			2004年
ニュースレター	民家集落ふるさとだより				
	No.30(2007年12月)	No.29(2007年3月)	No.28(2006年12月)	No.27(2006年3月)	
	No.26(2005年10月)	No.25(2005年5月)	No.24(2004年9月)	No.23(2004年3月)	
	No.22(2003年9月)	No.21(2002年9月)			

l. 日本民家集落博物館映像記録

	タイトル	上映時間	制作年月
DVD	日本民家集落博物館	2分45秒	2014年 3月
動画配信	民家の案内 大和十津川の民家	4分35秒	2022年 8月
	民家の案内 南部の曲家	3分21秒	5月
	民家の案内 北河内の茶室	2分05秒	2月
	茅を切る 茅葺屋根の軒先処理	2分30秒	1月
	民家の案内 摂津能勢の民家	4分03秒	1月
	民家の案内 河内布施の長屋門	2分41秒	2021年 12月
	飛騨白川の民家3次元モデル	3分57秒	11月
	民家の案内 飛騨白川の民家	3分25秒	11月
	信濃秋山の民家保存修理工事 足場設置	26秒	8月
	信濃秋山の民家保存修理工事 屋内調査	3分01秒	5月
	信濃秋山の民家保存修理工事 茅葺作業	44秒	4月

m. 大阪府立弥生文化博物館刊行物

※(財)大阪府博物館協会と統合(平成14年4月1日)以降発行分

	シリーズ番号・図書名	サブタイトル	刊行年月
図録	73 南関東の弥生文化	東からの視点(令和4年度夏季特別展)	2022年 7月
	72 近畿最初の弥生人	(令和3年度秋季特別展)	2021年 10月
	71 繁栄の池上曽根遺跡	拠点集落としての姿(令和3年度春夏季企画展)	2021年 4月
	70 弥生農耕	田んぼとはたけ(令和2年度秋季特別展)	2020年 10月
	69 はくふだでめぐる泉州の歴史と文化	カードで発掘!地域の宝もの(令和元年度冬季企画展)	2020年 1月
	68 北陸の弥生世界	わざとこころ(令和元年度秋季特別展)	2019年 10月
	67 白兔のクニへ	発掘された因幡のあけぼの(令和元年度夏季特別展)	2019年 7月
	66 弥生時代の高地性集落とは	大阪における特徴と性質(平成30年度冬季企画展)	2019年 1月
	65 発見!古代エジプト	7つのひみつと最新エジプト研究(平成30年度秋季特別展)	2018年 9月
	64 弥生のマツリを探る	祈りのイメージと祭場(平成30年度夏季特別展)	2018年 7月
	63 かけがえのない文化財を守る、伝える	大阪における歩みと展望(平成29年度冬季企画展)	2018年 1月



62	海に生きた人びと	漁撈・塩づくり・交流の考古学（平成 29 年度秋季特別展）	2017 年 10 月
61	沖縄の旧石器人と南島文化	（平成 29 年度夏季特別展）	2017 年 7 月
60	キリシタン墓とその前史	摂津の人びとが生きた証（平成 28 年度秋季企画展）	2016 年 9 月
—	世界の文字の物語	ユーラシアの文字のかたち（平成 28 年度夏季特別展）	2016 年 4 月
58	鉄の弥生時代	鉄器は社会を変えたのか？（平成 28 年度春季特別展）	2016 年 4 月
—	海の王都・原の辻遺跡と壱岐の至宝	『魏志』倭人伝、一支国の世界（平成 27 年度冬季企画展）	2015 年 12 月
56	海をみつめた縄文人	放生津潟とヒスイ海岸（平成 27 年度秋季特別展）	2015 年 10 月
55	卑弥呼	女王創出の現象学（平成 27 年度春季特別展）	2015 年 5 月
54	河内の美・技・心	考古学研究と船橋遺跡（平成 26 年度冬季企画展）	2015 年 1 月
53	河内地寶	（平成 26 年度秋季特別展）	2014 年 9 月
52	遙かなるメソポタミア	時空を超えたヒトの営み（平成 26 年度夏季特別展）	2014 年 7 月
51	縄文！岩手 10000 年のたび	（平成 26 年度春季特別展）	2014 年 5 月
50	吉備と邪馬台国	霊威の継承（平成 25 年度秋季特別展）	2013 年 10 月
49	弥生人の船	モンゴロイドの海洋世界（平成 25 年度夏季特別展）	2013 年 8 月
48	縄文の世界像	八ヶ岳山麓の恵み（平成 24 年度秋季特別展）	2012 年 10 月
47	穂落とし神の足跡	農具でひもとく弥生社会（平成 24 年度夏季特別展）	2012 年 8 月
46	弥生文化のはじまり	土井ヶ浜遺跡と響灘周辺（平成 23 年度秋季特別展）	2011 年 9 月
45	豊穡をもたらす響き 銅鐸	（平成 23 年度夏季特別展）	2011 年 7 月
44	邪馬台国	九州と近畿（平成 22 年度秋季特別展）	2010 年 10 月
43	MA S K	仮面の考古学（平成 22 年度夏季特別展）	2010 年 7 月
42	大阪の宝物	出土品が歴史を語る（平成 21 年度秋季特別展）	2009 年 9 月
41	弥生建築	卑弥呼のすまい（平成 21 年度春季特別展）	2009 年 4 月
40	倭人がみた龍	龍の絵とかたち（平成 20 年度冬季特別展）	2009 年 1 月
39	鉄道発掘物語	（平成 20 年度夏季企画展）	2008 年 8 月
38	発掘された大阪 2007	水都大阪の国際交流史（平成 19 年度冬季特別展）	2008 年 1 月
37	日向・薩摩・大隅の原像	南九州の弥生文化（平成 19 年秋季特別展）	2007 年 9 月
36	計る・量る・測る	度量衡の歴史展（平成 19 年夏季企画展）	2007 年 7 月
35	稲作とともに伝わった武器	（平成 19 年春季特別展）	2007 年 4 月
34	弥生人躍動す	池上曾根と吉野ヶ里（平成 18 年秋季特別展）	2006 年 10 月
33	弥生画帖	弥生人が描いた世界（平成 18 年春季特別展）	2006 年 4 月
32	北陸の玉と鉄	弥生王権の光と影（平成 17 年秋季特別展）	2005 年 10 月
31	東海の弥生フロンティア	（平成 17 年春季特別展）	2005 年 4 月
30	大和王権と渡来人	三・四世紀の倭人社会（平成 16 年秋季特別展）	2004 年 10 月
29	弥生のころの北海道	（平成 16 年春季特別展）	2004 年 4 月
28	弥生文化研究への熱いまなざし	森本六爾、小林行雄と佐原真（平成 15 年秋季特別展）	2003 年 10 月
27	世界の貨幣展	金は天下のまわりもの（平成 15 年夏季企画展）	2003 年 7 月
26	弥生創世記	検証・縄文から弥生へ（平成 15 年春季特別展）	2003 年 4 月
—	過去からのメッセージ	大阪発掘 30 年（平成 15 年冬季企画展）	2003 年 1 月
25	王の居館を探る	（平成 14 年秋季特別展）	2002 年 10 月
24	青いガラスの燦き	丹後王国が見えてきた（平成 14 年春季特別展）	2002 年 4 月
資料 図録	船橋遺跡出土資料 1	弥生土器編 大阪府立弥生文化博物館資料図録 1	2006 年 3 月
研究 報告	弥生文化博物館研究報告 第 7 集		2014 年 6 月
	弥生文化博物館研究報告 第 6 集		2006 年 3 月
	佐原真 文庫目録		2006 年 3 月
	追想 佐原真さんのご逝去を悼む		2002 年 12 月

博物館だより	「弥生倶楽部」			
	VOL.35 (2009年3月)	VOL.34 (2008年10月)	VOL.33 (2008年3月)	VOL.32 (2007年7月)
	VOL.31 (2007年2月)	VOL.30 (2006年7月)	VOL.29 (2005年11月)	VOL.28 (2005年5月)
	VOL.27 (2004年9月)	VOL.26 (2004年3月)	VOL.25 (2003年10月)	VOL.24 (2003年3月)
	VOL.23 (2002年10月)			
その他	要覧(各年度) 展示会リーフレット 等			

n. 大阪府立近つ飛鳥博物館刊行物

※(財)大阪府博物館協会と統合(平成14年4月1日)以降発行分

	シリーズ番号・図書名	サブタイトル	刊行年月	
図録	85	川と道の織りなす河内の交通	大和川と船橋・国府遺跡(令和4年度秋季企画展)	2022年 10月
	84	献ずる器	横穴式石室を彩るものたち(令和4年度夏季特別展)	2022年 7月
	83	玉からみた古墳時代	(令和3年度秋季特別展)	2021年 10月
	82	古墳群に暮らした人たち	集落遺跡からみる古市古墳群(令和3年度夏季企画展)	2021年 7月
	81	王権麾下の古墳とその被葬者	古市古墳群の小規模墳(令和2年度秋季企画展)	2020年 10月
	80	堂山1号墳	その被葬者をさぐる(令和2年度夏季企画展)	2020年 7月
	79	歴史発掘おおさか2019	大阪府発掘調査最新情報(令和元年度冬季企画展)	2020年 2月
	78	ヤマト王権とその拠点	政治拠点と経済拠点(令和元年度秋季企画展)	2019年 10月
	77	百舌鳥・古市古墳群と土師氏	(令和元年度夏季特別展)	2019年 8月
	76	歴史発掘おおさか2017～2018	大阪府発掘調査最新情報(平成30年度冬季企画展)	2019年 1月
	75	4世紀のヤマト王権と対外交渉	東アジア情勢と古墳の変化(平成30年度秋季特別展)	2018年 10月
	74	百舌鳥・古市古墳群に学ぶ、古墳と水のマツリ	(平成30年度夏季企画展)	2018年 7月
	73	古墳出現期の筑紫・吉備・畿内	2・3世紀の社会と経済(平成29年度秋季特別展)	2017年 9月
	72	東国尾張とヤマト王権	(平成29年度春季特別展)	2017年 4月
	71	歴史発掘おおさか2016	大阪府発掘調査最新情報(平成28年度冬季企画展)	2017年 1月
	70	大王と豪族	6世紀の大和と河内(平成28年度秋季特別展)	2016年 10月
	69	古墳とは何か	葬送儀礼からみた古墳(平成28年度春季特別展)	2016年 4月
	68	歴史発掘おおさか2015	大阪府発掘調査最新情報(平成27年度冬季特別展)	2016年 1月
	67	ワカタケル大王の時代	ヤマト王権の成熟と革新(平成27年度秋季特別展)	2015年 10月
	66	古代出雲とヤマト王権	神話の国の考古学(平成27年度春季特別展)	2015年 4月
	65	歴史発掘おおさか2014	大阪府発掘調査最新情報(平成26年度冬季特別展)	2015年 1月
	64	箸墓以降	邪馬台国連合から初期ヤマト政権へ(平成26年度秋季特別展)	2014年 10月
	63	ヤマト王権と葛城氏	考古学からみた古代氏族の盛衰(平成26年度春季特別展)	2014年 4月
	62	歴史発掘おおさか2013	大阪府発掘調査最新情報(平成25年度冬季特別展)	2014年 1月
	61	考古学からみた推古朝	(平成25年度秋季特別展)	2013年 10月
	60	百舌鳥・古市古墳群出現前夜	(平成25年度春季特別展)	2013年 4月
	59	歴史発掘おおさか2012	大阪府発掘調査最新情報(平成24年度冬季特別展)	2013年 1月
	58	南九州とヤマト王権	日向・大隅の古墳(平成24年度秋季特別展)	2012年 9月
	57	王と首長の神まつり	古墳時代の祭祀と信仰(平成24年度春季特別展)	2012年 4月
	56	歴史発掘おおさか2011	大阪府発掘調査最新情報(平成23年度冬季特別展)	2012年 1月
	55	百舌鳥・古市の陵墓古墳	巨大前方後円墳の実像(平成23年度秋季特別展)	2011年 10月
	54	倭人と文字の出会い	(平成23年度春季特別展)	2011年 4月
	53	歴史発掘おおさか	大阪府発掘調査最新情報(平成22年度冬季特別展)	2011年 1月
	52	鉄とヤマト王権	邪馬台国から百舌鳥・古市古墳群の時代へ(平成22年度秋季特別展)	2010年 10月
	51	継体大王の時代	百舌鳥・古市古墳群の終焉と新時代の幕開け(平成22年度春季特別展)	2010年 4月
	50	ふたつの飛鳥の終末期古墳	河内平野と大和飛鳥(平成21年度冬季特別展)	2010年 1月
	49	河内平野の集落と古墳	謎の4世紀を探る(平成21年度秋季企画展)	2009年 10月
	48	卑弥呼死す、大いに冢をつくる	前方後円墳の成立(平成21年度春季特別展)	2009年 4月

47	百舌鳥・古市大古墳群	巨大古墳の時代（平成 20 年度冬季特別展）	2009 年 1 月	
46	考古学からみた古代の女性	巫女王卑弥呼の残影（平成 20 年度秋季特別展）	2008 年 10 月	
45	横穴式石室誕生	黄泉国の成立（平成 19 年度秋季特別展）	2007 年 10 月	
44	河内古代寺院巡礼	（平成 19 年度春季特別展）	2007 年 4 月	
43	河内湖周辺に定着した渡来人	5 世紀の渡来人の足跡（発掘された日本列島 2006 地域展）	2006 年 9 月	
42	応神大王の時代	河内政権の幕開け（平成 18 年度秋季特別展）	2006 年 8 月	
41	古代の工房	豊かなる都・寺のきらめき（平成 18 年度春季特別展）	2006 年 4 月	
40	年代のものさし	陶邑の須恵器（平成 17 年度冬季企画展）	2006 年 1 月	
39	王権と儀礼	埴輪群像の世界	2005 年 10 月	
38	遙かなり音の道	日本音楽の源流を探る	2005 年 4 月	
37	一須賀古墳群の調査 V	D・E・F・J・K・L・P 支群	2005 年 1 月	
36	今来才伎	古墳・飛鳥の渡来人	2004 年 10 月	
35	旬夏秀陶 関西編	府立大阪博物館が集めた近世のやきもの（平成 16 年度夏季企画展）	2004 年 7 月	
34	古墳から奈良時代墳墓へ	古代律令国家の墓制	2004 年 4 月	
33	一須賀古墳群の調査 IV	B 支群	2004 年 1 月	
32	大庭 脩前館長著作集		2003 年 11 月	
31	壁画古墳の流れ	高松塚とキトラ	2003 年 10 月	
30	黄泉のアクセサリー	古墳時代の装身具（平成 15 年度春季特別展）	2003 年 4 月	
29	紫金山古墳		2003 年 1 月	
28	西域への道	シルクロードと大谷探検隊（平成 14 年度秋季企画展）	2002 年 10 月	
27	未盗掘古墳の世界	埋葬時のイメージを探る（平成 14 年度春季特別展）	2002 年 4 月	
	よみがえる一須賀古墳群		2008 年 3 月	
	「アスカディア・古墳の森」			
	VOL.56 (2022 年 3 月)	VOL.55 (2021 年 9 月)	VOL.54 (2021 年 3 月)	VOL.53 (2020 年 9 月)
	VOL.52 (2020 年 3 月)	VOL.51 (2019 年 9 月)	VOL.50 (2019 年 3 月)	VOL.49 (2018 年 9 月)
	VOL.48 (2018 年 3 月)	VOL.47 (2017 年 9 月)	VOL.46 (2017 年 3 月)	VOL.45 (2016 年 9 月)
	VOL.44 (2016 年 3 月)	VOL.43 (2015 年 9 月)	VOL.42 (2015 年 3 月)	VOL.41 (2014 年 9 月)
	VOL.40 (2014 年 3 月)	VOL.39 (2013 年 9 月)	VOL.38 (2013 年 3 月)	VOL.37 (2012 年 9 月)
	VOL.36 (2012 年 3 月)	VOL.35 (2011 年 9 月)	VOL.34 (2011 年 3 月)	VOL.33 (2010 年 9 月)
	VOL.32 (2010 年 3 月)	VOL.31 (2009 年 9 月)	VOL.30 (2009 年 3 月)	VOL.29 (2008 年 9 月)
	VOL.28 (2008 年 3 月)	VOL.27 (2007 年 9 月)	VOL.26 (2007 年 3 月)	VOL.25 (2006 年 9 月)
	VOL.24 (2006 年 4 月)	VOL.23 (2005 年 9 月)	VOL.22 (2005 年 3 月)	VOL.21 (2004 年 9 月)
	VOL.20 (2004 年 3 月)	VOL.19 (2003 年 9 月)	VOL.18 (2003 年 3 月)	VOL.17 (2002 年 9 月)
その他	館報（各年度） 展示会リーフレット 等			

#### o. 歴史館いずみさの刊行物

	図書名	サブタイトル	刊行年月
	向井久万	館蔵作品集	2019 年 10 月
だ博 よ物 り館	「歴史通信」 VOL.34 (2022 年 3 月) VOL.30 (2018 年 3 月)	VOL.33 (2021 年 3 月) VOL.29 (2017 年 3 月)	VOL.32 (2020 年 3 月) VOL.31 (2019 年 3 月)
その他	展示会リーフレット 等		



## 6. 公益財団法人大阪府文化財センター定款

### 第1章 総 則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人大阪府文化財センターと称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を大阪府堺市に置く。

### 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、大阪府における文化財の調査、研究及び保存を行い、文化財の保護と活用を図り、もって大阪府民の文化財に対する理解と認識を深め、その文化的向上に資するとともに、我が国の文化の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 埋蔵文化財の調査、整理、保存、研究、技術支援及び活用
- (2) 史跡、名勝及び天然記念物の調査、保存、研究、整備及び活用
- (3) 有形・無形・民俗文化財等の調査、保存、研究、整備及び活用
- (4) 文化財に関する資料及び情報の収集、管理及び公開
- (5) 文化財に関する普及啓発
- (6) 地方公共団体等が行う文化財調査への支援、協力及び労働者派遣
- (7) 日本民家集落博物館の管理及び運営
- (8) 大阪府その他の地方公共団体等が設置する博物館、資料館、史跡公園その他これらに類する施設の管理及び運営の受託
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

### 第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な別表第1の財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。こ

れを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

#### (事業報告及び決算)

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
  - (2) 事業報告の附属明細書
  - (3) 貸借対照表
  - (4) 正味財産増減計算書
  - (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
  - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
    - (1) 監査報告
    - (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
    - (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
    - (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

#### (公益目的取得財産残額の算定)

第9条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

## 第4章 評議員

#### (評議員)

第10条 この法人に評議員5名以上10名以内を置く。

#### (評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号。以下「法人法」という。）第179条から第195条までの規定に従い、評議員会において行う。

- 2 評議員を選任する場合には、次の各号の要件をいずれも満たさなければならない。
  - (1) 各評議員について、次のイからへに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。
    - イ 当該評議員及びその配偶者又は3親等内の親族
    - ロ 当該評議員と婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者
    - ハ 当該評議員の使用人
    - ニ ロ又はハに掲げる者以外の者であって、当該評議員から受ける金銭その他の財産によって生計を維持しているもの

- ホ ハ又は二に掲げる者の配偶者
  - へ ロからニまでに掲げる者の3親等内の親族であって、これらの者と生計を一にするもの
- (2) 他の同一の団体（公益法人を除く。）の次のイからニに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。
- イ 理事
  - ロ 使用人
  - ハ 当該他の同一の団体の理事以外の役員（法人でない団体で代表者又は管理人の定めのあるものにあつては、その代表者又は管理人）又は業務を執行する社員である者
  - ニ 次に掲げる団体においてその職員（国会議員及び地方公共団体の議会の議員を除く。）である者
    - ①国の機関
    - ②地方公共団体
    - ③独立行政法人通則法第2条第1項に規定する独立行政法人
    - ④国立大学法人法第2条第1項に規定する国立大学法人又は同条第3項に規定する大学共同利用機関法人
    - ⑤地方独立行政法人法第2条第1項に規定する地方独立行政法人
    - ⑥特殊法人（特別の法律により特別の設立行為をもって設立された法人であつて、総務省設置法第4条第15号の規定の適用を受けるものをいう。）又は認可法人（特別の法律により設立され、かつ、その設立に関し行政官庁の認可を要する法人をいう。）
- 3 この法人の評議員のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数、又は評議員のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、評議員総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることにはならない。また、評議員には、監事及びその親族その他特殊の関係がある者が含まれてはならない。

#### （評議員の任期）

- 第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。
- 3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

#### （評議員の報酬等）

- 第13条 評議員が評議員会に出席した場合は、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従つて算定した額を、報償費として支給することができる。

## 第5章 評議員会

#### （構成）

- 第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

#### （権限）

- 第15条 評議員会は、次の事項について決議する。
- (1) 評議員並びに理事及び監事の選任又は解任



- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第18条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第20条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第19条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名は、前項の議事録に記名押印する。

## 第6章 役員

(役員の設置)

第20条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 5名以上10名以内
- (2) 監事 2名以内

- 2 理事のうち1名を理事長、1名を専務理事とする。

- 3 前項の理事長をもって法人法上の代表理事とし、専務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

#### (役員を選任)

第21条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び専務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

3 この法人の理事のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることにはならない。

4 この法人の監事には、この法人の理事（親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び評議員（親族その他特殊の関係がある者を含む。）並びにこの法人の使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

#### (理事の職務及び権限)

第22条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 専務理事は、理事長を補佐し、この法人の業務を執行し、理事長に事故があるとき、又は理事長が欠けたときは、理事長の業務執行に係る職務を代行する。

4 理事長及び専務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

#### (監事の職務及び権限)

第23条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

3 理事会に出席し、意見を述べることができる。

4 その他監事に認められた法令上の権限を行使することができる。

#### (役員任期)

第24条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第20条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

#### (役員解任)

第25条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

#### (報酬等)

第26条 理事長、専務理事及び監事に対しては、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬として支給することができる。

2 理事（理事長及び専務理事を除く）及び監事が理事会に出席した場合は、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報償費として支給することができる。

（役員の賠償責任の免除）

第 27 条 この法人は、法人法第 198 条において準用する同法第 114 条第 1 項の規定により、理事又は監事が任務を怠ったことによる損害賠償責任を、法令に規定する額を限度として理事会の決議により免除することができる。

（外部役員の責任限定契約）

第 28 条 この法人は、法人法第 198 条において準用する同法第 115 条第 1 項の規定により、外部理事又は外部監事との間に、任務を怠ったことによる損害賠償責任の限定契約を締結することができる。なお、責任限度額は、法人法において第 198 条において準用する同法第 113 条第 1 項の規定による最低責任限度額とする。

（顧問）

第 29 条 この法人には、顧問若干名を置くことができる。

- 2 顧問は、理事会の推挙に基づいて理事長が委嘱する。
- 3 顧問は、理事長の諮問に応じる。
- 4 顧問は、無報酬とする。

## 第 7 章 理事会

（構成）

第 30 条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

（権限）

第 31 条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び専務理事の選定及び解職

（招集）

第 32 条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

（決議）

第 33 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、法人法第 197 条において準用する同法第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

（議事録）

第 34 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。



2 出席した理事長、専務理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第35条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条、第4条及び第11条についても適用する。

(解散)

第36条 この法人は、基本財産の滅失その他の事由によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第37条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号。以下「認定法」という。）第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第38条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、国若しくは地方公共団体又は公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人であって租税特別措置法第40条第1項に規定する公益法人等に該当する法人に贈与するものとする。

## 第9章 公告の方法

(公告の方法)

第39条 この法人の公告は、電子公告により行う。

2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法による。

## 附 則

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号。以下「整備法」という。）第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3 この法人の最初の理事長は、水野正好とする。

4 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

池田良治 蔵口康裕 須藤健一 高井道弘 竹林弘美  
田邊征夫 中西正人 那谷定彦 南谷恵敬

別表第1 基本財産（公益目的事業を行うために不可欠な特定の財産以外のもの）  
（第5条関係）

財産種別	金額等
有価証券及び現金	116,700,000円

附 則

この定款は、平成27年6月25日から施行する。

附 則

この定款は、令和4年6月30日から施行する。

## 事業所一覧



**本部事務所** 〒590-0105 堺市南区竹城台3丁21-4  
TEL.072-299-8791 FAX.072-299-8905

**南部調査事務所** TEL.072-284-2233  
<http://www.occh.or.jp/>



 **大阪府立弥生文化博物館**  
〒594-0083 和泉市池上町4-8-27  
TEL.0725-46-2162(代) FAX.0725-46-2165  
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>



**中部調査事務所** 〒577-0012 東大阪市長田東1丁目9-16  
TEL.06-6785-3921 FAX.06-6785-3515

**資料室** TEL.06-6785-4531 FAX.06-6785-5431



 ● **アスカディア・古墳の森**  
大阪府立 **近つ飛鳥博物館**  
〒585-0001 南河内郡河内町大字東山299  
TEL.0721-93-8321(代) FAX.0721-93-8325  
<http://www.chikatsu-asuka.jp/>



レイカールスタープラザ・カワサキ  
泉佐野市立 **歴史館 イズミサノ**  
〒598-0005 泉佐野市市場東1丁目2-1  
TEL.072-469-7140 FAX.072-469-7141  
<http://www.facebook.com/rekiskan.izumisano/>  
<http://www.occh.or.jp/?s=event/izumisano>



 **むかしのおうちのはくぶつかん**  
**日本民家集落博物館**  
〒561-0873 豊中市服部緑地1-2  
TEL.06-6862-3137(代) FAX.06-6862-3147  
<http://www.occh.or.jp/minka/>



公益財団法人 大阪府文化財センター設立 50 周年記念誌

## 50 年のあゆみ

発行 令和 4 年 1 1 月 2 8 日  
公益財団法人 大阪府文化財センター  
〒 590-0105  
大阪府堺市南区竹城台三丁目 21 番 4 号  
TEL 072-299-8791  
FAX 072-299-8905

印刷 株式会社 明新社  
〒 630-8141  
奈良県奈良市南京終町三丁目 464 番地  
TEL 0742-63-0661  
FAX 0742-63-0660



